

# 中央区高齢者の生活実態調査および 介護サービス利用状況等調査

## 報告書

令和8(2026)年3月  
中央区



# 目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の全体設計	3
3. 調査方法及び客体	4
第2章 調査結果の詳細／高齢者福祉に関する生活実態調査（調査A）	11
1. 回答者の属性	13
(1) 調査票の記入者	13
(2) 性別・年齢	13
(3) 家族構成	14
(4) 居住地域	14
(5) 生活状況	15
(6) 住宅の種類	16
(7) 健康状態	17
(8) 定期的な健康状態の把握	17
(9) かかりつけの有無	18
2. 経済状況や就労状態	20
(1) 就労状況	20
(2) 就労形態	21
(3) 仕事の目的・理由	21
(4) 仕事を続けたい年齢	23
(5) 希望する今後の働き方	24
(6) 希望する就労による収入	25
(7) 働くうえで重視していること	25
3. 社会的な活動や地域活動への参加状況	26
(1) 社会的な活動や地域活動への参加状況	26
(2) 活動を始めた時期	28
(3) 活動を始めたきっかけ	29
(4) 活動をしてよかったと思うこと	30
(5) 活動を続けたい年齢	31
(6) 社会的な活動や地域活動をしていない理由	32
(7) 今後の社会との関わり方	33
4. 交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加	34
(1) 交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加の有無	34
(2) 参加頻度	35
(3) 参加していない理由	35

(4) 参加しようと思う条件	37
5. 日常生活に関する情報	39
(1) 日常生活に関する情報の入手先	39
(2) 困ったときの相談先	40
(3) 孤独感	42
(4) 情報収集のためのインターネット利用頻度	44
(5) 日常生活において使用しているICT（情報・通信）機器	45
(6) スマートフォンを使用していない理由	46
(7) スマートフォンやアプリの使い方講座への参加意向	47
(8) 受講したいと思う講座の内容	48
6. 健康づくり・介護予防事業への参加	49
(1) 運動習慣の有無	49
(2) 運動する場所	50
(3) 運動する頻度	50
(4) 運動習慣がない理由	51
(5) 区で行っている高齢者健康づくり介護予防事業の認知度	52
(6) 高齢者健康づくり介護予防事業の情報入手先	52
(7) 参加したいと思う健康づくり介護予防事業	53
(8) 継続的参加のための条件	54
(9) フレイルの認知度	55
(10) 介護予防・フレイル予防の取組状況	56
7. 災害時の対応	58
(1) 災害時に困ること	58
(2) 災害への備え	59
(3) 「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度	60
8. 今後の介護の希望	61
(1) 今後希望する介護	61
(2) 終末期に介護を受けたい場所	62
(3) 延命治療についての考え	63
(4) 介護・延命治療についての希望を伝えた人	64
(5) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の理解度	65
9. 老い支度（終活）	66
(1) 終活への興味	66
(2) 終末期・死後の手続き等で不安なこと	67
10. 認知症	69
(1) 認知症についての考え	69
(2) 認知症に関する欲しい情報	70
11. 今後の高齢者保健福祉施策	71
(1) 介護保険サービスと介護保険料のあり方	71

(2) 今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策	72
1 2. 自由記述	74
<b>第3章 調査結果の詳細／ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（調査B）</b>	<b>79</b>
1. 回答者の属性	81
(1) 調査票の記入者	81
(2) 性別・年齢	81
(3) 要介護度等	82
(4) 居住地域	82
2. 家族や生活状況	83
(1) 家族構成	83
(2) 介護・介助の要否	83
(3) 経済的な生活状況	84
(4) 住宅の種類	84
3. からだを動かすこと	85
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	85
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	85
(3) 15分程度続けて歩くこと	85
(4) 過去1年間に転んだ経験	86
(5) 転倒に対する不安度	86
(6) 外出の頻度	86
(7) 外出回数の減少状況	87
4. 食べること	88
(1) 身長・体重・BMI	88
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくい	90
(3) 歯の本数と入れ歯の有無	90
(4) 共食の機会	90
5. 毎日の生活	91
(1) 認知機能の状況	91
(2) 交通手段を使って1人で外出できるか	91
(3) 自分で買物ができるか	92
(4) 自分で食事の用意ができるか	92
(5) 自分で請求書の支払いができるか	92
(6) 自分で預貯金の出し入れができるか	93
6. 地域での活動	94
(1) 社会参加の状況	94
(2) 地域づくりへの参加者としての参加意向	95
(3) 地域づくりへの企画・運営者としての参加意向	96
(4) 地域の人からの期待や頼り	97

7. たすけあい	98
(1) 愚痴を聞いてくれる人	98
(2) 愚痴を聞いてあげる人	99
(3) 看病してくれる人	100
(4) 看病してあげる人	100
(5) 友人・知人と会う頻度	101
8. 健康	102
(1) 主観的健康感	102
(2) 主観的幸福感	102
(3) ゆうつな気持ちになったりすることがあるか	103
(4) 心から楽しめない感じがよくあるか	104
(5) 喫煙習慣	104
(6) 現在治療中または後遺症のある病気	105
9. 認知症	106
(1) 認知症の症状の有無	106
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度	106
(3) 認知症についての考え	107
(4) 認知症に関する欲しい情報	108
10. 自由記述	109
11. 介護予防リスク	112
(1) 運動機能低下	112
(2) 閉じこもり	113
(3) IADL（生活機能評価）	114
(4) うつ傾向	115
<b>第4章 調査結果の詳細 要介護・要支援認定者調査（調査C）</b>	<b>117</b>
1. 回答者の属性	119
(1) 調査票の記入者	119
(2) 性別・年齢	119
(3) 要介護度等	120
(4) 居住地域	120
(5) 家族構成	121
(6) 介護保険の自己負担割合	122
(7) 介護・介助が必要になった原因	122
(8) 主に介護・介助をしている方	124
(9) 介護者自身が受けたい支援	125
2. 家族や生活状況	127
(1) 経済的な生活状況	127
(2) 住宅の種類	127

(3) 日常生活において使用しているICT（情報・通信）機器	128
(4) かかりつけの有無	128
(5) 現在治療中または後遺症のある病気	129
(6) 孤独感	130
3. 介護保険サービス	131
(1) 現在利用している介護保険サービスと満足度	131
(2) 介護保険サービス利用料の負担感	133
(3) 介護保険サービスを利用してからの生活環境や身体状況の変化	134
(4) 施設等への入所・入居の検討状況	135
(5) 希望する施設の種類の種類	136
(6) 現在利用している介護保険外サービス	137
(7) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	139
4. サービスのあり方	141
(1) ケアプランの満足度	141
(2) ケアマネジャーの満足度	142
(3) ケアマネジャーの仕事への評価	143
(4) 今後希望する介護	144
(5) 終末期に介護を受けたい場所	145
(6) 延命治療についての考え	146
(7) 介護・延命治療についての希望を伝えた人	147
(8) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の理解度	148
(9) 人生の最終段階における医療・介護について行っていること	149
5. 相談や権利擁護	150
(1) 困ったときの相談先	150
(2) 「おとしより相談センター」の認知・利用状況	151
(3) 「おとしより相談センター」を利用したことがない理由	151
(4) 成年後見制度の認知度	152
(5) 成年後見制度の利用意向	153
(6) 成年後見制度を利用したいと思わない理由	154
(7) 権利擁護支援事業の認知度	155
(8) 権利擁護支援事業の利用意向	156
(9) 法人後見人制度の認知度	157
(10) 法人後見人制度の利用意向	158
6. 認知症	159
(1) 認知症についての考え	159
(2) 認知症に関する欲しい情報	160
(3) 認知症になったときの暮らし方の希望	160
(4) 認知症になったとき住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと	161
7. 災害時の対応	162

(1) 災害時に困ること	162
(2) 災害への備え	162
(3) 「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度	163
8. 今後の高齢者保健福祉施策	164
(1) 介護の保険サービスと介護保険料のあり方	164
(2) 今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策	165
9. 自由記述	166
<b>第5章 調査結果の詳細／在宅介護実態調査（調査D）</b>	<b>169</b>
1. 介護者の属性（A票）	171
(1) 調査回答者	171
(2) 世帯類型	171
(3) 家族や親族からの介護頻度	172
(4) 主な介護者	173
(5) 主な介護者の性別	173
(6) 主な介護者の年齢	174
2. 介護者の介護内容等（A票）	175
(1) 主な介護者の介護内容	175
(2) 家族・親戚の介護による離職状況	177
(3) 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス	177
(4) 施設等への入所・入居検討状況	179
(5) 施設等への入所・入居を検討しない理由	180
3. 介護者の状況（B票）	181
(1) 主な介護者の勤務形態	181
(2) 主な介護者の働き方の調整	181
(3) 主な介護者の就労しながらの介護継続の意思	182
(4) 主な介護者が不安に感じる介護	183
4. 要介護認定データ	185
(1) 年齢	185
(2) 性別	185
(3) 二次判定結果（要介護度）	185
(4) 障害高齢者の日常生活自立度	186
(5) 認知症高齢者の日常生活自立度	187
(6) サービス利用の組み合わせ	188
<b>第6章 調査結果の詳細 居所変更実態調査（調査E）</b>	<b>189</b>
1. 地域内の居宅移動の実態基本属性	191
2. 居宅変更した理由	198
3. 自由記述	198

第7章 調査結果の詳細 介護人材実態調査（調査F）	199
1. 基本属性	201
(1) 事業所の所在地	201
(2) 指定（許可）サービス	202
(3) 中央区からの情報の入手場所	203
(4) 令和6年度の事業採算	204
2. 人材確保・人材育成等	205
(1) 介護職員の人数	205
(2) 開設から1年以上の経過	206
(3) 介護職員の採用者数と離職者数	207
(4) ボランティアの人数	211
(5) 区内の介護サービスの需給バランス	212
(6) 不足しているサービスの種類	213
(7) 採用や人材定着に関する課題	214
(8) 人材確保に関して区に期待すること	215
3. ICT機器・介護ロボットの活用	216
(1) 介護事業における生産性向上ツールの利用状況	216
(2) 利用している生産性向上ツールの種類	216
(3) 生産性向上ツールを利用していない理由	217
(4) 導入予定の生産性向上ツール	217
(5) 多職種連携ICTシステムの利用状況	218
(6) 利用している多職種連携ICTシステムの種類	218
(7) 多職種連携ICTシステムを利用していない理由	219
4. 医療と介護の連携	220
(1) 医療・介護の連携の状況	220
(2) 医療・介護連携を進める上で情報共有をどのような方法で進めるか	221
(3) 在宅療養支援推進に向けての課題	222
5. 看取り	223
(1) 看取りについて最も重視していること	223
(2) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の活用	224
(3) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の推進に必要なこと	225
(4) 施設運営の課題	226
6. 認知症の方や家族の支援	227
(1) 認知症の利用者の状況で大変なこと	227
(2) 認知症の方の支援で特に必要と思われること	228
(3) 認知症の利用者の家族への支援として特に必要と思われること	229
(4) 地域住民の認知症の理解を促進するために特に必要と思われること	230
(5) 認知症のある方の声を取り入れて支援に活かしている点	231
7. 地域の課題	232

(1) 利用者の生活支援をして感じている地域の生活課題	232
(2) 地域課題解決のために必要だと考えること	233
8. 自由記述	234

## 第8章 調査結果の詳細／在宅医療・介護サービス提供者への調査（調査G） 235

1. 基本属性	237
(1) 医療機関の種類	237
(2) 診療科目	237
(3) 所在地	238
2. 在宅医療の実施状況	239
(1) 往診・訪問診療の実施状況と意向	239
(2) 在宅療養支援の実施状況	240
3. 日常的な在宅療養	241
(1) 在宅療養で大切にしていること	241
(2) 関係機関・職種との連携状況	242
(3) 日常的な在宅療養で課題になっていること	243
(4) 認知症の患者の状況で大変なこと	244
(5) 介護サービス事業所との連携状況	245
(6) 介護サービス事業所と連携を行っていない理由	246
(7) ケアマネジャーとの連携の課題	247
(8) ケアマネジャーとの連携に課題と感じていること	248
(9) おとしより相談センターとの連携の課題	249
(10) おとしより相談センターとの連携に課題と感じていること	250
(11) 訪問看護ステーションとの連携の課題	251
(12) 訪問看護ステーションとの連携に課題と感じていること	252
(13) 薬局との連携の課題	253
(14) 薬局との連携に課題と感じていること	254
4. ICT機器（情報通信機器）の活用	255
(1) 多職種連携ICTシステムの利用状況	255
(2) 利用している多職種連携ICTシステムの種類	256
(3) 多職種連携ICTシステムを利用していない理由	257
5. 看取り	258
(1) 1年間に在宅で看取った患者数	258
(2) 看取りのための訪問先	259
(3) どのような条件があれば看取りが可能か	260
(4) 看取りについて最も重視していること	261
(5) 看取りについて実践していること	262
(6) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の活用	263
(7) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の推進に必要なこと	264

6. 在宅療養支援 .....	265
(1) 在宅療養支援推進に向けての課題 .....	265
7. 自由記述 .....	267
資料編／アンケート調査票 .....	269



# 第1章 調査の概要



## 1. 調査実施の目的

本調査は、令和9(2027)～令和11(2029)年度を計画期間とする「中央区高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に向けて、中央区の一般高齢者等および要介護・要支援認定者の生活実態、介護保険サービスを提供している事業者および医療機関の実態等を把握し、必要な資料を得ることを目的として実施した。

## 2. 調査の全体設計

本調査は、中央区の高齢者に対する調査（調査A～D）、区内の介護保険サービスを提供する事業者に対する調査（調査E・F）および医療機関に対する調査（調査G）の3つに大別される。

高齢者に対する調査には、区の独自調査に加えて、計画策定のためのツールとして国から示された「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」（調査B）および「在宅介護実態調査」（調査D）、「居所変更実態調査」（調査E）を含む。

調査結果から把握した実態やニーズを踏まえた施策の検討を目的として調査設計を行っており、それぞれの調査において、地域包括ケアシステムを構成する6つの分野「健康づくり（介護予防）」・「生活支援」・「認知症ケア」・「医療」・「介護」・「住まい」から対象者に合わせて項目および設問を設定している。

今回は第10期計画の策定にあたり、認知症施策推進計画を包含するため認知症に関する設問を追加し、実態を把握する。また、施設・居住系サービスにおける入退去の流れやその理由を把握し、住み慣れた地域での生活継続に必要なサービス機能の資料を得るため、新たに「居所変更実態調査」（調査E）を実施する。

また、前回からのインターネット回答導入は、有効回答の確保に一定の効果を発揮している。

高齢者が住み慣れた地域での生活を最期まで自分らしくいきいきと継続できるように、中央区スタイルの地域包括ケアシステムを一層深化していくため、この調査によって見えてきた課題等を施策の検討に活用していく。

## 第1章 調査の概要

〔調査の全体設計〕

	属性 年齢	一般高齢者等	要支援認定者	要介護認定者
	高齢者等向け 調査	55～64歳	【調査A】高齢者福祉に関する生活実態調査	
65歳以上		【調査B】介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	【調査C】要介護・要支援認定者調査	【調査D】在宅介護実態調査
介護保険サービス事業所 調査		【調査E】居所変更実態調査		
		【調査F】介護人材実態調査		
医療機関調査		【調査G】在宅医療・介護サービス提供者への調査		

○対象者の抽出基準日：令和7年10月1日

○要介護・要支援認定者には、40歳～64歳の第2号被保険者は含まない。

### 3. 調査方法及び客体

#### (1) 調査期間

令和7年10月21日（火）～11月17日（月）

#### (2) 調査方法

郵送配布、郵送またはインターネットにて回収、ハガキによる督促礼状1回

※「在宅介護実態調査」（調査D）は、令和7年6月～11月の間、認定調査員の聞き取り方式により実施した。

## (3) 各調査の客体、内容、回収状況等

調査名	調査客体	調査内容	回収状況
調査A 高齢者福祉に関する 生活実態調査	要介護・要支援認定を受けていない55歳以上の区民(一般高齢者等)  【抽出調査】	一般高齢者等の意識や生活実態、健康づくりの取組状況や生活習慣、社会活動への参加状況からみた課題やニーズを把握する。	・対象者数:3,000人 ・有効回答数:1,821件 (郵送:1,142、 インターネット:679) ・回収率:60.7%
調査B 介護予防・ 日常生活圏域 ニーズ調査	要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の区民(一般高齢者)、 総合事業対象者(※) および要支援認定者  国による必須調査 【抽出調査】	介護状態になる前の高齢者のリスクや生活状況等を調査し、国の地域包括ケア「見える化」システムによる地域診断を活用して、地域の高齢者の抱える課題やニーズを把握する。	・対象者数:2,500人 ・有効回答数:1,848件 (郵送:1,535、 インターネット:313) ・回収率:73.9%
調査C 要介護・要支援 認定者調査	要介護・要支援認定者  【抽出調査】	要介護・要支援認定を受けた地域の高齢者の生活実態、生活状態からみた課題やニーズを把握する。	・対象者数:3,500人 ・有効回答数:1,992件 (郵送:1,641、 インターネット:351) ・回収率:56.9%
調査D 在宅介護実態調査	在宅で生活している要介護・要支援認定者のうち、 調査期間 (令和7年6月～11月)中に 更新申請または区分変更 申請に伴う認定調査を受けた者 国による必須調査 【全数調査】	「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点から高齢者等の適切な在宅生活の継続および家族等介護者の就労継続などの実現に向けた介護サービスのあり方を検討する。	・対象者数:354人 ・有効回答数:354件 (介護保険認定調査員 による聞き取り:354) ・回収率:100%
調査E 居所変更実態調査	区内の介護保険施設・高齢者住宅  国による推奨調査 【全数調査】	高齢者施設やサービス付き高齢者向け住宅等において、過去1年間の入居・退去の流れや退去理由を把握することで、住み慣れた地域で生活を継続するために必要な機能や連携体制を検討する。	・対象施設数:17 ・有効回答数:11件 (郵送:3、 インターネット:8) ・回収率:64.7%
調査F 介護人材実態調査	区内の介護保険サービス事業所  【全数調査】	介護保険サービス事業所において、介護職員の雇用状況、採用・離職の動向、勤務環境などの実態を包括的に把握する。	・対象事業所数:105 ・有効回答数:63件 (郵送:41、 インターネット:22) ・回収率:60.0%
調査G 在宅医療・ 介護サービス提供者 への調査	区内の医師会、歯科医師会、薬剤師会の会員(医療機関)  【全数調査】	医療機関側からみた在宅医療支援の実態や課題等を把握する。	・対象機関数:600 ・有効回答数:289件 (郵送:175、 インターネット:114) ・回収率:48.2%

(4) 在宅介護実態調査(調査 D)の集計・分析について

①分析方法

厚生労働省から配布された集計・分析ソフトを用いて、調査結果および認定データを関連付けし、そのクロス集計等のデータによる分析を行う。

クロス集計は、認定データから得られる現在のサービスの利用状況、要介護度、認知症日常生活自立度等に本人や家族等介護者の生活状況を合わせた分析を行い、「要介護者の在宅生活の継続・介護者の就労継続」および「支援・サービスの提供体制の検討」に向けた視点からのクロスを加え、A票・B票の調査結果に加えた。

②用語の定義

【サービス利用の分析に用いた用語】

用語		定義
未利用		「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計
訪問系		(介護予防)訪問介護、(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計
通所系		(介護予防)通所介護、(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護を「通所系」として集計
短期系		(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護を「短期系」として集計
その他	小規模多機能	(介護予防)小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計
	看護多機能	看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計
	定期巡回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計

【サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語】

用語	定義
未利用	上表と同じ
訪問系	上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計
訪問系を含む組み合わせ	上表の「訪問系」+「通所系」、「訪問系」+「短期系」、「訪問系」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計
通所系・短期系のみ	上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計

## ③ 要介護認定データおよび掲載している分析項目

## 【介護保険認定データ】

- ①年齢
- ②性別
- ③要介護度（二次判定結果）
- ④障害高齢者の日常生活自立度
- ⑤認知症高齢者の日常生活自立度
- ⑥サービス利用の組み合わせ
- ⑦訪問系サービスの合計利用回数
- ⑧通所系サービスの合計利用回数
- ⑨短期系サービスの合計利用回数

## 【在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制に関する分析】

- ①要介護度別・認知症自立度別の介護者が不安に感じる介護
- ②要介護度別・認知症自立度別のサービス利用の組み合わせ
- ③要介護度別・認知症自立度別のサービス利用の組み合わせの内訳

## 【仕事と介護の両立に向けた支援に関する分析】

- ①主な介護者の就労状況別・世帯類型
- ②主な介護者の就労状況別・本人との関係
- ③主な介護者の就労状況別・主な介護者の年齢
- ④要介護度別・認知症自立度別の就労継続見込み（フルタイム・パートタイム勤務）
- ⑤就労継続見込み別・主な介護者の働き方の調査（フルタイム・パートタイム勤務）

## ④その他

この調査におけるクロス集計表中の調査数は、配布された集計・分析ソフトに基づく集計結果をそのまま記載しており、ソフトの仕様上、同項目でも一致しない場合がある。

## (5) 居住形態

本調査と内閣府調査の結果の比較を行っている。（P16）

## 〈内閣府調査〉

調査名	令和6年度 高齢社会対策総合調査
調査の目的	高齢者の基本的な生活の状況、経済生活に関する状況を把握し、今後の高齢社会対策の施策の推進に資する基礎資料とするため
調査対象	全国の60歳以上（令和6年10月1日現在）の男女
有効回収数	2,188人（回収率 54.7%）

## 〔報告書の見方〕

### ・回収率(%)について

回収率(%)は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

### ・図表の記載にあたっての選択肢について

本報告書における図表の記載にあたっては、回答の選択肢の文言を一部簡略化している場合がある。

### ・複数回答について

複数回答を認める設問では、各選択肢の回答率は実際の回答者の実人数に対する各選択肢の回答者の実人数の割合であるため、回答率の合計が100%にならない場合がある。

### ・回答数が少ない場合について

回答者数(N)が小さい数字になる場合は、統計的誤差が生じる可能性があるため注意が必要であり、30未満は傾向を見るにとどめ、本文中では意図的に触れていない。(ただし、第7章・介護人材実態調査では10以下について、触れている場合がある。)

### ・「n」の表示について

図表内の「n」は回答者数を表している。

また、図表内の「-」は、その選択肢に回答者がいなかったことを表している。

### ・クロス集計結果の分析について

本調査では各質問について性別、年代別等によって分析する「クロス集計」を行い、特徴の見られるものについてはクロス集計表等を掲載し分析を記述しているが、回答者数の少ないもの、特に差が見られないものについては掲載していない。

また、設問によっては、その間に回答していない「無回答」を集計から除くため、単純集計の回答者数とクロス集計の回答者数の合計が一致しない場合がある。

### ・地域(日常生活圏域)による比較について

高齢者の身近な生活圏域で、高齢者の生活の継続性が確保されるサービス提供体制を整備するため、「日常生活圏域」を定めている。本区においては、区民が最も馴染んでいる生活圏域であるとの観点から、「京橋地域」、「日本橋地域」および「月島地域」の3地域を日常生活圏域として設定している。



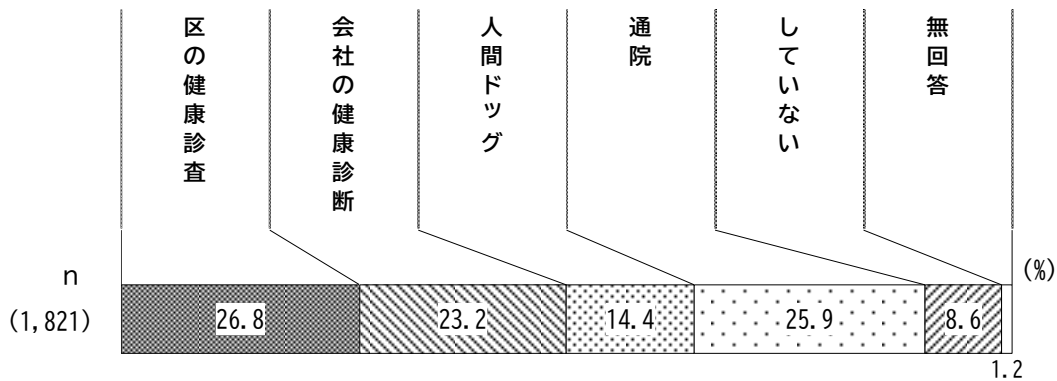
【ページの構成】

単純集計結果のうち、  
割合の高い項目を主に記載しています。

(1) 定期的な健康状態の把握

■ 「区健康診査」が26.8%、「通院」が25.9%、「会社の健康診断」が23.2%

問7-1 あなたは、健診等や通院により定期的に健康状態を把握していますか。(○は1つ)



〈年代別〉

年代別で見ると、年代が上がるにつれ「区健康診査」が高くなり、「85歳以上」では5割を超えている。また、「55～64歳」は「会社の健康診断」「人間ドック」が、「75～84歳」は「通院」が他の年代より高い。

下記のクロス集計結果(表)において、特に差異が生じている内容を説明しています。

		n	区健康診査	会社の健康診断	人間ドック	通院	していない	無回答
全体		1,821	26.8	23.2	14.4	25.9	8.6	1.2
年代	55～64歳	863	13.7	40.6	21.4	14.3	9.2	0.9
	65～74歳	453	36.2	13.0	12.4	28.7	9.1	0.7
	75～84歳	392	40.1	1.8	4.6	45.4	7.7	0.5
	85歳以上	84	51.2	-	2.4	40.5	3.6	2.4

クロス集計表は、横軸の属性による集計結果のうち、最も割合の高い項目を網掛けしています。



## 第2章 調査結果の詳細／ 高齢者福祉に関する生活実態調査（調査A）

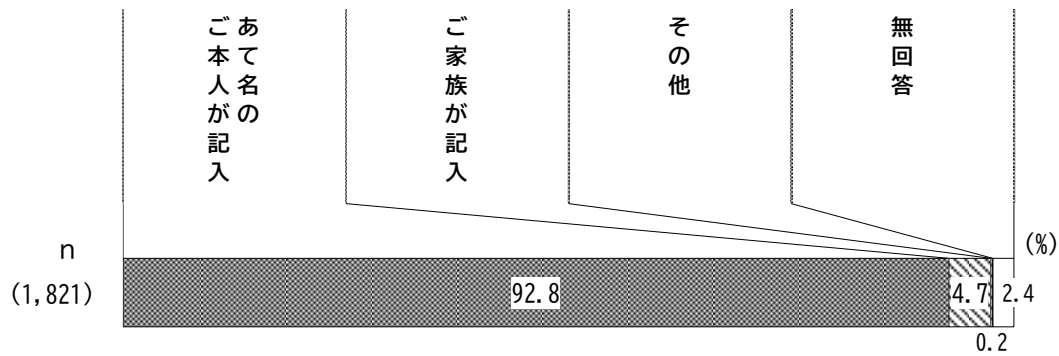


## 1. 回答者の属性

### （1）調査票の記入者

■「あて名のご本人が記入」が92.8%

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。（○は1つ）

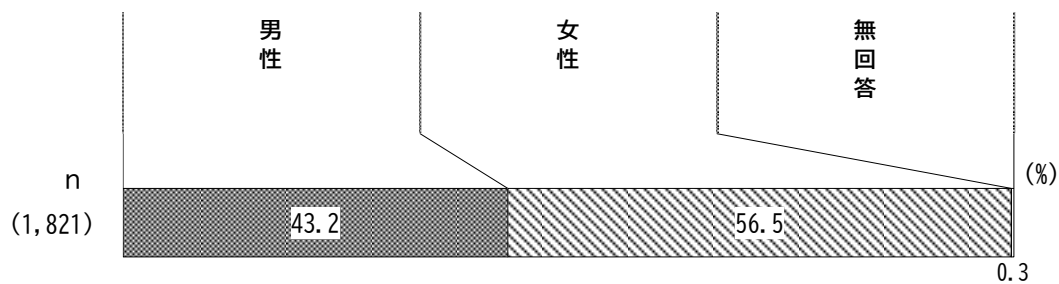


### （2）性別・年齢

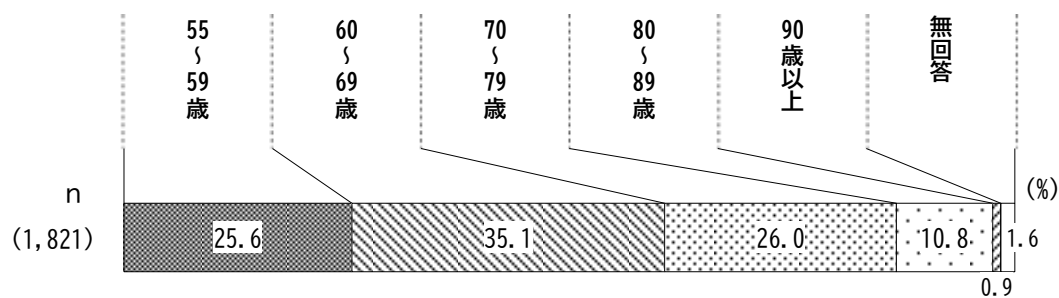
■性別は「女性」56.5%、満年齢は「60～69歳」35.1%

問2 あなた（あて名のご本人を指します。以下の各設問についても同じです。）の性別と令和7年10月1日現在の満年齢を記入してください。

#### ①性別



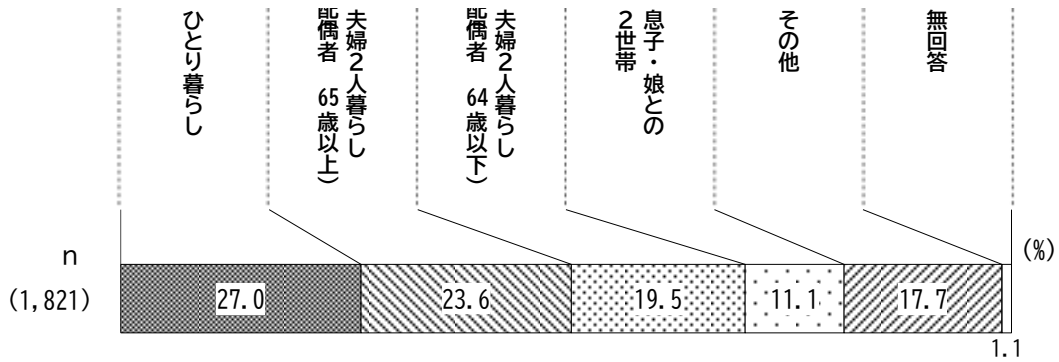
#### ②満年齢



### （3）家族構成

■「夫婦2人暮らし」（配偶者65歳以上+同64歳以下）が43.1%、「ひとり暮らし」が27.0%

問3 家族構成をお教えてください。（○は1つ）



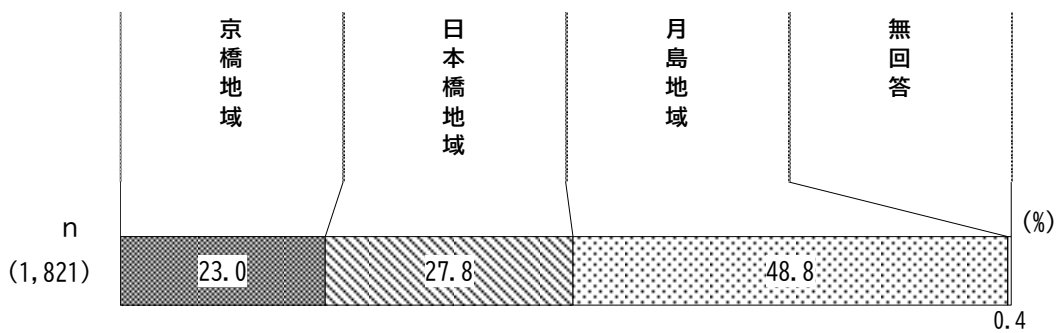
〈その他の回答〉

- 父・母、息子・娘との3世帯
- 息子・娘、孫との3世帯
- 父・母との2世帯
- 兄弟・姉妹

### （4）居住地域

■「月島地域」が48.8%

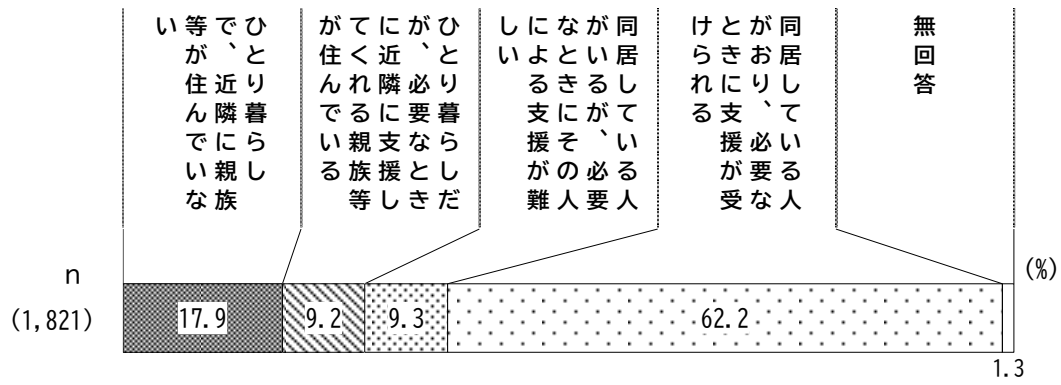
問4 現在あなたのお住まいになっている地域はどこですか。（○は1つ）



(5) 生活状況

■「同居している人がおり、必要なときに支援が受けられる」が62.2%

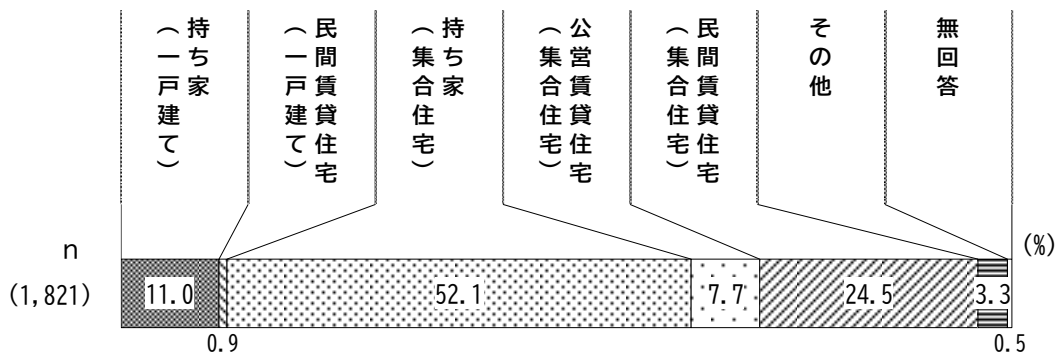
問5 現在のあなたの生活状況をお聞きします。(○は1つ)



（6）住宅の種類

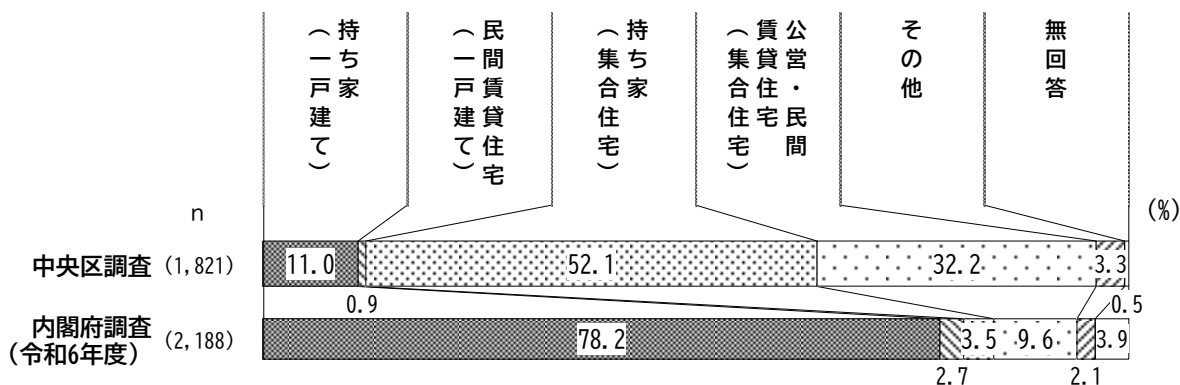
■「持ち家（集合住宅）」が52.1%

問6 あなたのお住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○は1つ）



〈内閣府調査結果との比較〉

内閣府の調査結果と比較すると、「持ち家（集合住宅）」が52.1%、「公営・民間賃貸住宅（集合住宅）」が32.2%と、全国と比べて高い。

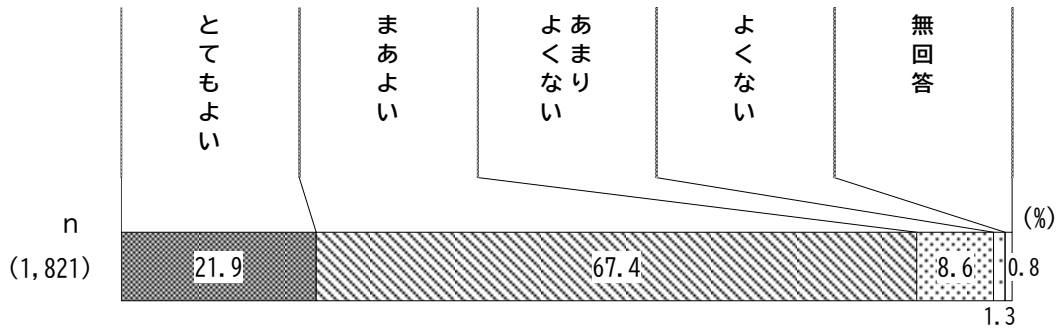


中央区調査項目	内閣府調査項目
持ち家（一戸建て）	持家（一戸建て）
民間賃貸住宅（一戸建て）	賃貸住宅（一戸建て）
持ち家（集合住宅）	持家（分譲マンション等の集合住宅）
公営賃貸住宅（集合住宅） 民間賃貸住宅（集合住宅）	賃貸住宅（民営のアパート・マンション、 公営・公社・UR等の集合住宅）
その他（社宅、自社ビルなど）	給与住宅（社宅・官公舎など） 高齢者向け住宅・施設 その他
無回答	不明・無回答

(7) 健康状態

■ 「まあよい」が67.4%

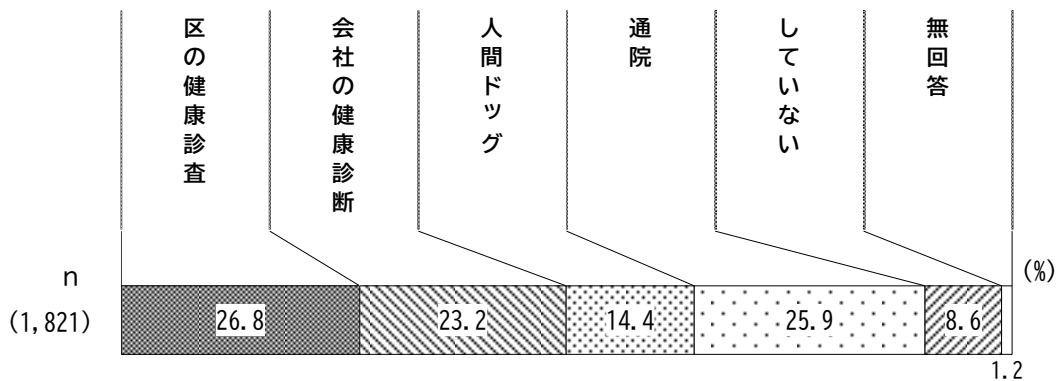
問7 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)



(8) 定期的な健康状態の把握

■ 「区健康診査」が26.8%、「通院」が25.9%、「会社の健康診断」が23.2%

問7-1 あなたは、健診等や通院により定期的に健康状態を把握していますか。(○は1つ)



〈年代別〉

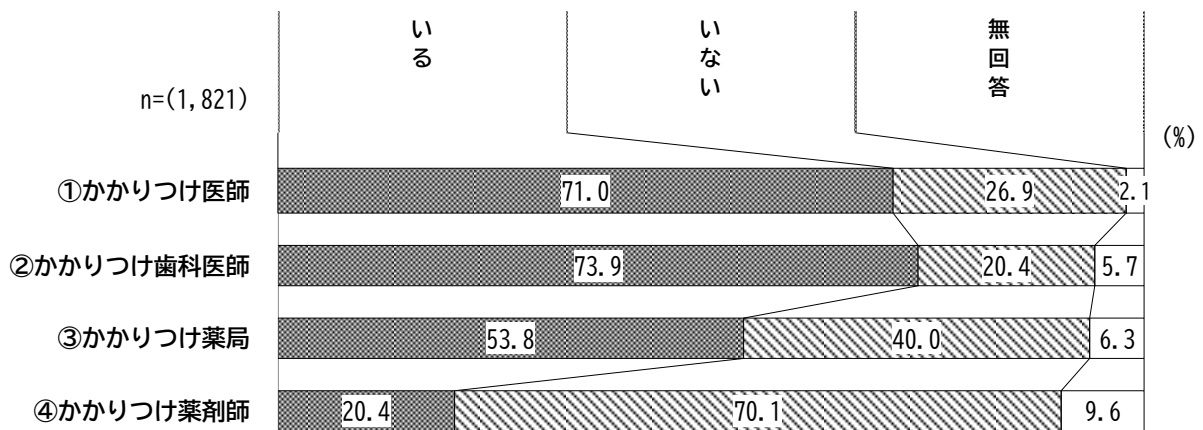
年代別で見ると、年代が上がるにつれ「区健康診査」が高くなり、“85歳以上”では5割を超えている。また、“55～64歳”は「会社の健康診断」「人間ドック」が、“75～84歳”は「通院」が他の年代より高い。

		n	区健康診査	会社の健康診断	人間ドック	通院	していない	無回答
全体		1,821	26.8	23.2	14.4	25.9	8.6	1.2
年代	55～64歳	863	13.7	40.6	21.4	14.3	9.2	0.9
	65～74歳	453	36.2	13.0	12.4	28.7	9.1	0.7
	75～84歳	392	40.1	1.8	4.6	45.4	7.7	0.5
	85歳以上	84	51.2	-	2.4	40.5	3.6	2.4

（9）かかりつけの有無

■ 「いる」は“かかりつけ医師”で71.0%、“かかりつけ歯科医師”で73.9%

問8 あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師がいますか。（①から④それぞれ〇は1つ）



〈①かかりつけ医師／年代別〉

年代別で見ると、年代が上がるにつれ「いる」が高くなり、“85歳以上”は9割を占めている。一方、“55～64歳”は「いない」が4割となっている。

		n	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
全体		1,821	71.0	26.9	2.1
年代	55～64歳	863	59.2	40.0	0.8
	65～74歳	453	75.5	22.3	2.2
	75～84歳	392	87.8	9.7	2.6
	85歳以上	84	90.5	3.6	6.0

〈②かかりつけ歯科医師／年代別〉

年代別で見ると、“55～64歳”で「いない」が他の年代より高い。

(%)

		n	いる	いない	無回答
全 体		1,821	73.9	20.4	5.7
年代	55～64歳	863	70.1	27.9	2.0
	65～74歳	453	79.9	14.8	5.3
	75～84歳	392	78.6	11.2	10.2
	85歳以上	84	67.9	16.7	15.5

〈③かかりつけ薬局／年代別〉

年代別で見ると、年代が上がるにつれ「いる」が高い。一方、“55～64歳”は「いない」が5割台と他の年代より高い。

(%)

		n	いる	いない	無回答
全 体		1,821	53.8	40.0	6.3
年代	55～64歳	863	44.3	53.5	2.2
	65～74歳	453	59.4	35.3	5.3
	75～84歳	392	65.1	23.5	11.5
	85歳以上	84	69.0	10.7	20.2

〈④かかりつけ薬剤師／年代別〉

年代別で見ると、全ての年代で「いない」が高く、“55～64歳”では8割台となっている。

(%)

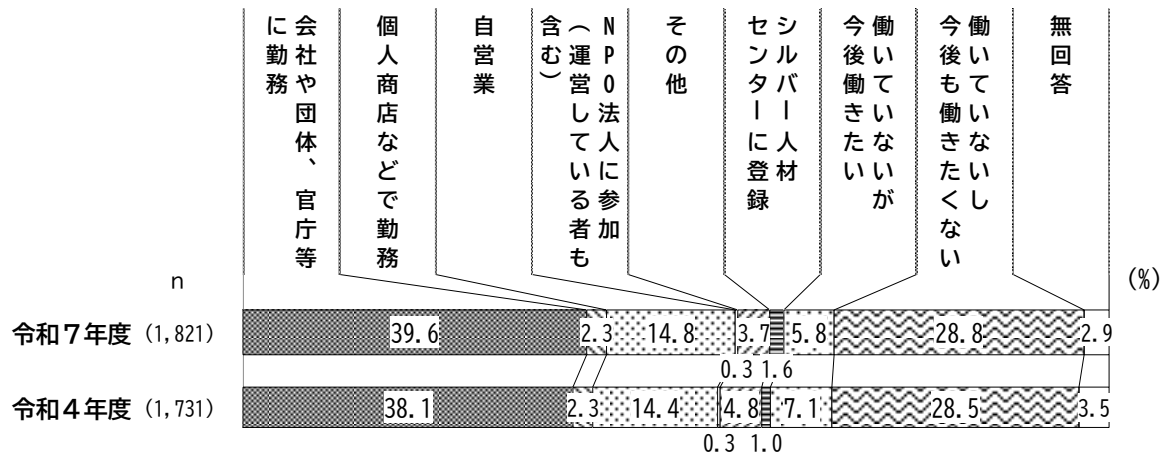
		n	いる	いない	無回答
全 体		1,821	20.4	70.1	9.6
年代	55～64歳	863	13.8	83.8	2.4
	65～74歳	453	23.8	67.5	8.6
	75～84歳	392	28.3	52.6	19.1
	85歳以上	84	32.1	33.3	34.5

## 2. 経済状況や就労状態

### （1）就労状況

■「会社や団体、官庁等に勤務」が39.6%、「働いていないし今後も働きたくない」が28.8%

問9 あなたは現在、働いていますか。複数の仕事をしている場合は収入の最も多いものをお答えください。（○は1つ）



令和4年度の調査結果と比較すると、大きな差異は見られない。

#### 〈性別、年代別〉

性別で見ると、“男性”は「会社や団体、官庁等に勤務」で女性より、“女性”は「働いていないし今後も働きたくない」で男性より高い。

年代別で見ると、“55～64歳”は「会社や団体、官庁等に勤務」が他の年代より高い。また、“75歳以上”は「働いていないし今後も働きたくない」が半数を超えている。

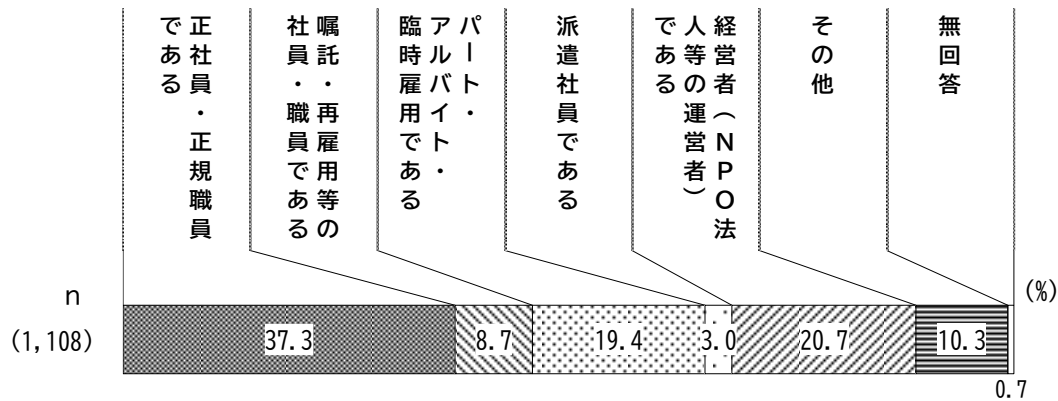
		n	会社や団体、官庁等に勤務	個人商店などで勤務	自営業	含む（NPO法人に参加している者も）	その他	センターに人材登録	働いていないが今後働きたい	働いていないし今後も働きたくない	無回答
全体		1,821	39.6	2.3	14.8	0.3	3.7	1.6	5.8	28.8	2.9
性別	男性	786	49.6	0.5	19.1	0.3	2.3	1.1	4.2	21.5	1.4
	女性	1,029	32.3	3.7	11.7	0.4	4.9	2.0	7.1	34.6	3.4
年代	55～64歳	863	62.5	2.4	14.8	0.3	3.1	0.1	6.0	10.0	0.7
	65～74歳	453	27.8	2.2	16.8	0.4	5.5	3.1	6.6	36.4	1.1
	75～84歳	392	11.5	2.0	13.5	0.3	4.1	3.3	5.4	54.8	5.1
	85歳以上	84	4.8	1.2	11.9	-	-	2.4	3.6	58.3	17.9

## （2）就労形態

■「正社員・正規職員である」が37.3%

【問9-1は、問9で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」「2. 個人商店などで勤務」「3. 自営業」「4. NPO法人に参加（運営している者も含む）」「5. その他」と答えた方におうかがいします】

問9-1 現在働いている方にうかがいます。現在の就労形態は何ですか。（○は1つ）



〈その他の回答〉

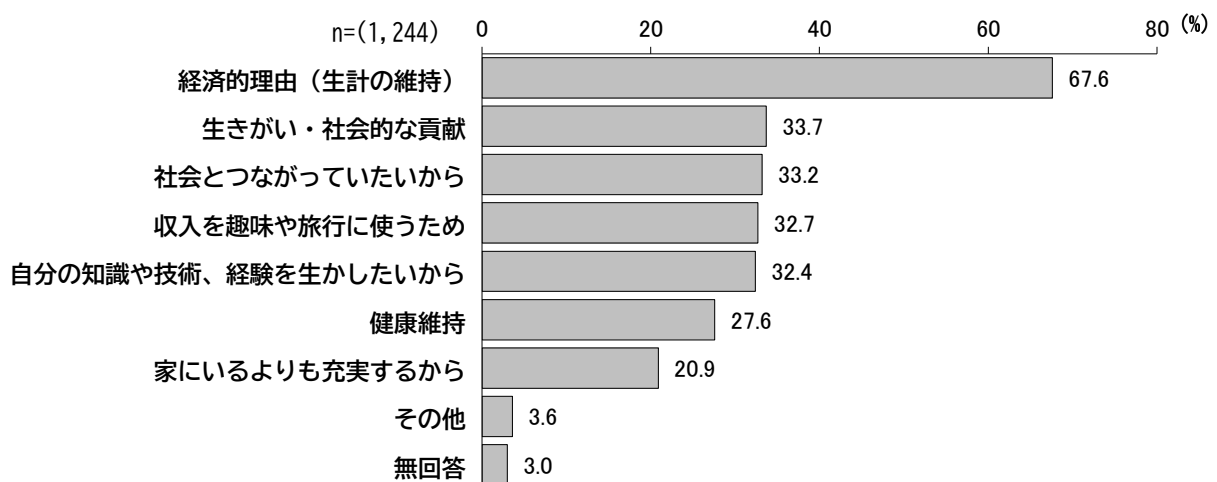
○自営業 ○個人事業主 ○会社役員

## （3）仕事の目的・理由

■「経済的理由（生計の維持）」が67.6%

【問9-2から9-6は、問9で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」「2. 個人商店などで勤務」「3. 自営業」「4. NPO法人に参加（運営している者も含む）」「5. その他」「6. シルバー人材センターに登録」「7. 働いていないが今後働きたい」と答えた方におうかがいします】

問9-2 仕事をしている（またはしたい）目的・理由は何ですか。（○はいくつでも）



第2章 調査結果の詳細／  
高齢者福祉に関する生活実態調査（調査A）

〈性別、年代別〉

性別で見ると、“男性”は特に「経済的理由（生計の維持）」「自分の知識や技術、経験を生かしたから」が女性より、“女性”は特に「社会とつながりたいから」「収入を趣味や旅行に使うため」「家にいるよりも充実するから」が男性より高い。

年代別で見ると、“55～64歳”は「経済的理由（生計の維持）」「収入を趣味や旅行に使うため」が他の年代より高い。

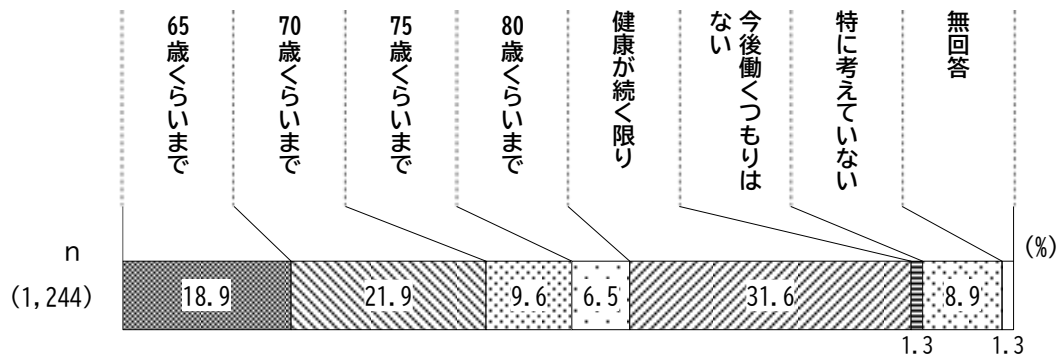
(%)

		n	（経済的 理由 維持）	生 き が い ・ 社 会 的 な 貢 献	社 会 と つ な が っ て い た か ら	収 入 を 趣 味 や 旅 行 に 使 う た め	自 分 の 知 識 や 技 術 か ら 生 か し た か ら	健 康 維 持	家 に い る よ り も 充 実 す る か ら	そ の 他	無 回 答
全 体		1,244	67.6	33.7	33.2	32.7	32.4	27.6	20.9	3.6	3.0
性別	男性	606	71.5	35.5	29.7	29.2	38.1	25.4	16.3	3.0	2.6
	女性	638	63.9	32.0	36.5	36.1	27.0	29.6	25.2	4.2	3.3
年代	55～64歳	771	76.5	36.3	33.9	39.3	34.9	25.4	21.0	2.5	1.6
	65～74歳	283	55.8	32.9	34.6	26.5	30.4	31.4	21.2	3.9	4.9
	75～84歳	157	45.9	26.1	29.3	16.6	26.8	32.5	22.3	8.9	6.4
	85歳以上	20	55.0	15.0	35.0	-	15.0	30.0	10.0	-	5.0

（4）仕事を続けたい年齢

■「健康が続く限り」が31.6%

【問9-2から9-6は、問9で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」「2. 個人商店などで勤務」「3. 自営業」「4. NPO法人に参加（運営している者も含む）」「5. その他」「6. シルバー人材センターに登録」「7. 働いていないが今後働きたい」と答えた方におうかがいします】  
問9-3 何歳くらいまで仕事をしたいですか。（○は1つ）



〈年代別〉

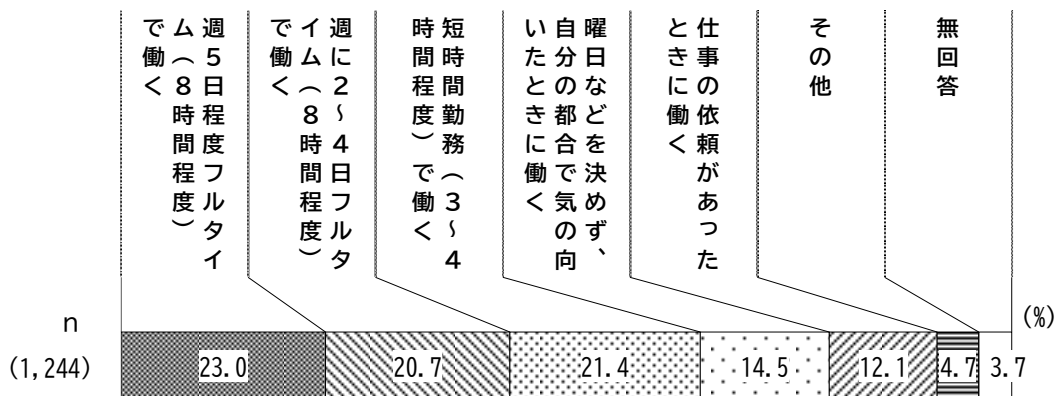
年代別で見ると、“55～64歳”は「健康が続く限り」が他の年代より低い。

		n	65歳くらいまで	70歳くらいまで	75歳くらいまで	80歳くらいまで	健康が続く限り	今後働くつもりはない	特に考えていない	無回答
全体		1,244	18.9	21.9	9.6	6.5	31.6	1.3	8.9	1.3
年代	55～64歳	771	30.4	27.2	6.5	1.3	23.3	1.0	9.7	0.5
	65～74歳	283	0.4	20.5	23.0	11.0	36.7	0.7	6.7	1.1
	75～84歳	157	-	-	1.3	24.2	59.2	3.2	7.0	5.1
	85歳以上	20	-	-	-	5.0	60.0	5.0	25.0	5.0

（5）希望する今後の働き方

■「週5日程度フルタイム（8時間程度）で働く」が23.0%、「短時間勤務（3～4時間程度）で働く」が21.4%、「週に2～4日フルタイム（8時間程度）で働く」が20.7%

【問9-2から9-6は、問9で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」「2. 個人商店などで勤務」「3. 自営業」「4. NPO法人に参加（運営している者も含む）」「5. その他」「6. シルバー人材センターに登録」「7. 働いていないが今後働きたい」と答えた方におうかがいします】  
問9-4 今後（定年前の方は定年退職後）どのような働き方を望みますか。（○は1つ）



〈性別、年代別〉

性別で見ると、“男性”は「週5日程度フルタイム（8時間程度）で働く」が女性より、“女性”は「短時間勤務（3～4時間程度）で働く」が男性より高い。

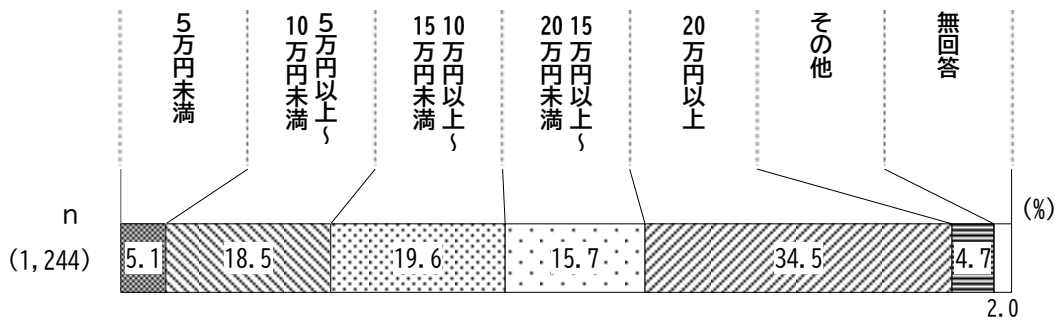
年代別で見ると、“55～64歳”は「週5日程度フルタイム（8時間程度）で働く」が、“65～74歳”“75～84歳”は「短時間勤務（3～4時間程度）で働く」が、“85歳以上”は「仕事の依頼があったときに働く」が他の年代より高い。

		n	週5日程度フルタイム（8時間程度）で働く (%)	週に2～4日フルタイム（8時間程度）で働く (%)	短時間勤務（3～4時間程度）で働く (%)	働いていないが今後働きたい (%)	仕事に依頼があったときに働く (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		1,244	23.0	20.7	21.4	14.5	12.1	4.7	3.7
性別	男性	606	29.5	21.9	13.0	15.3	12.7	4.5	3.0
	女性	638	16.8	19.4	29.3	13.6	11.4	5.0	4.4
年代	55～64歳	771	28.3	24.5	18.2	15.3	9.1	4.0	0.6
	65～74歳	283	18.7	16.6	28.3	13.8	14.1	4.9	3.5
	75～84歳	157	7.0	12.7	26.1	9.6	19.1	8.3	17.2
	85歳以上	20	5.0	-	10.0	20.0	40.0	5.0	20.0

(6) 希望する就労による収入

■ 「20万円以上」が34.5%

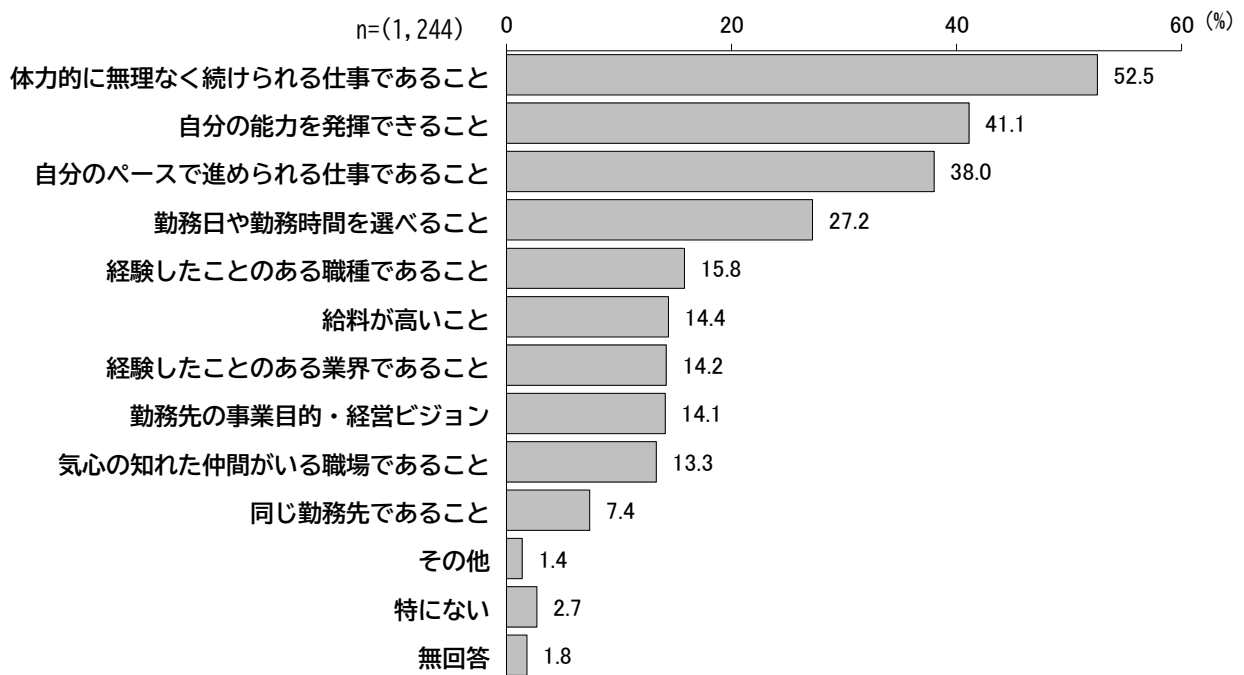
【問9-2から9-6は、問9で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」「2. 個人商店などで勤務」「3. 自営業」「4. NPO法人に参加（運営している者も含む）」「5. その他」「6. シルバー人材センターに登録」「7. 働いていないが今後働きたい」と答えた方におうかがいします】  
問9-5 年金受給額とは別に、就労によって月にどのくらいの収入を得たいと思いますか。  
(○は1つ)



(7) 働くうえで重視していること

■ 「体力的に無理なく続けられる仕事であること」が52.5%

【問9-2から9-6は、問9で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」「2. 個人商店などで勤務」「3. 自営業」「4. NPO法人に参加（運営している者も含む）」「5. その他」「6. シルバー人材センターに登録」「7. 働いていないが今後働きたい」と答えた方におうかがいします】  
問9-6 働く上で、重視していることは何ですか。(○は3つまで)

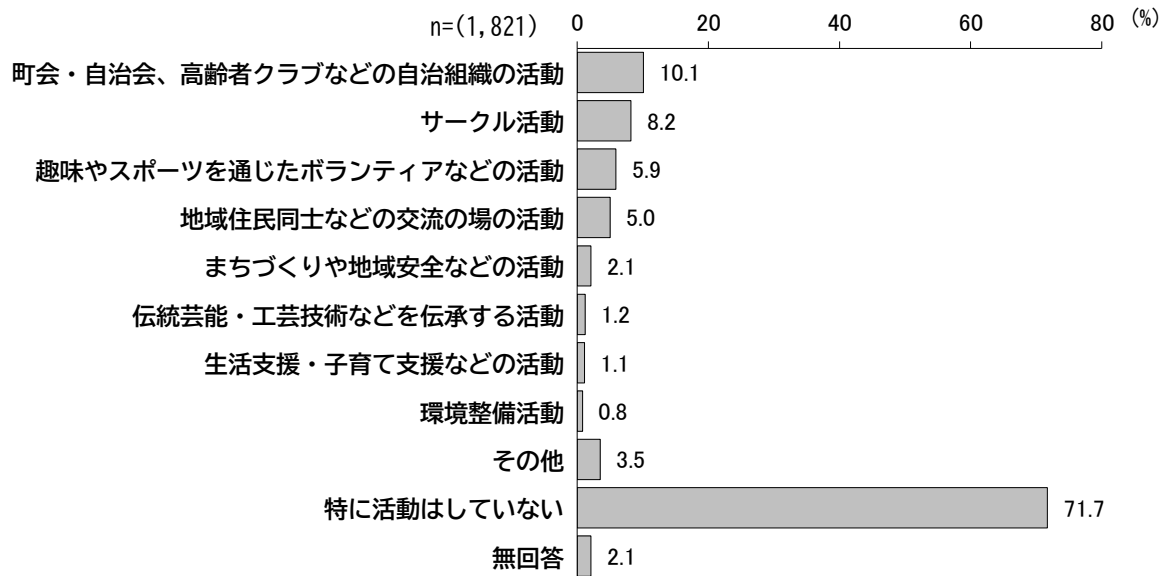


### 3. 社会的な活動や地域活動への参加状況

#### （1）社会的な活動や地域活動への参加状況

■ 「特に活動はしていない」が71.7%、「町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」が10.1%、「サークル活動」が8.2%

問10 あなたは現在、何らかの社会的活動や地域活動を行っていますか。（○はいくつでも）



〈性別、年代別、居住地域別、居住形態別〉

性別では、大きな差異は見られない。

年代別で見ると、“55～64歳”は「町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」が他の年代より低い。

居住地域別では、大きな差異は見られない。

居住形態別で見ると、“持ち家（一戸建て）”は「町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」が高く、「地域住民同士などの交流の場の活動」も他層より高い。

(%)

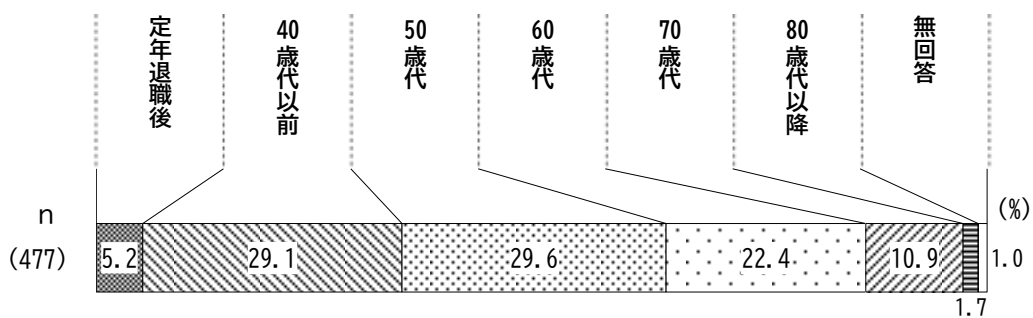
		n	町会・自治会、 高齢者 クラブなどの 自治組織の 活動	サー クル活 動	趣味やス ポーツを 楽しむ活 動	地域住民同 士の活 動	まちづくり や地域安 全などの 活動	伝統芸能・ 工芸技術 などを伝承 する活 動	生活支援・ 子育て支 援などの 活動	環 境整 備活 動	そ の 他	特 に 活 動 は し て い な い	無 回 答
全 体		1,821	10.1	8.2	5.9	5.0	2.1	1.2	1.1	0.8	3.5	71.7	2.1
性別	男性	786	9.9	6.7	7.1	4.8	2.7	0.5	0.8	1.4	3.2	72.4	1.3
	女性	1,029	10.3	9.2	5.1	5.2	1.7	1.7	1.4	0.4	3.7	71.5	2.3
年代	55～64歳	863	6.8	7.1	6.7	3.8	2.0	0.9	1.0	0.9	2.9	77.9	0.8
	65～74歳	453	11.0	8.6	5.3	5.7	2.4	0.9	1.5	0.9	4.2	70.2	1.1
	75～84歳	392	15.6	10.7	5.6	6.6	2.3	2.0	0.8	0.5	4.1	62.2	3.6
	85歳以上	84	15.5	6.0	3.6	7.1	-	2.4	1.2	-	3.6	61.9	8.3
居住 地域	京橋地域	418	12.0	9.3	6.9	6.0	2.9	2.6	1.0	1.0	4.1	67.9	1.2
	日本橋地域	507	14.4	7.3	4.9	5.9	3.0	1.4	1.6	1.0	3.0	70.0	1.6
	月島地域	888	6.9	8.1	6.1	4.1	1.2	0.5	0.9	0.7	3.5	75.0	2.1
居住 形態	持ち家(一戸建て)	200	24.0	8.0	4.0	10.5	5.0	3.0	3.0	2.0	3.0	57.5	3.0
	持ち家(集合住宅)	948	9.0	8.6	7.2	4.3	1.9	1.4	1.1	0.7	3.5	72.7	1.1
	公営賃貸住宅(集合住宅)	140	12.9	7.9	3.6	7.1	2.1	0.7	-	0.7	2.1	69.3	5.7
	民間賃貸住宅(集合住宅)	446	5.6	7.4	5.6	2.9	0.9	0.2	0.7	0.2	3.6	77.6	1.6
	その他	61	9.8	4.9	-	6.6	3.3	1.6	1.6	3.3	3.3	78.7	1.6

（2）活動を始めた時期

■ 「50歳代」が29.6%、「40歳代以前」が29.1%

【問10-1 から10-4 は、問10で「1. 町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」「2. 地域住民同士などの交流の場の活動」「3. まちづくりや地域安全などの活動」「4. サークル活動」「5. 環境整備活動」「6. 趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動」「7. 伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動」「8. 生活支援・子育て支援などの活動」「9. その他」と答えた方におうかがいします】

問10-1 現在行っている社会的活動や地域活動を始めた時期はいつ頃ですか。複数の活動をしている場合は、最も古いものについてお答えください。（○は1つ）



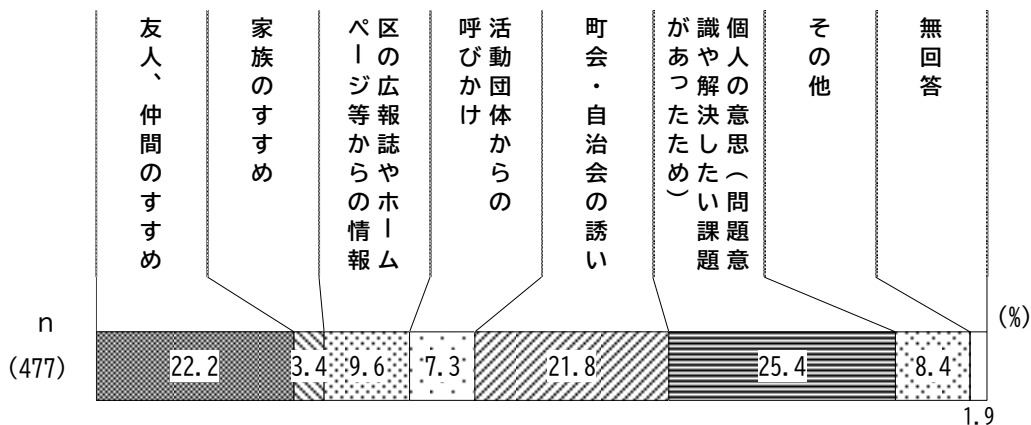
「定年退職後」と回答した方の平均は64.4歳となっている。

### （3）活動を始めたきっかけ

■「個人の意味（問題意識や解決したい課題があったため）」が25.4%、「友人、仲間のすすめ」が22.2%、「町会・自治会の誘い」が21.8%

【問10-1 から10-4 は、問10で「1. 町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」「2. 地域住民同士などの交流の場の活動」「3. まちづくりや地域安全などの活動」「4. サークル活動」「5. 環境整備活動」「6. 趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動」「7. 伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動」「8. 生活支援・子育て支援などの活動」「9. その他」と答えた方におうかがいします】

問10-2 現在行っている社会的な活動や地域活動を始めたきっかけは何ですか。複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えください。（○は1つ）



#### 〈性別、年代別〉

性別で見ると、男女差が目立つ項目が多く、「個人の意味（問題意識や解決したい課題があったため）」「活動団体からの呼びかけ」は“男性”の方が、「友人、仲間のすすめ」「区の広報誌やホームページ等からの情報」は“女性”の方が高い。

年代別で見ると、“85歳以上”は「友人、仲間のすすめ」が、また、“75歳以上”は「町会・自治会の誘い」が、“65～74歳”は「区の広報誌やホームページ等からの情報」が他の年代より高い。

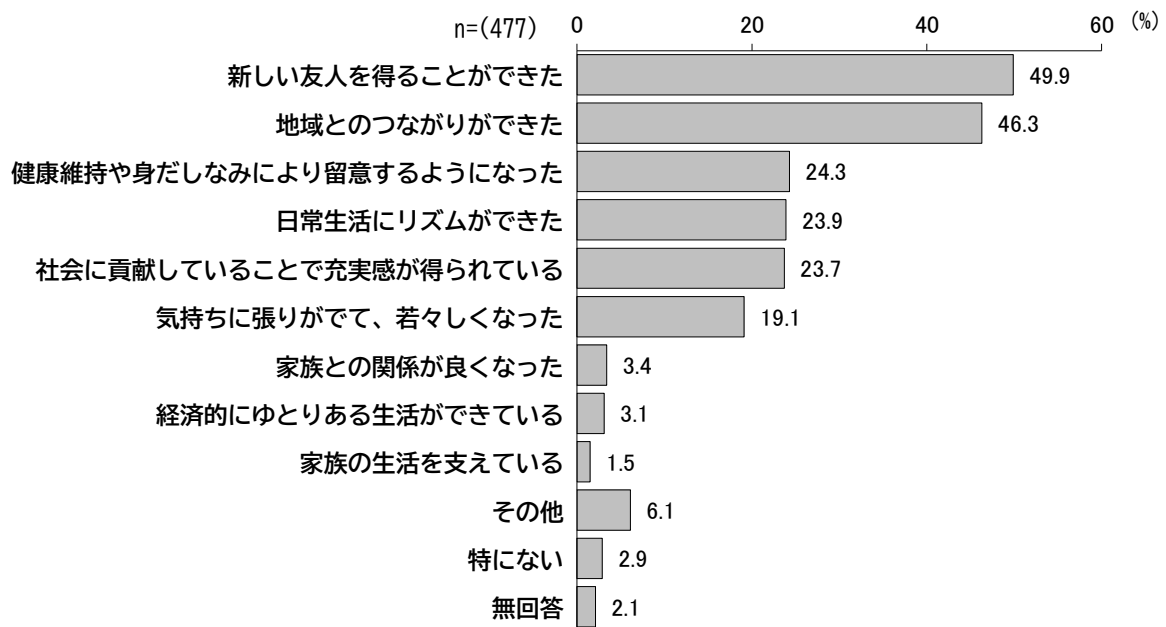
		n	個人の意味 （問題意識 や解決した い課題意 識があった ため）	友人、 仲間の すすめ	町会・ 自治会 の誘い	区の 広報誌 や ホーム ページ 等 からの 情報	活 動 団 体 か ら の 呼 び か け	家 族 の す す め	そ の 他	無 回 答
全 体		477	25.4	22.2	21.8	9.6	7.3	3.4	8.4	1.9
性別	男性	207	28.5	19.3	20.8	6.3	12.1	2.4	8.7	1.9
	女性	269	23.0	24.2	22.7	12.3	3.7	4.1	8.2	1.9
年代	55～64歳	184	29.3	23.4	16.3	6.5	8.7	4.9	10.9	-
	65～74歳	130	25.4	20.8	20.8	16.2	6.9	3.8	5.4	0.8
	75～84歳	134	20.9	20.1	29.1	7.5	6.7	1.5	9.0	5.2
	85歳以上	25	20.0	32.0	28.0	8.0	4.0	-	4.0	4.0

#### （4）活動をしてよかったと思うこと

■「新しい友人を得ることができた」が49.9%、「地域とのつながりができた」が46.3%

【問10-1 から10-4 は、問10で「1. 町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」「2. 地域住民同士などの交流の場の活動」「3. まちづくりや地域安全などの活動」「4. サークル活動」「5. 環境整備活動」「6. 趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動」「7. 伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動」「8. 生活支援・子育て支援などの活動」「9. その他」と答えた方におうかがいします】

問10-3 現在、社会的な活動や地域活動をしていてよかったと思うことは何ですか。複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えください。（○はいくつでも）

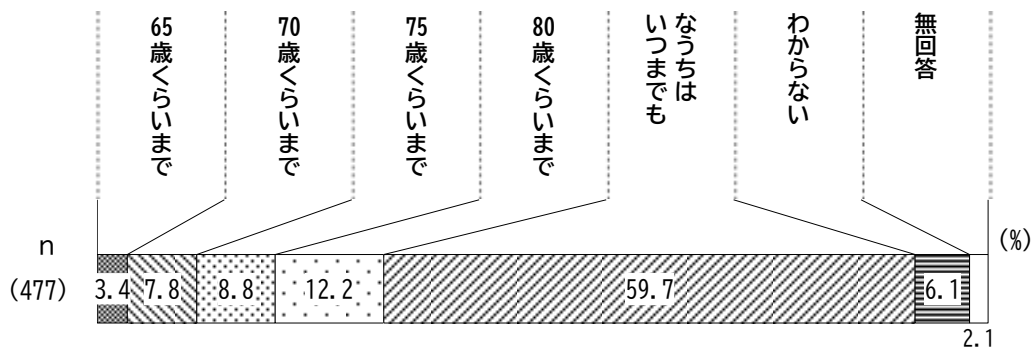


（5）活動を続けたい年齢

■「元気なうちはいつまでも」が59.7%

【問10-1 から10-4は、問10で「1. 町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」「2. 地域住民同士などの交流の場の活動」「3. まちづくりや地域安全などの活動」「4. サークル活動」「5. 環境整備活動」「6. 趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動」「7. 伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動」「8. 生活支援・子育て支援などの活動」「9. その他」と答えた方におうかがいします】

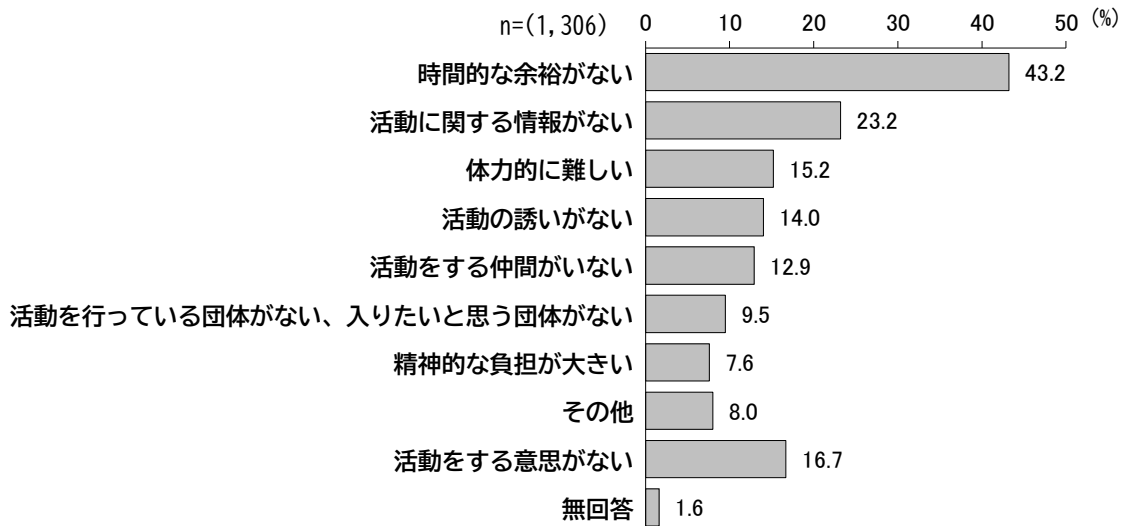
問10-4 何歳まで社会的な活動や地域活動を続けたいですか。（○は1つ）



（6）社会的な活動や地域活動をしていない理由

■ 「時間的な余裕がない」が43.2%、「活動に関する情報がない」が23.2%

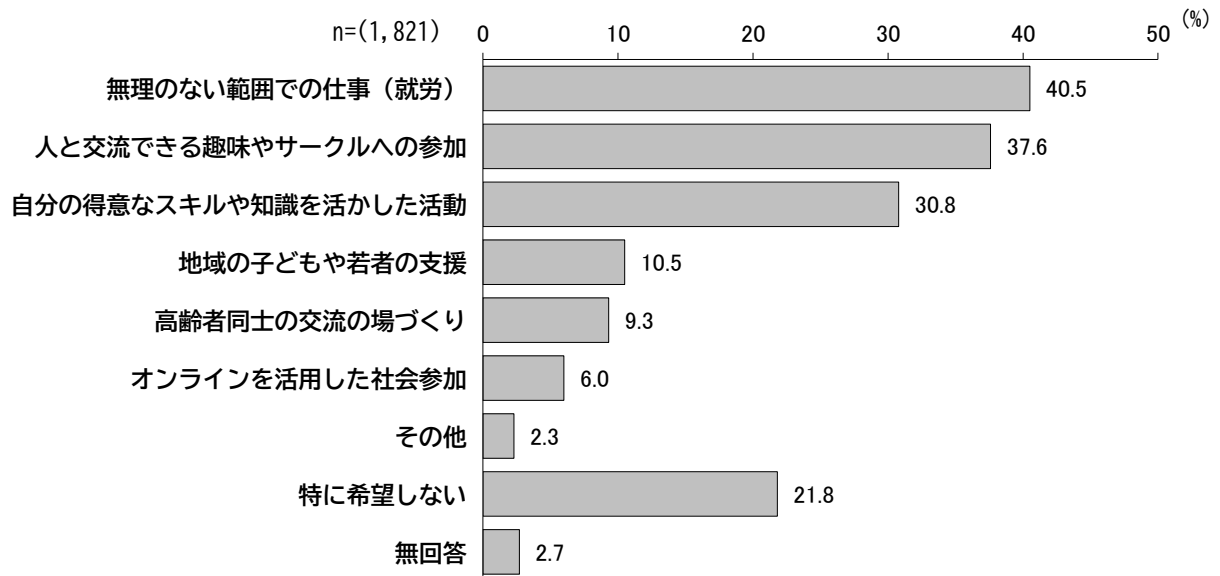
【問10-5は、問10で「10. 特に活動はしていない」と答えた方におうかがいします】  
問10-5 現在、社会的な活動や地域活動をしていない理由は何ですか。（○はいくつでも）



（7）今後の社会との関わり方

■「無理のない範囲での仕事（就労）」が40.5%、「人と交流できる趣味やサークルへの参加」が37.6%、「自分の得意なスキルや知識を活かした活動」が30.8%

問11 今後、どのような形で社会と関わっていきたいと思いますか（〇はいくつでも）



〈年代別〉

年代別で見ると、「55～64歳」は「無理のない範囲での仕事（就労）」が高い。また、「85歳以上」は全体的に低く、結果「特に希望しない」が高くなっている。

(%)

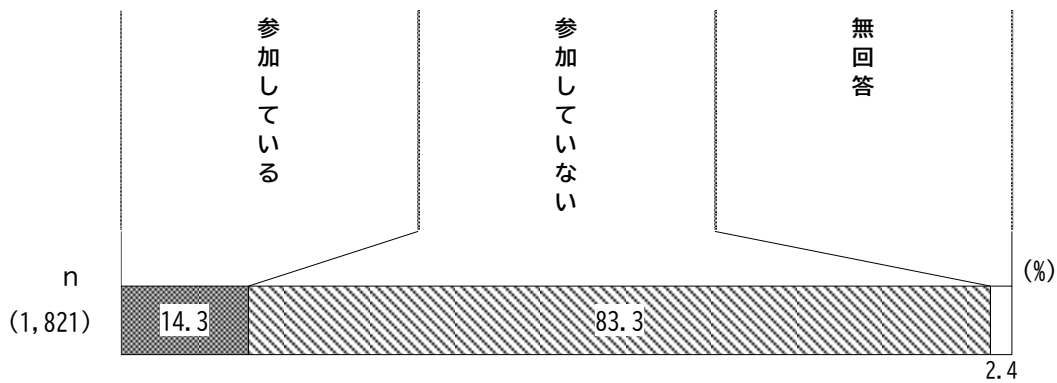
		n	無理のない範囲での仕事（就労）	人と交流できる趣味やサークルへの参加	自分の得意なスキルや知識を活かした活動	地域の子どもや若者の支援	高齢者同士の交流の場づくり	オンラインを活用した社会参加	その他	特に希望しない	無回答
全体		1,821	40.5	37.6	30.8	10.5	9.3	6.0	2.3	21.8	2.7
年代	55～64歳	863	56.2	40.7	37.9	14.8	7.0	8.6	1.5	14.1	1.5
	65～74歳	453	36.9	38.6	30.5	8.6	8.8	5.5	2.2	23.2	1.3
	75～84歳	392	18.1	33.2	21.9	5.6	15.3	2.6	4.3	30.6	4.3
	85歳以上	84	8.3	23.8	9.5	-	10.7	-	1.2	47.6	9.5

#### 4. 交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加

##### （1）交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加の有無

■「参加していない」が83.3%

問12 あなたは、友達づくりや生きがいのために地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加していますか。（○は1つ）



##### 〈性別、年代別〉

性別で見ると、“女性”は「参加している」が男性より高い。

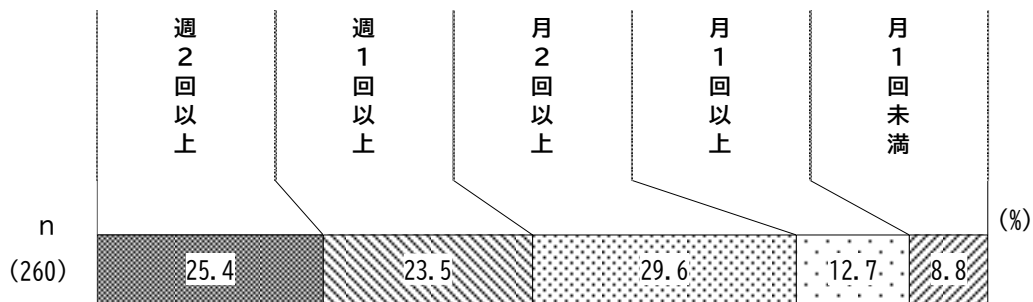
年代別で見ると、年代が上がるにつれ、「参加している」が高くなり、“75歳以上”は2割台となっている。

		n	参加している	参加していない	無回答
全体		1,821	14.3	83.3	2.4
性別	男性	786	8.5	89.7	1.8
	女性	1,029	18.7	78.8	2.5
年代	55～64歳	863	8.9	89.8	1.3
	65～74歳	453	13.2	85.7	1.1
	75～84歳	392	25.5	70.9	3.6
	85歳以上	84	23.8	66.7	9.5

## （2）参加頻度

■ 「月2回以上」が29.6%、「週2回以上」が25.4%、「週1回以上」が23.5%

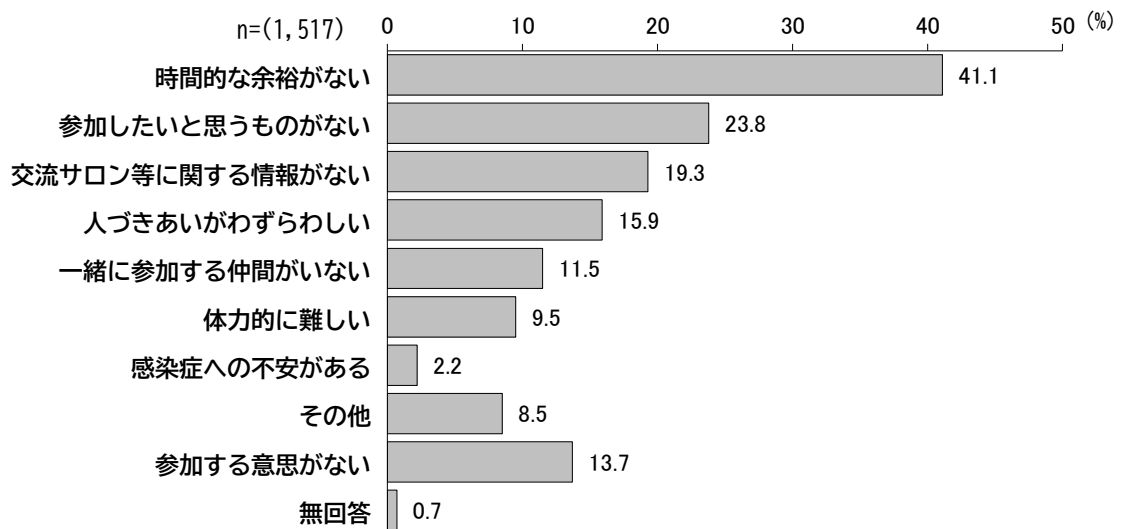
【問12-1は、問12で「1. 参加している」と答えた方におうかがいします】  
問12-1 現在の参加頻度は、どの程度ですか。（○は1つ）



## （3）参加していない理由

■ 「時間的な余裕がない」が41.1%

【問12-2は、問12で「2. 参加していない」と答えた方におうかがいします】  
問12-2 地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加していない理由は何ですか。（○はいくつでも）



第2章 調査結果の詳細／  
高齢者福祉に関する生活実態調査（調査A）

〈性別、年代別、居住地域別〉

性別で見ると、“男性”は「参加する意思がない」が女性より高い。

年代別で見ると、“55～64歳”は「時間的な余裕がない」が、“85歳以上”は「体力的に難しい」が高い。

居住地域別では、大きな差異は見られない。

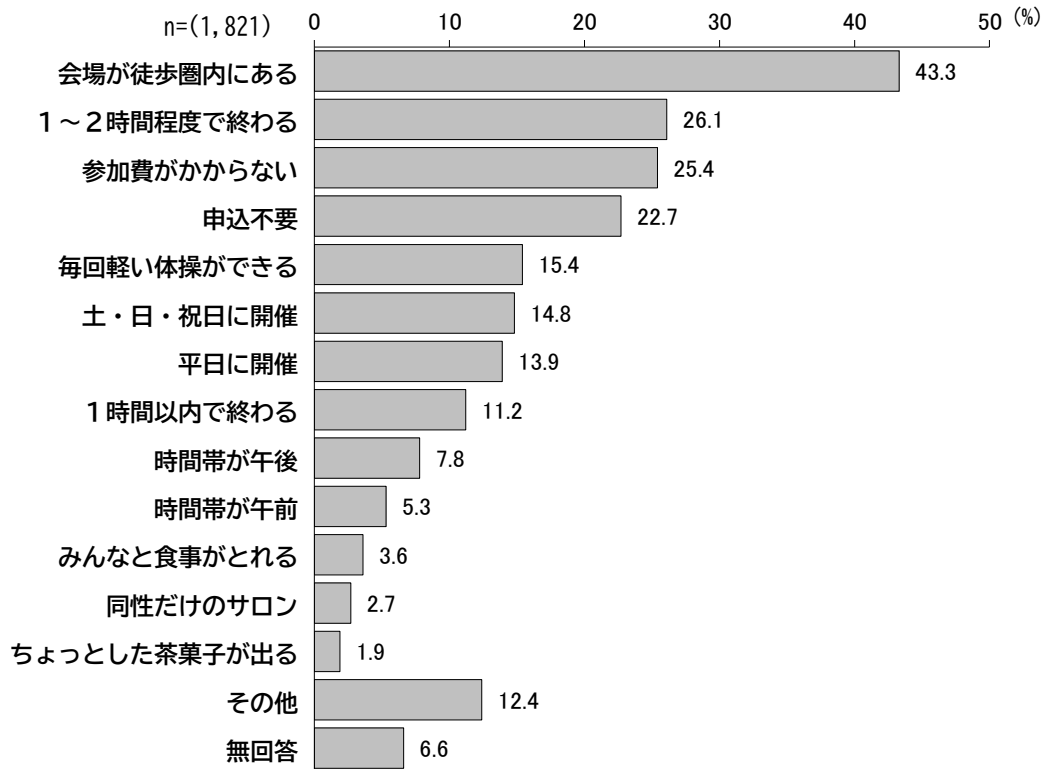
(%)

		n	時間的な余裕がない	参加したくない	交流情報がない 等に関する	人づきあいが	仲間に参加する	体力的に難しい	感染症への不安がある	その他	参加する意思がない	無回答
全 体		1,517	41.1	23.8	19.3	15.9	11.5	9.5	2.2	8.5	13.7	0.7
性別	男性	705	39.7	25.7	18.0	14.9	12.3	8.4	1.8	5.5	18.2	0.7
	女性	811	42.4	22.2	20.5	16.8	10.9	10.5	2.5	11.1	9.7	0.6
年代	55～64歳	775	52.1	20.9	24.1	15.9	11.1	5.5	1.5	6.7	13.8	0.5
	65～74歳	388	33.2	29.6	18.0	17.0	11.1	6.2	2.8	11.1	13.4	0.5
	75～84歳	278	26.6	25.9	11.5	15.8	14.7	19.4	2.5	10.4	12.6	0.7
	85歳以上	56	12.5	16.1	5.4	7.1	7.1	35.7	5.4	5.4	17.9	3.6
居住地域	京橋地域	348	40.5	19.3	19.8	18.4	12.4	10.1	2.9	10.1	16.4	0.6
	日本橋地域	425	44.7	24.7	21.4	15.5	14.1	8.7	1.6	7.8	12.0	0.5
	月島地域	743	39.4	25.4	17.9	14.9	9.7	9.7	2.2	8.2	13.3	0.8

（4）参加しようと思う条件

■「会場が徒歩圏内にある」が43.3%

問13 地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加しようと思う条件は何ですか。（○はいくつでも）



〈その他の回答〉

○自分に役立つ・興味があるもの    ○参加しやすさ・気軽さ    ○気の合う仲間がいること

第2章 調査結果の詳細／  
高齢者福祉に関する生活実態調査（調査A）

〈性別、年代別、居住地域別〉

性別で見ると、“女性”は「会場が徒歩圏内にある」が男性より高い。

年代別で見ると、“55～64歳”は「土・日・祝日に開催」が、“65～74歳”は「1～2時間程度で終わる」が他の年代より高い。

居住地域別では、大きな差異は見られない。

(%)

		n	会場が徒歩圏内に	1～2時間程度で終わる	参加費がかからない	申込不要	毎回軽い体操ができる	土・日・祝日に開催	平日に開催	1時間以内で終わる
全体		1,821	43.3	26.1	25.4	22.7	15.4	14.8	13.9	11.2
性別	男性	786	37.7	23.4	24.4	21.8	10.6	17.3	10.3	10.3
	女性	1,029	47.8	28.3	26.2	23.5	19.1	13.0	16.7	12.0
年代	55～64歳	863	43.3	23.8	26.4	20.6	13.3	21.7	10.4	12.9
	65～74歳	453	45.7	31.6	28.3	23.8	14.6	9.9	16.1	8.2
	75～84歳	392	43.4	27.3	22.2	26.0	20.9	8.9	19.1	11.0
	85歳以上	84	36.9	15.5	21.4	22.6	16.7	2.4	14.3	11.9
居住地域	京橋地域	418	47.4	24.9	24.6	20.8	16.3	15.6	13.2	12.0
	日本橋地域	507	43.4	27.2	24.9	23.5	14.4	15.8	11.4	9.7
	月島地域	888	41.7	26.2	26.2	23.3	15.7	14.1	15.8	11.8

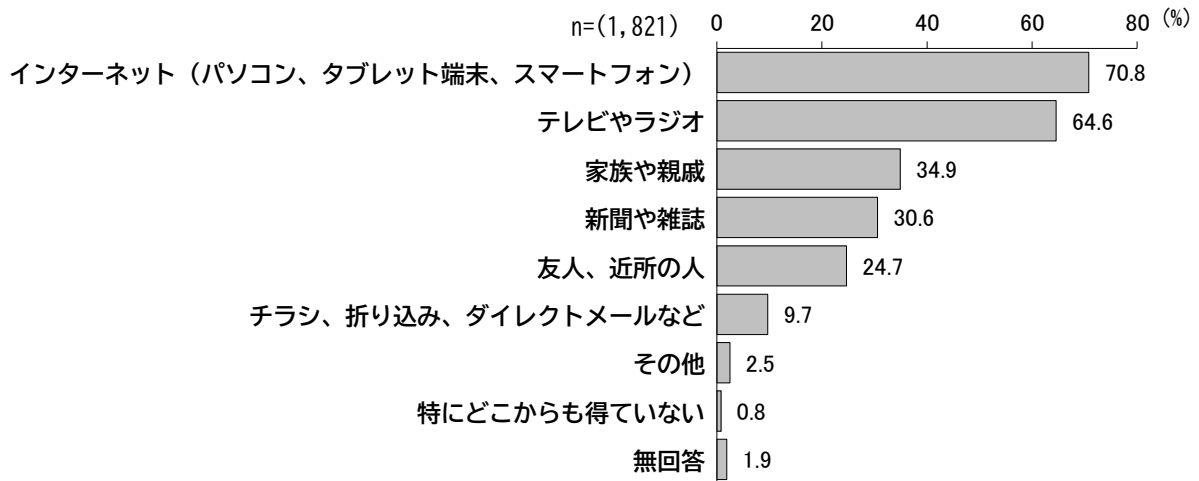
		n	時間帯が午後	時間帯が午前	食みんがとれる	サ同性的だけの	茶ちよつと出た菓子が出る	その他	無回答
全体		1,821	7.8	5.3	3.6	2.7	1.9	12.4	6.6
性別	男性	786	5.6	3.9	4.2	0.4	1.1	13.9	6.0
	女性	1,029	9.5	6.3	3.1	4.5	2.4	11.4	6.7
年代	55～64歳	863	5.2	4.2	3.2	3.1	2.3	12.4	3.4
	65～74歳	453	8.4	5.3	2.9	2.0	0.7	13.7	5.1
	75～84歳	392	13.0	7.9	5.1	3.1	2.3	11.5	10.2
	85歳以上	84	9.5	4.8	4.8	1.2	2.4	9.5	23.8
居住地域	京橋地域	418	8.6	4.3	4.5	2.6	2.9	13.2	7.9
	日本橋地域	507	7.3	5.1	4.3	2.2	1.2	12.4	5.5
	月島地域	888	7.8	5.9	2.7	3.0	1.8	12.2	6.0

## 5. 日常生活に関する情報

### （1）日常生活に関する情報の入手先

■「インターネット（パソコン、タブレット端末、スマートフォン）」が70.8%、「テレビやラジオ」が64.6%

問14 あなたは、日常生活に関する情報をどこから得ていますか。（○は3つまで）



（2）困ったときの相談先

■「家族や親戚」が76.9%、「近所の友人・知人」が26.4%

問15 あなたは、普段の生活で困ったとき、誰に相談していますか。（○は3つまで）



※おとしより相談センター（地域包括支援センター）…高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくために、介護保険・福祉サービスの利用方法、介護認定の手続きや権利擁護に関する相談・支援等を行う機関として、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等を配置し、京橋、日本橋、月島の3地域に設置されています。

〈性別、性・年代別、家族構成別、居住形態別〉

性別で見ると、“女性”は「近所の友人・知人」が男性より高い。

性・年代別で見ると、“女性の85歳以上”で「おとしより相談センター（地域包括支援センター）の担当者」が他層より高い。

家族構成別で見ると、“ひとり暮らし”は他層より「家族や親戚」が低く、「近所の友人・知人」が高い。

居住形態別で見ると、“賃貸住宅”は「家族や親戚」が他層より低い。

第2章 調査結果の詳細／  
高齢者福祉に関する生活実態調査（調査A）

(%)

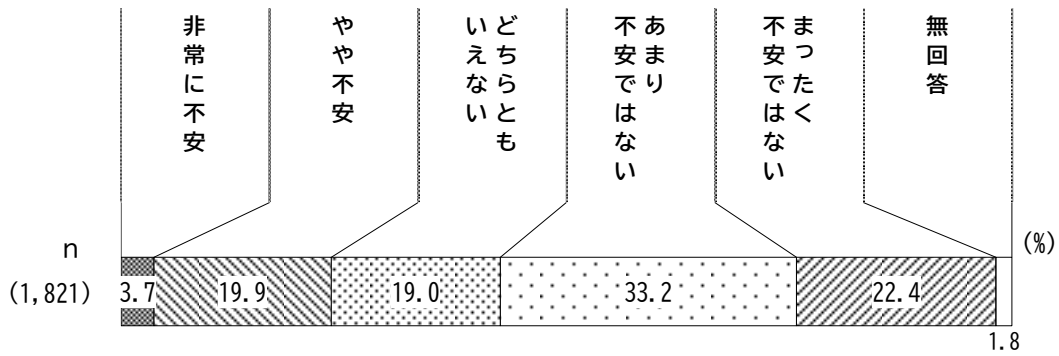
		n	家族や親戚	近所の友人・知人	区役所の相談窓口	町会・自治会の関係者	インターネット上の知り合い	おとしより相談センター（地域包括支援センター）の担当者	民間の相談窓口や電話相談	ケアマネジャー（介護支援専門員）	介護施設職員
全体		1,821	76.9	26.4	7.0	2.3	1.9	1.8	1.4	1.2	0.3
性別	男性	786	77.2	20.9	7.1	1.8	2.7	1.1	1.4	0.9	0.5
	女性	1,029	77.1	30.6	6.9	2.6	1.4	2.3	1.4	1.5	0.2
性・年代	男性/55～64歳	376	79.0	23.7	5.9	1.1	3.7	0.5	1.3	0.3	-
	男性/65～74歳	216	74.1	18.1	6.9	0.5	2.3	-	2.3	1.4	0.5
	男性/75～84歳	143	79.0	21.7	9.8	6.3	1.4	4.2	0.7	0.7	0.7
	男性/85歳以上	36	75.0	11.1	11.1	-	-	2.8	-	5.6	5.6
	女性/55～64歳	487	78.4	31.4	6.0	1.4	1.8	0.8	1.4	1.0	-
	女性/65～74歳	237	77.6	30.8	5.1	2.1	1.3	2.5	1.7	3.0	0.4
	女性/75～84歳	249	74.7	30.9	10.4	4.4	0.8	3.6	0.8	0.8	0.4
女性/85歳以上	48	75.0	22.9	8.3	6.3	-	10.4	-	2.1	-	
家族構成	ひとり暮らし	491	55.6	34.0	6.3	2.6	2.2	2.4	1.4	0.2	-
	夫婦2人暮らし	786	85.9	22.9	7.5	2.4	2.2	1.0	1.7	1.3	0.4
	息子・娘との2世帯	202	89.6	20.8	3.5	1.5	1.0	1.0	1.5	-	0.5
	その他	322	81.1	26.7	9.0	1.9	1.6	3.4	0.6	3.4	0.6
居住形態	持ち家（一戸建て）	200	79.0	30.5	8.5	5.5	1.0	2.5	1.5	1.5	1.0
	持ち家（集合住宅）	948	80.3	25.9	5.8	1.9	2.0	1.8	0.9	0.8	-
	公営賃貸住宅（集合住宅）	140	72.1	27.1	10.7	3.6	2.1	5.7	2.1	1.4	0.7
	民間賃貸住宅（集合住宅）	446	71.5	25.1	7.2	1.1	2.5	0.7	1.8	1.1	0.2
	その他	61	75.4	29.5	11.5	1.6	-	-	1.6	6.6	3.3

		n	保健所・保健センターの担当者	高齢者クラブの関係者	社会福祉協議会の職員	民生・児童委員	その他	誰も相談しない	特には相談しない	無回答
全体		1,821	0.3	0.3	0.2	0.1	7.2	2.7	8.6	1.9
性別	男性	786	0.5	0.1	-	-	5.9	2.2	11.2	1.3
	女性	1,029	0.1	0.4	0.4	0.2	8.4	3.1	6.5	2.0
性・年代	男性/55～64歳	376	0.8	-	-	-	6.6	1.9	10.1	0.8
	男性/65～74歳	216	-	-	-	-	4.6	2.8	15.3	0.9
	男性/75～84歳	143	-	0.7	-	-	5.6	2.1	7.7	1.4
	男性/85歳以上	36	2.8	-	-	-	2.8	-	8.3	8.3
	女性/55～64歳	487	0.2	-	0.2	-	9.2	4.1	6.6	1.2
	女性/65～74歳	237	-	0.8	-	-	11.4	2.5	6.8	2.1
	女性/75～84歳	249	-	0.4	1.2	0.4	4.8	1.6	6.0	3.6
女性/85歳以上	48	-	2.1	-	2.1	4.2	2.1	4.2	2.1	
家族構成	ひとり暮らし	491	0.2	0.4	0.6	0.4	10.2	6.1	13.2	2.6
	夫婦2人暮らし	786	-	0.3	0.1	-	5.5	1.7	6.9	1.0
	息子・娘との2世帯	202	1.0	0.5	-	-	6.9	1.5	4.0	2.0
	その他	322	0.6	-	-	-	7.8	0.9	8.1	1.6
居住形態	持ち家（一戸建て）	200	0.5	-	-	-	5.0	2.0	5.5	3.0
	持ち家（集合住宅）	948	0.2	0.2	0.2	0.1	7.6	1.6	8.6	1.3
	公営賃貸住宅（集合住宅）	140	0.7	-	-	0.7	7.1	2.9	5.7	2.9
	民間賃貸住宅（集合住宅）	446	0.2	0.7	0.4	-	7.8	5.4	10.5	1.3
	その他	61	-	-	-	-	6.6	3.3	8.2	-

### （3）孤独感

■ 「あまり不安ではない」が33.2%、「まったく不安ではない」が22.4%

問16 孤独や孤立への不安を感じていますか。（○は1つ）



〈性別、性・年代別、家族構成別、居住形態別〉

性別では、大きな差異は見られない。

性・年代別で見ると、“女性の55～64歳”は『不安』（非常に不安+やや不安）が約3割と、他層より高い。

家族構成別で見ると、“ひとり暮らし”は『不安』（非常に不安+やや不安）が約3割と、他層より高い。

居住形態別で見ると、“持ち家（一戸建て）”は『不安ではない』（あまり不安ではない+まったく不安ではない）が6割台と、他層より高い。

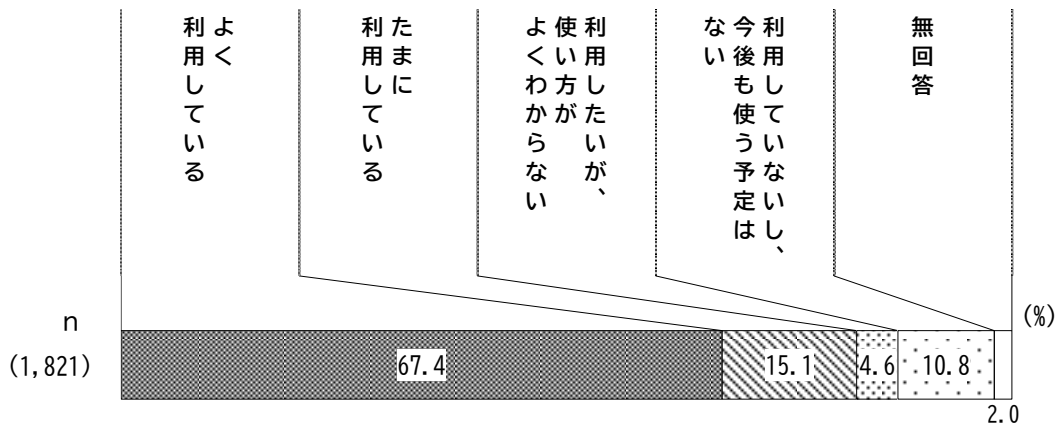
(%)

		n	非常に不安	やや不安	いどちえならいとも	不安あまりではない	不安まったくではない	無回答
全 体		1,821	3.7	19.9	19.0	33.2	22.4	1.8
性別	男性	786	2.7	17.7	19.5	33.8	24.7	1.7
	女性	1,029	4.6	21.6	18.8	32.8	20.8	1.6
性・年代	男性/55～64歳	376	2.9	19.9	22.3	28.5	25.3	1.1
	男性/65～74歳	216	1.4	13.9	19.0	42.1	22.2	1.4
	男性/75～84歳	143	3.5	17.5	13.3	37.8	26.6	1.4
	男性/85歳以上	36	5.6	16.7	16.7	30.6	19.4	11.1
	女性/55～64歳	487	5.7	24.4	23.2	26.9	18.7	1.0
	女性/65～74歳	237	4.6	15.2	18.1	36.3	24.1	1.7
	女性/75～84歳	249	2.0	22.9	12.0	38.6	22.1	2.4
	女性/85歳以上	48	4.2	16.7	12.5	43.8	20.8	2.1
家族構成	ひとり暮らし	491	6.5	27.7	15.9	32.0	15.7	2.2
	夫婦2人暮らし	786	2.9	18.8	21.0	32.6	23.7	1.0
	息子・娘との2世帯	202	1.0	13.9	16.3	33.7	33.7	1.5
	その他	322	3.4	13.7	21.1	36.6	23.6	1.6
居住形態	持ち家（一戸建て）	200	-	18.5	15.0	36.5	27.5	2.5
	持ち家（集合住宅）	948	2.8	20.1	20.4	33.4	22.0	1.2
	公営賃貸住宅（集合住宅）	140	7.1	19.3	17.1	35.7	17.9	2.9
	民間賃貸住宅（集合住宅）	446	6.5	20.0	19.5	30.7	22.2	1.1
	その他	61	1.6	23.0	14.8	32.8	26.2	1.6

（4）情報収集のためのインターネット利用頻度

■「よく利用している」が67.4%

問17 あなたは、情報収集の手段として、インターネットを利用していますか。（○は1つ）



〈年代別〉

年代別で見ると、“55～64歳”は「よく利用している」が高い。

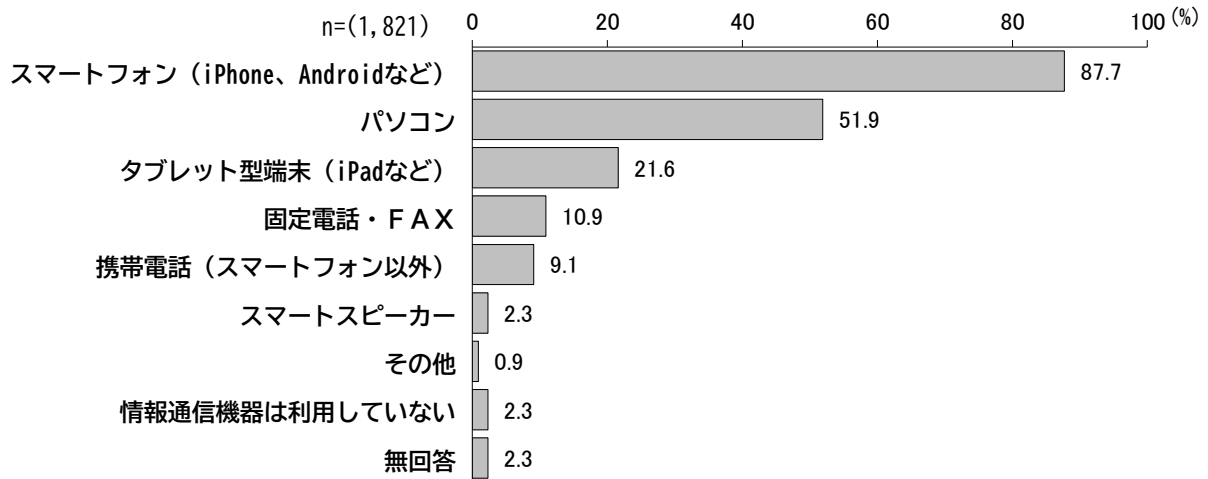
また、年代が上がるにつれ、「利用していないし、今後もしない予定はない」が高くなり、“85歳以上”は5割近い。

		n	よく利用している	たまに利用している	よく利用したいが、使い方がわからない	利用していないし、今後もしない予定はない	無回答
全体		1,821	67.4	15.1	4.6	10.8	2.0
年代	55～64歳	863	87.3	9.7	0.2	1.7	1.0
	65～74歳	453	68.2	18.5	5.7	6.2	1.3
	75～84歳	392	36.0	23.7	9.9	27.0	3.3
	85歳以上	84	15.5	11.9	17.9	47.6	7.1

（5）日常生活において使用しているICT（情報・通信）機器

■「スマートフォン（iPhone、Androidなど）」が87.7%、「パソコン」が51.9%

問18 あなたは、ふだんどのような情報通信機器を利用していますか。（○はいくつでも）



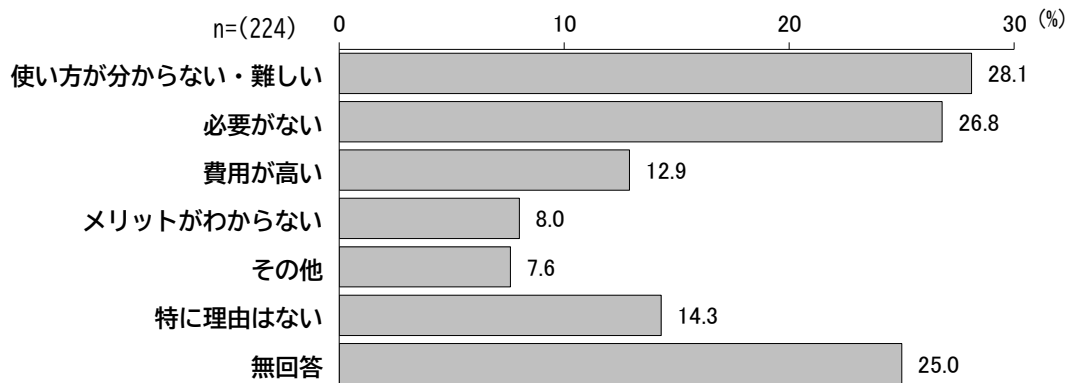
※スマートスピーカー…AIによる音声アシスタント（Alexa、Siri、Googleアシスタントなど）機能、インターネット接続機能を備えたスピーカー。音声で指示を出すことで、音楽再生、情報検索、家電操作などが行える機器。

（6）スマートフォンを使用していない理由

■「使い方が分からない・難しい」が28.1%、「必要がない」が26.8%

【問18-1は、問18で「2. タブレット型端末（iPadなど）」「3. 携帯電話（スマートフォン以外）」「4. パソコン」「5. 固定電話・FAX」「6. スマートスピーカー」「7. その他」  
「8. 情報通信機器は利用していない」と答えた方で、スマートフォンを利用していない方におうかがいします】

問18-1 スマートフォンを利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）



〈年代別〉

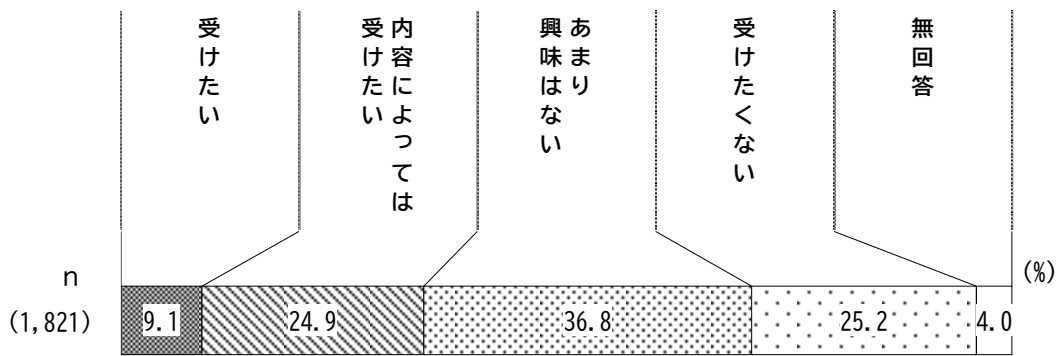
年代別で見ると、“75歳以上”で「使い方が分からない・難しい」が高い。  
また、“75～84歳”は「必要がない」も他の年代より高い。

		n	使い方が 分からない・ 難しい	必要 がない	費用 が高い	メリ ットが わから ないが	そ の 他	特 に 理 由 は な い	無 回 答
全 体		224	28.1	26.8	12.9	8.0	7.6	14.3	25.0
年代	55～64歳	36	8.3	13.9	16.7	8.3	16.7	19.4	30.6
	65～74歳	37	13.5	24.3	18.9	8.1	5.4	18.9	37.8
	75～84歳	95	37.9	32.6	9.5	7.4	8.4	10.5	15.8
	85歳以上	48	31.3	27.1	12.5	8.3	2.1	16.7	27.1

（7）スマートフォンやアプリの使い方講座への参加意向

■ 「あまり興味はない」が36.8%、「受けたくない」が25.2%、「内容によっては受けたい」が24.9%

問19 あなたは、スマートフォンの操作方法など、情報通信機器の使い方を教えてくれる高齢者向けの講座を受けたいと思いますか。（○は1つ）



〈年代別〉

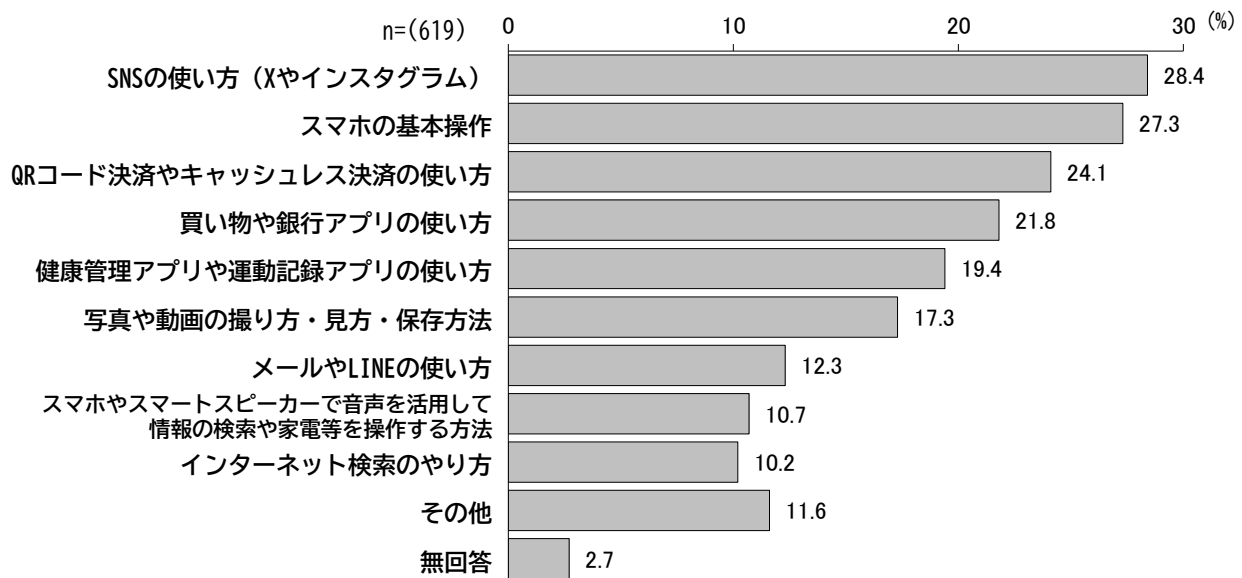
年代別で見ると、“75歳以上”で「受けたい」が、“65～74歳”は「内容によっては受けたい」が他の年代より高い。一方、“55～64歳”は「受けたくない」が高い。

		n	受けたい	内容によっては受けたい	あまり興味はない	受けたくない	無回答
全体		1,821	9.1	24.9	36.8	25.2	4.0
年代	55～64歳	863	3.9	21.7	39.6	32.9	1.9
	65～74歳	453	9.7	31.1	36.2	20.3	2.6
	75～84歳	392	17.1	26.8	32.7	16.6	6.9
	85歳以上	84	16.7	20.2	33.3	14.3	15.5

（8）受講したいと思う講座の内容

■「SNSの使い方（Xやインスタグラム）」が28.4%、「スマホの基本操作」が27.3%

【問19で「1. 受けない」「2. 内容によっては受けない」と答えた方におうかがいします】  
問19-1 どのような内容の講座を受けたいと思いますか。（○は3つまで）



〈その他の回答〉

- セキュリティ・詐欺対策 ○AI関係 ○動画編集

〈年代別〉

年代別で見ると、“55～74歳”は「SNSの使い方（Xやインスタグラム）」が、“75歳以上”は「スマホの基本操作」が高い。また、“55～64歳”は「健康管理アプリや運動機能アプリの使い方」が、“75～84歳”は「QRコード決済やキャッシュレス決済の使い方」「買い物や銀行アプリの使い方」が、“85歳以上”は「メールやLINEの使い方」が他の年代より高い。

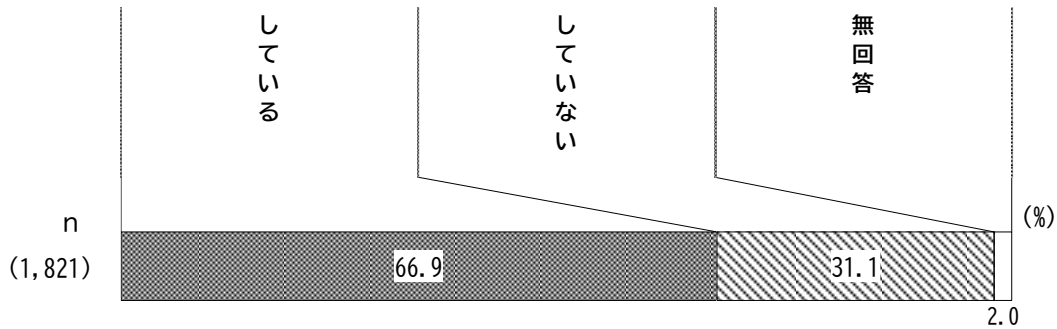
		n	SNSの使い方 (Xやインスタグラム)	スマホの基本操作	QRコード決済やキャッシュレス決済の使い方	買い物や銀行アプリの使い方	健康管理アプリや運動記録アプリの使い方	写真や動画の撮り方・見方・保存方法	メールやLINEの使い方	スマホやスマートスピーカーで音声を活用して情報の検索や家電等を操作する方法	インターネット検索のやり方	その他	無回答
全体		619	28.4	27.3	24.1	21.8	19.4	17.3	12.3	10.7	10.2	11.6	2.7
年代	55～64歳	221	36.7	14.5	21.3	20.8	23.5	11.3	5.4	13.1	6.3	18.1	2.3
	65～74歳	185	33.5	28.6	23.2	20.5	17.8	22.2	10.8	10.8	13.0	10.3	2.2
	75～84歳	172	15.7	36.0	29.7	26.2	17.4	19.2	19.8	9.3	11.6	7.0	2.9
	85歳以上	31	16.1	51.6	16.1	12.9	16.1	16.1	22.6	3.2	12.9	3.2	9.7

## 6. 健康づくり・介護予防事業への参加

### （1）運動習慣の有無

■「している」が66.9%

問20 あなたは、健康づくりのための運動や体を動かす活動をしていますか。（○は1つ）



#### 〈年代別、性・年代別〉

年代別では、大きな差異は見られない。

性・年代別で見ると、“男性の85歳以上”は「している」が同年代の女性より高い。また、“女性の65～84歳”は「している」が女性の他の年代より高い。

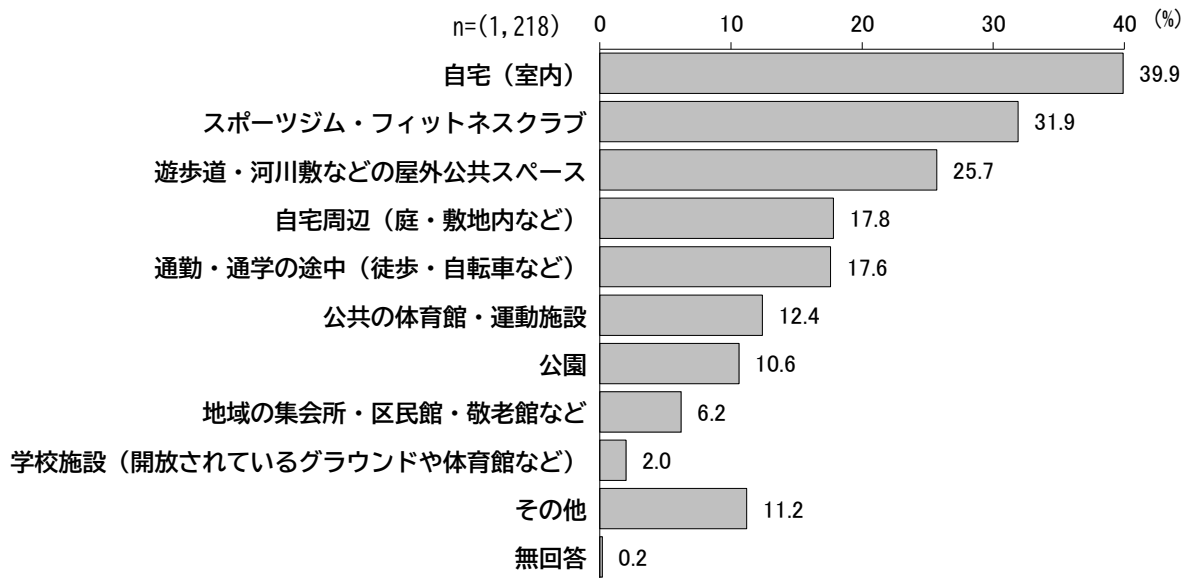
		n	している (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		1,821	66.9	31.1	2.0
年代	55～64歳	863	64.1	34.4	1.5
	65～74歳	453	71.7	27.6	0.7
	75～84歳	392	69.1	28.6	2.3
	85歳以上	84	64.3	29.8	6.0
性・年代	男性/55～64歳	376	67.0	31.1	1.9
	男性/65～74歳	216	72.7	26.4	0.9
	男性/75～84歳	143	66.4	31.5	2.1
	男性/85歳以上	36	75.0	19.4	5.6
	女性/55～64歳	487	61.8	37.0	1.2
	女性/65～74歳	237	70.9	28.7	0.4
	女性/75～84歳	249	70.7	26.9	2.4
女性/85歳以上	48	56.3	37.5	6.3	

## （2）運動する場所

■「自宅（室内）」が39.9%、「スポーツジム・フィットネスクラブ」が31.9%

【問20-1、20-2は、問20で「1. している」と答えた方におうかがいします】

問20-1 普段、運動や体を動かす活動を行っている場所を教えてください。（○はいくつでも）



〈その他の回答〉

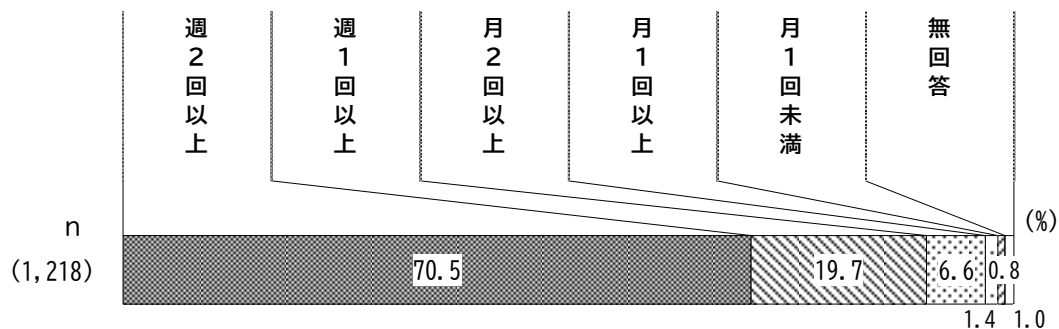
○通勤、買物のついでに ○ゴルフ

## （3）運動する頻度

■「週2回以上」が70.5%

【問20-1、20-2は、問20で「1. している」と答えた方におうかがいします】

問20-2 現在の運動の頻度は、どの程度ですか。（○は1つ）

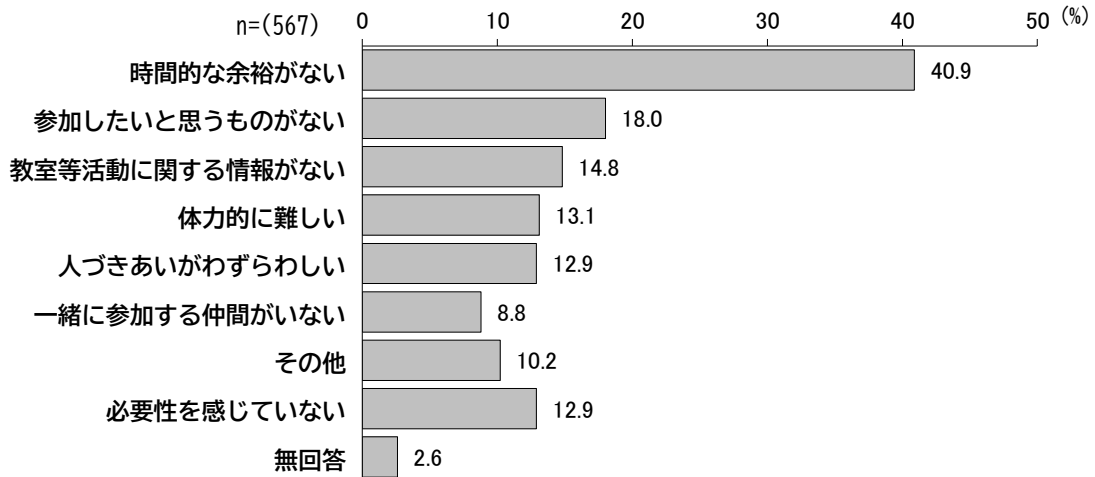


（4）運動習慣がない理由

■「時間的な余裕がない」が40.9%

【問20-3は、問20で「2. していない」と答えた方におうかがいします】

問20-3 運動や体を動かす活動をしていない理由は何ですか。（○はいくつでも）



〈その他の回答〉

○健康上の理由 ○運動する意欲がない ○運動が苦手

〈性・年代別〉

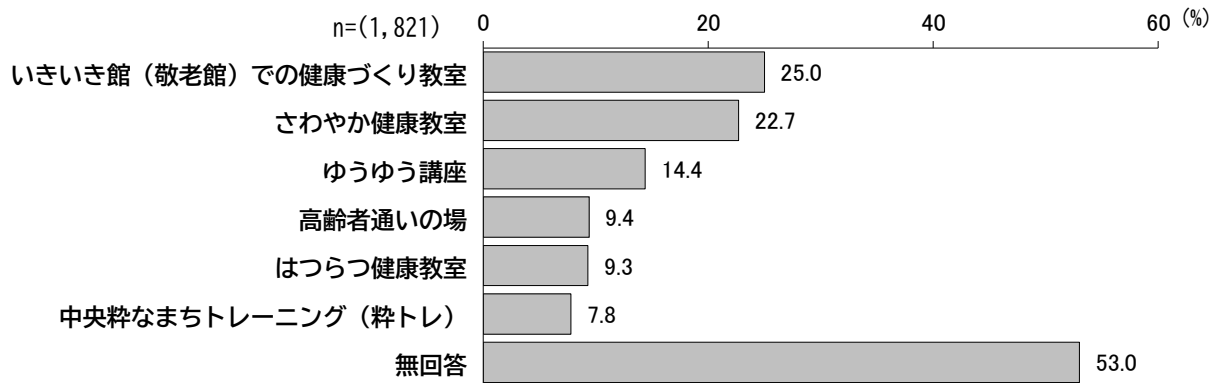
性・年代別で見ると、“男女ともに55～64歳”は「時間的な余裕がない」が高く、特に女性で顕著となっている。

		n	余時間的な余裕がない	思参加もしたくない	関教室等活動がない	体力的に難しい	わ人づきあいがわずらわしい	仲一緒に参加する仲間がいない	その他	感必要を感じていない	無回答
全体		567	40.9	18.0	14.8	13.1	12.9	8.8	10.2	12.9	2.6
性・年代	男性/55～64歳	117	48.7	23.1	11.1	6.8	9.4	4.3	9.4	20.5	1.7
	男性/65～74歳	57	19.3	21.1	14.0	17.5	15.8	14.0	10.5	12.3	7.0
	男性/75～84歳	45	31.1	20.0	15.6	17.8	13.3	8.9	-	15.6	4.4
	男性/85歳以上	7	-	14.3	-	42.9	-	-	14.3	28.6	14.3
	女性/55～64歳	180	56.7	13.3	18.9	11.1	13.9	6.7	12.2	6.7	-
	女性/65～74歳	68	35.3	20.6	16.2	2.9	19.1	10.3	14.7	10.3	2.9
	女性/75～84歳	67	26.9	16.4	14.9	19.4	7.5	13.4	9.0	16.4	4.5
	女性/85歳以上	18	11.1	11.1	-	50.0	5.6	11.1	11.1	16.7	-

（5）区で行っている高齢者健康づくり介護予防事業の認知度

■ 「いきいき館（敬老館）での健康づくり教室」が25.0%、「さわやか健康教室」が22.7%

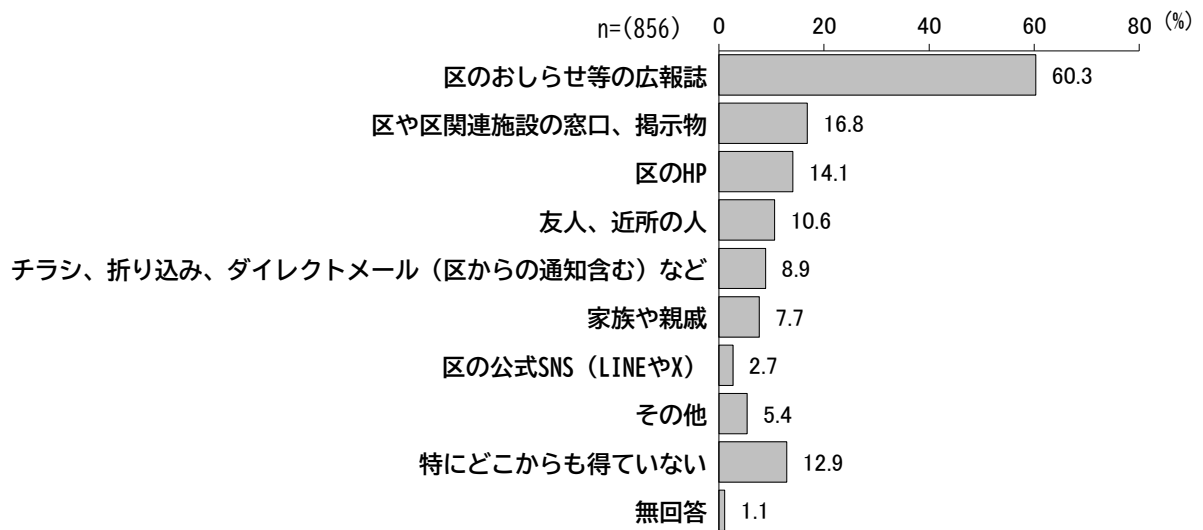
問21 あなたは、中央区が行っている次のような健康づくり・介護予防事業をご存知ですか。知っているものに○をつけてください。（○はいくつでも）



（6）高齢者健康づくり介護予防事業の情報入手先

■ 「区のおしらせ等の広報誌」が60.3%

【問21-1は、問21の「1」から「6」でひとつでも「○」をつけた方におうかがいします】  
 問21-1 問21の健康づくり・介護予防事業について、どこでその情報を知りましたか。（○はいくつでも）



〈性別、年代別〉

性別で見ると、“女性”は「区のおしらせ等の広報誌」が男性より高い。一方、“男性”は「特にどこからも得ていない」が女性より高い。

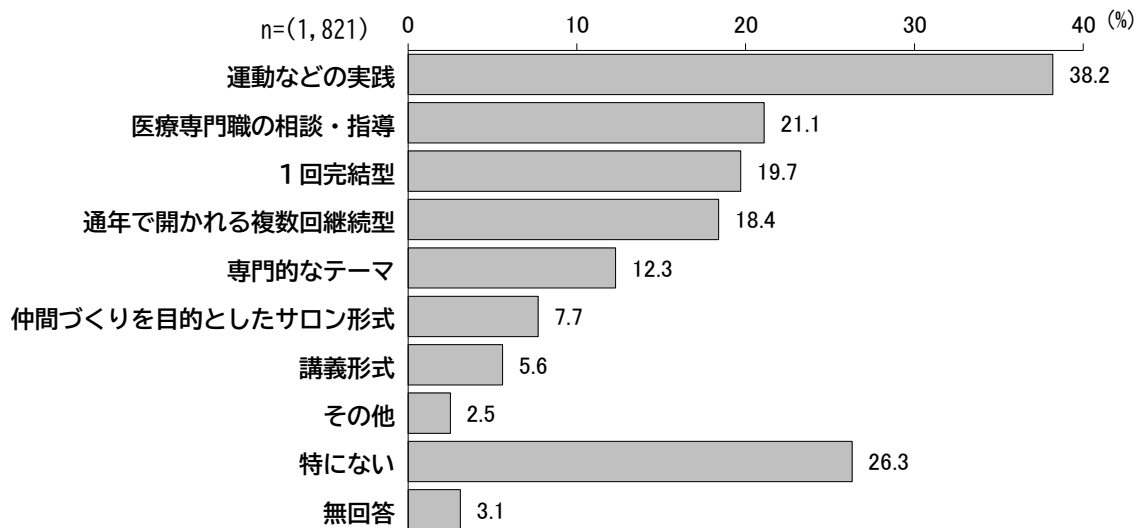
年代別で見ると、“55～64歳”は「区のおしらせ等の広報誌」が他の年代より低い。また、“75歳以上”で「友人、近所の人」が他の年代より高い。

		n	区のおしらせ等の 広報誌	区や区関連施設の 窓口、掲示物	区 の H P	友人、 近所の人	チラシ、折り込み、 メール（含む）など の通知	家族や親戚	区 の 公 式 L I N E S や X S （ ）	その他	特にどこからも 得ていない	無 回 答
全 体		856	60.3	16.8	14.1	10.6	8.9	7.7	2.7	5.4	12.9	1.1
性別	男性	341	48.1	15.2	15.5	6.2	3.8	8.8	2.6	5.0	19.6	1.2
	女性	514	68.3	17.9	13.2	13.4	12.3	7.0	2.7	5.6	8.4	1.0
年代	55～64歳	356	41.6	13.8	10.7	5.3	3.7	9.6	2.8	7.6	23.9	0.6
	65～74歳	234	70.5	17.5	18.8	8.1	12.4	8.1	3.4	4.3	7.7	0.9
	75～84歳	218	77.5	20.6	16.5	19.7	13.8	4.6	2.3	3.7	2.8	1.4
	85歳以上	41	78.0	19.5	4.9	19.5	9.8	-	-	2.4	2.4	4.9

（7）参加したいと思う健康づくり介護予防事業

■「運動などの実践」が38.2%

問22 あなたは、どのような健康づくり事業なら参加したいと思いますか。（○は3つまで）



第2章 調査結果の詳細／  
高齢者福祉に関する生活実態調査（調査A）

〈性・年代別〉

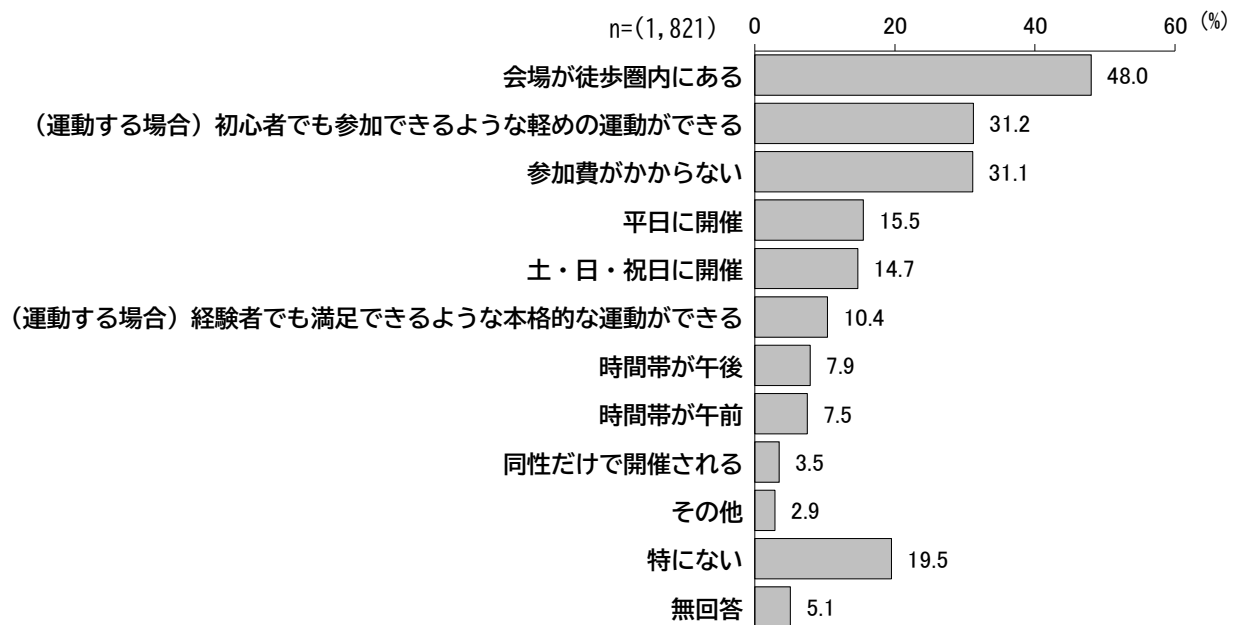
性・年代別で見ると、“女性の55～84歳”は「運動などの実践」が、“女性の55～64歳”は「1回完結型」「専門的なテーマ」が他層より高い。一方、“男性の75歳以上”は「特にない」が他層より高い。

		n	運動などの実践	医療・専門職の相談・指導	1回完結型	複数年で継続される	専門的なテーマ	仲間づくりを目的とした形式	講義形式	その他	特にない	無回答
全体		1,821	38.2	21.1	19.7	18.4	12.3	7.7	5.6	2.5	26.3	3.1
性・年代	男性/55～64歳	376	33.8	17.8	14.6	14.1	15.7	8.0	8.2	1.6	33.0	2.9
	男性/65～74歳	216	36.6	23.1	16.2	18.1	10.6	6.5	5.1	2.8	28.7	1.9
	男性/75～84歳	143	28.0	16.1	13.3	14.0	9.8	6.3	3.5	-	44.1	2.1
	男性/85歳以上	36	19.4	11.1	8.3	-	-	11.1	2.8	-	50.0	11.1
	女性/55～64歳	487	43.9	22.4	26.7	22.2	16.4	7.2	4.7	3.3	17.7	2.1
	女性/65～74歳	237	41.4	24.1	23.6	22.4	10.1	8.0	5.5	4.2	22.8	2.1
	女性/75～84歳	249	43.4	23.3	18.9	19.3	7.6	9.2	6.0	2.8	20.1	4.8
	女性/85歳以上	48	33.3	20.8	18.8	16.7	4.2	14.6	6.3	-	29.2	6.3

(8) 継続的参加のための条件

■「会場が徒歩圏内にある」が48.0%、「(運動する場合) 初心者でも参加できるような軽めの運動ができる」が31.2%、「参加費がかからない」が31.1%

問23 問22の健康づくり事業に継続的に参加するための条件は何ですか。(〇はいくつでも)

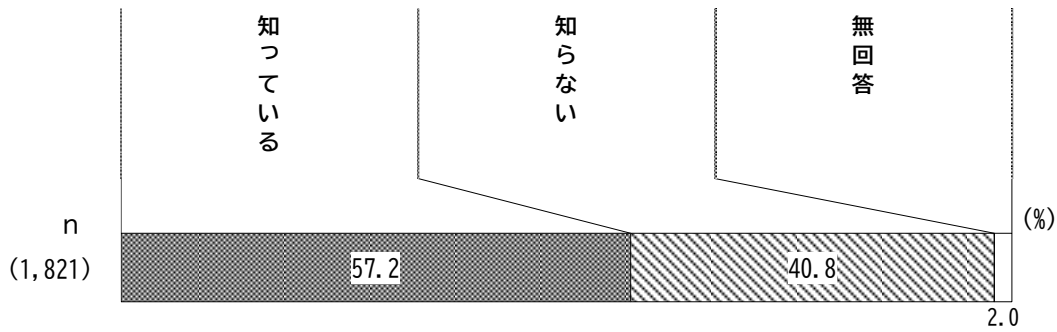


(9) フレイルの認知度

■「知っている」が57.2%

問24 フレイル※ という言葉を知っていますか。(○は1つ)

※フレイル…加齢に伴って心身の活力が低下し、介護が必要になるリスクが高まった状態をいいます



〈性別、年代別、居住地域別〉

性・年代別で見ると、“男性”は「知らない」が女性より高い。

年代別で見ると、“55～64歳”は「知っている」が唯一5割を切っている。

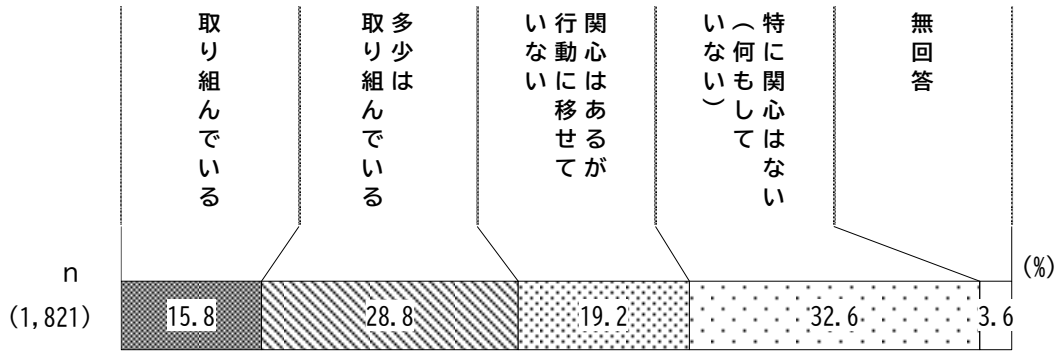
居住地域別では、大きな差異は見られない。

		n	知っている	知らない	無回答
全体		1,821	57.2	40.8	2.0
性別	男性	786	46.6	51.7	1.8
	女性	1,029	65.5	32.8	1.7
年代	55～64歳	863	49.6	48.7	1.7
	65～74歳	453	70.2	28.5	1.3
	75～84歳	392	60.5	38.0	1.5
	85歳以上	84	54.8	40.5	4.8
居住地域	京橋地域	418	59.8	39.0	1.2
	日本橋地域	507	55.2	43.4	1.4
	月島地域	888	57.4	40.5	2.0

（10）介護予防・フレイル予防の取組状況

■「特に関心はない（何もしていない）」が32.6%、多少は取り組んでいる」が28.8%

問25 介護予防・フレイル予防に取り組んでいますか。（○は1つ）



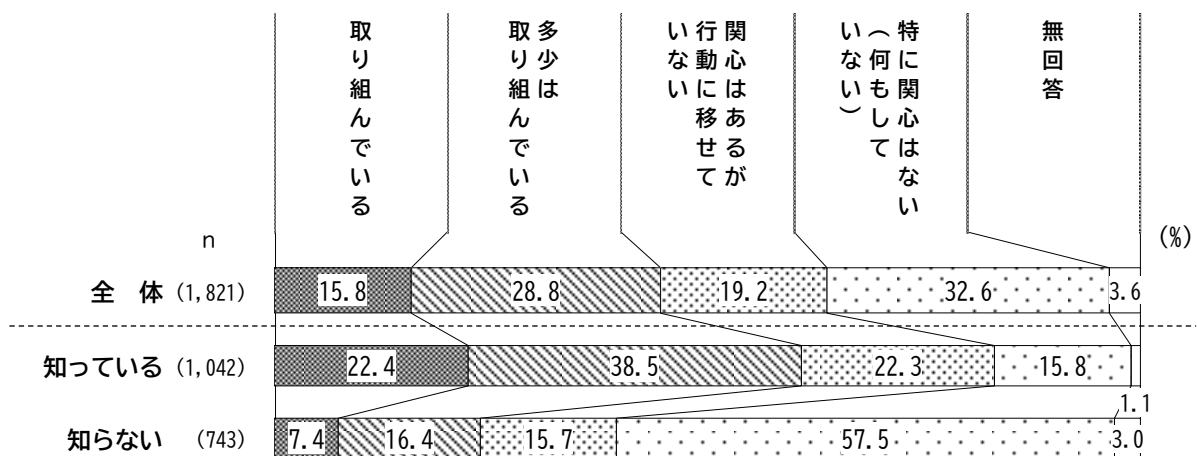
〈フレイルの認知別、性別、年代別、居住地域別〉

フレイルの認知別で見ると、“知っている”で『取り組んでいる』（取り組んでいる+多少は取り組んでいる）が6割を超え、“知らない”で「特に関心はない（何もしていない）」が6割近く、対照的な結果となっている。

性別で見ると、“男性”は「特に関心はない（何もしていない）」が女性より高い。一方、“女性”は「多少は取り組んでいる」「関心はあるが行動に移せていない」が男性より高い。

年代別で見ると、“55～64歳”は「特に関心はない（何もしていない）」が他の年代より高い。居住地域別では、大きな差異は見られない。

フレイルの認知別



第2章 調査結果の詳細／  
高齢者福祉に関する生活実態調査（調査A）

(%)

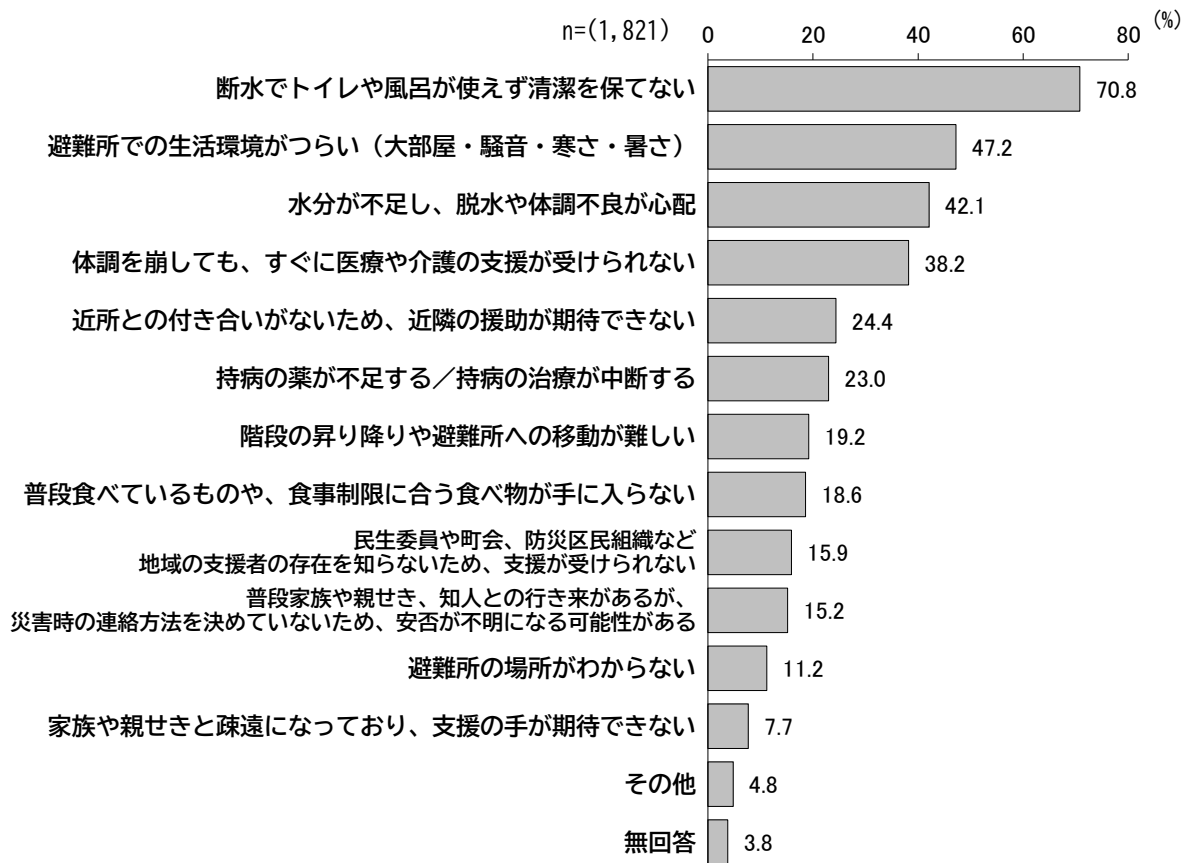
		n	取り組んでいる	取多 り組は んでいる	行関 動心は あるが せてい ない	（特 にも関 心はな い）	無回 答
全 体		1,821	15.8	28.8	19.2	32.6	3.6
性別	男性	786	15.9	23.4	13.5	44.1	3.1
	女性	1,029	15.7	33.0	23.7	23.9	3.6
年代	55～64歳	863	13.4	22.9	20.6	39.7	3.2
	65～74歳	453	19.6	33.3	18.1	26.0	2.9
	75～84歳	392	16.3	37.0	17.1	26.5	3.1
	85歳以上	84	16.7	32.1	21.4	21.4	8.3
居住 地域	京橋地域	418	14.8	28.2	21.8	32.5	2.6
	日本橋地域	507	14.4	28.6	20.9	32.5	3.6
	月島地域	888	17.1	29.4	17.2	32.9	3.4
フレイル 認知	知っている	1,042	22.4	38.5	22.3	15.8	1.1
	知らない	743	7.4	16.4	15.7	57.5	3.0

## 7. 災害時の対応

### （1）災害時に困ること

- 「断水でトイレや風呂が使えず清潔を保てない」が70.8%、「避難所での生活環境がづらい（大部屋・騒音・寒さ・暑さ）」が47.2%、「水分が不足し、脱水や体調不良が心配」が42.1%

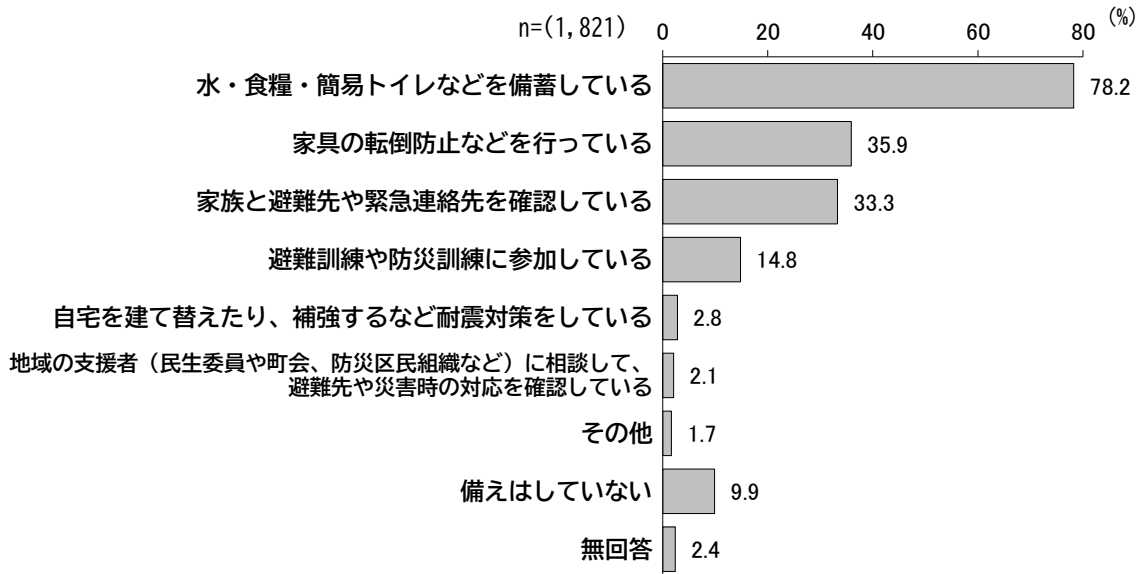
問26 あなたは、地震などの災害が起こった場合にどのようなことで困ると想定していますか。（〇はいくつでも）



（2）災害への備え

■「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」が78.2%

問27 あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。（○はいくつでも）



〈家族構成別〉

家族構成別で見ると、“ひとり暮らし”は「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」「家具の転倒防止などを行っている」「家族と避難先や緊急連絡先を確認している」が他層より低い。

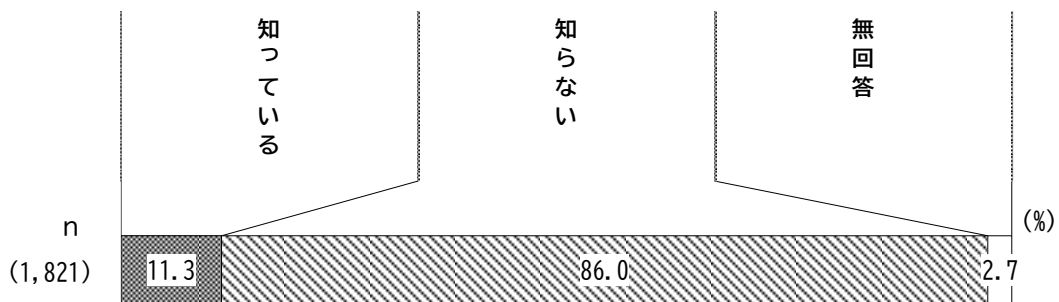
		n	水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している	家具の転倒防止などを行っている	家族と避難先や緊急連絡先を確認している	避難訓練や防災訓練に参加している	自宅を建て替えたり、補強するなど耐震対策をしている	地域の支援者（民生委員や町会、防災区民組織など）に相談して、避難先や災害時の対応を確認している	その他	備えはしていない	無回答
全体		1,821	78.2	35.9	33.3	14.8	2.8	2.1	1.7	9.9	2.4
家族構成	ひとり暮らし	491	70.7	28.5	17.7	12.2	1.6	2.2	1.8	17.1	2.4
	夫婦2人暮らし	786	81.7	40.6	39.9	16.0	1.9	1.9	1.1	7.4	1.7
	息子・娘との2世帯	202	81.2	41.6	39.6	16.8	5.0	2.5	0.5	4.0	2.0
	その他	322	80.4	32.9	37.9	14.9	5.3	2.2	2.8	9.3	3.4

（3）「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度

■「知らない」が86.0%

問28 あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」※ についてご存知ですか。（○は1つ）

※中央区災害時地域たすけあい名簿…災害時に自力で避難したり生活することが困難で特に支援を必要とする方（75歳以上でひとり暮らしの方、要介護3～5の方、障害者手帳をお持ちの方など）を登録した名簿です。災害に備えるため、本人の同意がある方の名簿情報を避難支援等関係者にあらかじめ提供し、災害時に地域全体で助け合うことを目的としています。



〈年代別、家族構成別〉

年代別で見ると、“55～64歳”は「知らない」が9割を占め、年代が上がるにつれ「知っている」が高くなっていく。

家族構成別で見ると、“夫婦2人暮らし”は「知らない」が他層よりやや高い。

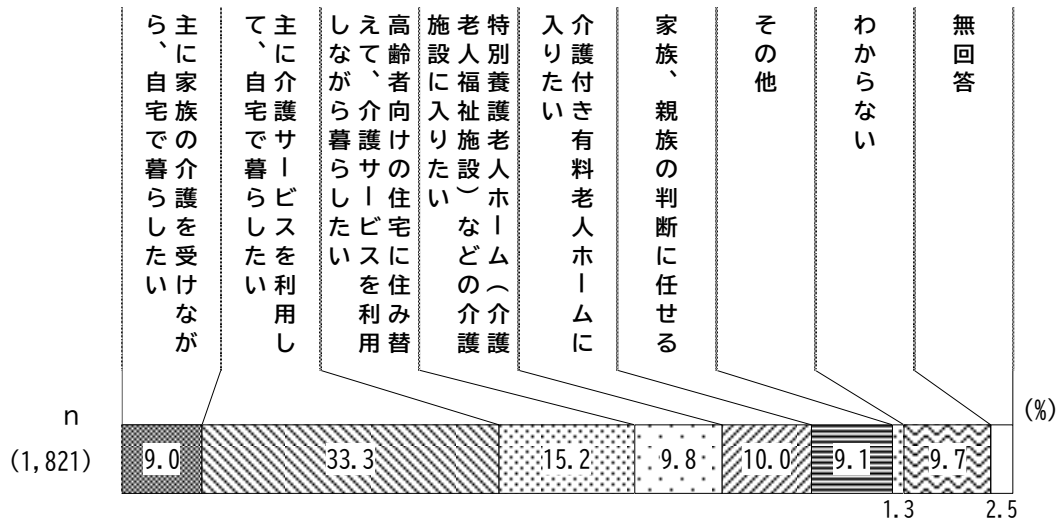
		n	知っている (%)	知らない (%)	無回答 (%)
全体		1,821	11.3	86.0	2.7
年代	55～64歳	863	7.2	90.7	2.1
	65～74歳	453	10.8	87.2	2.0
	75～84歳	392	18.6	78.6	2.8
	85歳以上	84	23.8	66.7	9.5
家族構成	ひとり暮らし	491	13.6	83.1	3.3
	夫婦2人暮らし	786	8.8	89.4	1.8
	息子・娘との2世帯	202	13.4	84.2	2.5
	その他	322	12.1	85.1	2.8

## 8. 今後の介護の希望

### （1）今後希望する介護

■「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が33.3%

問29 あなたは、要介護状態になった場合、どのような介護を希望しますか。（○は1つ）



#### 〈性別、年代別、家族構成別〉

性別で見ると、“男性”は特に「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が女性より、“女性”は特に「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が男性より高い。

年代別で見ると、年代が上がるにつれ、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が高くなっている。また、“55～64歳”は「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい」が他の年代より高い。

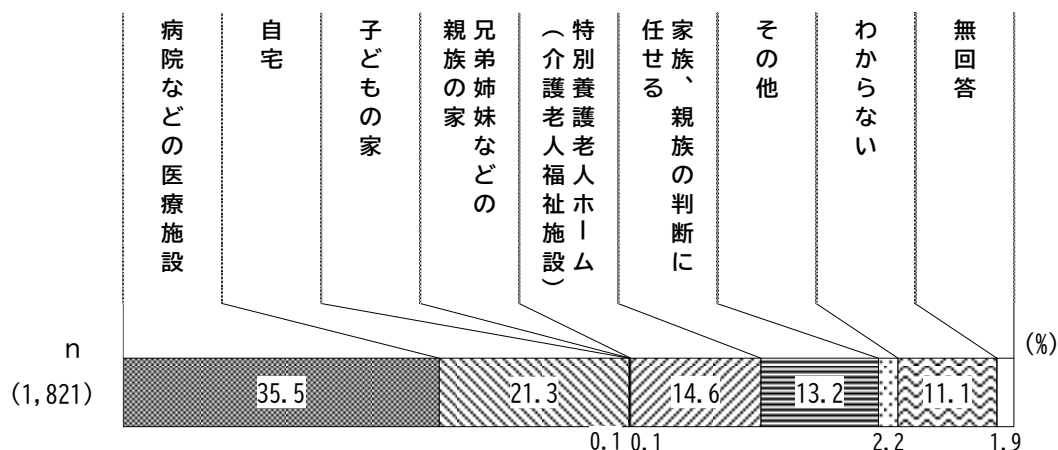
家族構成別で見ると、“ひとり暮らし”は他層より「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい」で高く、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」で低い。

		n	主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい	特別養護老人ホーム（介護施設）などへの介護施設に入りたい	介護付き有料老人ホームに入りたい	家族、親族の判断に任せる	その他	わからない	無回答
全体		1,821	9.0	33.3	15.2	9.8	10.0	9.1	1.3	9.7	2.5
性別	男性	786	13.2	29.4	13.6	8.4	10.6	10.7	1.3	10.7	2.2
	女性	1,029	5.8	36.4	16.5	10.9	9.7	7.9	1.4	8.9	2.4
年代	55～64歳	863	7.2	29.5	19.2	9.7	10.9	8.8	1.2	11.5	2.0
	65～74歳	453	8.2	36.4	13.9	12.1	10.2	7.1	1.1	9.5	1.5
	75～84歳	392	12.2	37.0	9.2	7.7	10.2	12.5	1.5	6.6	3.1
	85歳以上	84	17.9	40.5	9.5	7.1	-	9.5	3.6	6.0	6.0
家族構成	ひとり暮らし	491	3.1	35.0	20.8	9.8	10.2	4.3	1.2	12.4	3.3
	夫婦2人暮らし	786	10.4	33.5	15.3	9.3	11.6	9.8	1.3	7.6	1.3
	息子・娘との2世帯	202	13.9	30.2	10.4	11.4	8.9	13.9	-	8.9	2.5
	その他	322	11.8	33.5	10.6	9.9	6.8	11.2	2.2	11.5	2.5

（2）終末期に介護を受けたい場所

■「病院などの医療施設」が35.5%、「自宅」が21.3%

問30 あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。（○は1つ）



〈性別、年代別、家族構成別〉

全ての区分で「病院などの医療施設」が高い。

年代別で見ると、“75～84歳”は「自宅」が、“85歳以上”は「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」が他の年代より低い。

家族構成別で見ると、“ひとり暮らし”は他層より「病院などの医療施設」が高く、「自宅」「家族・親族の判断に任せる」で低い。“息子・娘との2世帯”は他層より「家族・親族の判断に任せる」が高く、「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」で低い。

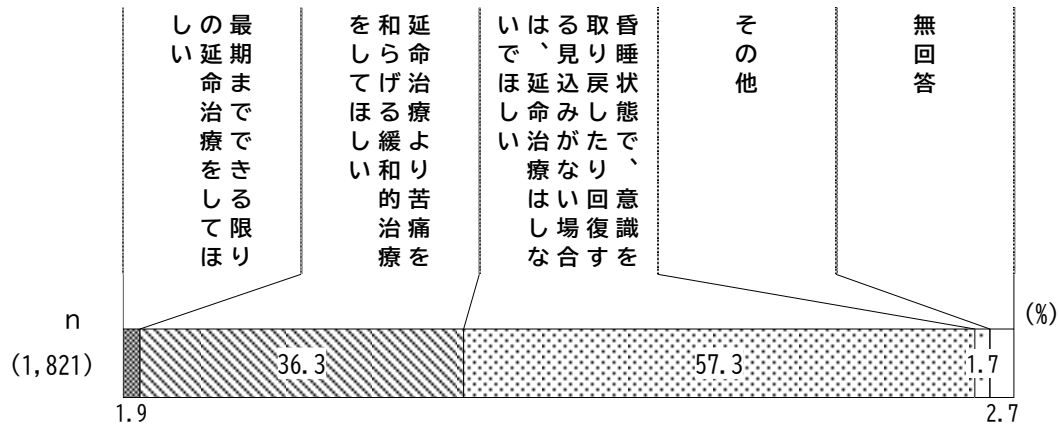
(%)

		n	病院などの医療施設	自宅	子どもの家	親兄弟姉妹などの家族の家	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）	家族・親族の判断に任せる	その他	わからない	無回答
全体		1,821	35.5	21.3	0.1	0.1	14.6	13.2	2.2	11.1	1.9
性別	男性	786	32.1	25.2	-	-	13.7	13.7	1.7	11.7	1.9
	女性	1,029	38.3	18.3	0.2	0.2	15.3	12.9	2.6	10.7	1.6
年代	55～64歳	863	33.1	21.3	0.2	0.1	15.8	12.9	2.8	11.8	2.0
	65～74歳	453	37.7	23.6	-	-	13.2	11.5	1.8	10.6	1.5
	75～84歳	392	38.0	17.9	-	0.3	14.8	15.6	1.8	10.5	1.3
	85歳以上	84	35.7	23.8	-	-	9.5	17.9	1.2	9.5	2.4
家族構成	ひとり暮らし	491	42.2	14.9	-	0.4	17.3	6.1	3.1	14.3	1.8
	夫婦2人暮らし	786	35.5	23.8	-	-	14.8	14.6	2.0	8.1	1.1
	息子・娘との2世帯	202	32.7	21.8	1.0	-	8.9	21.8	2.5	9.9	1.5
	その他	322	28.3	25.2	-	-	13.7	15.2	1.2	14.0	2.5

(3) 延命治療についての考え

■「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないほしい」が57.3%

問31 あなたは、延命のための医療を受けることについてどう思いますか。（○は1つ）



〈性別、年代別〉

性別では、大きな差異は見られない。

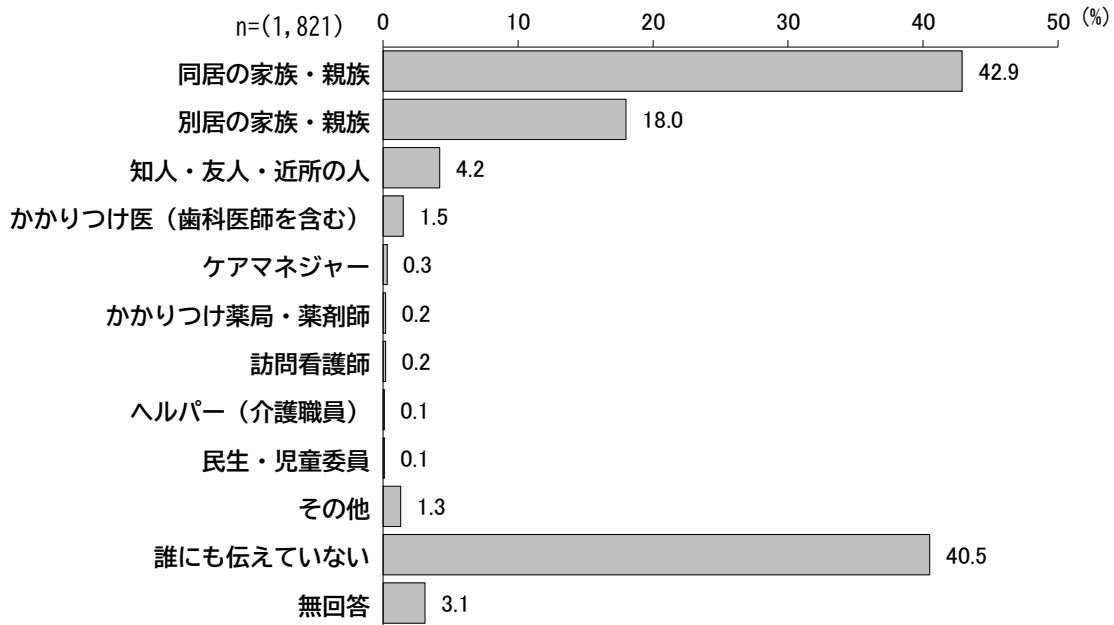
年代別で見ると、年代が上がるにつれ、「延命治療より苦痛を和らげる緩和的治療をしてほしい」が低くなる。

		n	延命治療までできる限り	和らげる緩和的治療を	延命治療はしないほしい	その他	無回答
全体		1,821	1.9	36.3	57.3	1.7	2.7
性別	男性	786	2.9	34.1	59.0	1.5	2.4
	女性	1,029	1.2	38.1	56.2	1.8	2.7
年代	55～64歳	863	2.0	39.3	54.9	1.6	2.2
	65～74歳	453	2.0	37.1	57.0	1.8	2.2
	75～84歳	392	1.3	32.1	61.7	1.8	3.1
	85歳以上	84	3.6	28.6	59.5	2.4	6.0

（4）介護・延命治療についての希望を伝えた人

■「同居の家族・親族」が42.9%、「誰にも伝えていない」が40.5%

問32 あなたは、介護や延命治療（問29から問31までの内容）についての希望を誰かに伝えて  
いますか。（○はいくつでも）



〈性・年代別〉

性・年代別で見ると、“男女の55～64歳”“男性の65～74歳”は「誰にも伝えていない」が他層より高い。

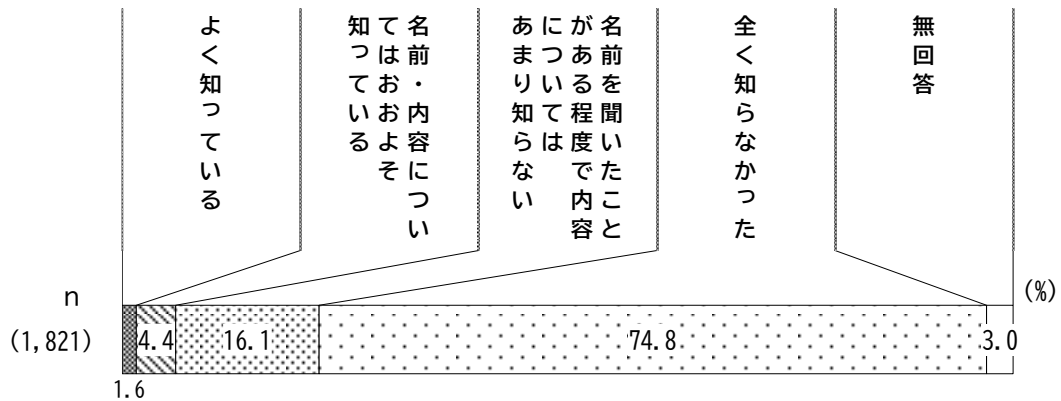
		n	同居の家族・親族	別居の家族・親族	知人・友人・近所	かかりつけ医（歯科医師を含む）	ケアマネジャー	かかりつけ薬局・薬剤師	訪問看護師	ヘルパー（介護職員）	民生・児童委員	その他	誰にも伝えていない	無回答
全体		1,821	42.9	18.0	4.2	1.5	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	1.3	40.5	3.1
性・年代	男性/55～64歳	376	44.7	7.2	1.9	1.1	-	-	-	-	-	0.3	48.4	2.4
	男性/65～74歳	216	41.7	13.0	6.0	1.9	1.9	0.9	0.9	0.9	-	0.9	46.8	2.8
	男性/75～84歳	143	49.7	14.7	3.5	2.1	-	-	-	-	0.7	2.1	33.6	4.2
	男性/85歳以上	36	47.2	19.4	11.1	5.6	2.8	5.6	2.8	-	-	-	30.6	2.8
	女性/55～64歳	487	39.8	17.9	6.0	0.4	-	-	-	-	-	0.6	45.2	2.5
	女性/65～74歳	237	43.0	27.8	2.5	1.3	-	-	0.4	-	-	1.7	35.0	2.5
	女性/75～84歳	249	44.6	30.1	4.8	2.0	-	-	-	-	0.4	3.6	26.9	3.2
	女性/85歳以上	48	41.7	27.1	2.1	8.3	2.1	-	-	-	-	2.1	29.2	4.2

(5) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の理解度

■「全く知らなかった」が74.8%

問33 あなたは、「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」※ についてどの程度ご存知ですか。（〇は1つ）

※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）…人生の最終段階における医療や介護について、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い共有すること。「人生会議」ともいう。



〈性別、年代別〉

性別では、大きな差異は見られない。

年代別で見ると、「85歳以上」は「名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない」が他の年代より高い。

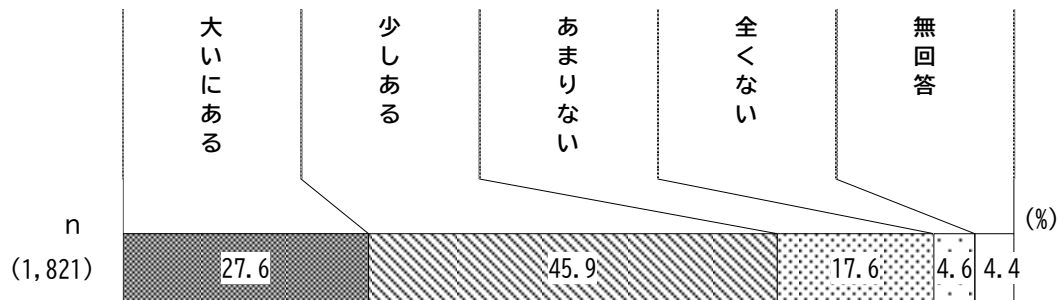
		n	よく知っている	名前・内容について知っている	名前を聞いたことがある程度	全く知らなかった	無回答
全体		1,821	1.6	4.4	16.1	74.8	3.0
性別	男性	786	1.7	3.1	15.1	77.6	2.5
	女性	1,029	1.7	5.4	16.9	73.1	2.9
年代	55～64歳	863	2.0	3.6	14.0	77.9	2.5
	65～74歳	453	2.0	6.2	15.7	73.1	3.1
	75～84歳	392	1.0	4.3	19.9	72.4	2.3
	85歳以上	84	-	4.8	25.0	65.5	4.8

## 9. 老い支度（終活）

### （1）終活への興味

■「少しある」が45.9%

問34 終活に興味はありますか。（○は1つ）



#### 〈性別、年代別、家族構成別〉

性別で見ると、“女性”は『ある』（大いにある＋少しある）が8割を超え、男性より高い。

年代別で見ると、“85歳以上”は「あまりない」が他の年代より高い。

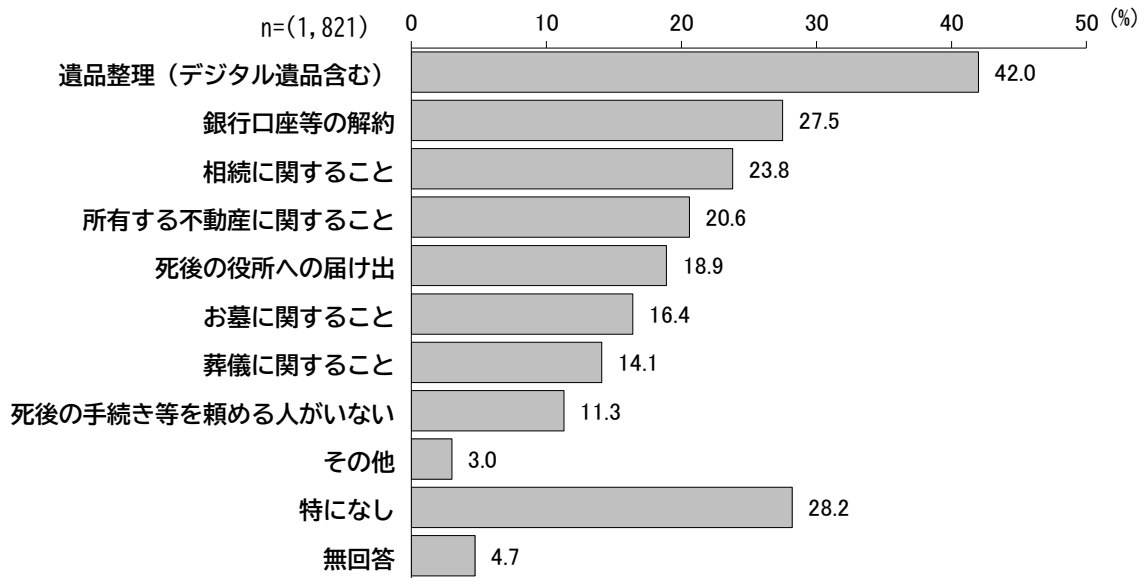
家族構成別で見ると、“ひとり暮らし”は「大いにある」が、“息子・娘との2世帯”は「あまりない」が他層より高い。

		n	大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答
全体		1,821	27.6	45.9	17.6	4.6	4.4
性別	男性	786	20.6	43.8	23.4	7.9	4.3
	女性	1,029	32.8	47.7	13.3	1.9	4.2
年代	55～64歳	863	23.8	50.4	17.5	5.7	2.7
	65～74歳	453	30.5	49.0	14.6	2.2	3.8
	75～84歳	392	32.7	38.0	19.1	4.3	5.9
	85歳以上	84	28.6	23.8	28.6	3.6	15.5
家族構成	ひとり暮らし	491	32.0	42.6	16.9	4.1	4.5
	夫婦2人暮らし	786	28.6	46.1	16.4	5.1	3.8
	息子・娘との2世帯	202	22.3	47.5	22.3	3.5	4.5
	その他	322	21.1	50.6	19.9	4.3	4.0

（2）終末期・死後の手続き等で不安なこと

■「遺品整理（デジタル遺品含む）」が42.0%

問35 終末期および死後の手続き等で不安なことはありますか。（○はいくつでも）



※デジタル遺品…亡くなった人が残したデジタル情報や電子的な資産の総称。具体的には、パソコンやスマートフォン内のデータ、SNSアカウント、電子メール、オンラインバンキングの情報、インターネット上で契約したサブスクリプションサービスなど、デジタル空間に存在する多様な資産が含まれる。

第2章 調査結果の詳細／  
高齢者福祉に関する生活実態調査（調査A）

〈性別、年代別、家族構成別〉

性別で見ると、“男性”は「相続に関すること」が女性より高い。

年代別で見ると、“55～64歳”は「遺品整理（デジタル遺品含む）」が他の年代より高い。一方、“75歳以上”は「特になし」が他の年代より高い。

家族構成別で見ると、“ひとり暮らし”は「死後の役所への届け出」「死後の手続き等を頼める人がいない」が、“夫婦2人暮らし”は「相続に関すること」が他層より高い。一方、“息子・娘との2世帯”は「特になし」が他層より高い。

(%)

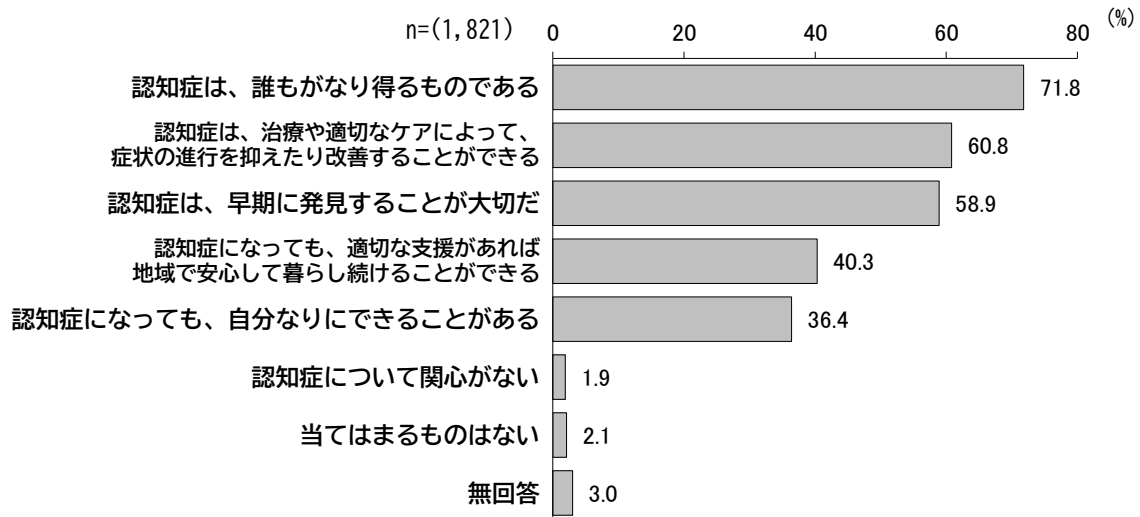
		n	遺品整理 (デジタル遺品含む)	銀行口座等の解約	相続に関すること	所有する不動産に 関すること	死後の役所への届け出	お墓に関すること	葬儀に関すること	死後の手続き等を 頼める人が続かない	その他	特になし	無回答
全体		1,821	42.0	27.5	23.8	20.6	18.9	16.4	14.1	11.3	3.0	28.2	4.7
性別	男性	786	40.2	28.0	28.2	22.4	18.2	17.0	14.4	8.5	2.0	27.7	3.9
	女性	1,029	43.6	27.3	20.5	19.4	19.6	16.0	14.0	13.4	3.8	28.6	5.0
年代	55～64歳	863	51.6	31.4	27.2	22.5	21.6	17.5	14.4	14.7	2.5	22.9	3.0
	65～74歳	453	43.9	28.9	24.1	22.1	19.6	19.9	16.1	10.8	2.4	26.0	3.5
	75～84歳	392	26.3	19.4	17.3	17.1	12.8	12.0	11.5	5.9	4.6	41.1	6.4
	85歳以上	84	14.3	21.4	16.7	11.9	19.0	9.5	14.3	3.6	4.8	35.7	16.7
家族構成	ひとり暮らし	491	47.0	30.5	19.6	21.6	26.7	14.1	15.7	20.2	4.7	27.1	4.1
	夫婦2人暮らし	786	41.5	27.0	26.8	21.4	17.9	17.2	13.0	10.1	1.5	26.8	4.2
	息子・娘との2世帯	202	32.7	19.3	21.8	16.8	8.9	15.3	7.9	1.5	2.0	36.1	7.9
	その他	322	42.5	30.1	24.2	20.2	16.8	19.3	18.6	6.8	4.3	28.6	3.4

## 10. 認知症

### （1）認知症についての考え

- 「認知症は、誰もがなり得るものである」が71.8%、「認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる」が60.8%、「認知症は、早期に発見することが大切だ」が58.9%

問36 あなたは認知症について、どのように考えていますか。（○はいくつでも）



#### 〈性別、年代別〉

性別で見ると、“女性”は「認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる」「認知症は、早期に発見することが大切だ」「認知症になっても、適切な支援があれば地域で安心して暮らし続けることができる」「認知症になっても、自分なりにできることがある」が男性より高い。

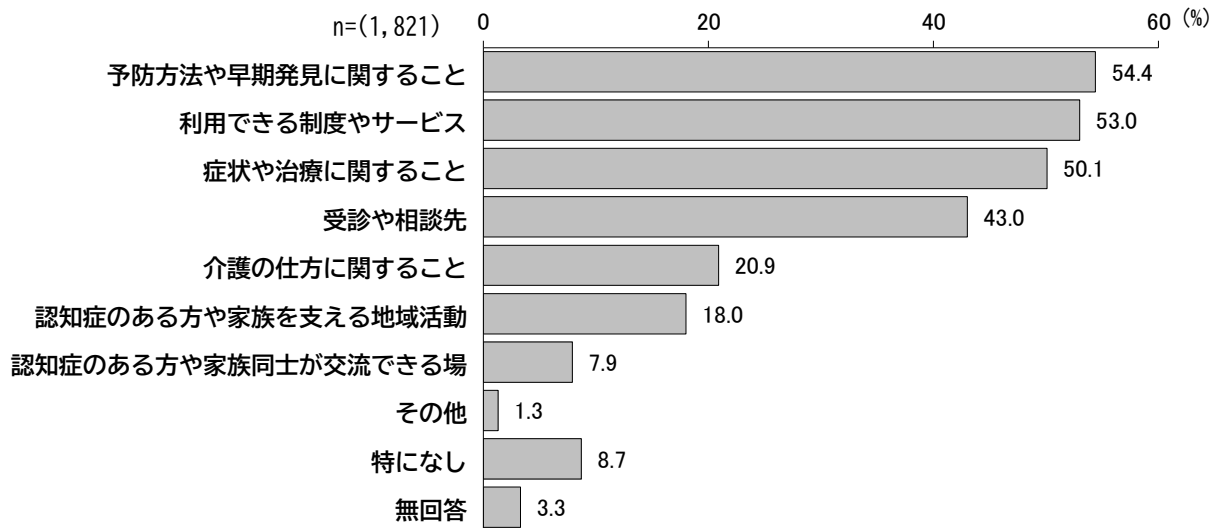
年代別で見ると、“75歳以上”は「認知症になっても、適切な支援があれば地域で安心して暮らし続けることができる」「認知症になっても、自分なりにできることがある」が74歳以下より高い。

		n	認知症は、誰もがなり得るものである	認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる	認知症は、早期に発見することが大切だ	認知症になっても、適切な支援があれば地域で安心して暮らし続けることができる	認知症になっても、自分なりにできることがある	認知症について関心がない	当てはまるものはない	無回答
全体		1,821	71.8	60.8	58.9	40.3	36.4	1.9	2.1	3.0
性別	男性	786	72.5	53.7	52.3	33.1	29.4	3.7	2.7	2.9
	女性	1,029	71.5	66.5	64.1	45.8	41.8	0.5	1.6	2.8
年代	55～64歳	863	74.6	62.6	60.0	37.9	35.7	1.3	2.2	2.5
	65～74歳	453	75.1	61.4	58.3	37.1	32.0	2.0	2.2	2.2
	75～84歳	392	65.8	61.0	60.5	49.0	42.6	2.0	1.5	2.8
	85歳以上	84	60.7	50.0	51.2	46.4	41.7	4.8	1.2	8.3

（2）認知症に関する欲しい情報

■「予防方法や早期発見に関すること」が54.4%、「利用できる制度やサービス」が53.0%、「症状や治療に関すること」が50.1%

問37 あなたが認知症に関する情報でもっと欲しいと思う内容は何ですか。（○はいくつでも）

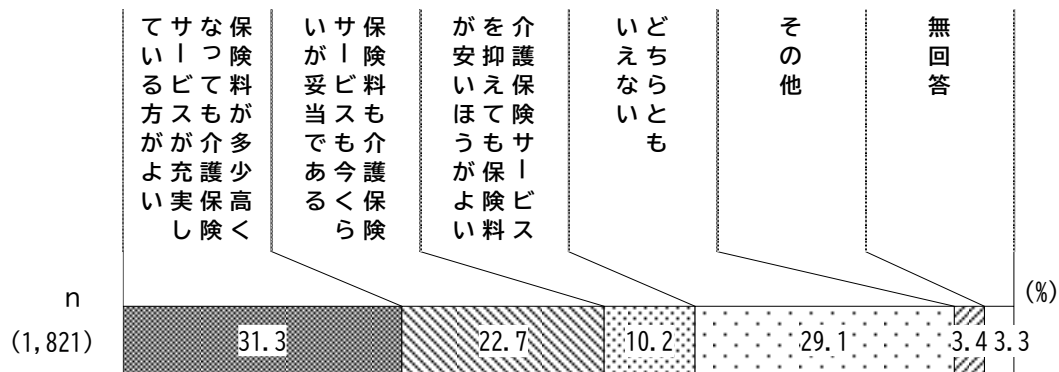


## 1.1. 今後の高齢者保健福祉施策

### (1) 介護保険サービスと介護保険料のあり方

■「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」が31.3%、「どちらともいえない」が29.1%

問38 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますが、あなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。（○は1つ）



〈性別、年代別、家族構成別〉

性別で見ると、“男性”は「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」が女性より、“女性”は「どちらともいえない」が男性より高い。

年代別で見ると、“85歳以上”は「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」が他の年代より高い。

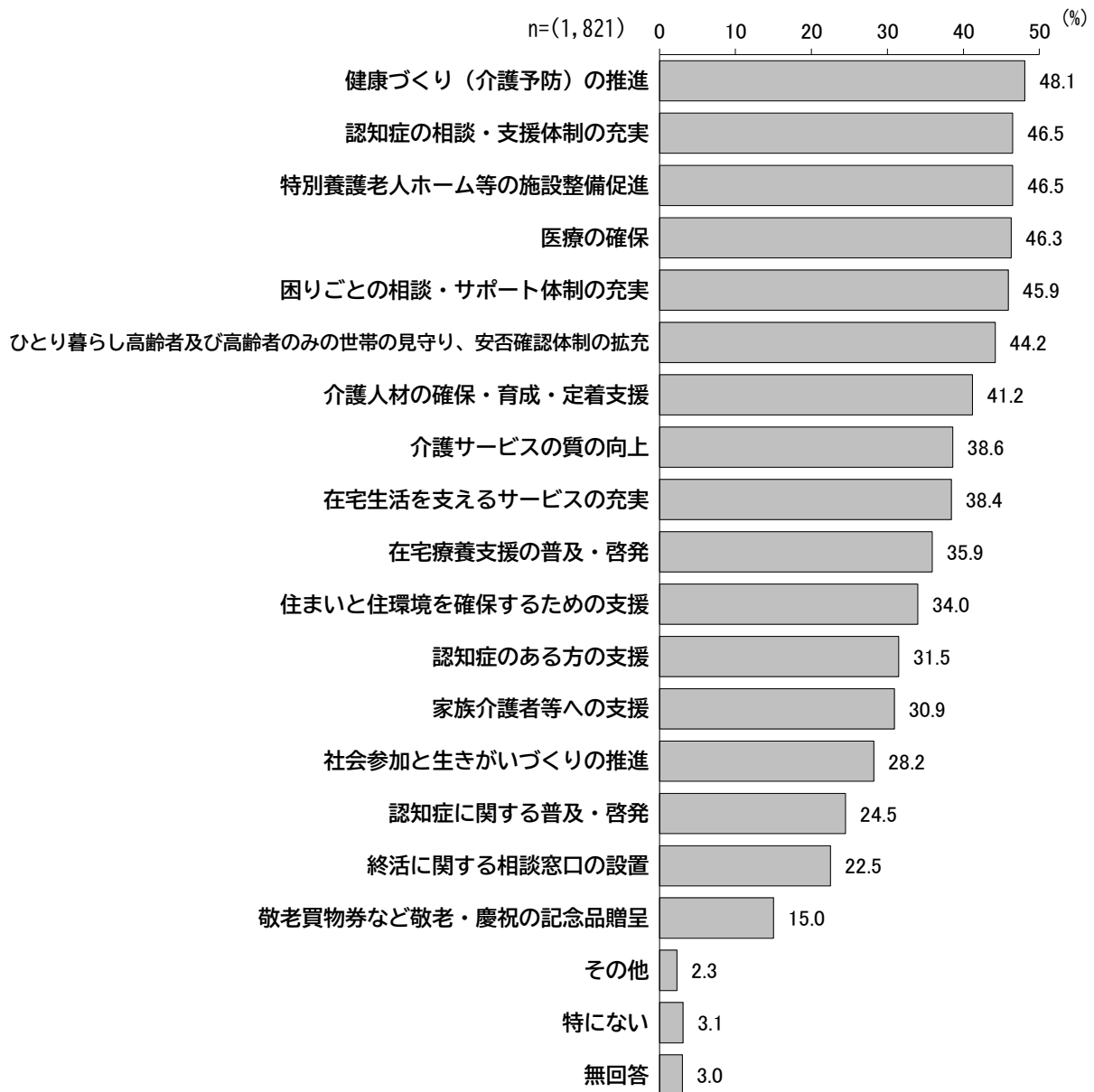
家族構成別では、大きな差異は見られない。

		n	保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい (%)	介護保険料もサービスもあдекватである (%)	どちらともいえない (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		1,821	31.3	22.7	10.2	29.1	3.4
性別	男性	786	34.7	22.4	11.8	24.9	3.4
	女性	1,029	28.8	23.0	8.9	32.3	3.0
年代	55～64歳	863	32.9	21.7	9.2	30.4	2.9
	65～74歳	453	26.7	23.0	12.6	30.9	2.9
	75～84歳	392	31.6	24.7	10.7	26.0	3.3
	85歳以上	84	39.3	22.6	6.0	20.2	7.1
家族構成	ひとり暮らし	491	30.3	20.6	11.8	30.1	3.1
	夫婦2人暮らし	786	33.8	23.2	8.0	28.6	2.9
	息子・娘との2世帯	202	31.2	21.3	10.4	27.2	5.0
	その他	322	27.3	26.4	13.0	29.2	2.5

（2）今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策

■「健康づくり（介護予防）の推進」が48.1%、「認知症の相談・支援体制の充実」「特別養護老人ホーム等の施設整備促進」がともに46.5%など、計7項目が4割台

問39 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思いませんか。（〇はいくつでも）



〈性別、年代別、家族構成別〉

性別で見ると、“女性”はほとんどの項目で男性より高く、なかでも「ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の見守り、安否確認体制の拡充」「在宅生活を支えるサービスの充実」で顕著となっている。

年代別で見ると、“55～64歳”は「困りごとの相談・サポート体制の充実」「医療の確保」「ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の見守り、安否確認体制の拡充」が他の年代より高い。また、“75歳以上”は「敬老買物券など敬老・慶祝の記念品贈呈が他の年代より高い。

家族構成別で見ると、“ひとり暮らし”は「ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の見守り、安否確認体制の拡充」が他層より高い。

(%)

		n	の健康づくり（介護予防）の推進	支援知症の相談・体制の充実	施設整備老人ホーム等の特別整備促進	医療の確保	サポーター体制の充実	安否確認体制の拡充	ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の見守り、	介護人材の確保・育成・定着支援	介護サービスの質の向上	在宅生活を支えるサービスの充実	在宅療養支援の普及
全体		1,821	48.1	46.5	46.5	46.3	45.9	44.2	41.2	38.6	38.4	35.9	
性別	男性	786	48.0	42.7	42.9	47.3	43.4	36.5	38.3	36.6	32.7	32.3	
	女性	1,029	48.4	49.6	49.5	45.8	47.9	50.1	43.6	40.1	42.8	38.7	
年代	55～64歳	863	48.4	50.3	48.4	51.2	52.8	49.1	46.0	41.4	40.0	37.0	
	65～74歳	453	49.2	46.8	49.2	46.4	43.3	41.1	41.7	40.0	38.2	34.0	
	75～84歳	392	47.7	42.3	42.6	37.8	37.0	40.1	33.7	34.2	38.0	38.0	
	85歳以上	84	42.9	33.3	33.3	40.5	33.3	33.3	28.6	28.6	31.0	28.6	
家族構成	ひとり暮らし	491	45.8	43.2	41.5	42.4	44.2	50.7	37.3	34.8	38.5	32.6	
	夫婦2人暮らし	786	50.0	48.3	49.2	47.7	46.3	43.5	42.9	40.8	38.3	37.0	
	息子・娘との2世帯	202	45.5	42.6	44.6	46.5	39.6	35.1	39.1	36.6	35.1	30.2	
	その他	322	49.4	50.0	50.3	50.3	52.2	42.9	45.7	40.7	41.0	42.5	

		n	確保する環境を支援	認知症のある方の支援	家族介護者等への支援	社会参加の推進	認知症に関する啓発	終活に関する設置	敬老・買物券など記念品贈呈	その他	特になし	無回答
全体		1,821	34.0	31.5	30.9	28.2	24.5	22.5	15.0	2.3	3.1	3.0
性別	男性	786	30.9	27.1	28.0	26.6	27.2	19.8	14.1	2.4	4.6	3.2
	女性	1,029	36.5	34.9	33.1	29.4	22.4	24.6	15.6	2.1	1.8	2.5
年代	55～64歳	863	39.9	38.1	32.4	31.9	26.4	26.9	10.1	2.5	2.5	2.3
	65～74歳	453	33.3	28.5	28.3	26.5	24.1	21.2	14.1	1.5	3.1	3.3
	75～84歳	392	26.5	24.0	30.6	24.0	20.4	17.1	24.5	2.6	2.3	3.6
	85歳以上	84	16.7	19.0	29.8	21.4	26.2	11.9	26.2	2.4	9.5	2.4
家族構成	ひとり暮らし	491	37.9	27.5	18.1	27.9	24.0	26.7	13.6	2.2	4.9	3.3
	夫婦2人暮らし	786	32.1	30.8	33.1	27.9	23.3	21.6	14.2	2.3	2.8	2.0
	息子・娘との2世帯	202	31.2	32.2	36.6	26.2	26.2	15.8	16.3	2.5	2.5	3.5
	その他	322	35.1	39.8	41.6	30.4	28.0	23.0	18.0	1.9	1.2	3.1

## 12. 自由記述

問40 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。

### ①外出や楽しみについて

- ・敬老大会は毎年楽しみにしている。バラエティ的なものとか歌謡ショーとかあったら嬉しい。
- ・季節的に無理のない旅行、ハイキング等を希望します。
- ・なかなか主人が参加してもお知り合いになれるキッカケがつかめない様で、1回だけの参加になっている。夫婦で楽しむ仲間が出来る様な何回か続く活動に参加したい。

### ②社会的な活動や地域活動等について

- ・会計年度任用職員制度において、高齢者も参加就労できる枠がもう少し広がればいいのと思う。
- ・地域の知識のある人を活用して、認知症等の講演を多く行い啓発できれば良いと思う。

### ③日常生活に関する情報について

- ・最後まで中央区に住みたいと思っている。どうすればどのように住み続けることができるのか知りたいし、総合的にアドバイスしてもらえる窓口が欲しい。こちらはまだ元気なので逆に受けられるサービス、相談の窓口が思い当たらない。有料のサービスでもいいので終活相談窓口を希望する。
- ・地域でのつながりが広がるような施設、相談場所、人の配置を。
- ・様々な面で不安が多くなってくると思うので、いつでもフランクに相談ができる窓口があると安心できると思う。その窓口を多くの（できれば全ての）方々に知ってもらえることを期待している。安全で安心な情報が正しく伝わってほしい。

### ④健康教室や健康づくり事業について

- ・健やかに生きるためのエクササイズ運動や、いつまでも美しく自分の足で歩けるエクササイズ等のサークル・シニアサークルを増やし、広報してほしい。
- ・軽度認知症でも通える運動教室などがあればと思う。家族も参加してみなさんで情報を共有出来ればと思う。
- ・健康づくり（介護予防）や認知症に関する知識の普及に役立つ講座や、Webセミナーの開催、区内歴史名所巡り、区のHPや区のおしらせ等の広報誌で健康長寿のヒントとなる情報、事例の共有をしてほしい。

### ⑤交流サロンや趣味の講座等について

- ・高齢者同志だけでなく、若い方々との交流機会を設けて欲しい。
- ・音楽、絵画、写真等自から手掛けるものとして、趣味を中心とした高齢者の集まりというものが少ない。

- ・若者も高齢者も孤独になると弱っていく。お互いに助け合いながら、暮らしていく事が大切。血のつながりがなくても中央区に暮らす人達が中央区ファミリーとして、世代間の交流や理解を深めるイベントがあるといい。

#### ⑥災害時の対応について

- ・民生委員が高齢化して機能していないのが心細い。できれば実態を調査していただき、対応策を講じていただきたい。地域のNPO法人が毎日のオンライン（→安否確認＋フレイル予防）や運動クラスや防災訓練などの活動をしているが、資金面で苦しそうである。既存のNPOなどを積極的に支援して、元気に年を重ねられるよう配慮していただけると嬉しい。

#### ⑦介護の希望や老い支度について

- ・今後のサービスに民間も参入してくるが、高額料金と将来についての安心材料（情報）が少なすぎる。公共のサービスで、死後事務処理までの登録をしてほしい。これなら有料でも活用したい。
- ・終活の準備が必要な年令なので具体的な情報や説明会等を設けてほしい。
- ・子供がいないので、老後のことが心配。終活のことをまだ具体的に考えたことはないが、このアンケートでそろそろ本格的に考えなければいけないと感じた。何から準備を進めたらよいか分からないし、どこに相談に行ったらよいか分からない。

#### ⑧高齢者保健福祉施策について

##### ●生活支援サービス

- ・高齢化が進む日本で少子化対策が急務である事は理解できるが、子育てに特別な支援も無く（学費や給付金）三人も大学まで育てた家庭にとっては老後の生活が不安しかない。高齢者支援の充実を。
- ・国民年金だけでは生活は年々難しくなっていくため、仕事が出来なくなった時、生活が厳しくなることが想定される。そのための相談などの支援を充実してほしい。
- ・高齢者の仕事探しの相談や紹介などの支援を充実してほしい。

##### ●住まい

- ・家賃急騰により、他の賃貸物件を捜しているが、高齢者は入居が困難。身元保証等も含めて、生活の拠点である住宅の確保の支援をしてほしい。
- ・できるだけ自立した生活を安全に続けたい。一人暮らしのため、不安もあるが、どうしたらよいか分からないことばかり。賃貸住宅をいつまで貸してもらえるか心配。
- ・実母の高齢者民間住宅について、お年寄相談センターに問い合わせて、いくつか業者を紹介してもらった。そこは自社が提携している所しか情報がなく、結局自分達で近所を回って民間施設を捜した。中央区の高齢者住宅一覧などを用意してほしい。

### ●経済的な支援策

- ・ 予防や公的サービス充実にも費用がかかる事をもっと社会的に周知、理解を進めた方が良いと思う。
- ・ 介護人材不足が不安。保険料が上がると年金だけでは、生活が困窮するのではと不安がある。
- ・ 60歳で定年になるのに年金支給が65歳はおかしい。晩婚化で子供も小さいのにやっていけない。支援してもらっても否応なく固定資産税をとられるのも納得しかねる。生活保護支給や外国人への支援を見直してまともに生きている日本人へお金を使ってほしい。

### ●まちづくり

- ・ 中央区は医療に関し小さなクリニックは多数だが、安心して入院出来る大型専門の病院が少ない。かかりつけ医も紹介するのに苦労している。高層マンションより生活を充実して人口が少なくても生活費のかからない住みやすい環境にしたら老後は十分楽しめたと思う。
- ・ 一人暮らしの高齢者が歩き易い道の整備。歩道を歩いている高齢者が自転車とぶつかりそうになることを見かける機会が良くある。
- ・ 高齢者の中には生活環境の違いや個性の違いで介護方法に違いが出ると思うが、このようなデータを元に行政として負担が増えない細かなサービスの提供をお願いしたい。特に予防対策の強化による負担軽減を期待する。

### ●家族の介護

- ・ 子供が親をみる…という時代は終わったように思える。年をとり、施設に入るような事になった場合、国が、老人が、それなりに幸せに生活できるような施設整備に力を入れてほしい。
- ・ これから益々高齢者の割合が多くなり、実際自分や家族に介護が必要になった時に受けられるサービスは、その時点でどうなっているのかという漠然とした不安はあるが、行政の情報等を随時チェックしていこうと思う。
- ・ 仕事をしながら、認知症母をみることは困難。相談できるところがほしい。

### ●介護サービス

- ・ 在宅での、その人に合った多様なサービスの提供が大事だと思う。
- ・ 残念ながら中央区のサービス内容をよく知らなかった。これを機会に、お知らせや、中央区のCHUO CITY NEWSなどで、もっと知識を得て自分も積極的に検討したいと思う。
- ・ 健康づくり、予防、介護人材の確保と質の維持をお願いしたい。特に介護人材の処遇の改善を。
- ・ 今後、更なる高齢化と共に増えるであろう介護を必要とする人、在宅での生活が難しくなる人等に備えて施設の数を増やしてほしい。

### ⑨その他

- ・ 今まであまりこれから自分に起こりえる老後問題を考えたことがなかったので、このアンケートで、いろいろな気づきがありよかった。60才過ぎて年齢の段階で差はあるとは思いますが、備えるチェックポイントなど発信があると良いと思う。

- ・高齢者対策には、自助、共助、公助があるが、できるかぎり自助を目指して頑張りたいと思っている。
- ・高齢者に温かい中央区であってほしい。
- ・今はまだそこまで考えた事がないのが正直なところ。敬老館の利用やスポーツセンターの使用料の免除など、高齢者のメリットがいくつもあるようで、中央区は他よりも恵まれているのかなという印象。
- ・高齢者を一括りにしないで、年齢、体調、性別、など細分化し、かつ色々選択が可能であればなお良いと思う。



## 第3章 調査結果の詳細／

### 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（調査B）

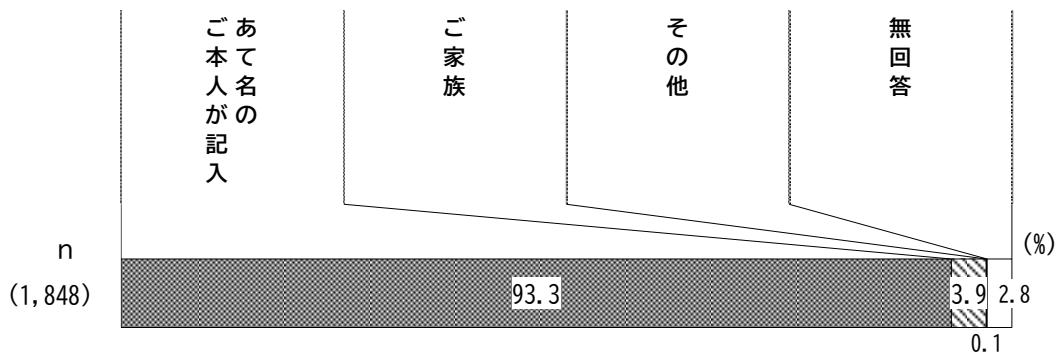


## 1. 回答者の属性

### (1) 調査票の記入者

■「あて名のご本人が記入」が93.3%

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。（○は1つ）

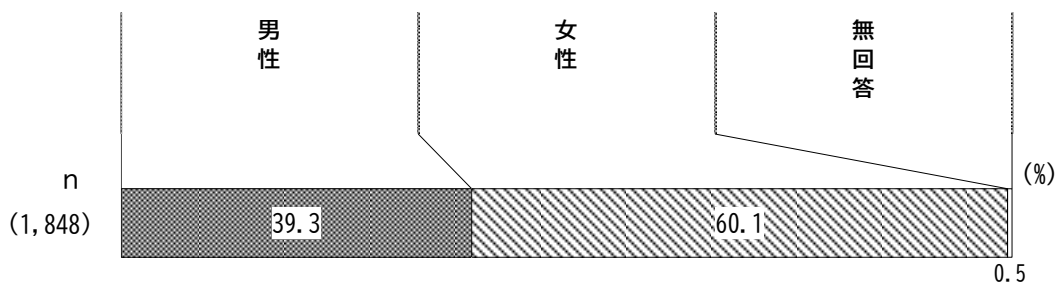


### (2) 性別・年齢

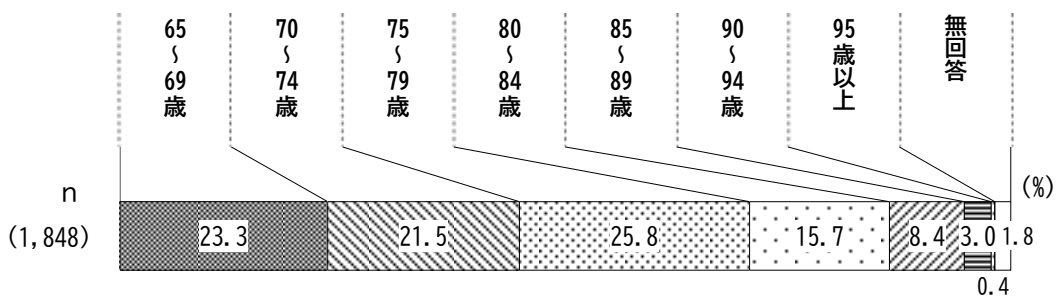
■性別は「女性」が60.1%、満年齢では「75～79歳」が25.8%、「65～69歳」が23.3%、「70～74歳」が21.5%

問2 あなた（あて名のご本人を指します。以下の各設問についても同じです。）の性別と令和7年10月1日現在の満年齢を記入してください。

#### ①性別



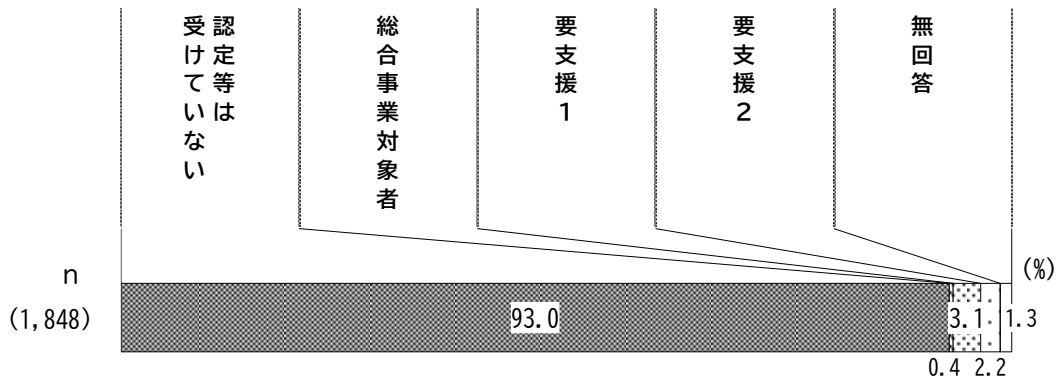
#### ②満年齢



(3) 要介護度等

■「認定等は受けていない」が93.0%

問3 あなたの現在の要介護度等をお答えください。(○は1つ)

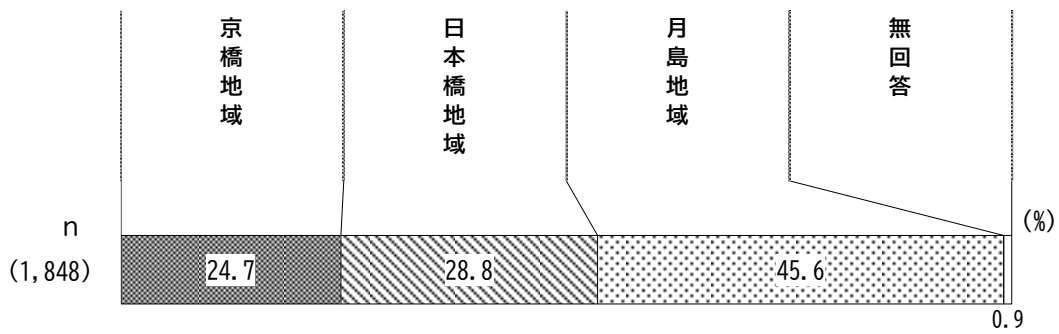


※総合事業対象者…要支援1、要支援2以外で生活機能の低下がある方です。

(4) 居住地域

■「月島地域」が45.6%

問4 現在あなたのお住まいになっている地域はどこですか。(○は1つ)

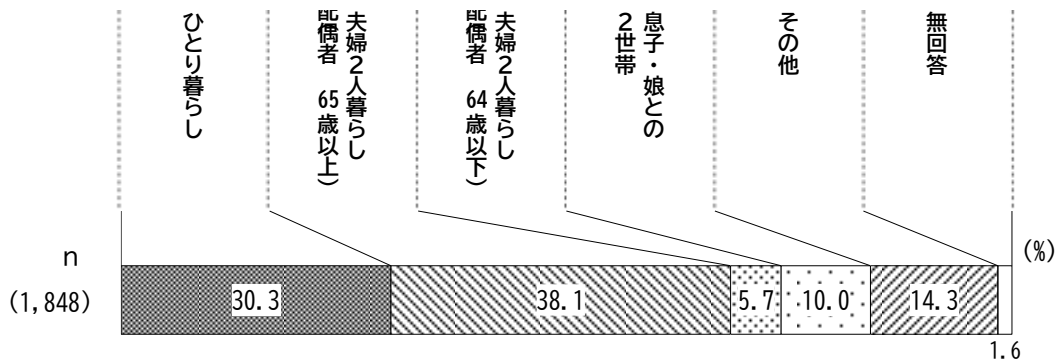


## 2. 家族や生活状況

### (1) 家族構成

■『夫婦2人暮らし』（配偶者65歳以上+同64歳以下）が43.8%、「ひとり暮らし」30.3%

問5 家族構成をお教えてください。（○は1つ）



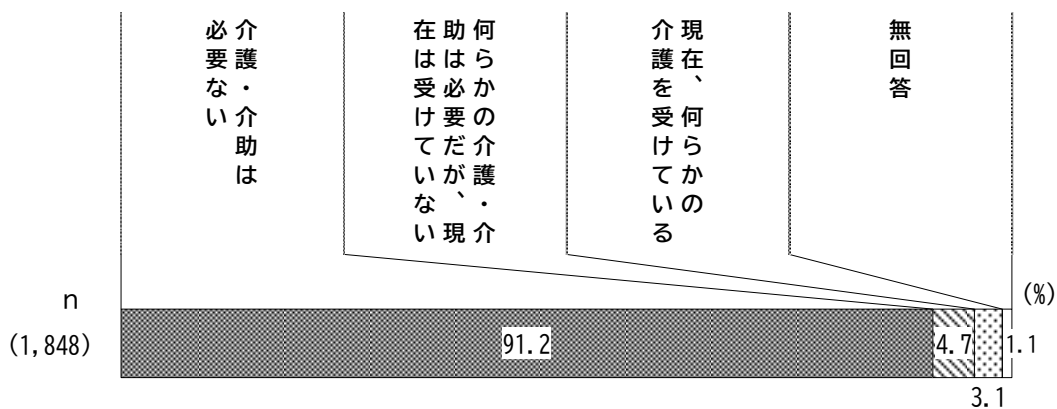
〈その他の回答〉

○兄弟・姉妹 ○施設に入居している

### (2) 介護・介助の要否

■「介護・介助は必要ない」が91.2%

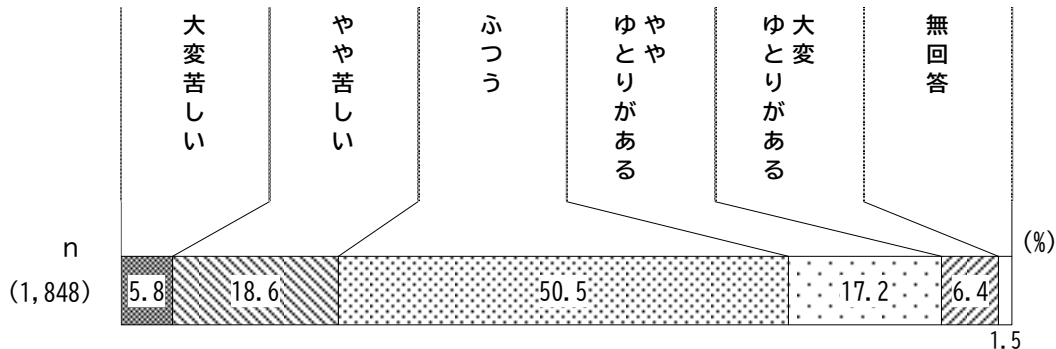
問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は1つ）



（3）経済的な生活状況

■「ふつう」が50.5%

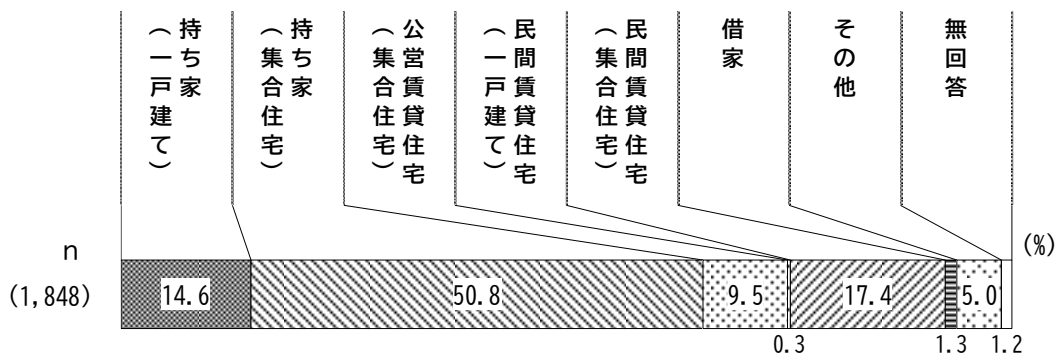
問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は1つ）



（4）住宅の種類

■「持ち家（集合住宅）」が50.8%

問8 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○は1つ）



〈居住地域別〉

居住地域別で見ると、“日本橋地域”は「持ち家（集合住宅）」が、“月島地域”は「公営賃貸住宅（集合住宅）」が他層より高い。

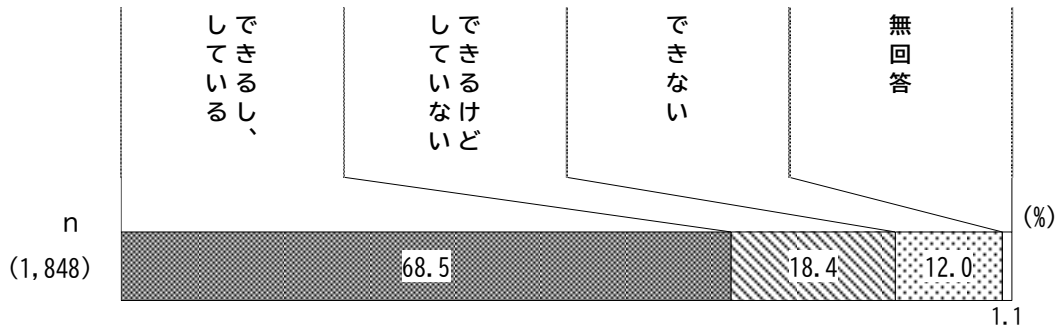
		n	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	公営賃貸住宅（集合住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
全体		1,848	14.6	50.8	9.5	0.3	17.4	1.3	5.0	1.2
居住地域	京橋地域	456	19.5	47.6	7.0	-	18.6	1.5	5.0	0.7
	日本橋地域	533	18.9	56.5	1.7	0.4	16.1	1.1	5.1	0.2
	月島地域	843	9.5	49.5	15.9	0.4	17.8	1.3	5.0	0.7

### 3. からだを動かすこと

#### (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

■「できるし、している」が68.5%

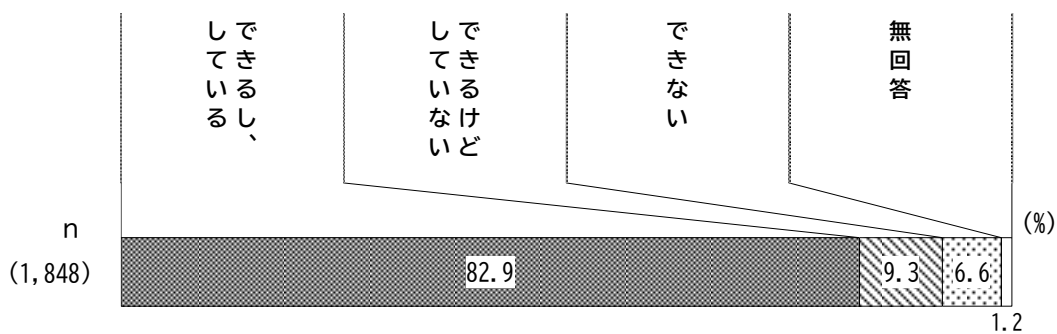
問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)



#### (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

■「できるし、している」が82.9%

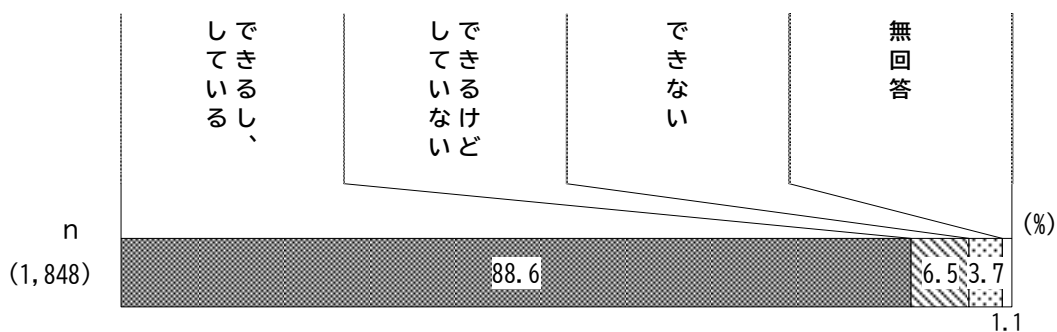
問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)



#### (3) 15分程度続けて歩くこと

■「できるし、している」が88.6%

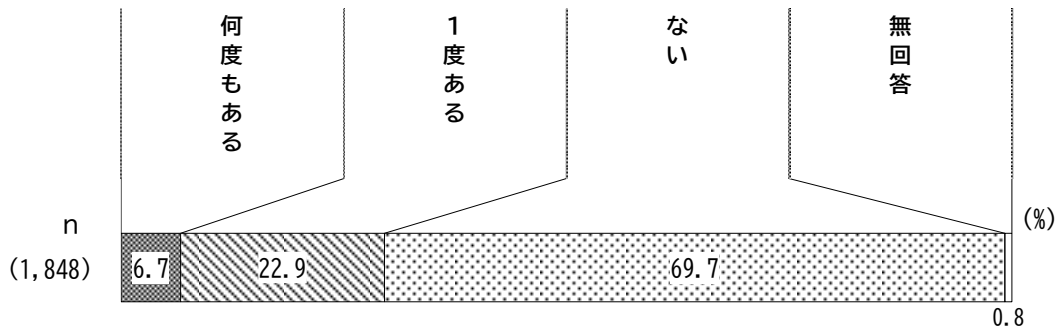
問11 15分位続けて歩いていきますか。(○は1つ)



（4）過去1年間に転んだ経験

■「ない」が69.7%、「1度ある」が22.9%

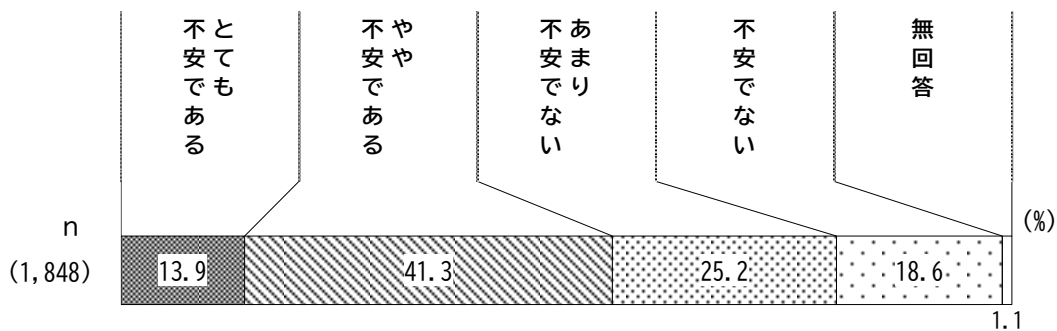
問12 過去1年間に転んだ経験がありますか。（○は1つ）



（5）転倒に対する不安度

■不安に感じている割合（「とても不安である」＋「やや不安である」）が55.2%

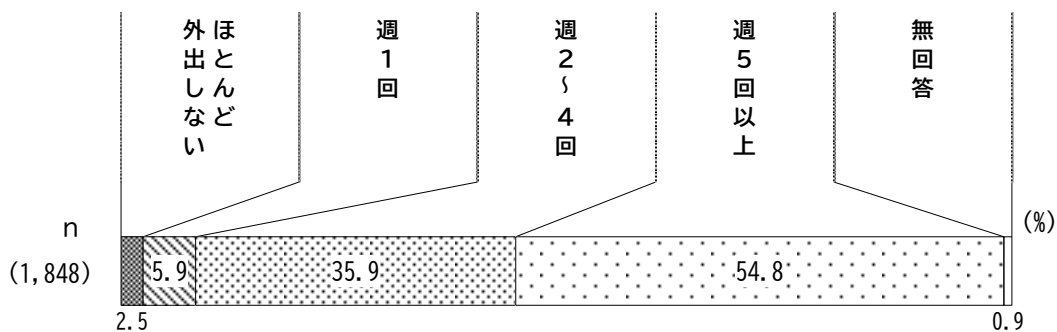
問13 転倒に対する不安は大きいですか。（○は1つ）



（6）外出の頻度

■「週5回以上」が54.8%、「週2～4回」が35.9%

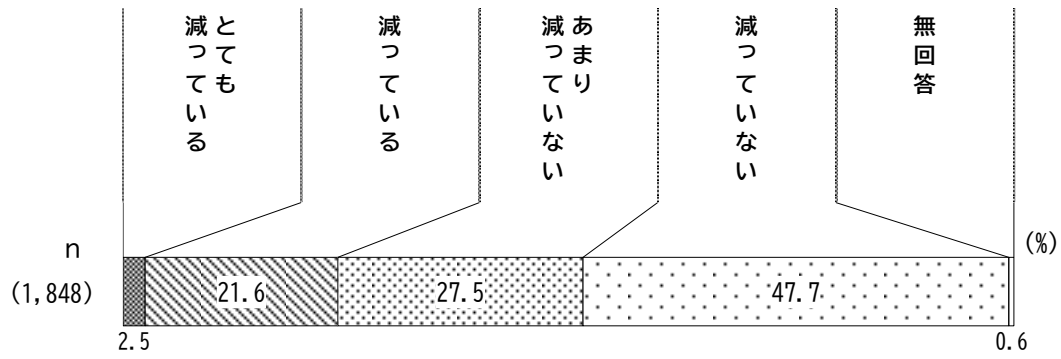
問14 週に1回以上は外出していますか。（○は1つ）



（7）外出回数の減少状況

■「減っていない」が47.7%

問15 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は1つ）



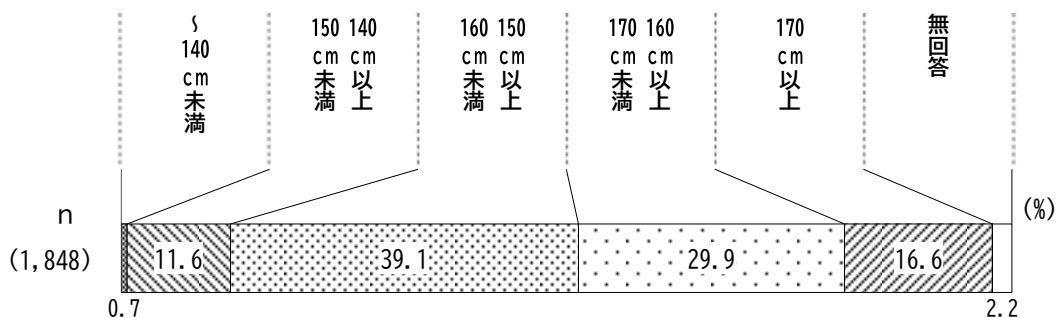
## 4. 食べること

### (1) 身長・体重・BMI

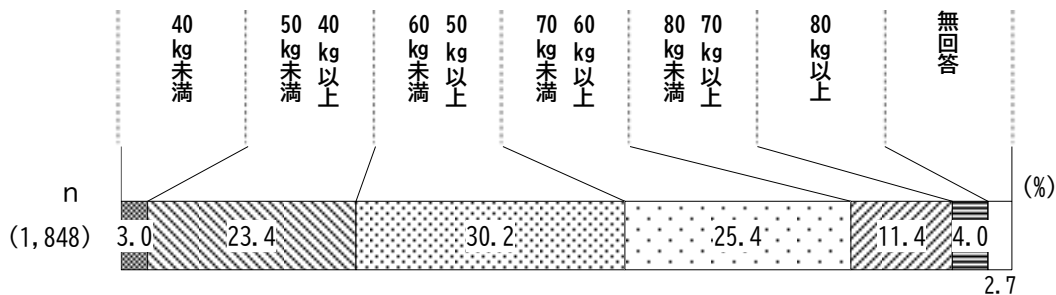
■BMIは「普通（BMI 18.5以上～25.0未満）」が65.4%

問16 身長・体重

(身長)



(体重)

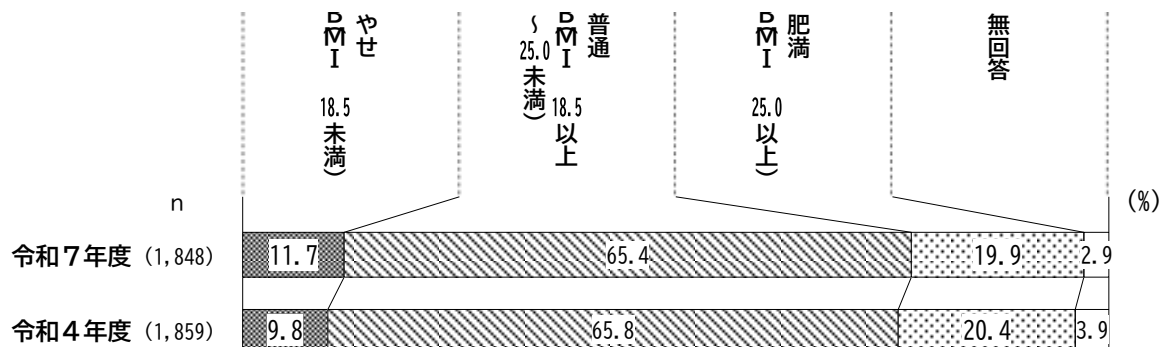


### BMI

BMI（ボディマス指数）：体重と身長の関係から肥満度を表す体格指数

・  $BMI = \text{体重 (kg)} \div (\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)})$

・ 18.5未満：低体重 / 18.5～25未満：普通体重 / 25以上：肥満



令和4年度の調査結果と比較すると、大きな差異は見られない。

〈性・年代別〉

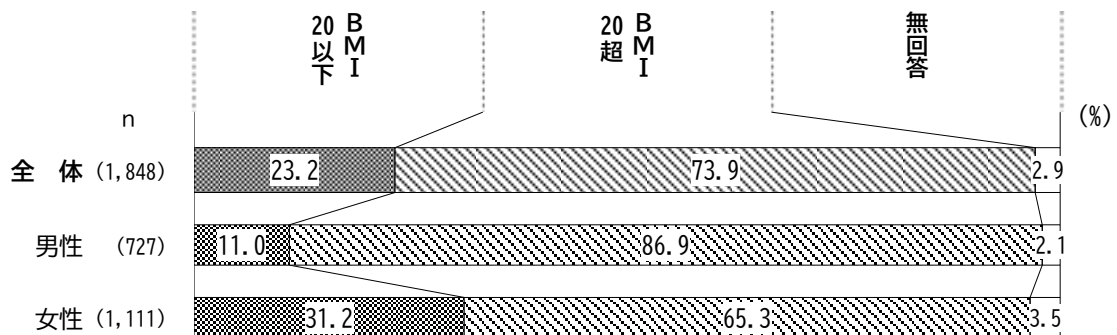
性・年代別で見ると、“男性の65～84歳”は「肥満（BMI 25.0以上）」が、“女性の85歳以上”は「やせ（BMI 18.5未満）」が他層より高い。

		n	BMI やせ 18.5 未満	BMI 普通 18.5 以上 25.0 未満	BMI 肥満 25.0 以上	無回答
全 体		1,848	11.7	65.4	19.9	2.9
性・ 年代	男性/65～74歳	351	3.1	69.8	25.9	1.1
	男性/75～84歳	294	6.8	67.0	23.5	2.7
	男性/85歳以上	73	8.2	74.0	13.7	4.1
	女性/65～74歳	477	15.7	63.7	18.7	1.9
	女性/75～84歳	473	15.6	61.7	18.2	4.4
	女性/85歳以上	147	19.0	64.6	11.6	4.8

〈BMI 20以下（低栄養傾向）／性別〉

低栄養傾向となるBMI 20以下の割合は、全体では23.2%となっている。

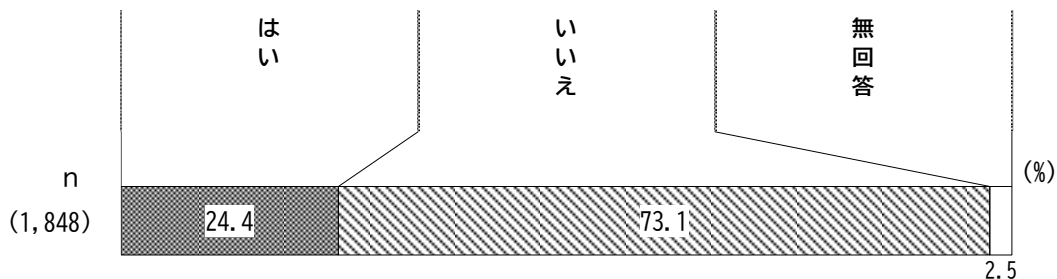
性別で見ると、“男性”は11.0%、“女性”は31.2%で、女性は男性より20%以上高い。



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくい

■ 「いいえ」が73.1%

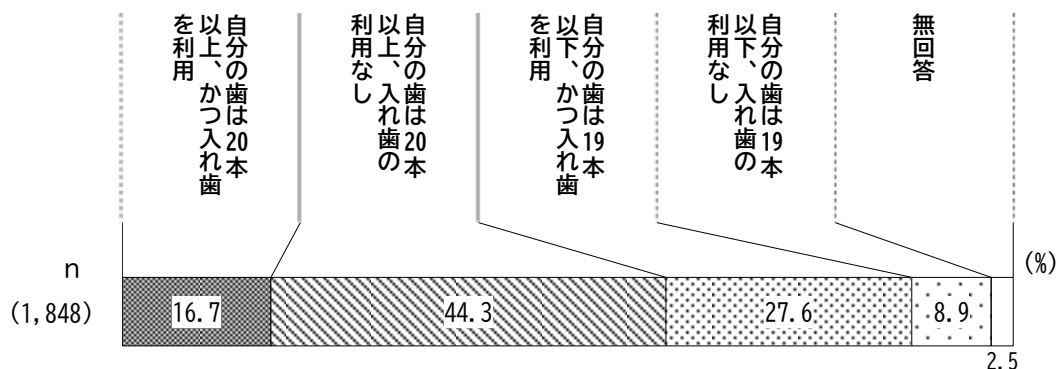
問17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)



(3) 歯の本数と入れ歯の有無

■ 「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が44.3%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」27.6%

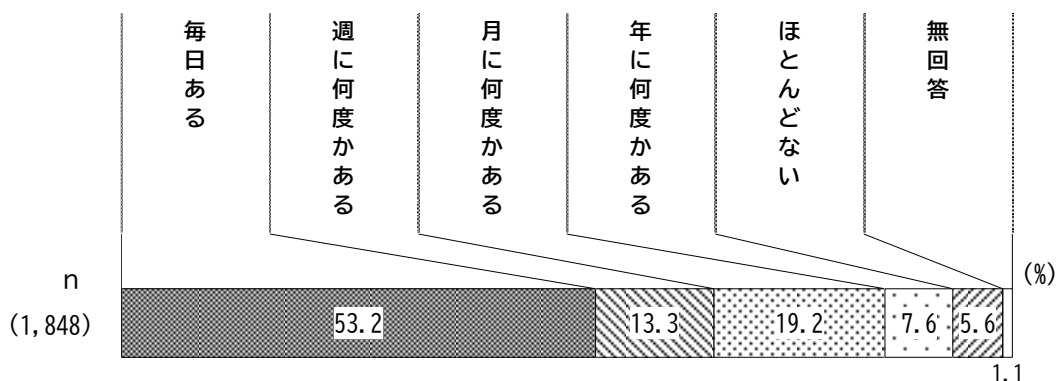
問18 歯の数と入れ歯の利用状況をお聞きます。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○は1つ)



(4) 共食の機会

■ 「毎日ある」が53.2%

問19 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

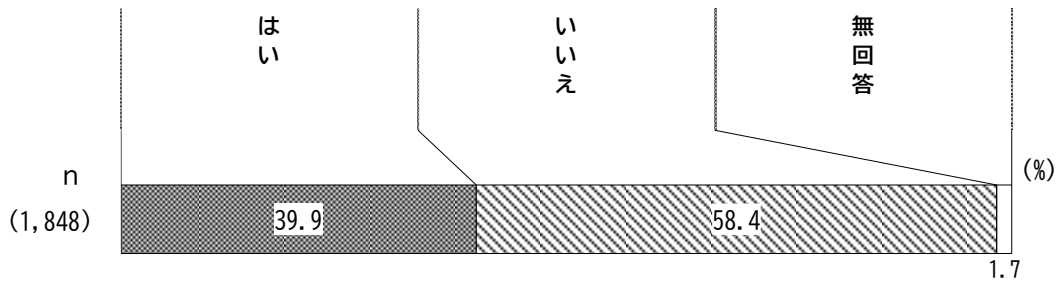


## 5. 毎日の生活

### （1）認知機能の状況

■「いいえ」が58.4%

問20 物忘れが多いと感じますか。（○は1つ）



〈性・年代別〉

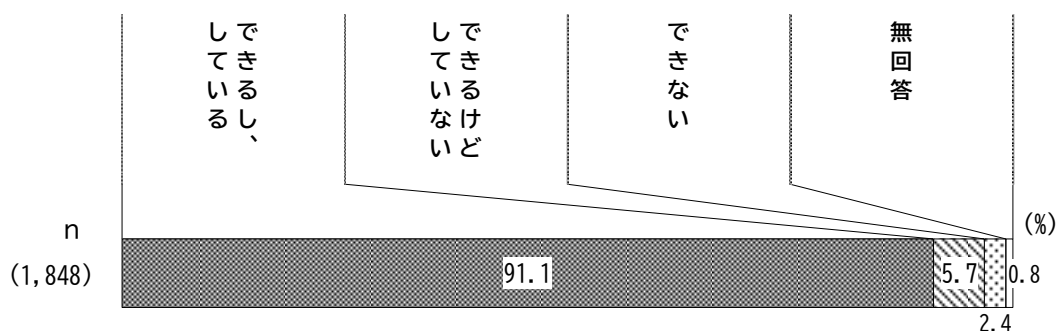
性・年代別で見ると、男女ともに年代が上がるにつれ「はい」が高くなり、“女性の85歳以上”は5割を超えている。

		n	はい	いいえ	無回答
全体		1,848	39.9	58.4	1.7
性・年代	男性/65～74歳	351	37.3	62.1	0.6
	男性/75～84歳	294	41.8	57.1	1.0
	男性/85歳以上	73	42.5	57.5	-
	女性/65～74歳	477	34.4	65.2	0.4
	女性/75～84歳	473	40.8	55.6	3.6
	女性/85歳以上	147	53.1	42.2	4.8

### （2）交通手段を使って1人で外出できるか

■「できるし、している」が91.1%

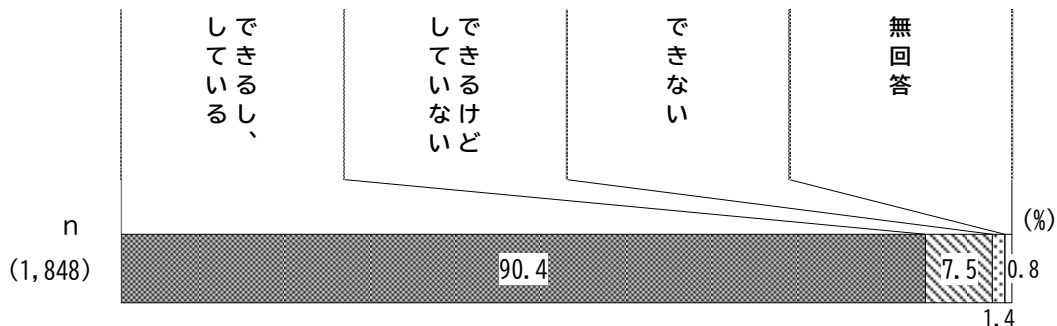
問21 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（○は1つ）



(3) 自分で買物ができるか

■「できるし、している」が90.4%

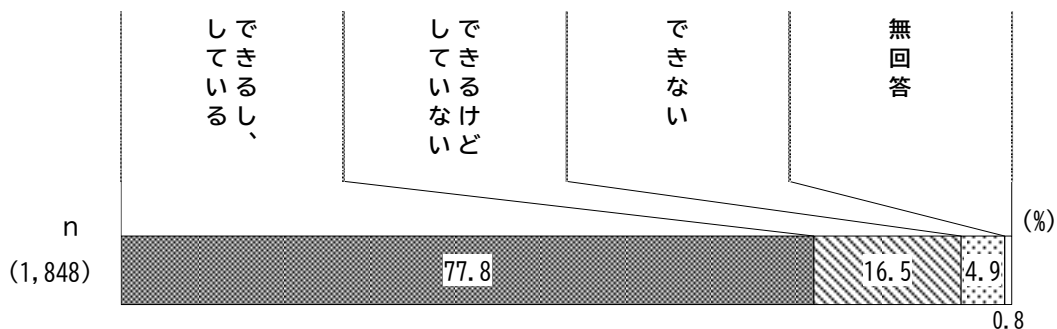
問22 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)



(4) 自分で食事の用意ができるか

■「できるし、している」が77.8%

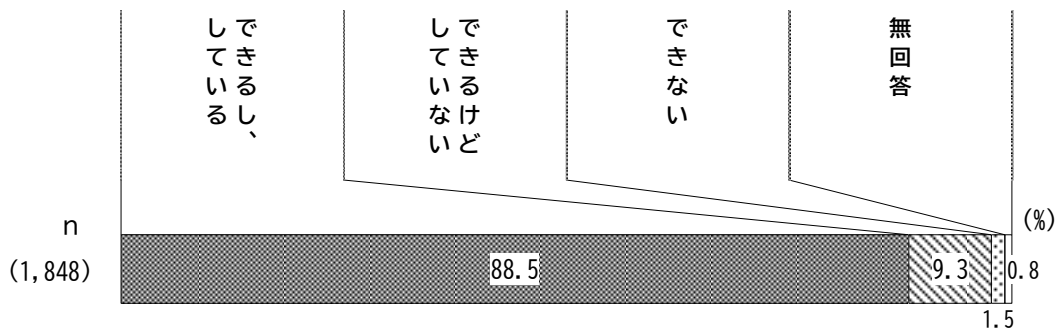
問23 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)



(5) 自分で請求書の支払いができるか

■「できるし、している」が88.5%

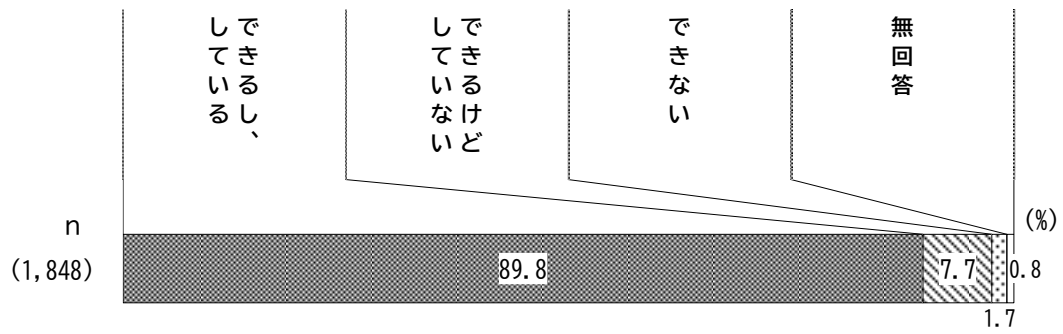
問24 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)



(6) 自分で預貯金の出し入れができるか

■「できるし、している」が89.8%

問25 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)



## 6. 地域での活動

### （1）社会参加の状況

■ “収入のある仕事”を除き、「参加していない」が約6割から8割

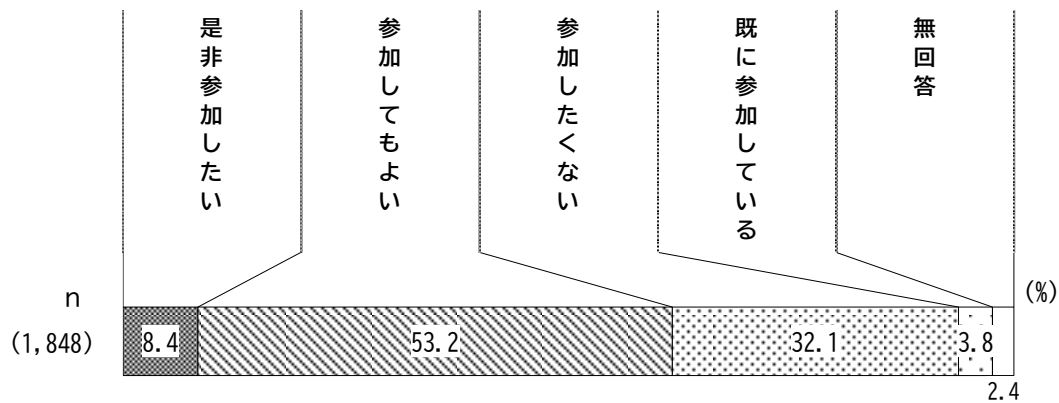
問26 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。（①から⑧それぞれ○は1つ）

		(%)						
	n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	1,848	0.5	1.4	1.3	4.8	4.0	74.4	13.6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1,848	4.8	10.4	6.9	5.2	2.7	59.3	10.8
③趣味関係のグループ	1,848	1.4	3.7	5.2	12.4	5.0	61.4	10.8
④学習・教養サークル	1,848	0.6	1.3	2.6	4.9	3.4	73.8	13.4
⑤高齢者通いの場などの月1回以上開催されている主に高齢者向けのサロン	1,848	0.4	0.8	1.5	2.2	2.1	80.7	12.4
⑥高齢者クラブ	1,848	0.4	1.1	1.1	2.1	1.7	80.9	12.7
⑦町会・自治会	1,848	0.4	0.7	0.6	4.9	10.4	70.8	12.2
⑧収入のある仕事	1,848	21.7	8.5	1.9	3.0	2.9	52.2	9.8

（2）地域づくりへの参加者としての参加意向

■「参加してもよい」が53.2%、「参加したくない」が32.1%

問27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）



〈性・年代別〉

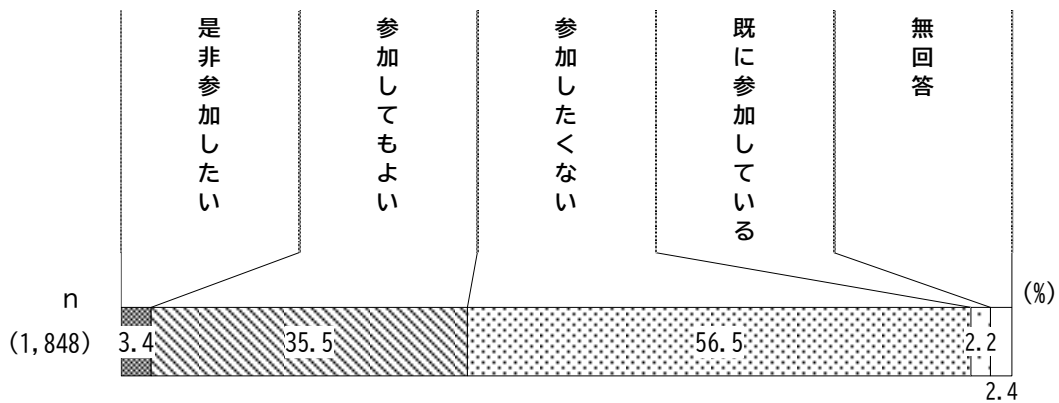
性・年代別で見ると、“女性の各年代”で「是非参加したい」「参加してもよい」が男性の同年代より高い。

		n	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		1,848	8.4	53.2	32.1	3.8	2.4
性・年代	男性/65～74歳	351	5.4	51.0	41.3	1.1	1.1
	男性/75～84歳	294	5.8	50.3	34.7	5.4	3.7
	男性/85歳以上	73	5.5	47.9	41.1	4.1	1.4
	女性/65～74歳	477	9.4	57.2	27.3	4.4	1.7
	女性/75～84歳	473	10.6	55.0	26.6	4.7	3.2
	女性/85歳以上	147	11.6	51.0	30.6	3.4	3.4

（3）地域づくりへの企画・運営者としての参加意向

■「参加したくない」が56.5%、「参加してもよい」が35.5%

問28 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）



〈性・年代別〉

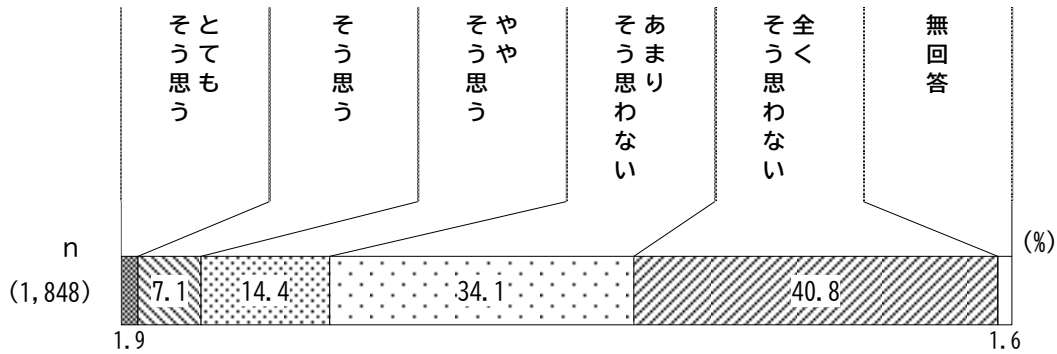
性・年代別で見ると、“男性の85歳以上”で「参加してもよい」が他層より高いのとは対照的に、“女性の85歳以上”は低くなっている。

		n	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		1,848	3.4	35.5	56.5	2.2	2.4
性・年代	男性/65～74歳	351	3.1	32.5	62.4	1.1	0.9
	男性/75～84歳	294	3.1	36.7	55.4	3.1	1.7
	男性/85歳以上	73	2.7	41.1	53.4	2.7	-
	女性/65～74歳	477	3.1	37.1	55.1	2.7	1.9
	女性/75～84歳	473	4.0	37.4	53.7	1.7	3.2
	女性/85歳以上	147	4.8	27.9	57.8	1.4	8.2

（4）地域の人からの期待や頼り

■「全くそう思わない」が40.8%、「あまりそう思わない」が34.1%

問29 あなたは地域の人等から何らかの役割を期待されたり頼りにされていると思いますか。  
（○は1つ）



〈性・年代別〉

性・年代別で見ると、“男性の75歳以上”は『そう思う』（とてもそう思う＋そう思う＋ややそう思う）が3割を超えている。

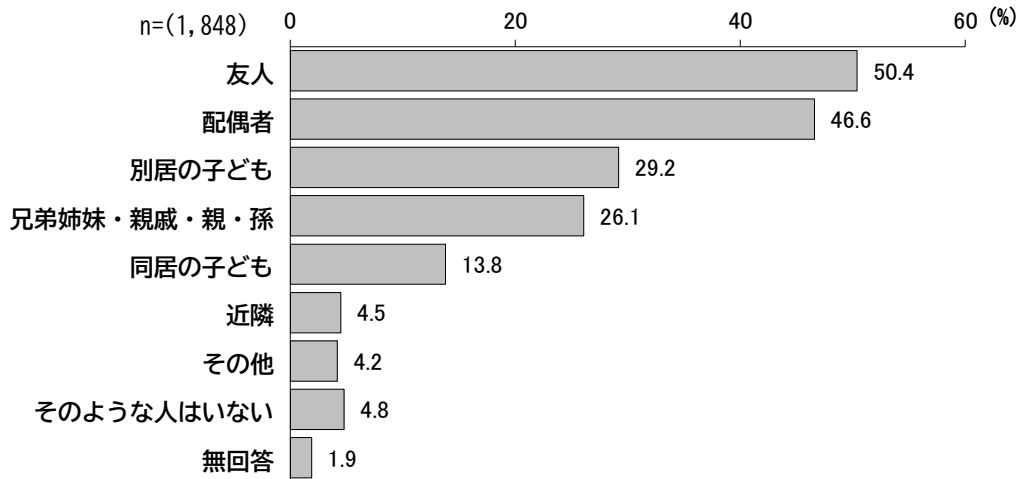
		n	とても思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
全体		1,848	1.9	7.1	14.4	34.1	40.8	1.6
性・年代	男性/65～74歳	351	1.7	6.3	13.1	35.9	42.2	0.9
	男性/75～84歳	294	2.7	9.9	20.1	30.6	36.4	0.3
	男性/85歳以上	73	5.5	8.2	17.8	31.5	35.6	1.4
	女性/65～74歳	477	1.9	5.2	14.5	31.4	45.7	1.3
	女性/75～84歳	473	1.3	8.2	12.3	36.8	38.7	2.7
	女性/85歳以上	147	1.4	4.8	12.2	36.7	40.8	4.1

## 7. たすけあい

### （1）愚痴を聞いてくれる人

■「友人」が50.4%、「配偶者」が46.6%

問30 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（○はいいくつでも）



#### 〈性別〉

性別で見ると、“男性”は「配偶者」が女性より、“女性”は「友人」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が男性より高い。

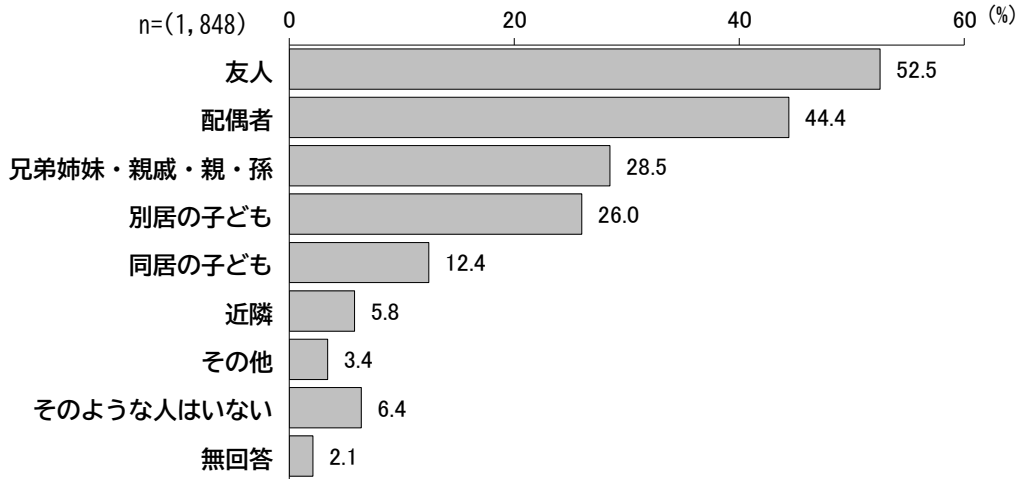
(%)

		n	友人	配偶者	別居の子ども	親兄弟姉妹・親戚・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,848	50.4	46.6	29.2	26.1	13.8	4.5	4.2	4.8	1.9
性別	男性	727	33.0	66.7	19.1	14.4	8.7	2.9	5.1	7.4	1.5
	女性	1,111	61.8	33.7	35.7	33.5	17.2	5.7	3.5	3.1	2.1

(2) 愚痴を聞いてあげる人

■「友人」が52.5%、「配偶者」が44.4%

問31 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。（○はいくつでも）



〈性別〉

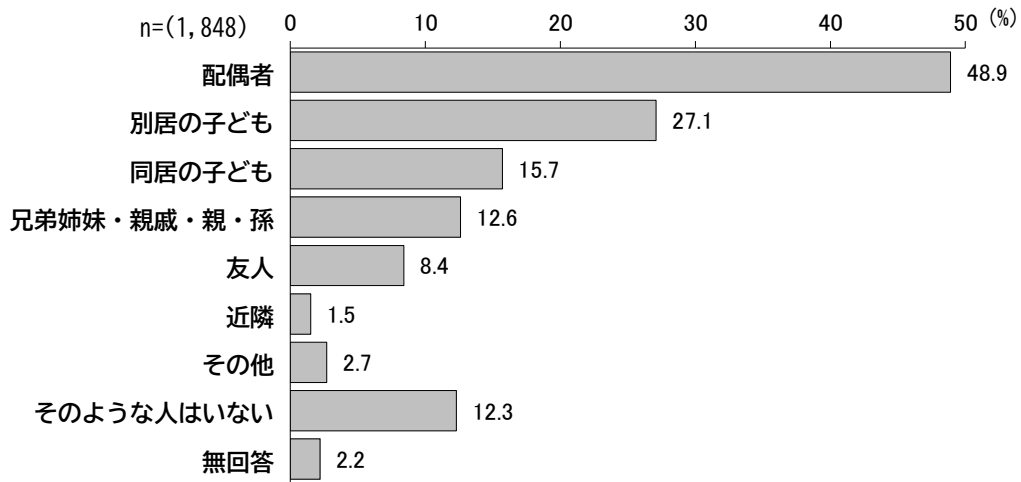
性別で見ると、“男性”は「配偶者」が女性より、“女性”は「友人」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「別居の子ども」が男性より高い。

		(%)									
		n	友人	配偶者	親・兄弟姉妹・親戚・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	いそなような人は	無回答
全体		1,848	52.5	44.4	28.5	26.0	12.4	5.8	3.4	6.4	2.1
性別	男性	727	35.9	66.3	16.2	19.0	8.9	3.3	4.0	9.4	1.1
	女性	1,111	63.4	30.2	36.4	30.6	14.8	7.5	3.0	4.4	2.6

### （3）看病してくれる人

■「配偶者」が48.9%、「別居の子ども」27.1%

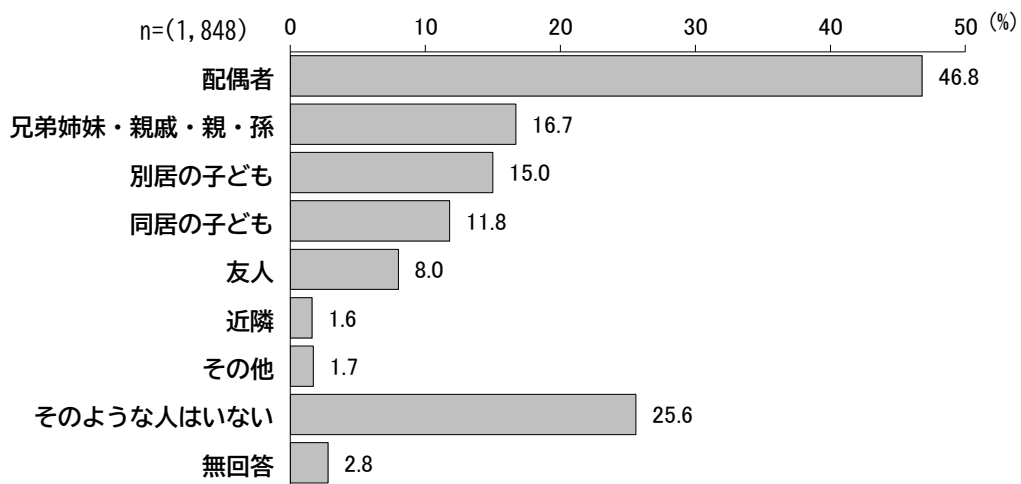
問32 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。（○はいくつでも）



### （4）看病してあげる人

■「配偶者」が46.8%

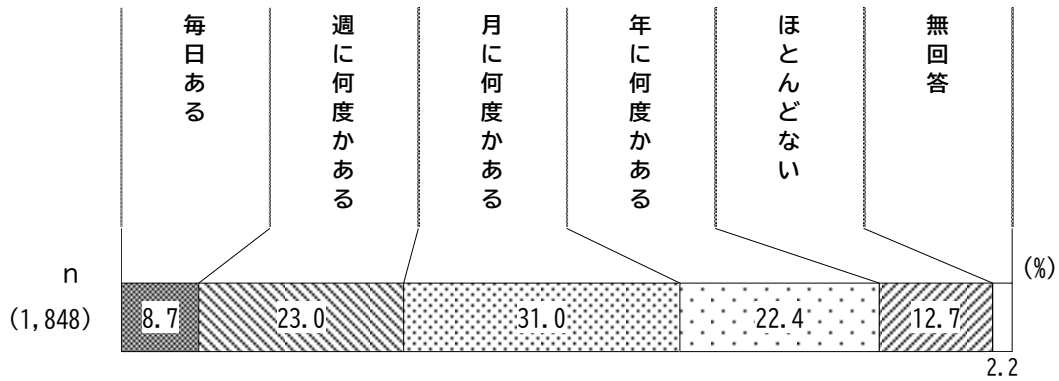
問33 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。（○はいくつでも）



(5) 友人・知人と会う頻度

■「月に何度かある」が31.0%、「週に何度かある」が23.0%、「年に何度かある」が22.4%

問34 友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。（○は1つ）



〈性別、年代別〉

性別で見ると、“女性”は「週に何度かある」「月に何度かある」が男性より高い。

年代別で見ると、“85歳以上”は他の年代より、「ほとんどない」が高く、「年に何度かある」が低い。

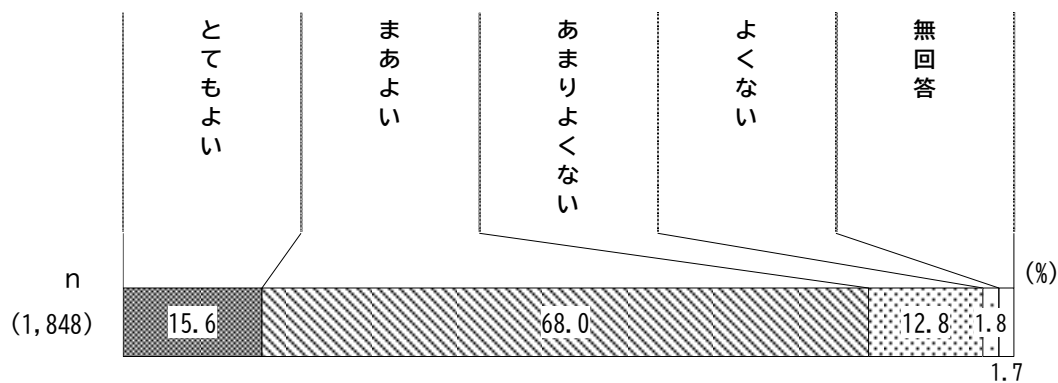
		n	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		1,848	8.7	23.0	31.0	22.4	12.7	2.2
性別	男性	727	10.7	19.0	27.2	23.9	17.3	1.8
	女性	1,111	7.5	25.6	33.3	21.5	9.7	2.4
年代	65～74歳	828	9.5	22.6	32.1	25.1	9.8	0.8
	75～84歳	767	7.6	24.8	30.5	21.0	12.9	3.3
	85歳以上	220	9.5	19.1	27.3	17.7	23.6	2.7

## 8. 健康

### （1）主観的健康感

■ 「まあよい」が68.0%

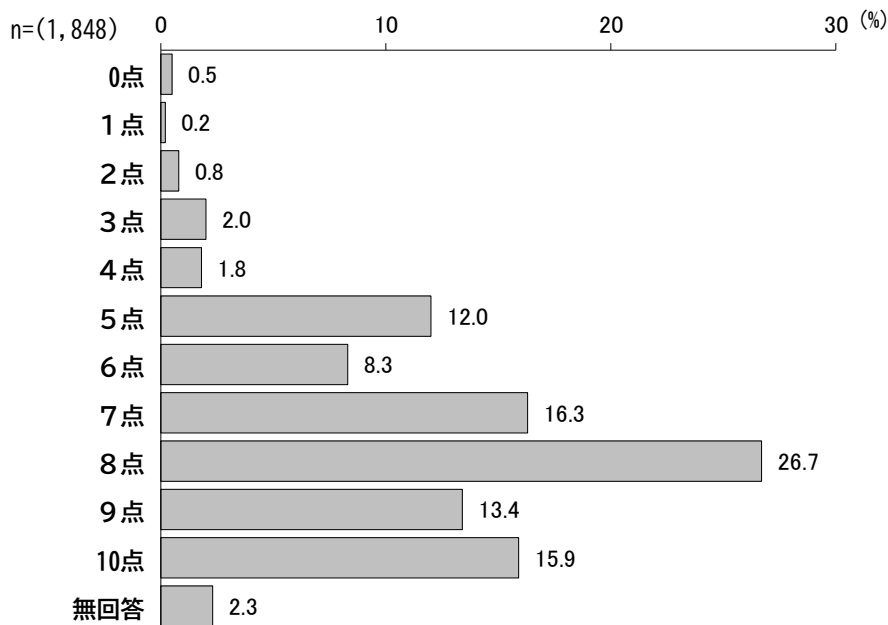
問35 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ）



### （2）主観的幸福感

■ 「8点」が26.7%で、『7点以上』は72.3%

問36 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください）



〈外出頻度別、主観的健康感別、うつ傾向別〉

外出頻度別で見ると、“ほとんど外出しない”は「10点」が他層より高い。

主観的健康感別で見ると、“とてもよい”は「10点」が、「あまりよくない」「よくない」は「5点」が高い。

うつ傾向別で見ると、“あり”は「5点」が、“なし”は「10点」が、それぞれ比較して高い。

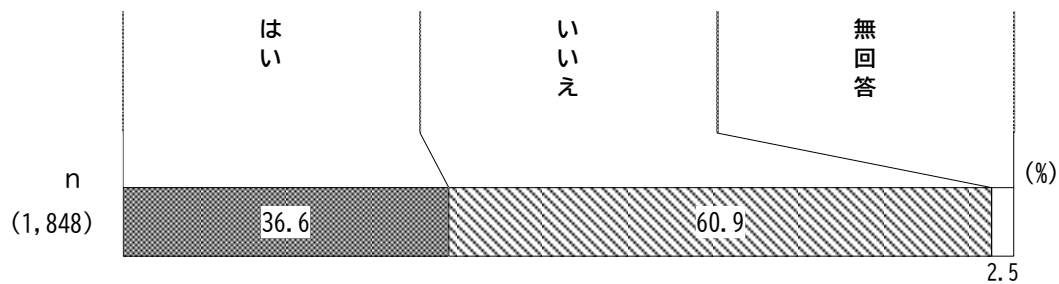
(%)

		n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		1,848	0.5	0.2	0.8	2.0	1.8	12.0	8.3	16.3	26.7	13.4	15.9	2.3
外出頻度	ほとんど外出しない	46	2.2	-	2.2	4.3	6.5	15.2	6.5	10.9	19.6	6.5	23.9	2.2
	週1回	109	-	1.8	2.8	5.5	2.8	15.6	9.2	21.1	15.6	10.1	11.0	4.6
	週2～4回	664	0.6	-	0.5	2.4	2.9	13.7	7.4	17.6	28.5	11.7	12.5	2.3
	週5回以上	1,012	0.4	0.1	0.7	1.3	0.8	10.4	9.0	15.2	27.1	15.1	18.2	1.8
主観的健康感	とてもよい	288	0.3	-	0.3	0.7	0.3	4.9	3.8	9.0	20.8	15.3	43.4	1.0
	まあよい	1,257	0.2	0.2	0.3	1.4	1.1	11.1	8.8	18.4	30.8	15.4	12.1	0.5
	あまりよくない	237	1.7	-	2.5	6.3	6.3	25.3	11.8	17.3	19.0	3.4	5.1	1.3
	よくない	34	5.9	2.9	11.8	8.8	8.8	23.5	11.8	5.9	2.9	2.9	11.8	2.9
うつ傾向	うつ傾向あり	741	0.8	0.4	1.9	4.7	3.4	18.2	10.7	19.4	22.1	10.5	6.9	0.9
	うつ傾向なし	1,056	0.3	-	0.1	0.2	0.6	8.1	6.8	14.1	31.0	15.9	22.3	0.6

### (3) ゆううつな気持ちになったりすることがあるか

■ 「いいえ」が60.9%

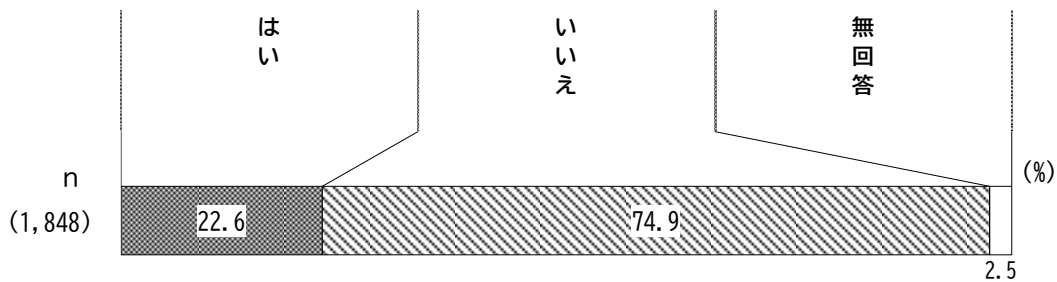
問37 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)



（4）心から楽しめない感じがよくあるか

■ 「いいえ」が74.9%

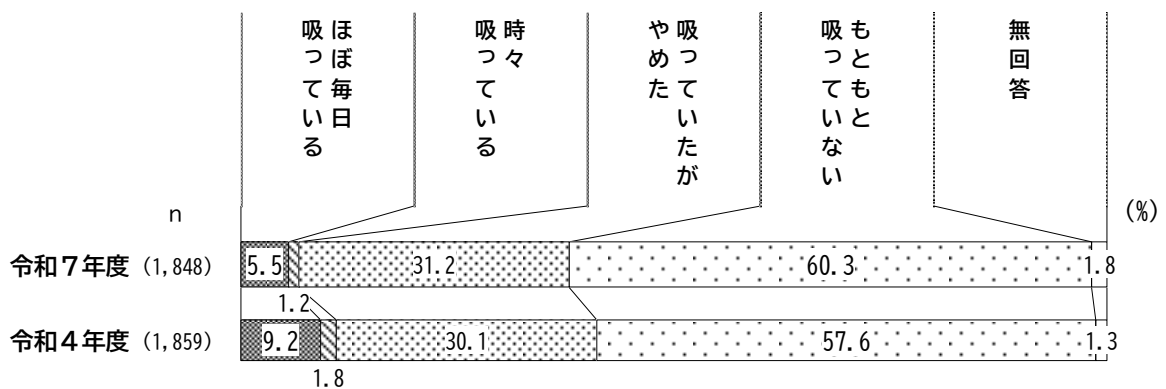
問38 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（○は1つ）



（5）喫煙習慣

■ 「もともと吸っていない」が60.3%

問39 タバコは吸っていますか。（○は1つ）

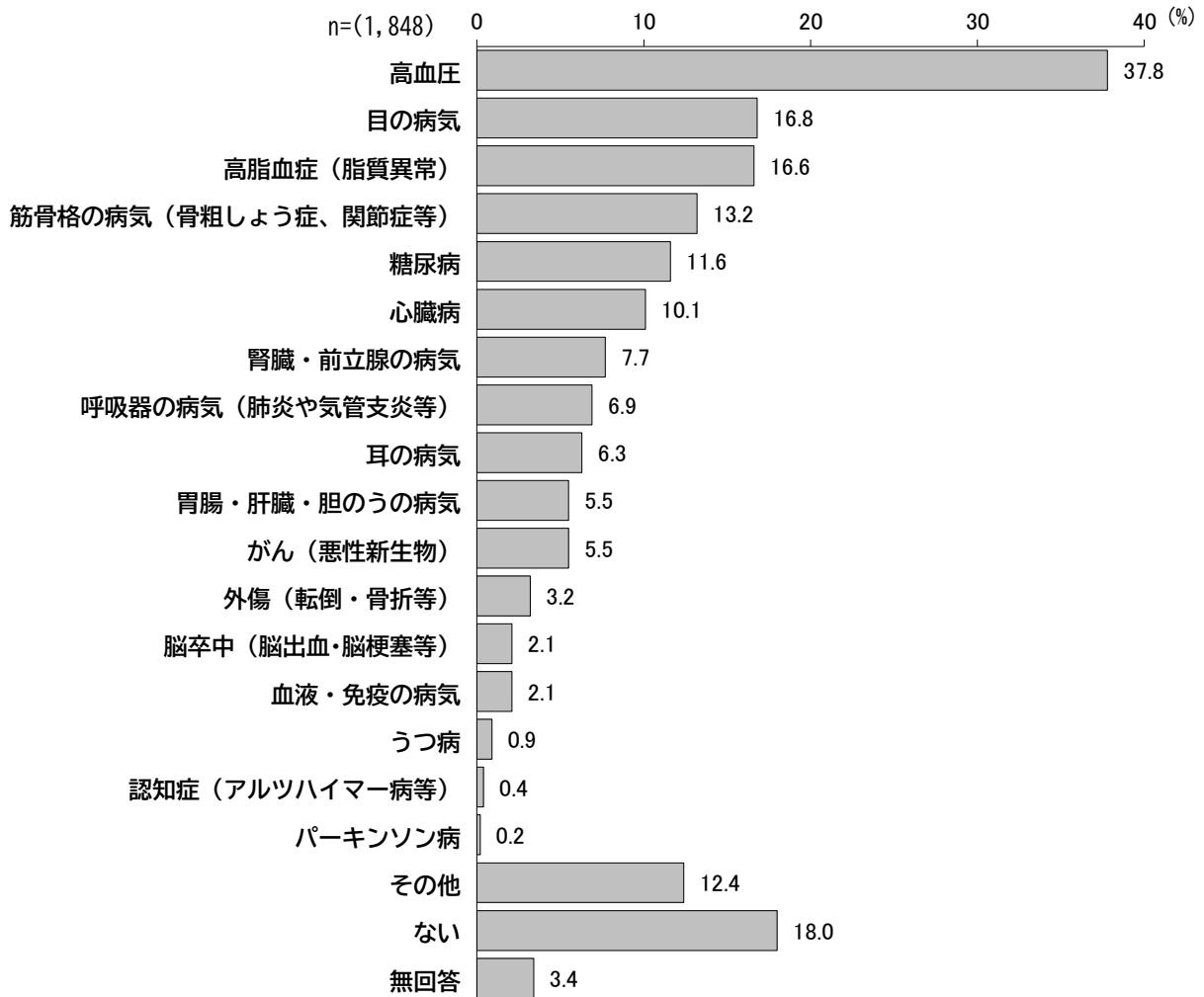


令和4年度の調査結果と比較すると、「ほぼ毎日吸っている」が3.7%減少した。

（6）現在治療中または後遺症のある病気

■「高血圧」が37.8%、「ない」が18.0%

問40 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも）



〈その他の回答〉

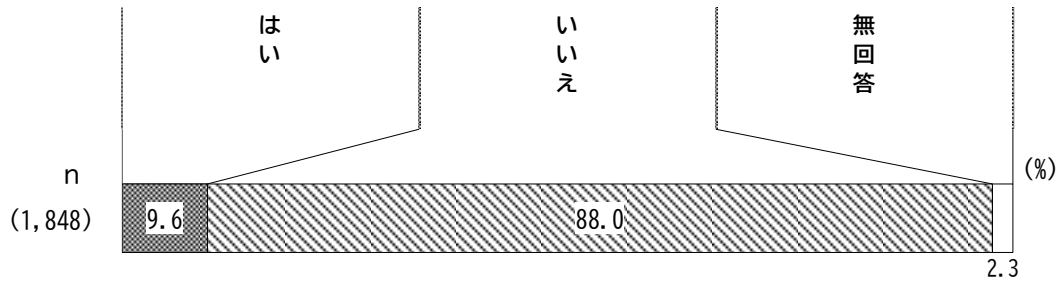
- 高コレステロール ○甲状腺の疾病 ○リウマチ ○人工透析中 ○心房細動 ○不整脈  
○手術後の後遺症

## 9. 認知症

### （1）認知症の症状の有無

■ 「いいえ」が88.0%

問41 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は1つ）

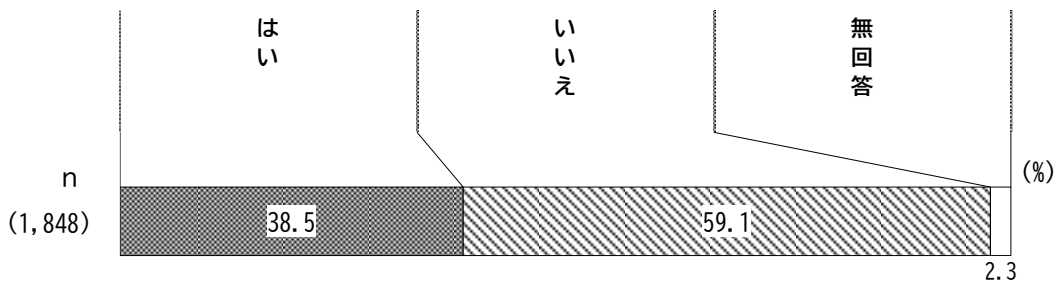


### （2）認知症に関する相談窓口の認知度

■ 「いいえ」が59.1%

問42 認知症に関する相談窓口※を知っていますか。（○は1つ）

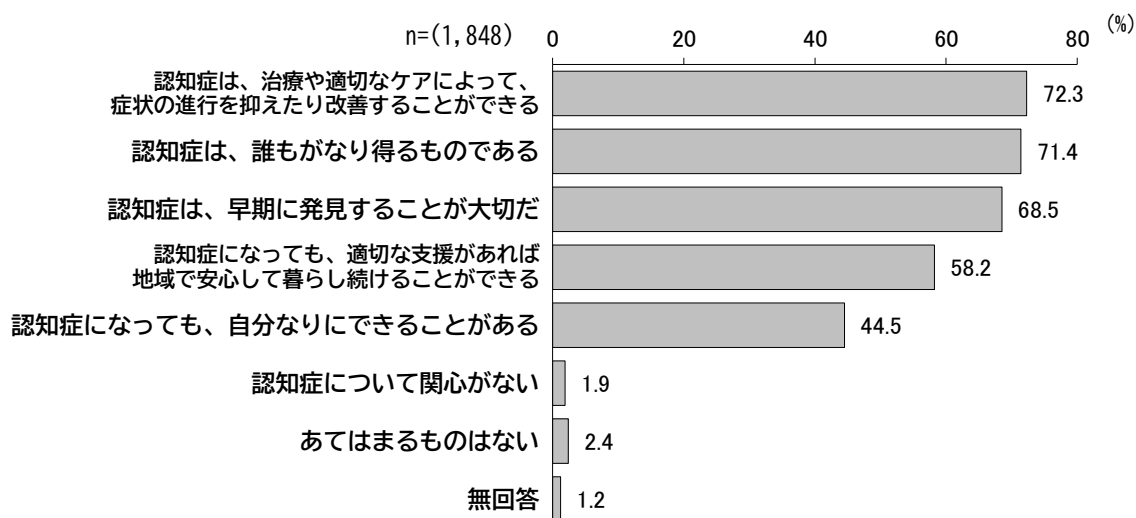
※相談窓口…区役所介護保険課、おとしより相談センター。



### （3）認知症についての考え

■「認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる」が72.3%、「認知症は、誰もがなり得るものである」が71.4%、「認知症は、早期に発見することが大切だ」が68.5%

問43 あなたは認知症について、どのように考えていますか。（○はいくつでも）



#### 〈性別、年代別〉

性別で見ると、“女性”は男性より高い項目が多く、なかでも「認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる」「認知症になっても、適切な支援があれば地域で安心して暮らし続ける」「認知症になっても、自分なりにできることがある」が顕著である。

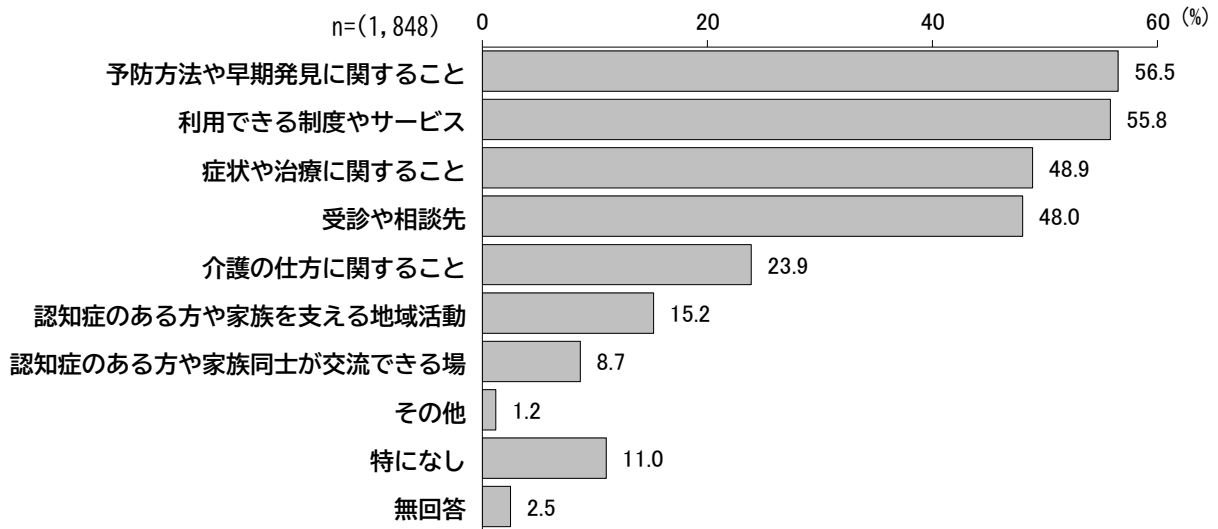
年代別で見ると、“65～84歳”は「認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる」「認知症は、誰もがなり得るものである」「認知症になっても、自分なりにできることがある」が“85歳以上”より高い。

		n	認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる	認知症は、誰もがなり得るものである	認知症は、早期に発見することが大切だ	認知症になっても、適切な支援があれば地域で安心して暮らし続けることができる	認知症になっても、自分なりにできることがある	認知症について関心がない	あてはまるものはない	無回答
全体		1,848	72.3	71.4	68.5	58.2	44.5	1.9	2.4	1.2
性別	男性	727	64.4	73.7	64.4	49.8	35.2	2.5	3.2	1.0
	女性	1,111	77.5	70.0	71.2	63.6	50.6	1.5	1.9	1.4
年代	65～74歳	828	75.6	76.6	68.6	55.9	46.3	1.7	2.2	0.6
	75～84歳	767	71.4	69.4	69.9	61.5	45.2	1.2	2.3	1.7
	85歳以上	220	62.3	58.2	64.1	55.0	35.9	5.5	3.6	1.8

（4）認知症に関する欲しい情報

■「予防方法や早期発見に関すること」が56.5%、「利用できる制度やサービス」が55.8%

問44 あなたが認知症に関する情報でもっと欲しいと思う内容は何ですか。（〇はいくつでも）



## 10. 自由記述

問45 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。

### ①外出や楽しみについて

- ・シルバー向けのレクリエーション、日帰りや1泊旅行を行ってもらえると嬉しい。
- ・江戸バスをもっと増やすべきで、現況は逆行している。観劇会も楽しいが、それより日常生活に直結しているものにお金を使ってほしい。
- ・いきいき館で楽しいプログラムに参加したりしている。スタッフの方々も一生懸命に私達に接してくれるし、中央区の福祉には感謝している。

### ②社会的な活動や地域活動等について

- ・敬老館は高齢者ばかりで、年令をもう少し下げて若者も参加出来るようになったら良いと思う。
- ・元気な方はそれなりの仕事、ボランティアなどに参加するのが一番良いと思う。

### ③日常生活に関する情報について

- ・1人暮らしの高齢者に週1回の見回りや弁当配布などあったらいいと思います。
- ・区報などで、サービス等の情報をこまめに発信して下さい。
- ・区内に銭湯を増して欲しい。
- ・なんでも気軽に相談できるところが近くにほしい。

### ④健康教室や健康づくり事業について

- ・健康教室やヨガなどは数ヶ月前から予約をするのではなく、当日参加可能な教室も増やしてほしい。
- ・現在、いきいき館を利用して、健康に過ごせるように気をつけている。最近、勝どき周辺にシニアの方が増えてきたことで、受けたい講座の抽選に落ちる事が多くなってきている。是非、敬老館の増設をお願いしたい。高齢者が自立した生活を一日でも長く続けられるように希望します。
- ・高齢者数は、増えているのに予算はどうでしょう。増えている分増額されてはいないようで、逆に減っているように思う。健康な高齢者をなるべく長く生きてもらうためにも運動やコミュニティーはとても大切だと思います。有志のサークルではなく誰でも楽に参加できるものを希望する。

⑤交流サロンや趣味の講座等について

- ・趣味のサークルをいろいろ作ってほしい。
- ・高齢者ホームなどで、もっと入居者さん達が他の人達とコミュニケーションをとれるような機会があると良い。ボランティアの人達、子供、ペット達とふれあえるような。皆さん仕事で忙しいと思うが、人と話す、交流することで認知症も和らぐのではないかと思う。
- ・浜町いきいき館を利用して、とても感謝している。様々な講座が実施されており、毎日楽しく生活できる。

⑥災害時の対応について

- ・災害時の避難誘導や訓練を町会単位でやってほしい。

⑦介護の希望や老い支度について

- ・昨年、12年間特養でお世話になった認知症の母を見送り、今回あらためて自分自身の問題となってきたと実感した。施設に入りやすくなってくれればと思う。
- ・認知症になることがどんな病気になるより怖いです。家族がいても症状が出たとき、施設にお世話になりたいと思っているが、受け入れてもらえる施設の案内（場所、施設名など）が相談出来るようにしてほしい。
- ・介護が必要になったとき、中央区での居住歴等によって地元の施設に入居できるよう、優先順位をつけてほしい。

⑧高齢者保健福祉施策について

●生活支援サービス

- ・サービスの向上を望みますが、介護者が働きやすい環境、給料をアップして人員をもっと増やしてほしい。
- ・サービスの内容や、問い合わせ先などについてまとめられた冊子などがあると良い。
- ・中央区は手厚いような感じがする。特別な高齢者サービスを受けている訳ではないが、普段の暮らしの役所や図書館、シルバー人材センター、江戸バス、都営バスなどでの対応が親切丁寧で、優しい。自分だけでなく、もっと高齢の方々への対応場面に接する度に、そう感じていて有り難く思っている。
- ・介護保険の適用を受けていない高齢者に対する情報提供や研修講習会等の健全な日常生活への支援が、何ら実施されていないことが行政として無責任に感じている。

●住まい

- ・子供がなく、将来の住居について、区の施設や制度手続きの方法など、60代の元気なうちに相談するところがあれば教えてほしい。
- ・高齢者が賃貸マンションやアパートを借りるのに大家さんが渋って苦労しているとよく聞きます。高齢者がこれだけ多いのですから、もっと容易に借りられるような対策をして頂きたい。
- ・高齢者用の公営住宅は抽選制ではなく、個別に相談する窓口や数が多くあると良いと思う。

### ●経済的な支援策

- ・医療や介護が必要になった時の経済的な不安がかなりあります。健康であれば生活できるお金と、楽しみはありますが、介護サービスを利用した時、又は、医療が常時必要になった時には、途方に暮れます。
- ・医療費援助と都営無料パスは非常に有難い。
- ・96歳父親の片方の耳が聞こえていない。補聴器の補助金があると嬉しい。

### ●まちづくり

- ・自分は歩くより自転車での移動の方が楽だが、歩道も走れず、止めれず、車道を走るには怖すぎで無理。老人用もしくは障害者用のフリーパスがほしい。どこを走っても止めても注意されず、危なくないように考えてほしい。
- ・仕事を続けながら母の自宅介護を経験して、中央区は介護についてかなり手厚いと感じた。年齢ではなく生活環境や考え方による高齢者区分けがあってもいいのにと感じることもある。

### ●家族の介護

- ・他区に住んでいる認知症の母を見て10年が経つ。何が良いのかは、その方によって違うし、介護する側の生活、性格も価値観も様々で難しいことといつも思っている。地域の活動に参加したくても時間がなく残念。
- ・今年4月に単身の伯母を亡くしました。面倒を見ていたので、おとしより相談センターにお世話になっていた。また、同じく4月に母も亡くした。母は渋谷区の特養でお世話になっていた。高齢者向けサービス、全般、いろいろ時間がかかり分かりにくいと感じています。
- ・親戚、子供、孫らがいたとしてもそれぞれの生活があり、頼ることが迷惑を掛けることが出来ない人達の為にも福祉関係を是非よろしく願いしたいと思います。
- ・両親が認知症になったときは、子供のいない自由がきく私が主に介護をしたが、一人暮らしで認知症になった場合は、妹家族に頼りたくないのと子供がいないのでどうしたらよいか心配。元気なうちにそういう相談ができる場所がネット上であれば調べてみたい。

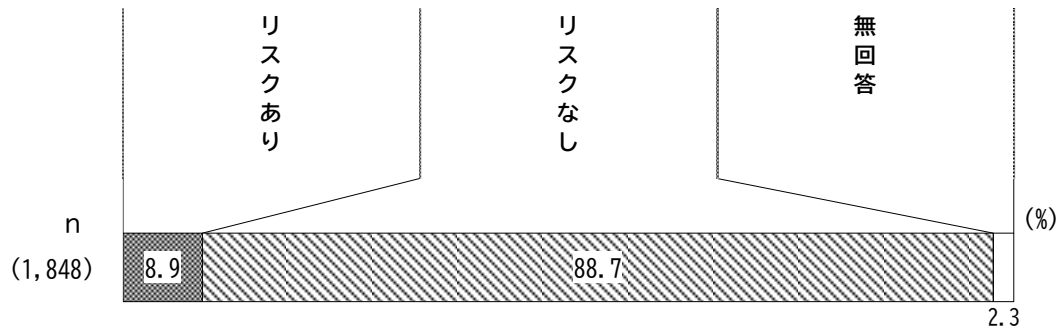
### ●介護サービス

- ・一人暮らしをしていた実家の母が80歳で認知症になった。症状は人によっていろいろだと施設の皆さんを見ていて思う。家族への、予防方法、症状の説明などの講演等があれば参考になったと思う。
- ・現役、若者世代に目が行くかも知れませんが、今まで一生懸命働いてきた高齢者が中央区に住んでいて良かったと思えるようなキメ細かい行政のサービスを期待している。
- ・高齢者のサービスはいろいろあると思うが、利用出来る制度がどのくらいあるか知りたい。
- ・認知症であるかないかに関わらず、本人の希望があれば有償無償の生活全般に関わるサービスが受けられるよう、高齢者に対して自治体が積極的に関わってほしい。これからの高齢者は今までと違うという意識をしっかりとってほしい。

## 11. 介護予防リスク

### (1) 運動機能低下

■「リスクなし」が88.7%



#### ◎運動器の機能評価

問9～13のうち、3問以上該当する選択肢が回答された場合、運動器の機能に低下が見られると判断

設問	該当する選択肢
問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「できない」
問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	
問11 15分位続けて歩いていますか。	
問12 過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」または「1度ある」
問13 転倒に対する不安は大きいですか。	「とても不安である」または「やや不安である」

#### 〈性別、年代別〉

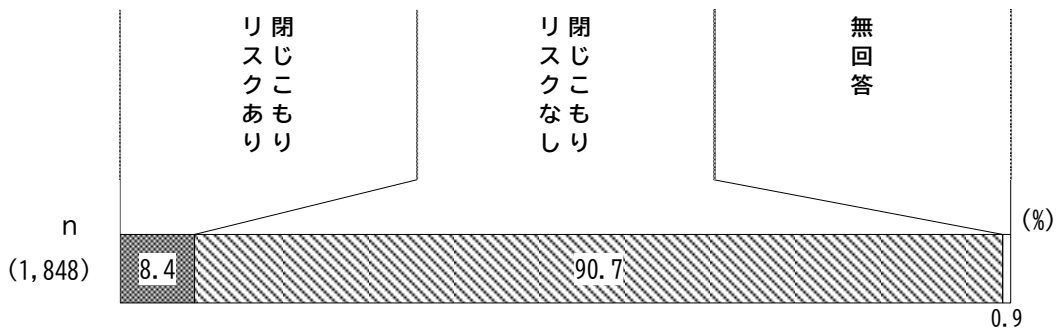
性別では、大きな差異は見られない。

年代別で見ると、“85歳以上”は「リスクあり」が2割を超え、他の年代より高い。

		n	リスクあり (%)	リスクなし (%)	無回答 (%)
全体		1,848	8.9	88.7	2.3
性別	男性	727	6.6	92.3	1.1
	女性	1,111	10.5	87.2	2.3
年代	65～74歳	828	5.3	93.8	0.8
	75～84歳	767	8.3	89.7	2.0
	85歳以上	220	23.6	71.4	5.0

(2) 閉じこもり

■「閉じこもりリスクなし」が90.7%



◎閉じこもりの評価

問14、15で、ともに該当する選択肢が回答された場合、閉じこもりの傾向があると判断

設問	該当する選択肢
問14 週に1回以上は外出していますか。	「ほとんど外出しない」または「週1回」
問15 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	「とても減っている」または「減っている」

〈性別、年代別〉

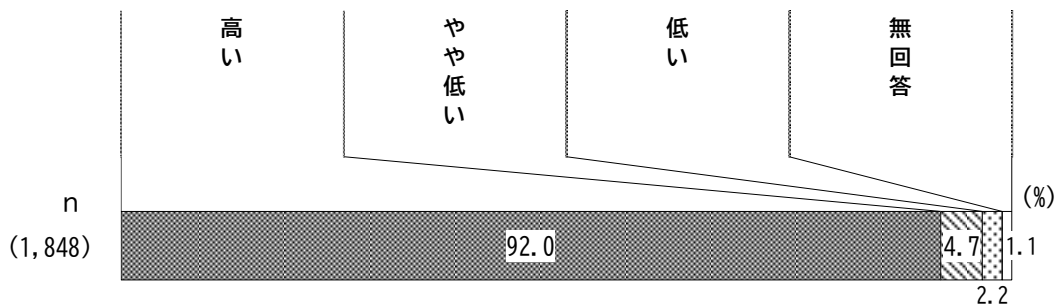
性別では、大きな差異は見られない。

年代別で見ると、“85歳以上”は「リスクあり」が約2割と、他の年代より高い。

		n	閉じこもり リスクあり (%)	閉じこもり リスクなし (%)	無回答 (%)
全体		1,848	8.4	90.7	0.9
性別	男性	727	7.3	92.4	0.3
	女性	1,111	9.2	90.4	0.5
年代	65～74歳	828	4.6	95.0	0.4
	75～84歳	767	9.3	90.5	0.3
	85歳以上	220	19.1	80.5	0.5

（3）IADL（生活機能評価）

■「高い」が92.0%



◎手段的日常生活動作（IADL）の評価

問21～25の選択肢ごとの配点による合計点で評価を行う。5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価する。

設問	該当する選択肢
問21 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	「できるし、している」または 「できるけどしていない」：1点 「できない」：0点
問22 自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
問23 自分で食事の用意をしていますか。	
問24 自分で請求書の支払いをしていますか。	
問25 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	

〈性別、年代別〉

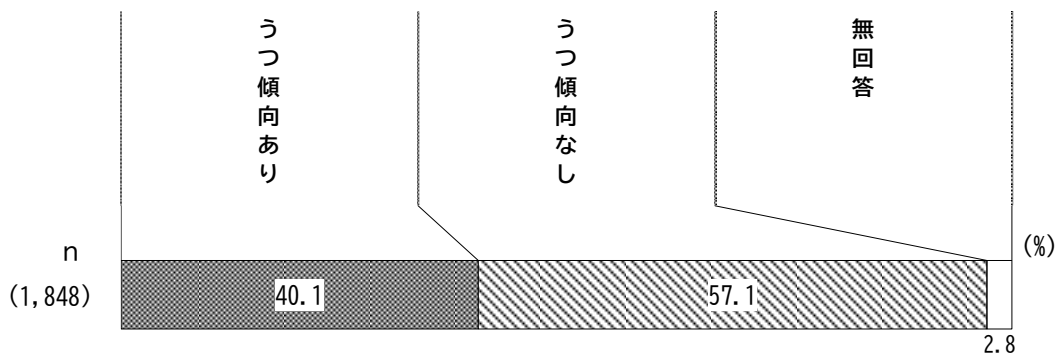
性別で見ると、“女性”は「高い」が男性より高い。

年代別で見ると、“85歳以上”は「高い」が他の年代より低い。

		n	高い	やや低い	低い	無回答
全体		1,848	92.0	4.7	2.2	1.1
性別	男性	727	87.3	9.2	2.8	0.7
	女性	1,111	95.0	1.7	1.8	1.4
年代	65～74歳	828	95.8	2.5	1.1	0.6
	75～84歳	767	91.9	5.2	1.4	1.4
	85歳以上	220	79.1	10.5	8.2	2.3

(4) うつ傾向

■「うつ傾向なし」が57.1%



◎うつ傾向の評価

問37、問38のいずれかで「はい」と回答された場合、うつ傾向であると評価する。

設問	該当する選択肢
問37 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「はい」
問38 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	

〈性別、年代別、外出頻度別〉

性別では、大きな差異は見られない。

年代別で見ると、“85歳以上”は「あり」が他の年代より高い。

外出頻度別で見ると、“ほとんど外出しない”“週1回”は「あり」が他層より高い。

		n	うつ傾向あり	うつ傾向なし	無回答
全体		1,848	40.1	57.1	2.8
性別	男性	727	39.8	58.6	1.7
	女性	1,111	40.4	56.2	3.4
年代	65～74歳	828	39.3	59.7	1.1
	75～84歳	767	39.6	56.2	4.2
	85歳以上	220	45.5	51.4	3.2
外出頻度	ほとんど外出しない	46	58.7	41.3	-
	週1回	109	56.9	38.5	4.6
	週2～4回	664	45.6	50.6	3.8
	週5回以上	1,012	33.9	64.3	1.8



## 第4章 調査結果の詳細

### 要介護・要支援認定者調査（調査C）

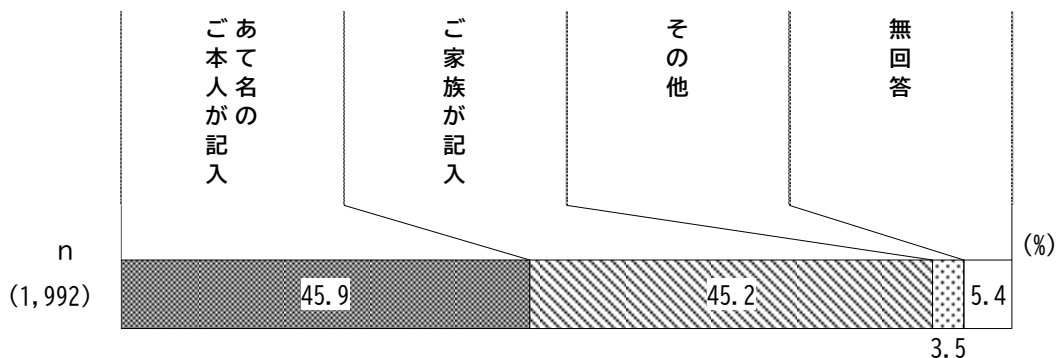


## 1. 回答者の属性

### （1）調査票の記入者

■「あて名のご本人が記入」が45.9%、「ご家族が記入」が45.2%

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。（○は1つ）

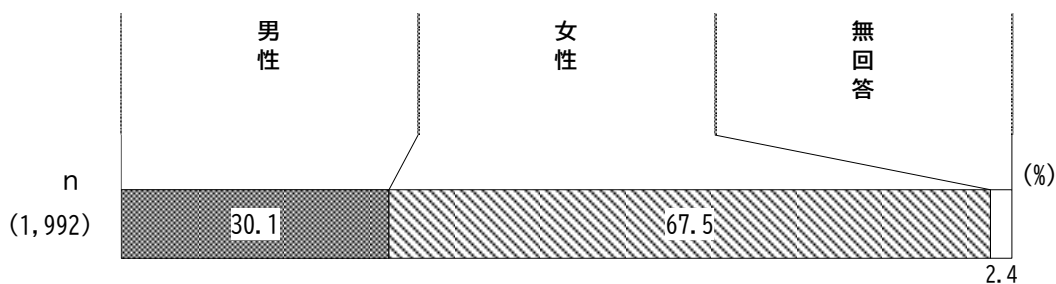


### （2）性別・年齢

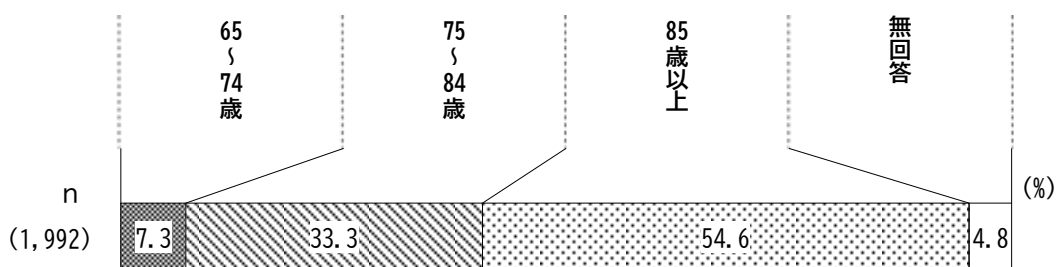
■性別は「女性」が67.5%、満年齢は「85歳以上」が54.6%

問2 あなた（あて名のご本人を指します。以下の各設問についても同じです。）の性別と令和7年10月1日現在の満年齢を記入してください。

#### ①性別



#### ②満年齢

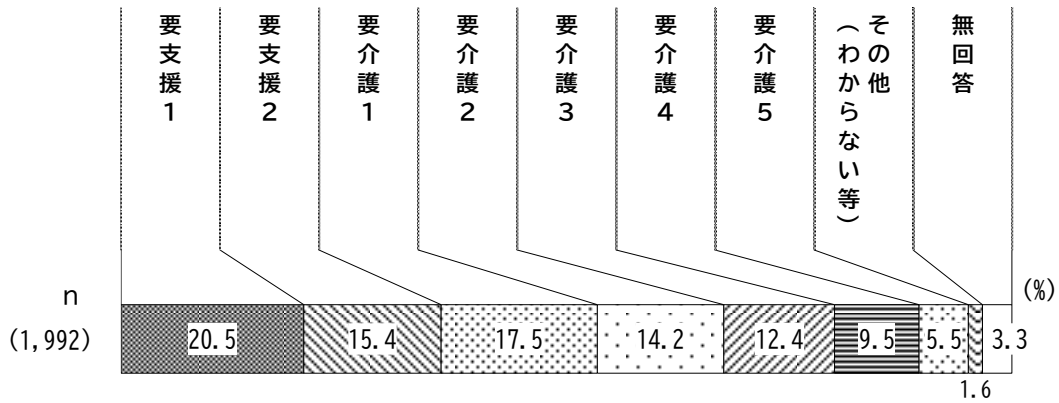


第4章 調査結果の詳細  
要介護・要支援認定者調査（調査C）

（3）要介護度等

■「要支援1」が20.5%で、「要介護1」が17.5%

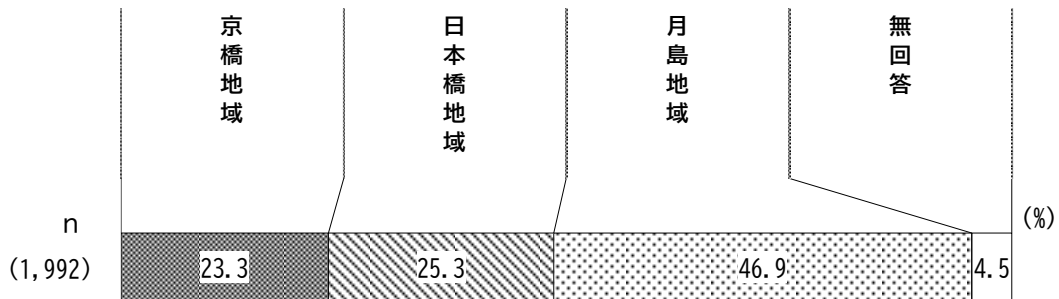
問3 あなたの現在の要介護度は何ですか。（○は1つ）



（4）居住地域

■居住地域、「月島地域」が46.9%

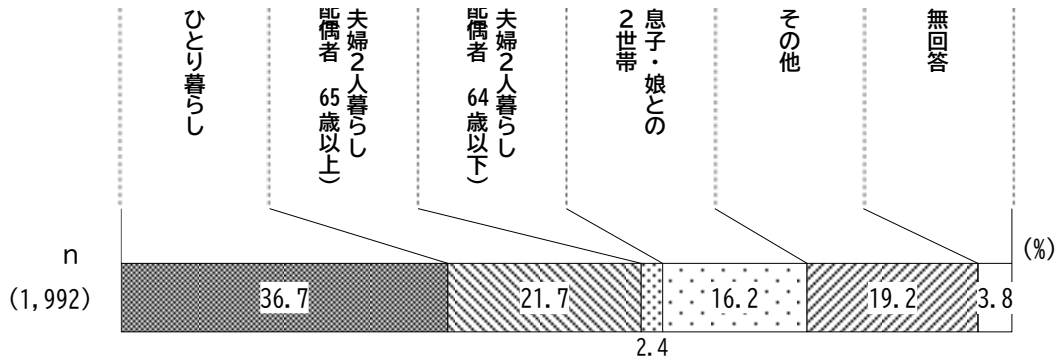
問4 あなたがお住まいになっている地域はどこですか。（○は1つ）



（5）家族構成

■「ひとり暮らし」が36.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上+同64歳以下）」が24.1%

問5 家族構成をお教えてください。（○は1つ）



〈その他の回答〉

○施設入居中（特別養護老人ホーム、有料介護施設、グループホーム） ○兄弟・姉妹

〈要介護度別〉

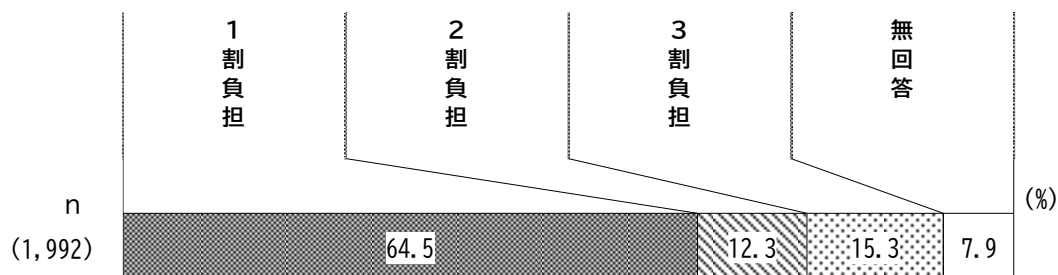
要介護度別で見ると、要介護度が上がるほど、「ひとり暮らし」が低くなっている。

		n	ひとり暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体		1,992	36.7	21.7	2.4	16.2	19.2	3.8
要介護度	要支援1	409	43.8	23.5	2.9	13.7	13.2	2.9
	要支援2	307	43.3	23.1	3.6	13.7	15.0	1.3
	要介護1	348	41.4	23.3	0.6	15.5	18.7	0.6
	要介護2	282	36.9	22.3	3.5	17.4	17.4	2.5
	要介護3	248	27.4	20.6	0.8	20.6	27.4	3.2
	要介護4	190	24.2	17.4	1.1	19.5	34.2	3.7
	要介護5	110	23.6	25.5	2.7	23.6	23.6	0.9

（6）介護保険の自己負担割合

■ 「1割負担」が64.5%

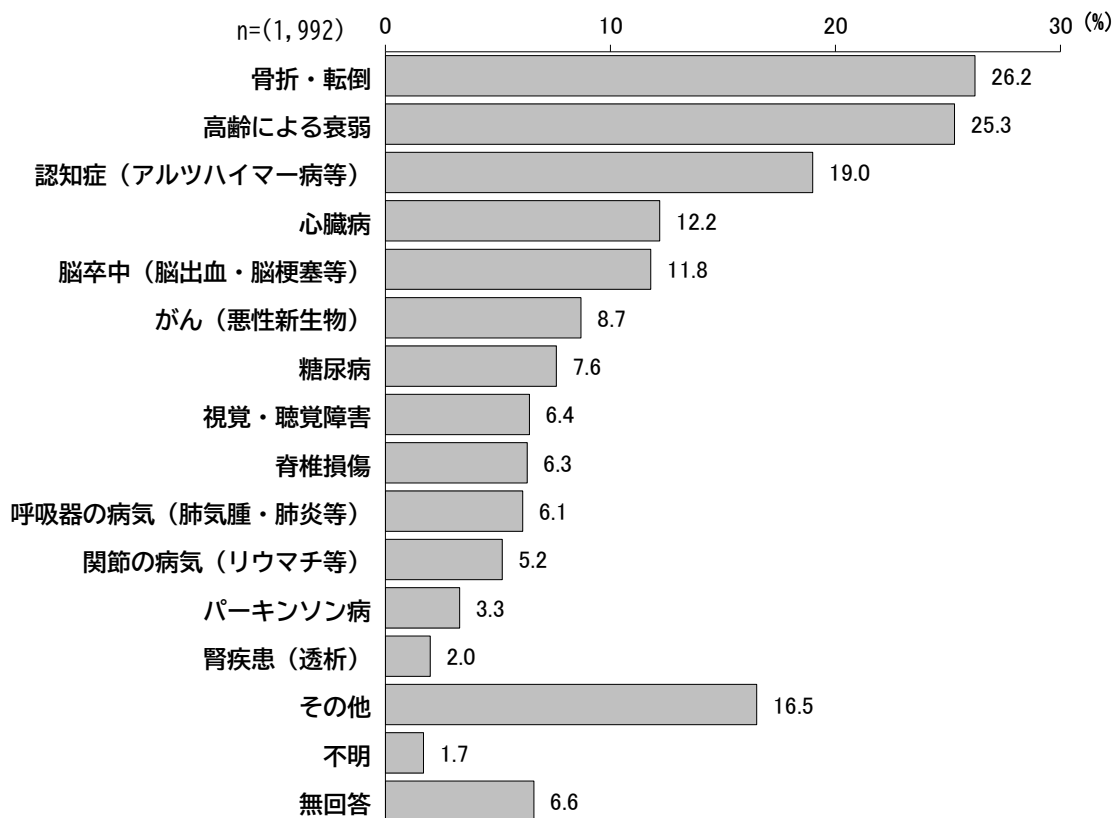
問6 介護保険の自己負担割合を教えてください。（○は1つ）



（7）介護・介助が必要になった原因

■ 「骨折・転倒」が26.2%、「高齢による衰弱」が25.3%

問7 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（○はいくつでも）



〈その他の回答〉

- うつ病 ○交通事故 ○心不全 ○変形性膝関節症 ○コロナ ○大動脈解離 ○心房細動  
○延髄梗塞 ○膝関節手術

〈要介護度別〉

要介護度別で見ると、“要介護3以上”は「認知症（アルツハイマー病等）」「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が他層より高い。

(%)

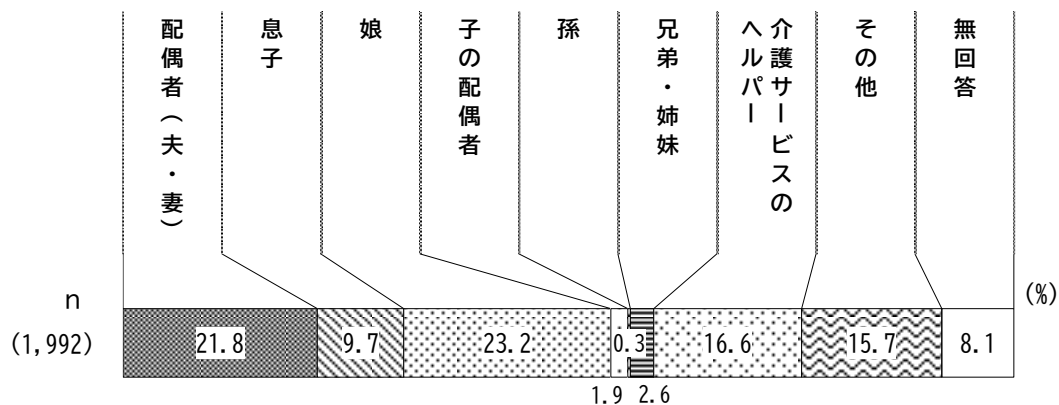
		n	骨折・転倒	高齢による衰弱	認知症 (アルツハイマー病等)	心臓病	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	がん (悪性新生物)	糖尿病	視覚・聴覚障害
全 体		1,992	26.2	25.3	19.0	12.2	11.8	8.7	7.6	6.4
要介護度	要支援1	409	22.2	25.4	5.4	12.0	9.8	10.5	6.8	6.4
	要支援2	307	28.0	19.5	5.5	13.0	7.2	9.8	8.5	7.8
	要介護1	348	26.1	29.6	18.7	12.9	7.2	9.2	7.2	7.2
	要介護2	282	31.6	27.3	25.9	18.1	9.9	10.3	8.9	6.7
	要介護3	248	25.8	26.6	36.3	9.3	17.7	5.6	10.5	6.5
	要介護4	190	32.6	30.5	33.2	10.0	22.1	6.8	6.8	5.3
	要介護5	110	24.5	20.0	40.0	8.2	29.1	6.4	4.5	4.5

		n	脊椎損傷	(呼吸器腫の病気 肺炎等)	(関節の病気 リウマチ等)	パーキンソン病	腎疾患(透析)	その他	不明	無回答
全 体		1,992	6.3	6.1	5.2	3.3	2.0	16.5	1.7	6.6
要介護度	要支援1	409	5.4	4.9	9.5	0.2	1.2	19.1	1.0	10.0
	要支援2	307	11.7	5.5	8.1	2.0	2.0	19.5	2.0	6.8
	要介護1	348	7.5	6.6	3.7	3.2	0.3	17.5	3.2	1.7
	要介護2	282	5.0	6.4	5.3	4.6	3.2	17.4	0.7	1.4
	要介護3	248	5.2	8.9	2.4	4.4	4.8	12.1	1.2	2.0
	要介護4	190	4.2	6.8	2.6	7.4	1.6	15.8	1.6	0.5
	要介護5	110	5.5	5.5	-	6.4	0.9	10.0	0.9	1.8

（8）主に介護・介助をしている方

■「娘」が23.2%、「配偶者（夫・妻）」が21.8%

問8 主にあなたの介護、介助をしている方はどなたですか。（○は1つ）



〈その他の回答〉

○施設・病院入所 ○介護を受けていない ○甥・姪その他親族

〈要介護度別〉

要介護度別で見ると、“要介護5”は「娘」が他層より低い。

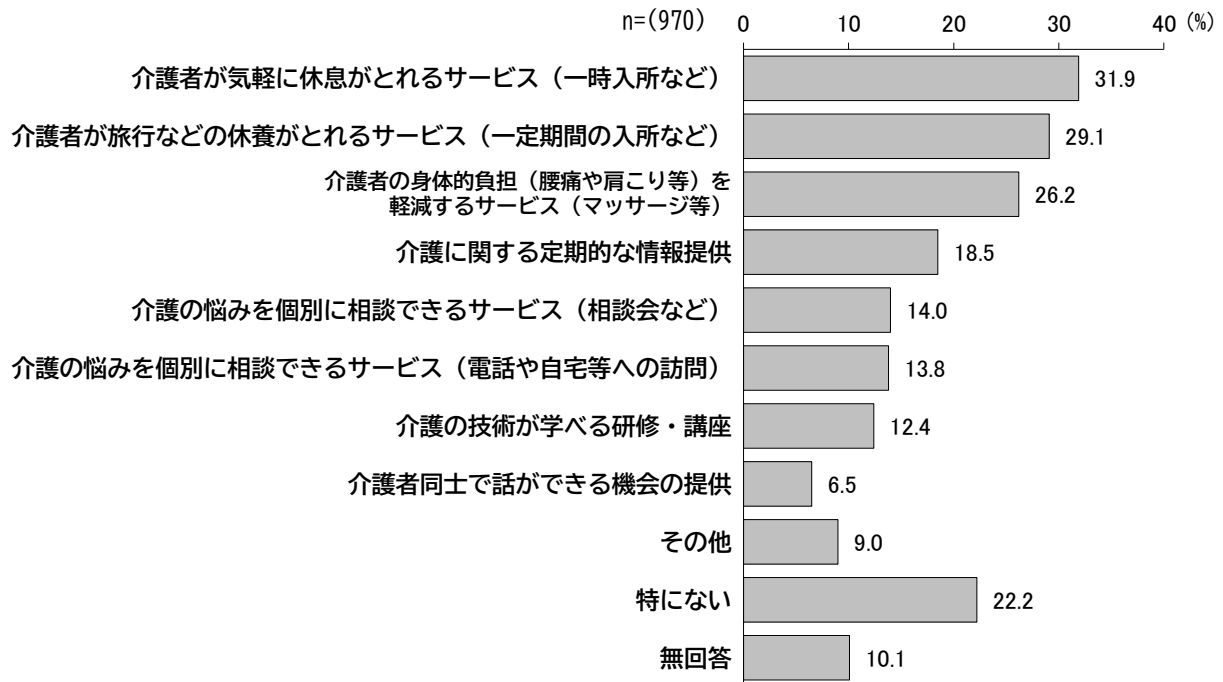
(%)

	n	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	ヘルパー	介護サービスの	その他	無回答
全体	1,992	21.8	9.7	23.2	1.9	0.3	2.6	16.6	15.7	8.1	
要介護度	要支援1	409	21.3	9.3	19.8	2.0	-	2.0	10.3	22.0	13.4
	要支援2	307	23.8	13.4	24.4	1.3	1.0	2.3	16.0	10.1	7.8
	要介護1	348	21.6	8.9	27.3	2.0	-	2.6	22.4	12.6	2.6
	要介護2	282	24.1	11.7	28.0	1.4	-	1.8	17.4	10.6	5.0
	要介護3	248	23.4	8.9	23.0	2.4	-	3.6	20.6	14.9	3.2
	要介護4	190	18.9	7.9	24.7	2.6	0.5	4.2	16.3	23.2	1.6
	要介護5	110	22.7	6.4	14.5	3.6	0.9	2.7	20.0	26.4	2.7

（9）介護者自身が受けたい支援

■「介護者が気軽に休息がとれるサービス（一時入所など）」が31.9%、「介護者が旅行などの休養がとれるサービス（一定期間の入所など）」が29.1%、「介護者の身体的負担（腰痛や肩こり等）を軽減するサービス（マッサージ等）」が26.2%

問9 注）この質問は介護をしている方がお答えください。介護者ご自身が受けたい支援はありますか。（○はいくつでも）



第4章 調査結果の詳細  
要介護・要支援認定者調査（調査C）

〈要介護度別、利用サービス別〉

要介護度別で見ると、要介護1を除き「介護者が気軽に休息がとれるサービス（一時入所など）」が高い。

利用サービス別で見ると、“居宅サービス”はほぼ全ての項目で他層より高く、なかでも「介護者が気軽に休息がとれるサービス（一時入所など）」が4割を超える。

(%)

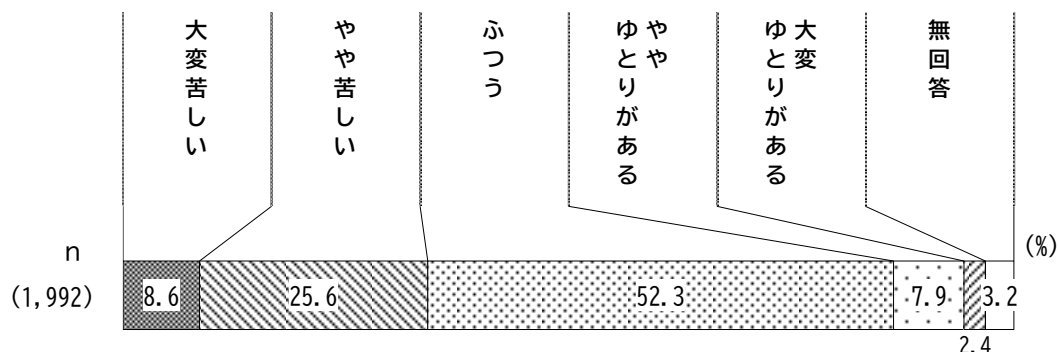
	n	介護者が気軽に休息がとれるサービス（一時入所など）	介護者が旅行などの休養がとれるサービス（一定期間の入所など）	介護者の身体的負担（腰痛や肩こり等）を軽減するサービス（マッサージ等）	介護に関する定期的な情報提供	介護の悩みを個別に相談できるサービス（相談会など）	介護の悩みを個別に相談できるサービス（電話や自宅等への訪問）	介護の技術が学べる研修・講座	介護者同士で話ができる機会の提供	その他	特にない	無回答
全体	970	31.9	29.1	26.2	18.5	14.0	13.8	12.4	6.5	9.0	22.2	10.1
要介護度	要支援1	71	31.0	23.9	23.9	19.7	23.9	15.5	7.0	7.0	28.2	8.5
	要支援2	64	35.9	32.8	29.7	20.3	18.8	6.3	12.5	4.7	6.3	7.8
	要介護1	162	24.1	27.2	27.2	23.5	11.1	15.4	11.1	4.3	8.0	9.3
	要介護2	171	36.8	34.5	28.7	21.6	14.6	16.4	12.9	8.2	11.1	5.8
	要介護3	207	34.3	32.4	24.6	15.0	12.6	15.0	13.5	6.3	8.2	9.7
	要介護4	167	31.1	25.1	24.0	15.0	14.4	13.8	9.6	6.6	11.4	12.6
利用サービス	未利用	171	21.6	22.8	25.1	19.9	12.9	9.9	9.9	4.1	5.8	21.6
	居宅サービス	572	43.4	38.8	31.3	21.0	15.4	17.7	14.3	8.0	9.1	4.5
	居住系サービス	133	14.3	11.3	16.5	13.5	17.3	9.0	9.0	4.5	10.5	13.5
	施設サービス	149	16.8	16.1	16.1	13.4	10.7	8.1	8.7	5.4	11.4	16.1

## 2. 家族や生活状況

### （1）経済的な生活状況

■「ふつう」が52.3%、『苦しい（大変苦しい+やや苦しい）』が34.2%

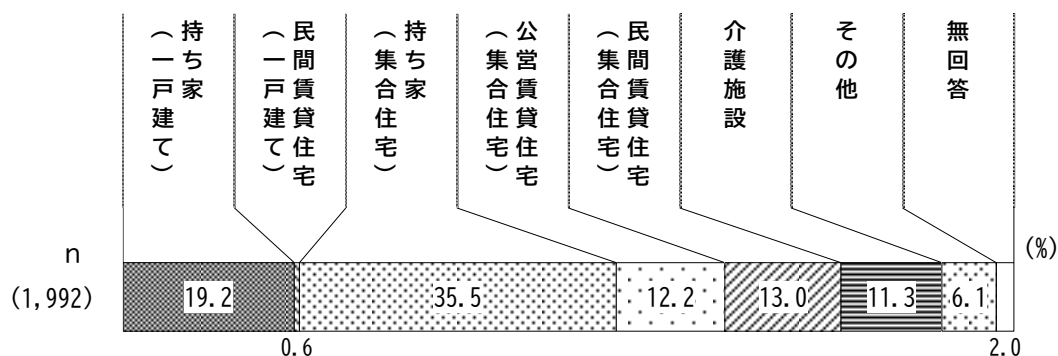
問10 あなたは、現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○は1つ）



### （2）住宅の種類

■「持ち家（集合住宅）」が35.5%、「持ち家（一戸建て）」が19.2%

問11 あなたのお住まいは、下記のどの種類にあてはまりますか。（○は1つ）



#### 〈居住地域別〉

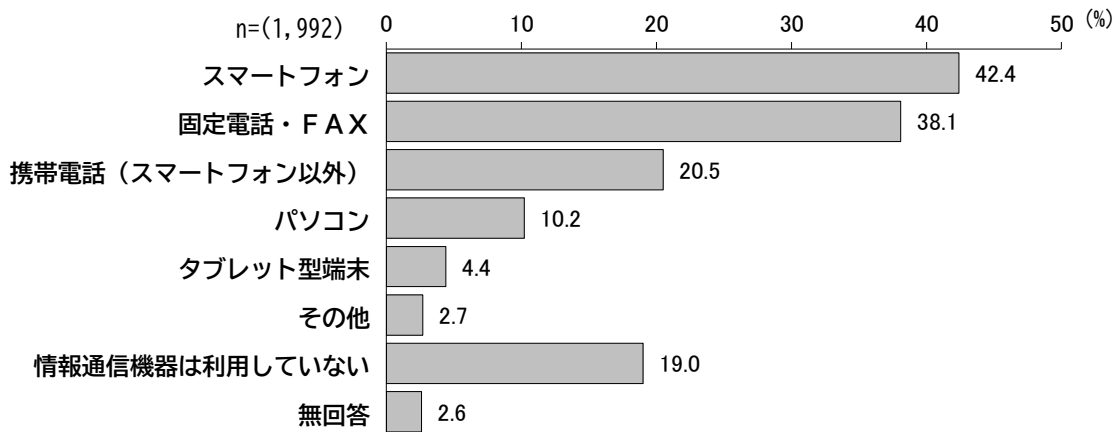
居住地域別で見ると、全ての地域で「持ち家（集合住宅）」が最も高いものの、「月島地域」は他層より10%以上低く、その差は「持ち家（一戸建て）」にもあてはまる。また、「月島地域」は「公営賃貸住宅（集合住宅）」が他層より高い。

		n	持ち家（一戸建て）	民間賃貸住宅（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	公営賃貸住宅（集合住宅）	民間賃貸住宅（集合住宅）	介護施設	その他	無回答
全体		1,992	19.2	0.6	35.5	12.2	13.0	11.3	6.1	2.0
居住地域	京橋地域	465	23.0	0.4	43.0	5.8	11.4	9.2	6.2	0.9
	日本橋地域	503	30.2	0.6	41.9	1.8	10.1	8.0	6.0	1.4
	月島地域	935	12.5	0.7	30.9	21.5	16.3	11.1	5.5	1.5

（3）日常生活において使用しているICT（情報・通信）機器

■「スマートフォン」が42.4%、「固定電話・FAX」が38.1%

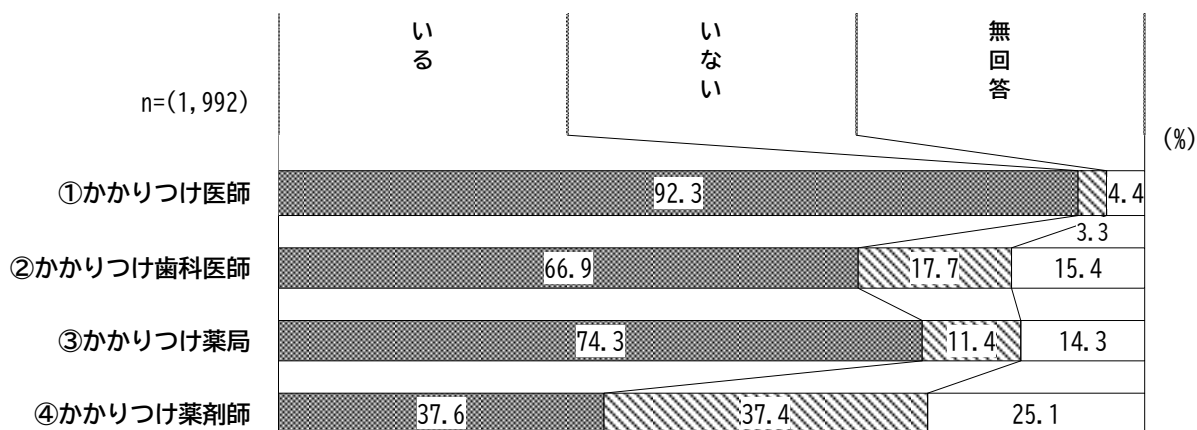
問12 あなたは、ふだんどのような情報通信機器を利用していますか。（○はいくつでも）



（4）かかりつけの有無

■「いる」は“かかりつけ医師”で92.3%、“かかりつけ薬局”で74.3%

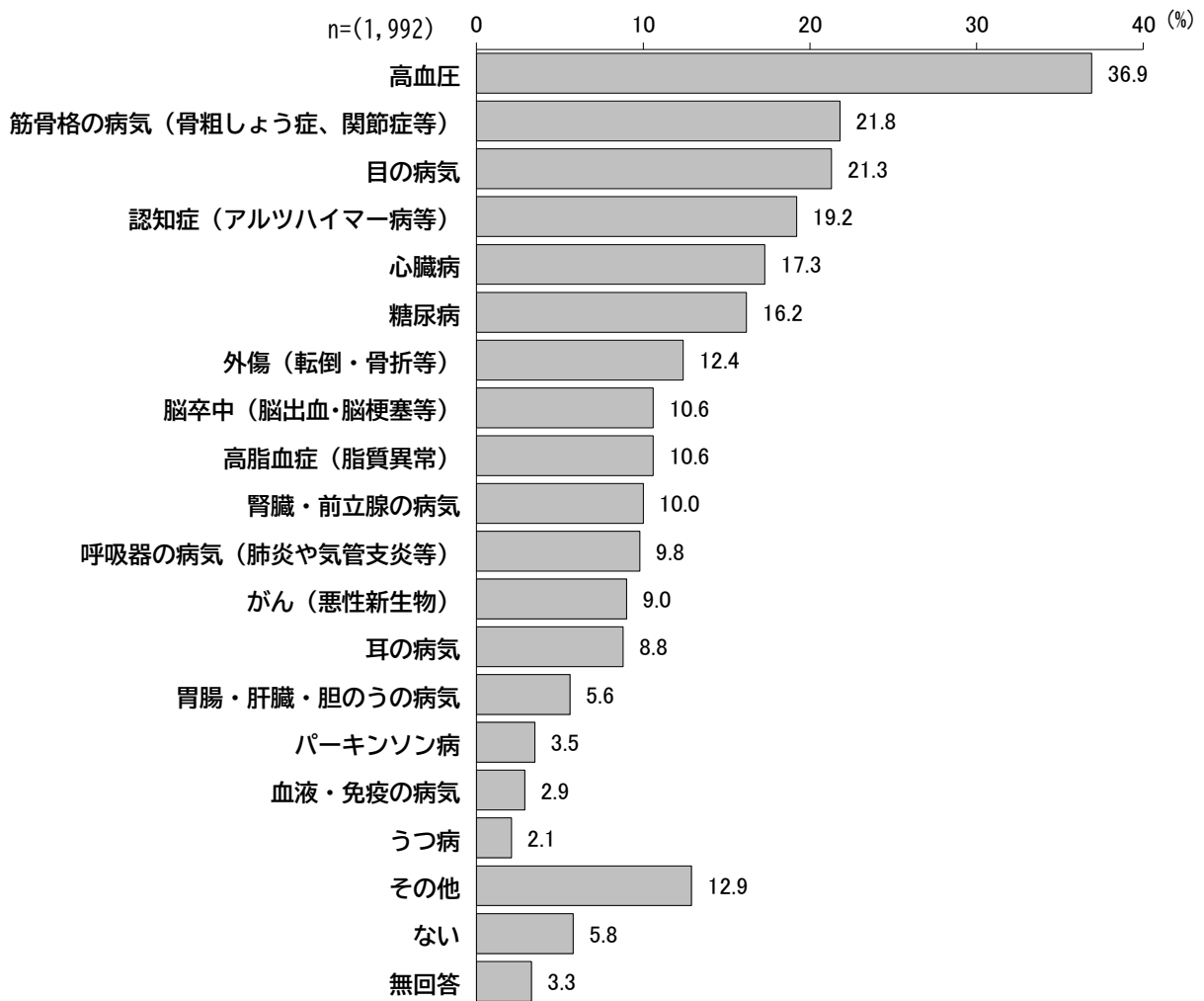
問13 あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師がいますか。（①から④それぞれ○は1つ）



（5）現在治療中または後遺症のある病気

■「高血圧」が36.9%

問14 あなたは現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも）



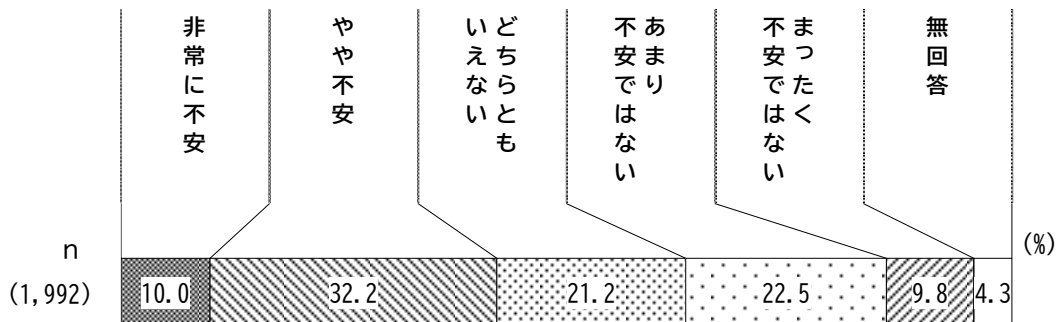
〈その他の回答〉

○手のしびれ ○多発性リウマチ筋痛症 ○脊柱管狭窄症 ○多系統萎縮症 ○下肢動脈硬化症

（6）孤独感

■『不安』（非常に不安+やや不安）が42.2%

問15 孤独や孤立への不安を感じていますか。（○は1つ）



〈性別、要介護度別、家族構成別〉

性別では、大きな差異は見られない。

要介護度別で見ると、“要介護5”は「どちらともいえない」が高くなっている一方、「非常に不安」でも他層より高い。

家族構成別で見ると、“ひとり暮らし”は『不安』（非常に不安+やや不安）が半数を超えている。

		n	非常に不安	やや不安	いどちらとも	ああまり不安ではない	まつたではない	無回答
全体		1,992	10.0	32.2	21.2	22.5	9.8	4.3
性別	男性	599	9.8	32.6	21.7	22.4	10.2	3.3
	女性	1,345	10.0	32.3	21.3	22.6	9.4	4.3
要介護度	要支援1	409	8.8	31.1	16.4	26.7	12.5	4.6
	要支援2	307	6.5	38.8	17.6	26.4	7.2	3.6
	要介護1	348	10.9	32.2	17.5	27.6	8.9	2.9
	要介護2	282	10.6	32.3	21.3	20.6	11.7	3.5
	要介護3	248	11.3	34.3	27.8	15.7	7.7	3.2
	要介護4	190	10.0	31.1	29.5	17.9	8.9	2.6
	要介護5	110	16.4	20.0	36.4	11.8	8.2	7.3
家族構成	ひとり暮らし	731	12.6	38.4	19.8	18.2	7.0	4.0
	夫婦2人暮らし	480	7.1	31.9	19.4	27.9	9.2	4.6
	息子・娘との2世帯	323	9.6	24.8	22.9	26.9	14.6	1.2
	その他	382	8.6	28.3	26.2	21.5	11.8	3.7

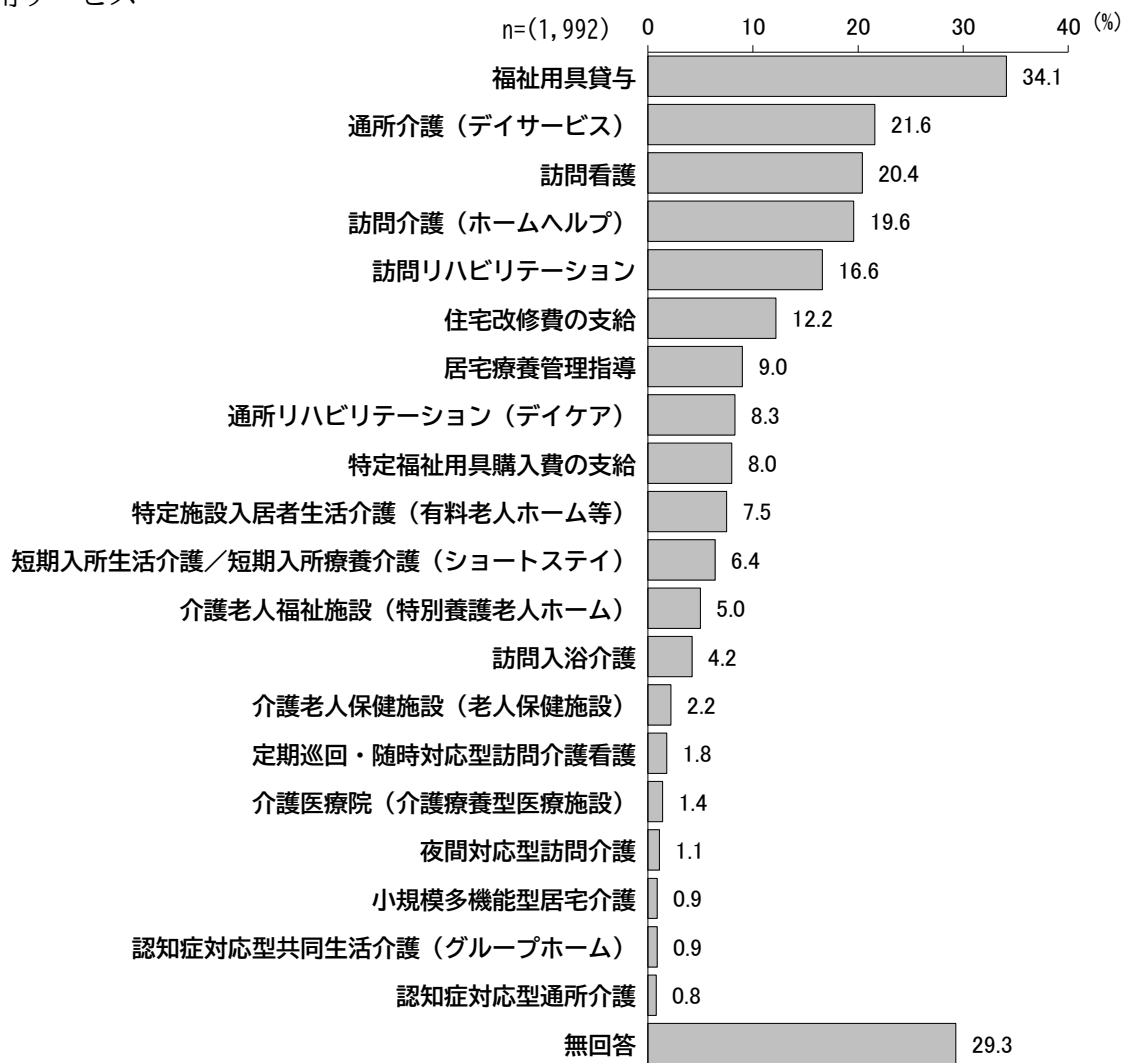
### 3. 介護保険サービス

#### （1）現在利用している介護保険サービスと満足度

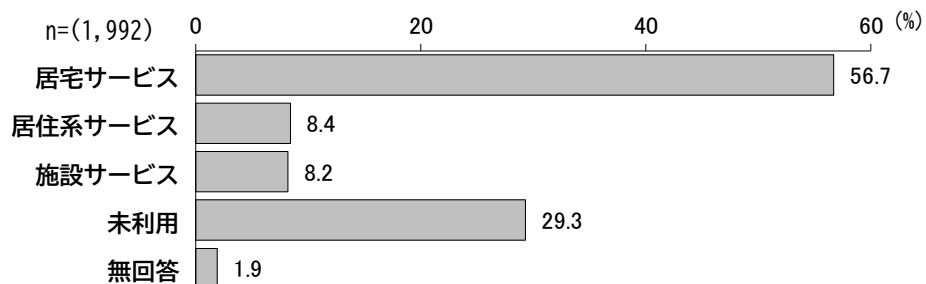
■利用サービスは「福祉用具貸与」が34.1%、満足度は「福祉用具貸与」「訪問リハビリテーション」で『満足』（非常に満足+満足）が71.6%

問16 現在、あなたが利用している介護保険サービス（介護予防サービスを含む。）は何ですか。また、利用している介護保険サービスについて、どの程度満足していますか。（利用しているサービスすべてに○をし、その○を付けたサービスの満足度について、それぞれ1つずつに○）

#### ①利用サービス



#### 〈事業種別〉



第4章 調査結果の詳細  
要介護・要支援認定者調査（調査C）

②利用サービスの満足度

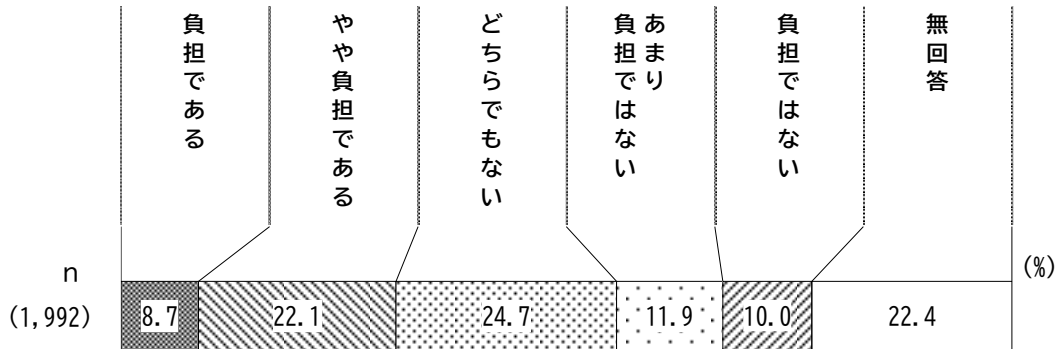
	n	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満	無回答
①訪問介護（ホームヘルプ）	391	18.2	39.4	33.5	6.1	1.3	1.5
②訪問入浴介護	83	25.3	44.6	20.5	3.6	-	6.0
③訪問看護	406	24.6	44.1	26.4	2.5	1.2	1.2
④訪問リハビリテーション	331	29.9	41.7	23.0	2.4	0.3	2.7
⑤居宅療養管理指導	179	31.8	38.0	20.7	3.4	1.7	4.5
⑥通所介護（デイサービス）	431	23.2	39.9	28.1	4.2	0.9	3.7
⑦通所リハビリテーション（デイケア）	165	23.6	39.4	27.3	5.5	1.8	2.4
⑧福祉用具貸与	679	27.1	44.5	22.5	1.9	0.6	3.4
⑨特定福祉用具購入費の支給	160	22.5	40.0	31.3	3.1	0.6	2.5
⑩住宅改修費の支給	243	21.0	39.9	25.9	3.3	1.2	8.6
⑪短期入所生活介護／ 短期入所療養介護（ショートステイ）	127	21.3	33.9	28.3	4.7	7.9	3.9
⑫定期巡回・随時対応型訪問介護看護	36	30.6	30.6	30.6	2.8	-	5.6
⑬夜間対応型訪問介護	22	27.3	40.9	18.2	-	-	13.6
⑭認知症対応型通所介護	16	25.0	31.3	25.0	-	12.5	6.3
⑮小規模多機能型居宅介護	17	47.1	17.6	29.4	-	-	5.9
⑯介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	100	16.0	43.0	25.0	8.0	1.0	7.0
⑰介護老人保健施設 （老人保健施設）	44	29.5	29.5	20.5	2.3	2.3	15.9
⑱介護医療院 （介護療養型医療施設）	28	25.0	25.0	25.0	10.7	3.6	10.7
⑲特定施設入居者生活介護 （有料老人ホーム等）	149	12.1	43.0	30.2	6.7	1.3	6.7
⑳認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	18	55.6	27.8	11.1	5.6	-	-

(%)

（2）介護保険サービス利用料の負担感

■「どちらでもない」が24.7%、「やや負担である」が22.1%

問17 現在利用されている介護保険サービスの利用料は、あなたにとってどの程度負担ですか。（○は1つ）



〈要介護度別、家族構成別〉

要介護度別で見ると、“要介護3以上”は『負担である』（負担である+やや負担である）が4割以上と他層より高い。

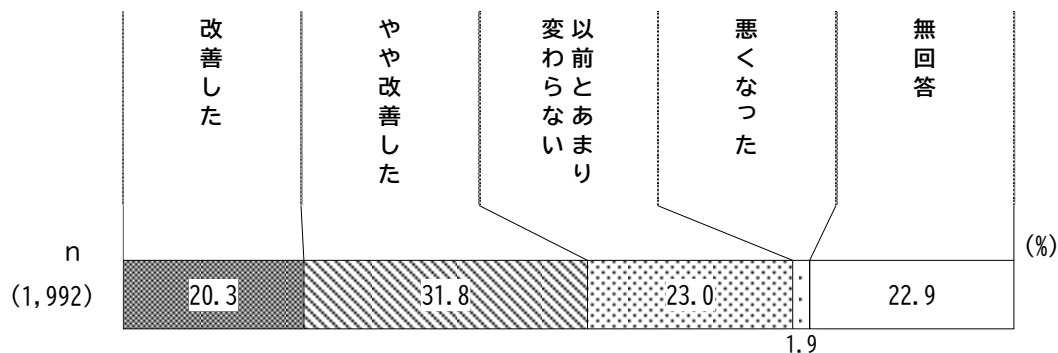
家族構成別で見ると、“息子・娘との2世帯”は『負担である』（負担である+やや負担である）が3割を超え、他層より高い。

		n	負担である	やや負担である	どちらでもない	あまり負担ではない	負担ではない	無回答
全体		1,992	8.7	22.1	24.7	11.9	10.0	22.4
要介護度	要支援1	409	6.1	10.0	16.4	13.9	13.0	40.6
	要支援2	307	7.5	16.3	24.1	13.4	10.7	28.0
	要介護1	348	7.2	25.3	24.1	12.9	11.2	19.3
	要介護2	282	7.4	27.3	31.6	13.5	9.2	11.0
	要介護3	248	12.5	28.6	35.1	9.7	6.9	7.3
	要介護4	190	13.2	35.8	29.5	8.4	6.3	6.8
家族構成	要介護5	110	16.4	31.8	20.9	9.1	10.9	10.9
	ひとり暮らし	731	9.2	19.4	26.7	11.6	10.1	23.0
	夫婦2人暮らし	480	6.0	21.9	23.3	11.7	11.7	25.4
	息子・娘との2世帯	323	10.5	26.3	26.3	10.8	9.9	16.1
その他	382	9.4	26.2	22.8	14.1	8.4	19.1	

（3）介護保険サービスを利用してからの生活環境や身体状況の変化

■ 「やや改善した」が31.8%

問18 介護保険サービスを利用するようになってから、あなたの生活環境や身体状況はどのようになりましたか。（○は1つ）



〈要介護度別、利用サービス別〉

要介護度別で見ると、「要介護5」は「改善した」が4割を超え、他層より高い。

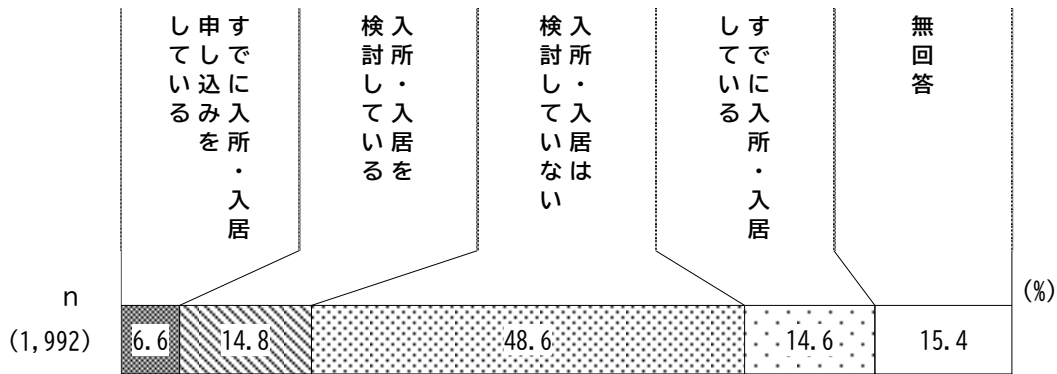
利用サービス別で見ると、「居宅サービス」は「やや改善した」が、「居住系サービス」は「改善した」がともに4割を超え、他層より高い。

		n	改善した	やや改善した	変わらな 以前とあまり	悪くな った	無回答
全体		1,992	20.3	31.8	23.0	1.9	22.9
要介護度	要支援1	409	13.0	23.2	18.6	0.5	44.7
	要支援2	307	12.7	31.6	27.4	0.7	27.7
	要介護1	348	21.0	37.1	22.7	1.4	17.8
	要介護2	282	23.8	37.6	25.2	2.8	10.6
	要介護3	248	27.8	35.5	26.2	2.8	7.7
	要介護4	190	23.7	41.6	25.3	3.2	6.3
	要介護5	110	41.8	24.5	16.4	6.4	10.9
利用サービス	未利用	584	6.3	9.9	20.7	0.2	62.8
	居宅サービス	1,130	24.4	44.0	23.9	1.8	5.9
	居住系サービス	167	40.7	26.3	24.6	3.0	5.4
	施設サービス	163	31.9	30.7	24.5	7.4	5.5

（4）施設等への入所・入居の検討状況

■「入所・入居は検討していない」が48.6%

問19 あなたは、施設等への入所・入居を検討していますか。（○は1つ）



〈要介護度別、家族構成別〉

要介護度別で見ると、“要介護3以上”は「すでに入所・入居申し込みをしている」が要介護2以下より高い。

家族構成別で見ると、“夫婦2人暮らし”“息子・娘との2世帯”は「入所・入居は検討していない」がひとり暮らしより高い。

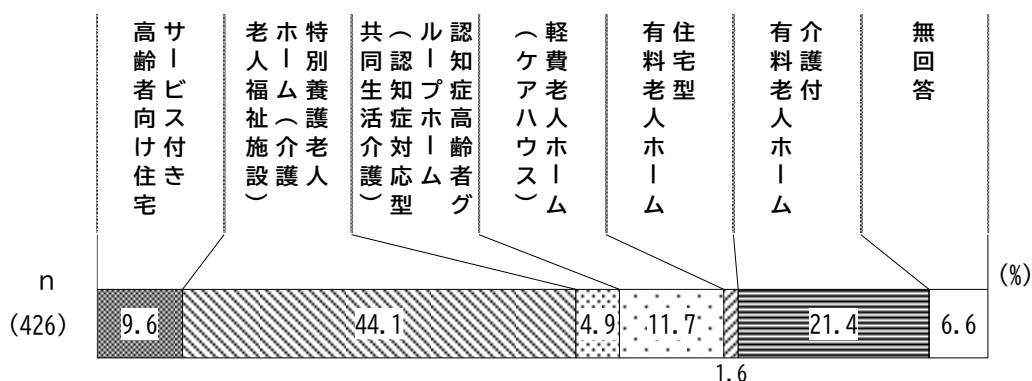
		n	検討して入所を	検討して入居を	検討して入所・入居	検討して入所・入居	無回答
全体		1,992	6.6	14.8	48.6	14.6	15.4
要介護度	要支援1	409	0.7	15.2	53.8	6.1	24.2
	要支援2	307	0.7	16.9	58.0	4.9	19.5
	要介護1	348	5.7	17.2	54.0	10.6	12.4
	要介護2	282	4.6	16.3	56.4	12.4	10.3
	要介護3	248	14.9	18.1	34.7	23.4	8.9
	要介護4	190	13.7	6.8	36.8	36.8	5.8
	要介護5	110	25.5	5.5	26.4	38.2	4.5
家族構成	ひとり暮らし	731	6.7	17.6	44.9	14.8	16.0
	夫婦2人暮らし	480	5.0	13.1	56.3	7.3	18.3
	息子・娘との2世帯	323	5.3	16.4	60.1	9.6	8.7
	その他	382	9.4	10.7	38.7	27.7	13.4

（5）希望する施設の種類の種類

■「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」が44.1%

【問19-1は、問19で「1. すでに入所・入居申し込みをしている」または「2. 入所・入居を検討している」と答えた方におうかがいします】

問19-1 希望する施設等の種類は次のどれですか。（○は1つ）

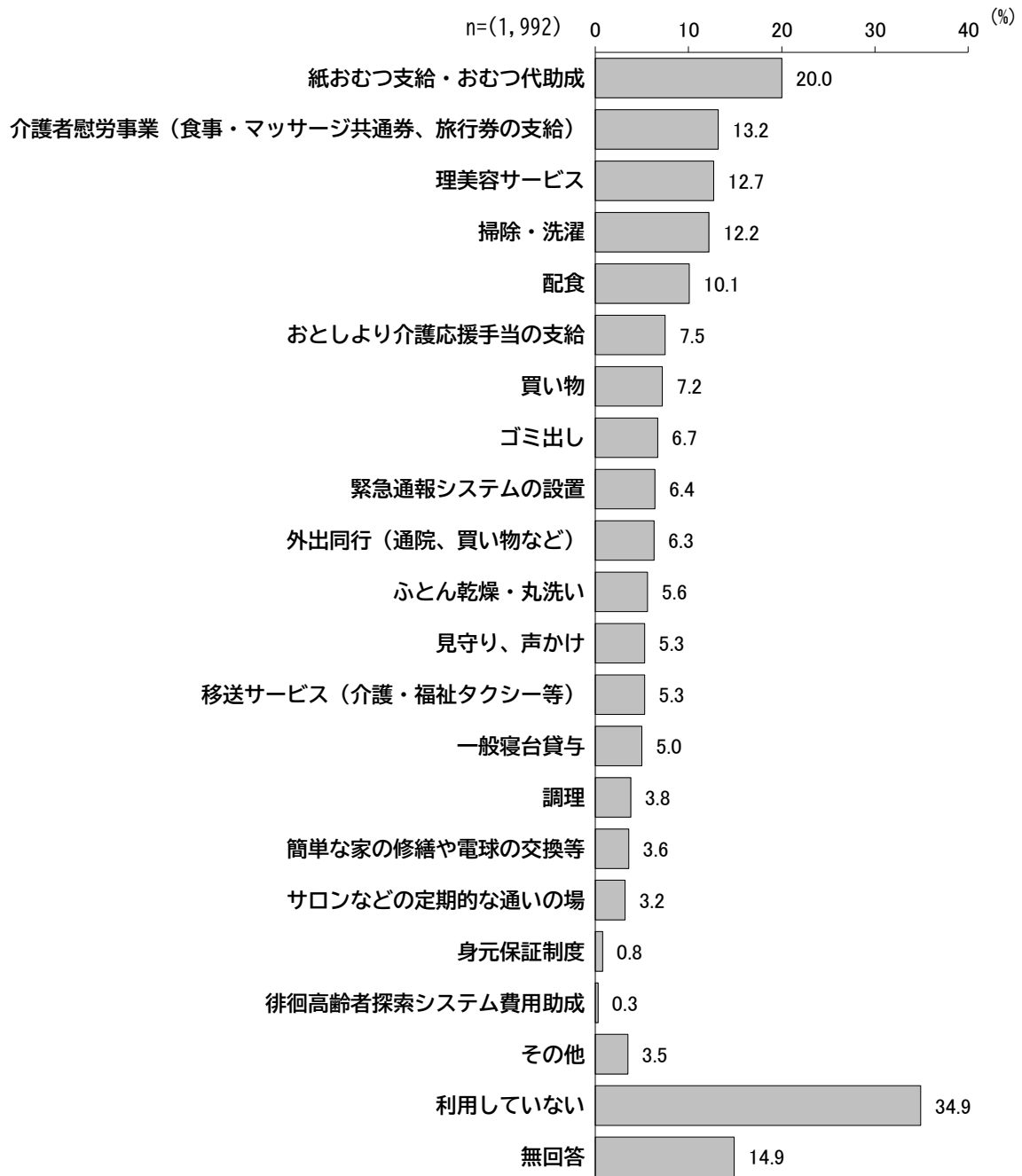


- ※1 軽費老人ホーム（ケアハウス）…本人の収入に応じて低額な費用で基本的な生活支援サービスを受けながら、自立した生活を送ることができます。
- ※2 住宅型有料老人ホーム…食事等生活支援サービスはつきますが、介護は別契約で外部の介護サービスを利用します。
- ※3 介護付有料老人ホーム…介護保険の「特定施設入居者生活介護」の事業者指定を受けた有料老人ホームで、入居時自立から要介護まで幅広いタイプがあります。

（6）現在利用している介護保険外サービス

■「紙おむつ支給・おむつ代助成」が20.0%、「介護者慰労事業（食事・マッサージ共通券、旅行券の支給）」「理美容サービス」「掃除・洗濯」「配食」が1割超

問20 あなたが、現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは何ですか。  
（○はいくつでも）



第4章 調査結果の詳細

要介護・要支援認定者調査（調査C）

〈要介護度別、家族構成別〉

要介護度別で見ると、“要介護2以上”は「紙おむつ支給・おむつ代助成」「介護者慰労事業（食事・マッサージ共通券、旅行券の支給）」「理美容サービス」が要介護1以下より高い。また、“要介護3以上”は「おとしより介護応援手当の支給」が要介護2以下より高い。

家族構成別で見ると、“ひとり暮らし”は特に「掃除・洗濯」「配食」が、“息子・娘との2世帯”は特に「紙おむつ支給・おむつ代助成」が他層より高い。

		n	紙おむつ 代助成・ 支給	介護者慰労 事業（食 事・マッ サージ共 通券・旅 行券の支 給）	理美容サ ービス	掃除・洗 濯	配食	おとしよ り介護 応援手 当の支 給	買い物	ゴミ出 し	緊急通 報の設 置	外出同 行（通 院、 買い物 など）	ふん 洗い 乾燥	(%)
全体		1,992	20.0	13.2	12.7	12.2	10.1	7.5	7.2	6.7	6.4	6.3	5.6	
要介護度	要支援1	409	1.2	2.4	2.2	7.8	6.6	1.5	4.6	2.7	6.8	2.4	2.7	
	要支援2	307	6.2	7.2	6.2	12.1	8.1	3.6	8.1	8.5	6.2	5.2	4.9	
	要介護1	348	4.3	2.3	5.7	14.4	14.1	0.9	7.5	7.8	6.6	7.2	4.9	
	要介護2	282	31.6	20.6	17.7	18.1	14.2	2.8	9.2	8.9	8.5	10.3	8.2	
	要介護3	248	48.0	31.9	25.0	12.1	11.3	20.6	9.3	9.3	5.6	10.1	8.5	
	要介護4	190	44.2	23.7	28.4	8.4	6.3	22.6	3.7	2.6	3.7	5.3	6.3	
	要介護5	110	54.5	30.0	31.8	10.9	10.9	18.2	4.5	8.2	8.2	5.5	6.4	
家族構成	ひとり暮らし	731	13.7	6.0	11.8	18.2	15.0	4.5	10.8	10.5	10.3	8.2	7.0	
	夫婦2人暮らし	480	19.6	17.3	12.5	10.0	7.3	7.3	6.9	5.6	6.5	5.8	6.5	
	息子・娘との2世帯	323	32.2	22.0	12.1	3.4	5.6	15.5	1.9	1.2	2.5	1.9	3.7	
	その他	382	23.6	13.9	15.4	10.7	8.1	5.8	4.5	5.2	2.4	6.8	3.7	

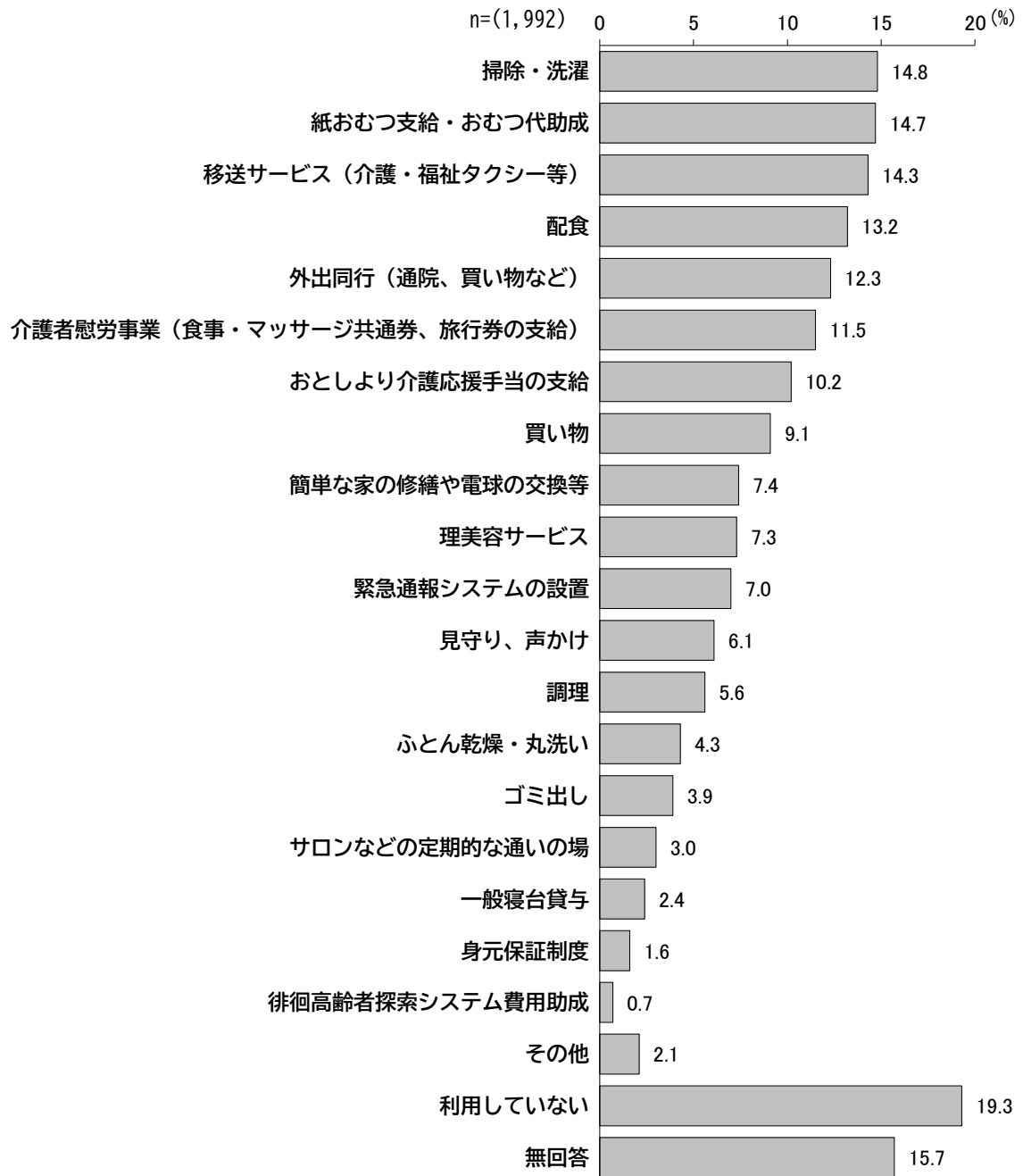
  

		n	見守り、 声かけ	移住（シ ー等） 介護サ ービス 提供	一般寝 台貸与	調理	交換等 修繕や 簡単な 家の電 球の	定期的 な場	サロ ンな ど	身元 保証 制度	徘徊 探索 費用 助成 シス テム	その他	利用 してい ない	無回 答
全体		1,992	5.3	5.3	5.0	3.8	3.6	3.2	0.8	0.3	3.5	34.9	14.9	
要介護度	要支援1	409	3.7	1.7	3.4	1.7	4.2	3.9	0.2	-	3.2	48.4	20.0	
	要支援2	307	5.2	4.2	4.9	3.6	4.6	4.9	2.0	0.3	2.6	40.7	16.0	
	要介護1	348	7.2	4.3	4.3	4.3	4.0	2.3	0.6	-	2.0	47.4	13.5	
	要介護2	282	6.4	5.0	5.3	6.0	3.9	4.3	0.4	1.1	3.9	20.2	12.8	
	要介護3	248	4.8	6.5	5.2	4.0	2.8	0.8	0.4	0.4	4.0	19.4	9.7	
	要介護4	190	4.2	11.6	7.4	3.7	0.5	2.1	0.5	-	5.3	26.8	6.8	
	要介護5	110	7.3	14.5	8.2	3.6	0.9	3.6	1.8	-	6.4	18.2	10.9	
家族構成	ひとり暮らし	731	7.3	4.5	5.2	4.9	4.8	4.1	1.2	0.4	3.3	32.3	14.5	
	夫婦2人暮らし	480	4.2	4.8	6.0	2.9	4.0	2.7	0.8	0.2	3.3	34.2	16.5	
	息子・娘との2世帯	323	1.5	7.4	2.5	1.5	0.9	3.4	-	-	3.4	40.9	11.1	
	その他	382	6.5	6.0	5.5	4.2	2.4	2.4	0.5	0.5	4.2	38.2	12.8	

(7) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

■「掃除・洗濯」が14.8%、「紙おむつ支給・おむつ代助成」が14.7%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が14.3%、さらに「配食」などの4項目が1割超

問21 あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）は何ですか。（○は3つまで）



第4章 調査結果の詳細

要介護・要支援認定者調査（調査C）

〈要介護度別、利用サービス別〉

要介護度別で見ると、“要介護2以上”は「紙おむつ支給・おむつ代助成」が、“要介護3以上”は「おとしより介護応援手当の支給」が他層より高い。また、“要支援2”は「掃除・洗濯」が、“要介護3”は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が他層より高い。

利用サービス別で見ると、“居宅サービス”は「紙おむつ支給・おむつ代助成」「外出同行（通院、買い物など）」「介護者慰労事業（食事・マッサージ共通券、旅行券の支給）」「おとしより介護応援手当の支給」が他層より高い。

		n	掃除・洗濯	紙おむつ支給・おむつ代助成	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	配食	外出同行（通院、買い物など）	介護者慰労事業（食事・マッサージ共通券、旅行券の支給）	おとしより介護応援手当の支給	買い物	簡単な家の修繕や電球の交換等	理美容サービス	緊急通報システムの設置
全体		1,992	14.8	14.7	14.3	13.2	12.3	11.5	10.2	9.1	7.4	7.3	7.0
要介護度	要支援1	409	18.8	8.1	7.6	11.5	9.0	7.6	6.1	10.5	12.5	4.6	10.3
	要支援2	307	20.8	7.5	16.9	15.6	10.7	9.4	8.8	10.4	7.5	6.2	8.1
	要介護1	348	14.9	10.6	11.5	13.5	16.7	10.3	5.7	11.8	7.8	7.8	8.0
	要介護2	282	17.4	18.8	16.3	18.4	16.7	14.5	10.6	9.2	5.0	12.8	7.4
	要介護3	248	8.5	21.0	24.2	12.1	14.5	16.1	17.3	6.5	6.5	8.9	5.2
	要介護4	190	7.4	27.9	16.8	8.4	9.5	16.8	17.4	4.7	2.1	5.8	1.6
	要介護5	110	6.4	29.1	16.4	12.7	7.3	10.9	19.1	4.5	4.5	6.4	2.7
利用サービス	未利用	584	12.5	10.3	9.2	10.1	9.8	7.2	7.7	11.1	6.5	4.5	7.4
	居宅サービス	1,130	16.7	18.4	17.6	15.2	14.5	15.6	12.7	9.6	8.8	9.6	7.8
	居住系サービス	167	11.4	9.0	10.2	12.0	7.8	2.4	3.6	3.0	1.8	6.0	2.4
	施設サービス	163	9.8	11.7	17.2	11.7	9.8	5.5	8.6	4.3	2.5	3.7	1.2

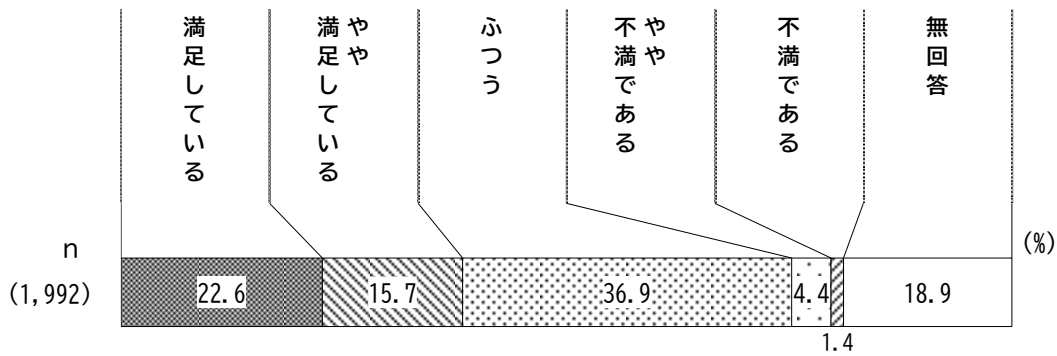
		n	見守り、声かけ	調理	ふとん乾燥・丸洗い	ゴミ出し	サロンなどの定期的な通いの場	一般寝台貸与	身元保証制度	徘徊高齢者探索システム費用助成	その他	利用していない	無回答
全体		1,992	6.1	5.6	4.3	3.9	3.0	2.4	1.6	0.7	2.1	19.3	15.7
要介護度	要支援1	409	6.1	5.1	5.9	3.7	3.9	2.4	2.0	0.2	1.5	22.2	18.6
	要支援2	307	6.5	6.2	3.6	5.2	5.2	2.9	2.3	0.3	2.3	14.0	17.3
	要介護1	348	7.2	6.0	4.3	3.7	2.3	2.9	0.9	1.1	2.3	20.1	14.1
	要介護2	282	5.7	6.4	5.0	6.0	3.9	2.1	1.1	1.1	1.8	17.0	8.5
	要介護3	248	4.4	5.6	4.4	2.4	1.6	1.6	0.8	0.8	3.6	18.5	11.7
	要介護4	190	6.3	3.2	3.2	2.6	1.6	2.6	1.6	1.6	2.6	24.2	18.4
	要介護5	110	6.4	7.3	0.9	0.9	0.9	2.7	0.9	-	1.8	19.1	18.2
利用サービス	未利用	584	6.0	4.6	4.1	4.6	2.6	1.0	2.1	0.3	2.2	16.1	29.3
	居宅サービス	1,130	6.8	6.1	4.8	4.1	3.5	3.6	1.3	1.1	2.0	16.5	7.8
	居住系サービス	167	3.6	3.6	3.0	1.2	3.0	0.6	0.6	-	4.2	41.9	16.2
	施設サービス	163	3.7	6.1	1.8	2.5	-	-	1.8	0.6	1.8	32.5	20.2

## 4. サービスのあり方

### （1）ケアプランの満足度

■ 「ふつう」が36.9%、「満足している」が22.6%

問22 あなたは、現在の介護サービス計画書（ケアプラン）に満足していますか。（○は1つ）



#### 〈利用サービス別〉

利用サービス別で見ると、“居宅サービス”“居住系サービス”は「満足している」が3割前後と高い。それらに“施設サービス”を含め、『満足』（満足している+やや満足している）は、それぞれ4割台後半となっている。

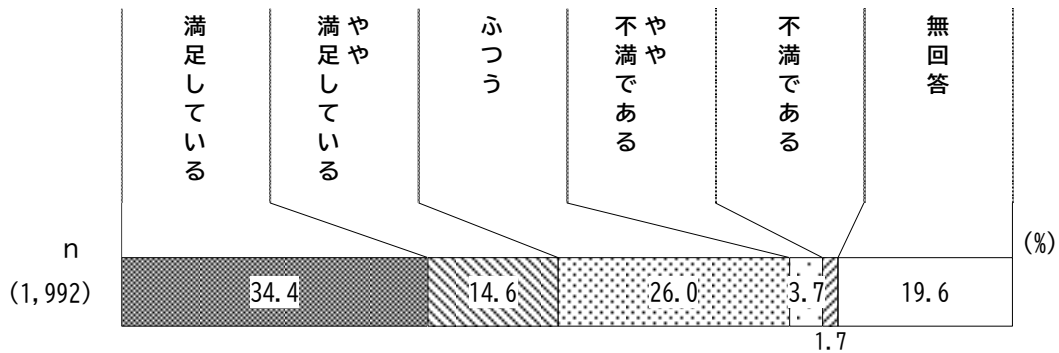
		n	満足している	満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答
全体		1,992	22.6	15.7	36.9	4.4	1.4	18.9
利用サービス	未利用	584	9.4	6.5	27.1	2.9	1.9	52.2
	居宅サービス	1,130	29.6	19.4	41.4	5.3	1.0	3.4
	居住系サービス	167	31.7	15.6	40.7	4.8	1.8	5.4
	施設サービス	163	25.2	22.7	40.5	3.1	1.8	6.7

第4章 調査結果の詳細  
要介護・要支援認定者調査（調査C）

（2）ケアマネジャーの満足度

■「満足している」が34.4%、「ふつう」が26.0%

問23 あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）に満足していますか。（○は1つ）



〈利用サービス別〉

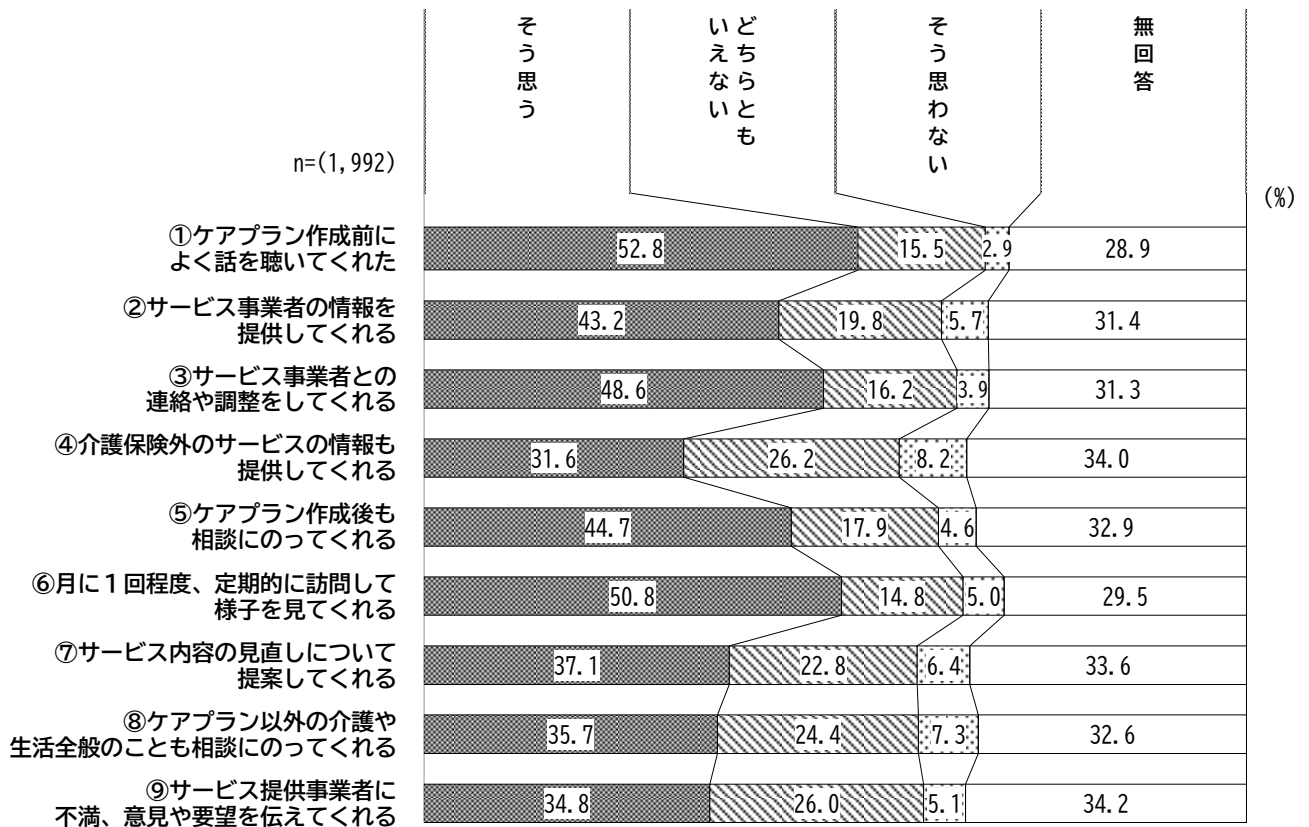
利用サービス別で見ると、“居宅サービス”は「満足している」が他層より高く、『満足』（満足している+やや満足している）は6割を超える。

		n	満足している	満足やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答
全体		1,992	34.4	14.6	26.0	3.7	1.7	19.6
利用サービス	未利用	584	14.4	6.5	21.7	2.2	2.2	52.9
	居宅サービス	1,130	46.5	17.7	26.5	4.6	1.2	3.5
	居住系サービス	167	36.5	22.8	28.7	3.6	1.8	6.6
	施設サービス	163	30.7	19.0	35.6	3.7	1.8	9.2

(3) ケアマネジャーの仕事への評価

■ “ケアプラン作成前によく話を聴いてくれた” が52.8%、“月に1回程度、定期的に訪問して様子を見てくれる” が50.8%、“サービス事業者との連絡や調整をしてくれる” が48.6%

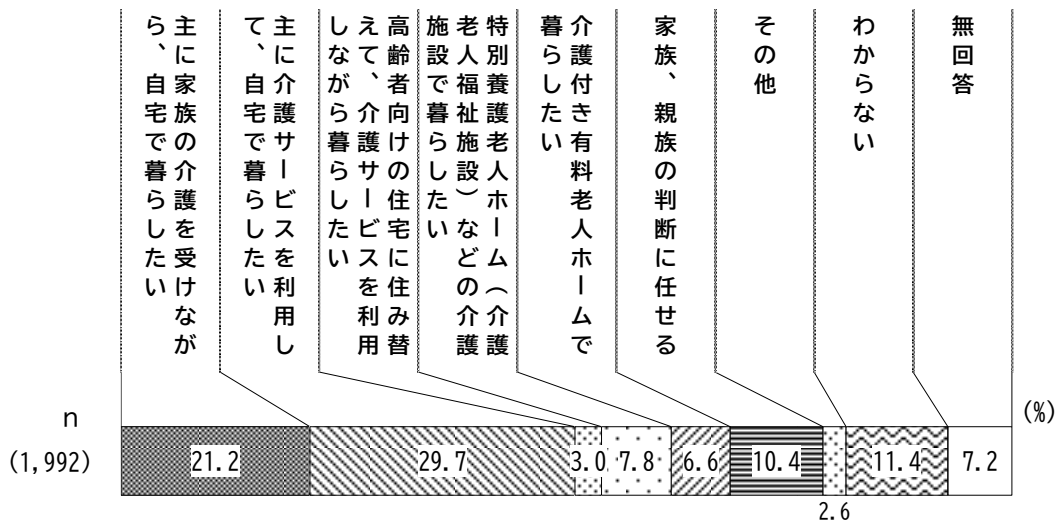
問24 あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）について、どのように感じていますか。  
（①から⑨それぞれ〇は1つ）



（4）今後希望する介護

■「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が29.7%、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が21.2%

問25 あなたは、今後、どのような介護を希望しますか。（○は1つ）



〈要介護度別、家族構成別〉

要介護度別で見ると、“要介護4以上”は「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が他層より低い。また、“要介護3以上”は「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）などの介護施設で暮らしたい」が他層より高い。

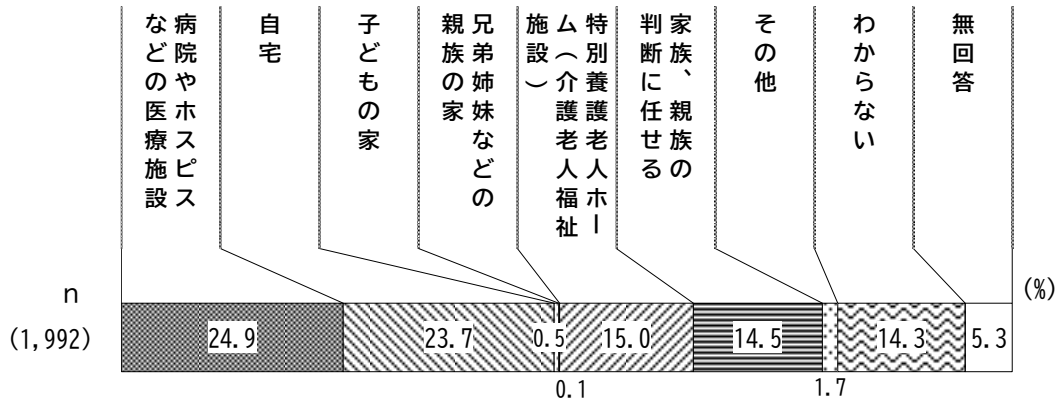
家族構成別で見ると、“ひとり暮らし”は「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が、“息子・娘との2世帯”は「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が他層より高い。

		n	主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）などの介護施設で暮らしたい	介護付き有料老人ホームで暮らしたい	家族、親族の判断に任せる	その他	わからない	無回答
全体		1,992	21.2	29.7	3.0	7.8	6.6	10.4	2.6	11.4	7.2
要介護度	要支援1	409	19.3	30.1	6.1	2.9	6.6	10.5	1.7	14.2	8.6
	要支援2	307	20.5	36.5	2.9	6.8	4.9	8.5	3.6	9.8	6.5
	要介護1	348	20.1	37.6	3.2	4.6	7.5	11.8	1.4	10.1	3.7
	要介護2	282	25.2	36.2	1.8	5.3	6.7	8.5	3.2	7.1	6.0
	要介護3	248	21.0	26.2	1.6	13.7	6.5	11.3	2.4	10.9	6.5
	要介護4	190	22.1	14.7	0.5	15.8	5.8	14.2	3.7	16.3	6.8
要介護5	110	26.4	11.8	-	16.4	10.9	11.8	5.5	10.0	7.3	
家族構成	ひとり暮らし	731	11.4	38.6	4.0	8.6	8.6	7.8	3.1	10.5	7.4
	夫婦2人暮らし	480	28.3	29.0	3.1	5.6	4.0	11.0	1.9	10.8	6.3
	息子・娘との2世帯	323	33.7	23.5	2.5	6.8	3.7	13.3	0.6	11.8	4.0
	その他	382	21.7	19.6	1.8	10.2	8.6	12.0	4.5	13.6	7.9

（5）終末期に介護を受けたい場所

■「病院やホスピスなどの医療施設」が24.9%、「自宅」が23.7%

問26 あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。（○は1つ）



〈要介護度別、家族構成別〉

要介護度別で見ると、“要支援1”“要支援2”は「病院やホスピスなどの医療施設」が、“要介護3以上”は「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」が他層より高い。

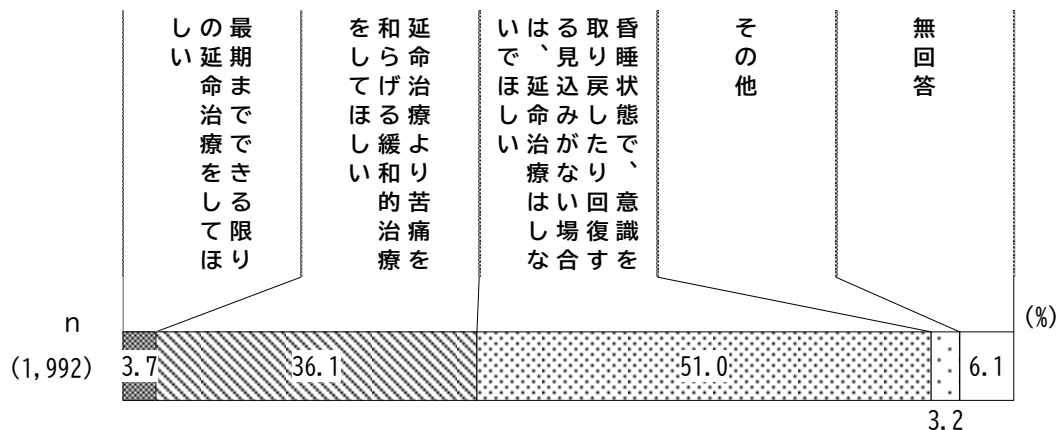
家族構成別で見ると、“ひとり暮らし”は「病院やホスピスなどの医療施設」が、“夫婦2人暮らし”“息子・娘との2世帯”は「自宅」が他層より高い。また、“息子・娘との2世帯”は「家族、親族の判断に任せる」が他層より高い。

		n	医療施設 病院やホスピスなどの	自宅	子どもの家	親族の家族の判断に任せる	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	その他	わからない	無回答	
全体		1,992	24.9	23.7	0.5	0.1	15.0	14.5	1.7	14.3	5.3
要介護度	要支援1	409	35.9	21.0	-	-	10.3	10.5	1.2	14.2	6.8
	要支援2	307	31.6	23.1	0.7	-	10.7	11.7	1.3	16.0	4.9
	要介護1	348	23.0	25.3	0.9	-	13.2	17.5	2.3	14.4	3.4
	要介護2	282	24.1	25.5	0.4	-	14.2	18.1	1.8	12.8	3.2
	要介護3	248	16.5	25.0	0.8	0.4	20.2	16.1	2.0	14.5	4.4
	要介護4	190	16.3	20.5	0.5	0.5	22.1	18.9	1.6	14.2	5.3
	要介護5	110	16.4	26.4	0.9	-	28.2	13.6	1.8	10.0	2.7
家族構成	ひとり暮らし	731	30.9	18.2	0.7	-	17.8	10.4	1.6	15.0	5.3
	夫婦2人暮らし	480	26.9	28.5	-	-	12.1	14.0	1.3	12.9	4.4
	息子・娘との2世帯	323	18.3	30.0	0.9	-	12.7	19.8	0.6	13.6	4.0
	その他	382	18.6	20.9	0.3	0.5	16.5	19.4	3.4	16.0	4.5

（6）延命治療についての考え

■「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい」が51.0%、「延命治療より苦痛を和らげる緩和的治療をしてほしい」が36.1%

問27 あなたは、延命のための医療を受けることについてどう思いますか。（○は1つ）



〈年代別、要介護度別〉

年代別では、大きな差異は見られない。

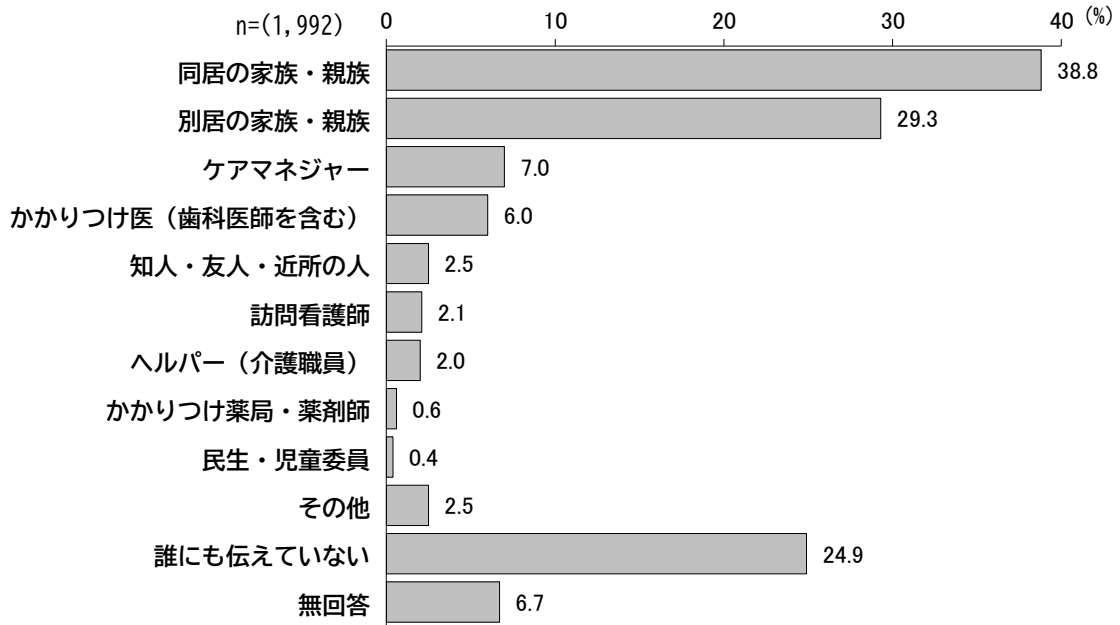
要介護度別で見ると、“要支援1”“要介護1”は「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい」が他層より高い。

		n	最期まで治療をのりしてほしい (%)	延命治療より苦痛を和らげる緩和的治療をしてほしい (%)	昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		1,992	3.7	36.1	51.0	3.2	6.1
年代	65～74歳	146	6.2	32.2	54.1	1.4	6.2
	75～84歳	664	2.9	34.8	53.3	3.3	5.7
	85歳以上	1,087	3.7	37.4	50.0	3.1	5.8
要介護度	要支援1	409	3.7	32.8	56.2	1.2	6.1
	要支援2	307	3.6	38.8	49.5	2.9	5.2
	要介護1	348	3.2	32.5	56.3	2.6	5.5
	要介護2	282	4.3	40.1	48.2	3.5	3.9
	要介護3	248	2.8	38.7	48.8	4.8	4.8
	要介護4	190	3.2	40.0	44.2	6.3	6.3
	要介護5	110	3.6	40.0	47.3	5.5	3.6

(7) 介護・延命治療についての希望を伝えた人

■「同居の家族・親族」が38.8%、「別居の家族・親族」が29.3%

問28 あなたは、介護や延命治療（問25から問27までの内容）についての希望を誰かに伝えて  
いますか。（○はいくつでも）



〈年代別、要介護度別〉

年代別で見ると、年代が上がるにつれ、「別居の家族・親族」が高くなっている。

要介護度別で見ると、“要介護3”は「同居の家族・親族」が他層より高い。

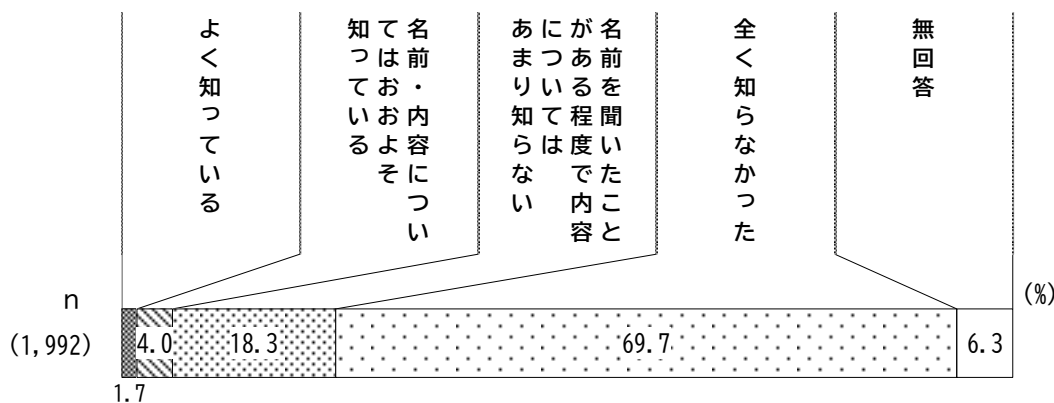
		n	同居の家族・親族	別居の家族・親族	ケアマネジャー	（かかりつけ医 （歯科医師を含む）	近所の人・友人・	訪問看護師	（ヘルパー （介護職員）	かかりつけ薬局・	民生・児童委員	その他	誰にも 伝えて いない	無 回答
全 体		1,992	38.8	29.3	7.0	6.0	2.5	2.1	2.0	0.6	0.4	2.5	24.9	6.7
年代	65～74歳	146	41.8	17.1	6.8	4.8	4.1	1.4	2.1	0.7	0.7	3.4	29.5	5.5
	75～84歳	664	39.9	24.5	5.1	4.2	2.9	1.2	2.0	0.2	0.2	1.5	28.5	6.2
	85歳以上	1,087	37.9	33.9	8.2	7.2	2.1	2.9	1.9	0.8	0.6	2.9	22.6	6.6
要介護度	要支援1	409	34.7	27.6	3.2	3.9	3.9	0.2	0.7	0.2	0.5	2.7	26.2	8.8
	要支援2	307	37.1	31.6	4.6	2.6	2.9	0.3	1.3	0.7	0.7	1.6	28.0	5.9
	要介護1	348	37.6	31.3	8.3	7.2	2.6	4.3	3.4	1.4	1.1	2.3	24.1	5.5
	要介護2	282	40.1	28.4	8.2	8.5	0.7	4.6	2.1	0.4	-	2.1	25.2	5.0
	要介護3	248	46.0	34.3	10.5	8.5	2.0	2.4	2.8	0.4	-	2.8	19.0	4.8
	要介護4	190	42.1	26.8	8.9	4.2	2.6	1.6	0.5	0.5	-	4.2	25.3	5.3
	要介護5	110	42.7	24.5	12.7	12.7	1.8	1.8	5.5	0.9	-	2.7	26.4	2.7

（8）ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の理解度

■「全く知らなかった」が69.7%

問29 あなたは、「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」※ についてどの程度ご存知ですか。（○は1つ）

※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）…人生の最終段階における医療や介護について、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い共有すること。「人生会議」ともいう。



〈年代別、要介護度別〉

年代別では、大きな差異は見られない。

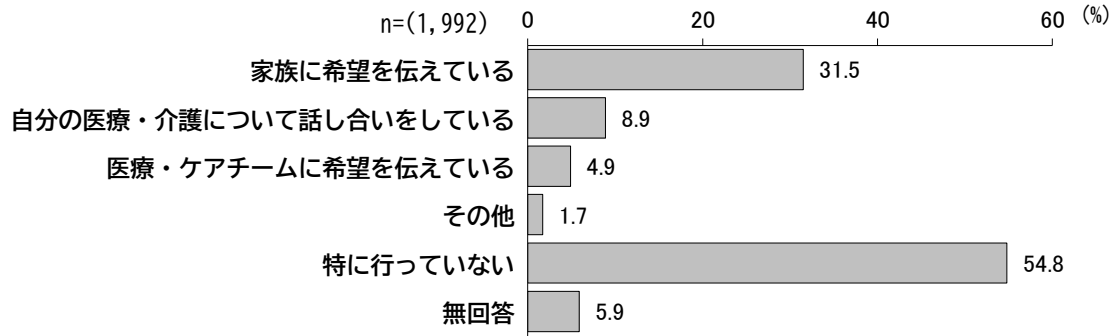
要介護度別で見ると、「要介護1以上」は「全く知らなかった」が7割台となっている。

		n	よく知っている	名前・内容を知らずとも知っている	名前を聞いたことがある程度ではない	全く知らなかった	無回答
全体		1,992	1.7	4.0	18.3	69.7	6.3
年代	65～74歳	146	2.1	4.1	17.8	69.9	6.2
	75～84歳	664	0.8	4.4	18.2	70.9	5.7
	85歳以上	1,087	1.7	3.5	18.2	70.2	6.3
要介護度	要支援1	409	1.2	4.9	20.8	64.8	8.3
	要支援2	307	3.6	3.6	22.1	66.1	4.6
	要介護1	348	1.7	2.9	18.7	73.6	3.2
	要介護2	282	1.1	3.2	19.9	71.3	4.6
	要介護3	248	0.8	4.0	15.7	74.2	5.2
	要介護4	190	1.6	4.7	12.1	75.3	6.3
	要介護5	110	1.8	3.6	14.5	74.5	5.5

（9）人生の最終段階における医療・介護について行っていること

■「特に行っていない」が54.8%、「家族に希望を伝えている」が31.5%

問30 あなたが、人生の最終段階における医療や介護に向けて行っていることは何ですか。  
（○はいくつでも）



〈年代別、要介護度別〉

年代別で見ると、“65～74歳”は「特に行っていない」が、“75歳以上”は「家族に希望を伝えている」が他の年代より高い。

要介護度別で見ると、“要支援2”は「特に行っていない」が他層より高い。

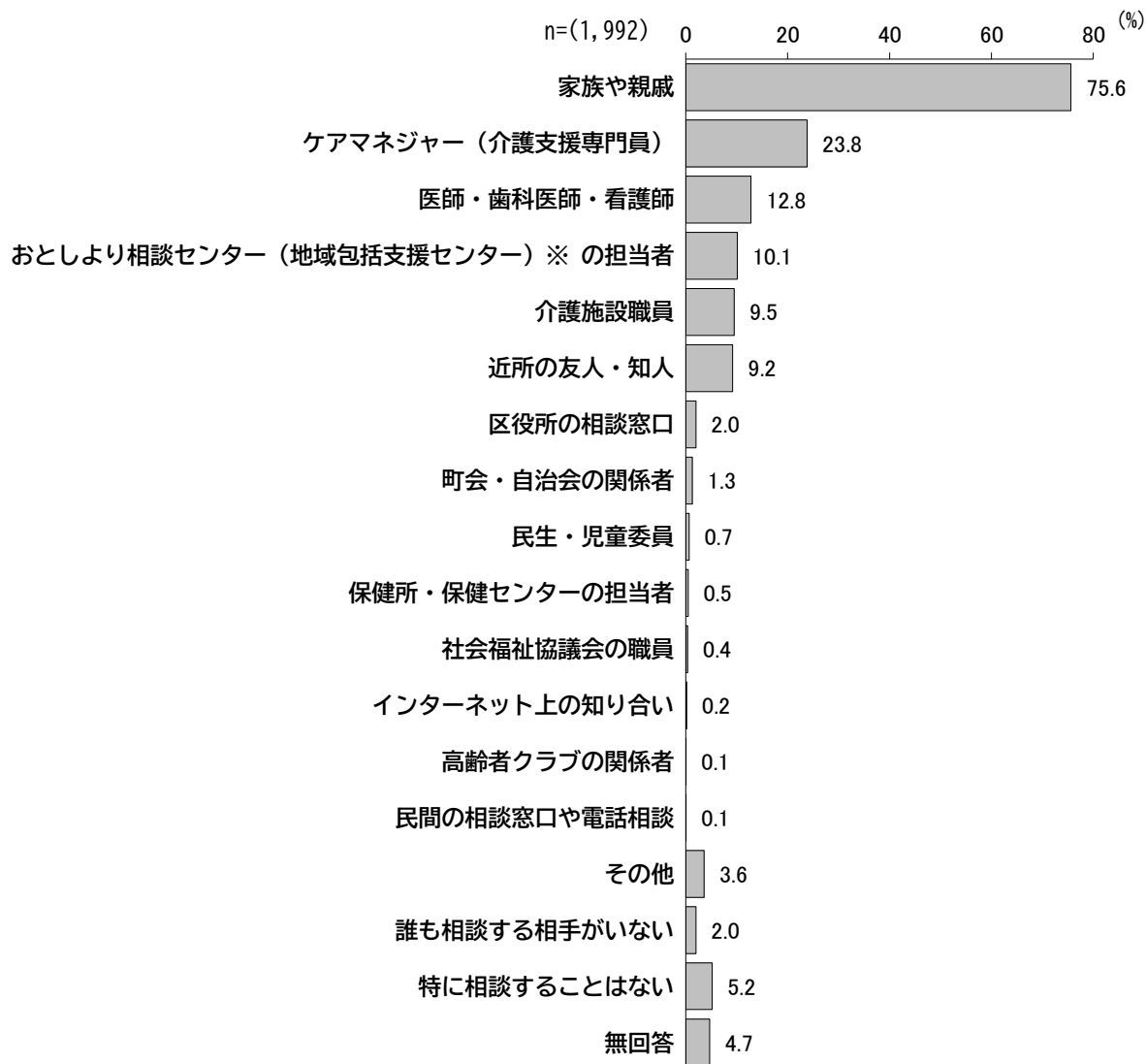
		n	家族に希望を伝えている	自分の医療・介護について話し合いをしている	医療・ケアチームに希望を伝えている	その他	特に行っていない	無回答
全体		1,992	31.5	8.9	4.9	1.7	54.8	5.9
年代	65～74歳	146	19.9	13.0	4.1	2.1	65.1	2.7
	75～84歳	664	31.5	8.3	4.1	0.9	55.3	6.5
	85歳以上	1,087	33.6	8.6	5.2	2.0	53.1	5.8
要介護度	要支援1	409	29.3	9.3	2.7	0.5	56.5	7.8
	要支援2	307	26.7	10.1	1.6	2.0	60.3	3.6
	要介護1	348	33.6	8.0	5.2	2.3	55.2	5.2
	要介護2	282	35.8	11.7	6.7	1.4	51.8	3.9
	要介護3	248	34.7	9.7	8.1	1.6	51.6	4.0
	要介護4	190	36.3	5.3	6.8	2.6	50.0	5.8
	要介護5	110	30.0	7.3	8.2	2.7	54.5	5.5

## 5. 相談や権利擁護

### （1）困ったときの相談先

■「家族や親戚」が75.6%

問31 あなたは、普段の生活で困ったとき、誰に相談していますか。（〇は3つまで）

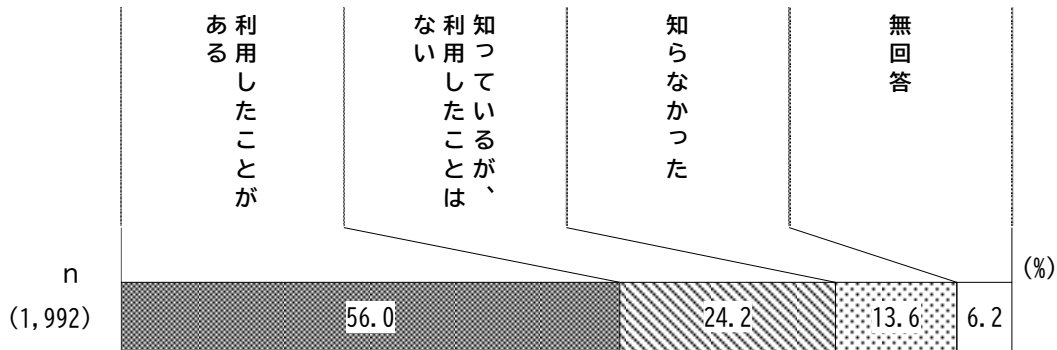


※おとしより相談センター（地域包括支援センター）…高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくために、介護保険・福祉サービスの利用方法、介護認定の手続きや権利擁護に関する相談・支援等を行う機関として、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等を配置し、京橋、日本橋、月島の3地域に設置されています。

(2) 「おとしより相談センター」の認知・利用状況

■ 「利用したことがある」が56.0%

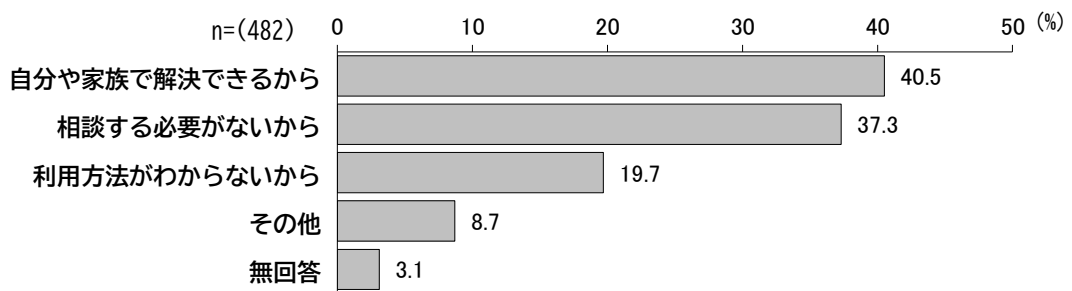
問32 あなたは、「おとしより相談センター（地域包括支援センター）」をご存知ですか。（○は1つ）



(3) 「おとしより相談センター」を利用したことがない理由

■ 「自分や家族で解決できるから」が40.5%、「相談する必要があるから」が37.3%

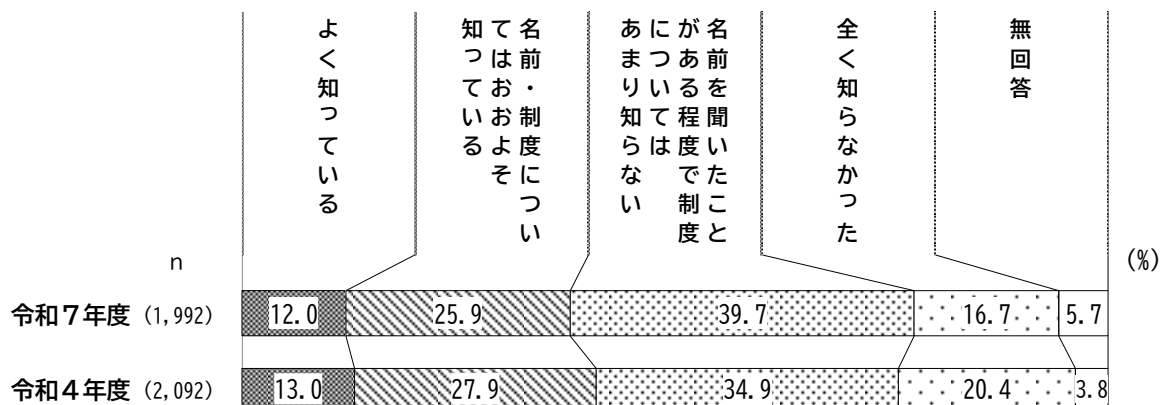
【問32-1は、問32で「2. 知っているが、利用したことはない」と答えた方におうかがいします】  
問32-1 「おとしより相談センター（地域包括支援センター）」を利用したことがない主な理由は何ですか。（○はいくつでも）



（4）成年後見制度の認知度

■「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が39.7%、「名前・制度についてはおおよそ知っている」が25.9%

問33 あなたは、「成年後見制度」※ について内容をどの程度ご存知ですか。（○は1つ）  
※成年後見制度…本人が、障害や認知症などで判断能力に欠ける場合、本人に代わって家庭裁判所が決める法定後見人が財産管理や介護サービス契約などを行うことができる制度です。



令和4年度の調査結果と比較すると、大きな差異は見られない。

〈要介護度別〉

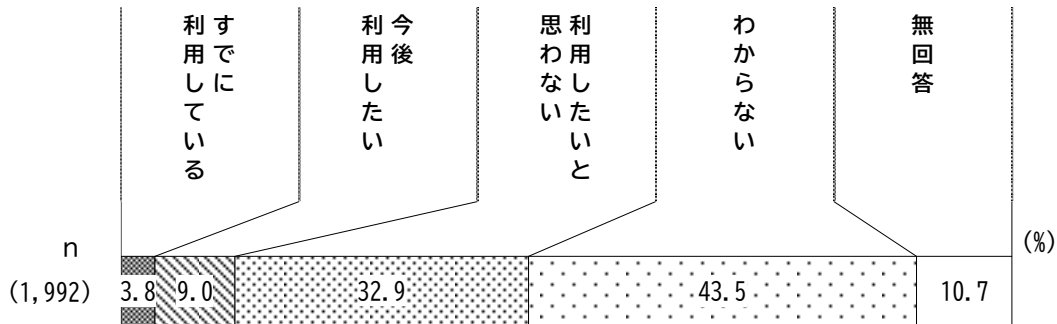
要介護度別で見ると、“要介護4以上”は「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が他層より低い。

		n	よく知っている (%)	おおよそ知っている (%)	名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない (%)	全く知らなかった (%)	無回答 (%)
全体		1,992	12.0	25.9	39.7	16.7	5.7
要介護度	要支援1	409	9.0	27.6	41.6	14.4	7.3
	要支援2	307	16.6	26.7	39.1	14.7	2.9
	要介護1	348	12.4	25.3	42.0	16.1	4.3
	要介護2	282	10.3	24.1	41.8	19.5	4.3
	要介護3	248	11.7	25.4	40.7	16.1	6.0
	要介護4	190	14.2	26.8	34.2	19.5	5.3
	要介護5	110	14.5	28.2	34.5	19.1	3.6

(5) 成年後見制度の利用意向

■ 「わからない」が43.5%、「利用したいと思わない」が32.9%

問34 「成年後見制度」を利用したいと思えますか。(○は1つ)



〈要介護度別〉

要介護度別で見ると、“要介護5”で「すでに利用している」が他層より高いものの、利用意向に大きな差異は見られない。

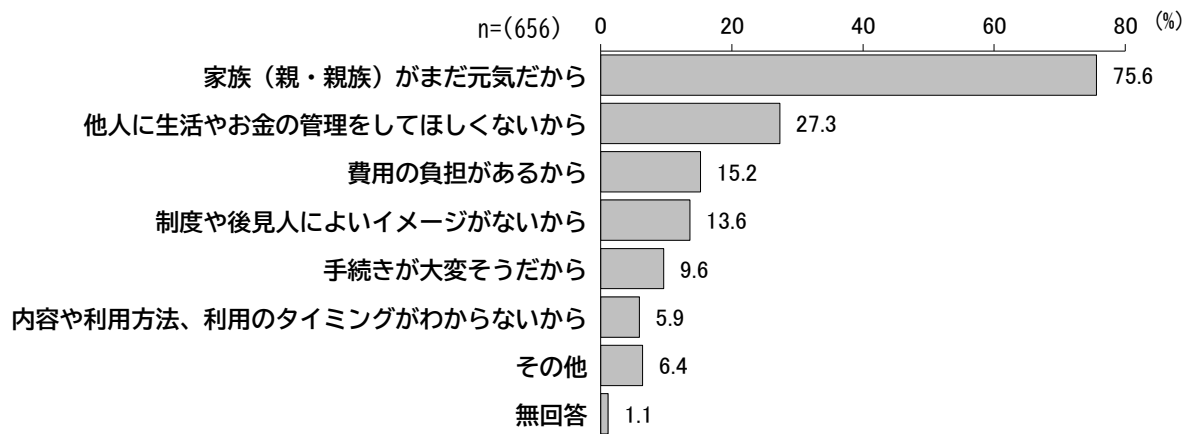
		n	利 用 す で に 利 用 し て い る	利 今 後 利 用 し た い	思 利 用 し た い と 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1,992	3.8	9.0	32.9	43.5	10.7
要介護度	要支援1	409	2.0	9.5	31.3	42.3	14.9
	要支援2	307	2.6	9.4	33.9	43.6	10.4
	要介護1	348	3.7	9.8	33.6	44.8	8.0
	要介護2	282	4.3	9.2	32.3	44.7	9.6
	要介護3	248	3.6	6.9	37.1	43.5	8.9
	要介護4	190	4.7	8.4	34.2	45.8	6.8
	要介護5	110	10.0	11.8	32.7	40.9	4.5

（6）成年後見制度を利用したいと思わない理由

■「家族（親・親族）がまだ元気だから」が75.6%

【問34-1は、問34で「3. 利用したいと思わない」と答えた方におうかがいします】

問34-1 「成年後見制度」を利用したいと思わない理由を教えてください。（〇はいくつでも）

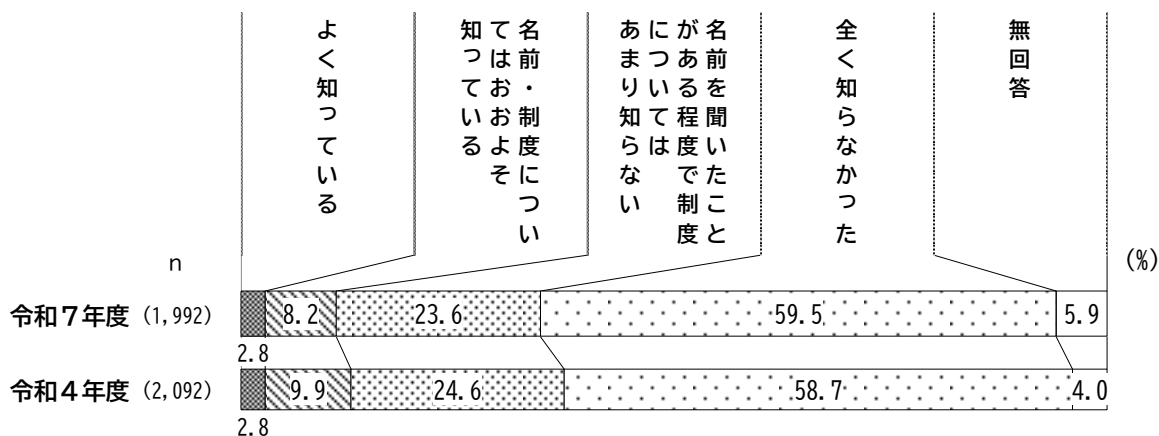


（7）権利擁護支援事業の認知度

■「全く知らなかった」が59.5%

問35 「権利擁護支援事業」※ について内容をどの程度知っていますか。（○は1つ）

※権利擁護支援事業…判断能力に不安がある方に対して、日常的な金銭の出し入れや通帳などの保管、福祉サービスの利用援助などを行うことができる制度です。



令和4年度の調査結果と比較すると、大きな差異は見られない。

〈要介護度別〉

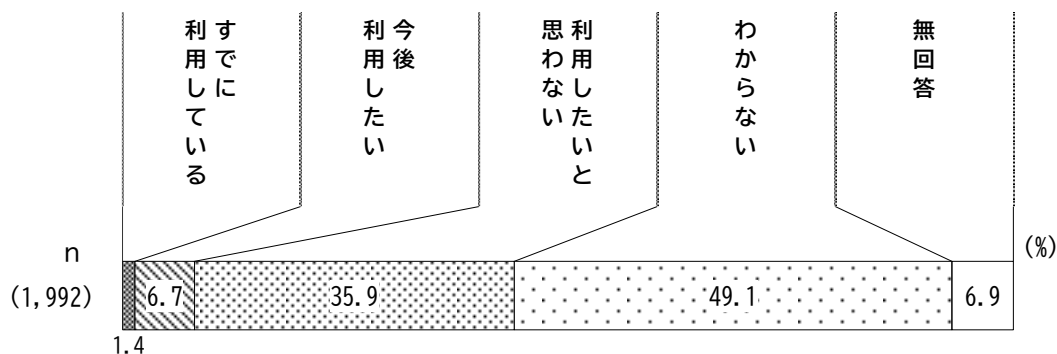
要介護度別で見ると、“要介護2以上”で「全く知らなかった」が6割台となっている。

		n	よく知っている	名前・おおよそ知っている	名前を聞いたことある程度ではない	名前を聞いたことある程度ではない	全く知らなかった	無回答
全体		1,992	2.8	8.2	23.6	59.5	5.9	
要介護度	要支援1	409	2.2	9.3	23.5	58.2	6.8	
	要支援2	307	2.6	10.1	27.7	55.0	4.6	
	要介護1	348	3.2	7.2	25.9	58.9	4.9	
	要介護2	282	2.5	9.2	20.9	62.4	5.0	
	要介護3	248	2.0	5.2	23.8	64.1	4.8	
	要介護4	190	3.7	10.0	16.3	65.3	4.7	
	要介護5	110	3.6	4.5	26.4	62.7	2.7	

（8）権利擁護支援事業の利用意向

■ 「わからない」が49.1%、「利用したいと思わない」が35.9%

問36 「権利擁護支援事業」を利用したいと思えますか。（○は1つ）



〈要介護度別〉

要介護度別で見ると、“要介護5”で「今後利用したい」が他層よりやや高い。

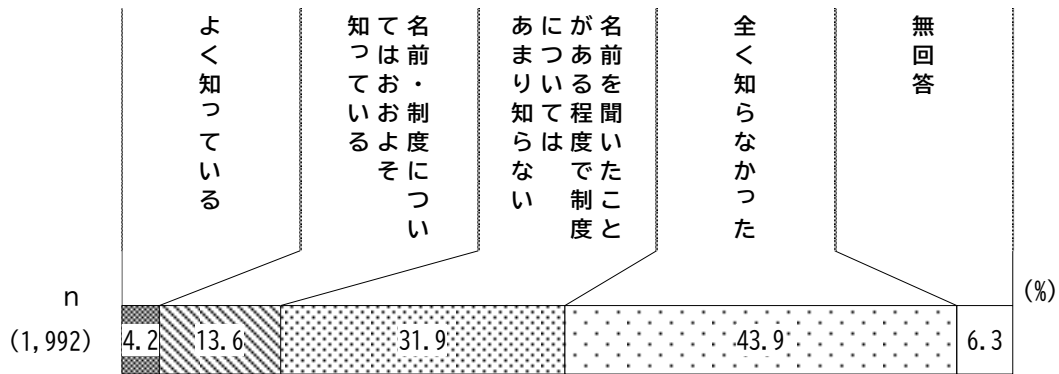
(%)

		n	すでに利用している	今後利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
全体		1,992	1.4	35.9	35.9	49.1	6.9
要介護度	要支援1	409	0.2	6.8	34.0	50.1	8.8
	要支援2	307	0.7	7.8	39.1	46.9	5.5
	要介護1	348	1.7	8.0	37.6	47.1	5.5
	要介護2	282	2.1	4.3	35.8	51.8	6.0
	要介護3	248	0.8	7.3	38.3	48.0	5.6
	要介護4	190	1.6	3.2	35.3	54.7	5.3
	要介護5	110	4.5	10.9	32.7	46.4	5.5

（9）法人後見人制度の認知度

■「全く知らなかった」が43.9%で、「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」が31.9%

問37 「法人後見人制度」※を知っていますか（○は1つ）  
 ※法人後見人制度…社会福祉法人やNPO法人などの法人が、判断能力が不十分な人の成年後見人等として、保護・支援を行う制度です。



〈要介護度別〉

要介護度別で見ると、要介護が上がるにつれ、「全く知らなかった」が高くなる傾向にあり、「要介護4以上」は5割前後となっている。

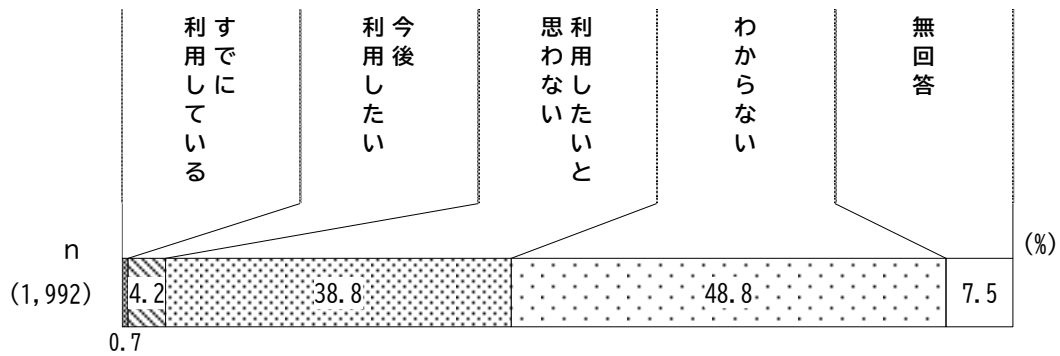
		n	よく知っている	名前・制度について知っている	名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない	全く知らなかった	無回答
全体		1,992	4.2	13.6	31.9	43.9	6.3
要介護度	要支援1	409	3.4	16.9	33.0	38.6	8.1
	要支援2	307	5.5	15.0	33.2	42.0	4.2
	要介護1	348	4.6	12.6	33.0	44.8	4.9
	要介護2	282	3.9	11.0	32.6	47.2	5.3
	要介護3	248	2.8	11.7	33.1	46.8	5.6
	要介護4	190	4.7	13.2	26.3	49.5	6.3
	要介護5	110	5.5	11.8	27.3	51.8	3.6

第4章 調査結果の詳細  
要介護・要支援認定者調査（調査C）

（10）法人後見人制度の利用意向

■ 「わからない」が48.8%、「利用したいと思わない」が38.8%

問38 「法人後見人制度」を利用したいと思いますか（○は1つ）



〈要介護度別〉

要介護度別では、大きな差異は見られない。

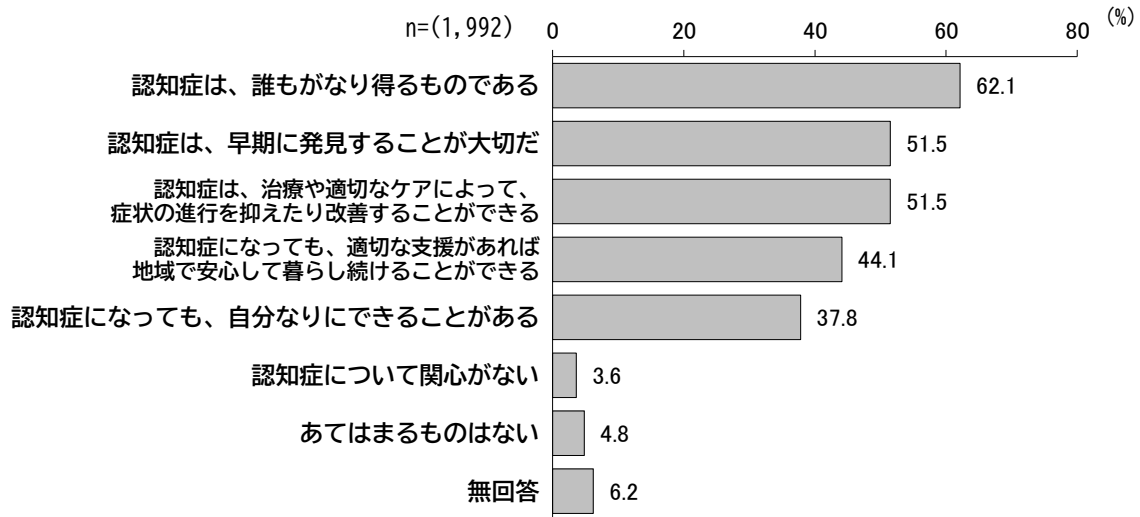
		n	利 用 す で に て い る	利 用 後 し た い	思 用 な い た い と	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1,992	0.7	4.2	38.8	48.8	7.5
要介護度	要支援1	409	0.2	3.9	38.4	47.7	9.8
	要支援2	307	1.3	4.6	38.4	49.2	6.5
	要介護1	348	1.1	4.9	41.4	46.3	6.3
	要介護2	282	0.4	3.9	35.5	53.5	6.7
	要介護3	248	0.4	2.8	44.8	46.4	5.6
	要介護4	190	-	4.2	38.9	51.6	5.3
	要介護5	110	0.9	8.2	40.0	45.5	5.5

## 6. 認知症

### （1）認知症についての考え

- 「認知症は、誰もがなり得るものである」が62.1%、「認知症は、早期に発見することが大切だ」「認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる」がともに51.5%

問39 あなたは認知症について、どのように考えていますか。（○はいくつでも）



#### 〈要介護度別〉

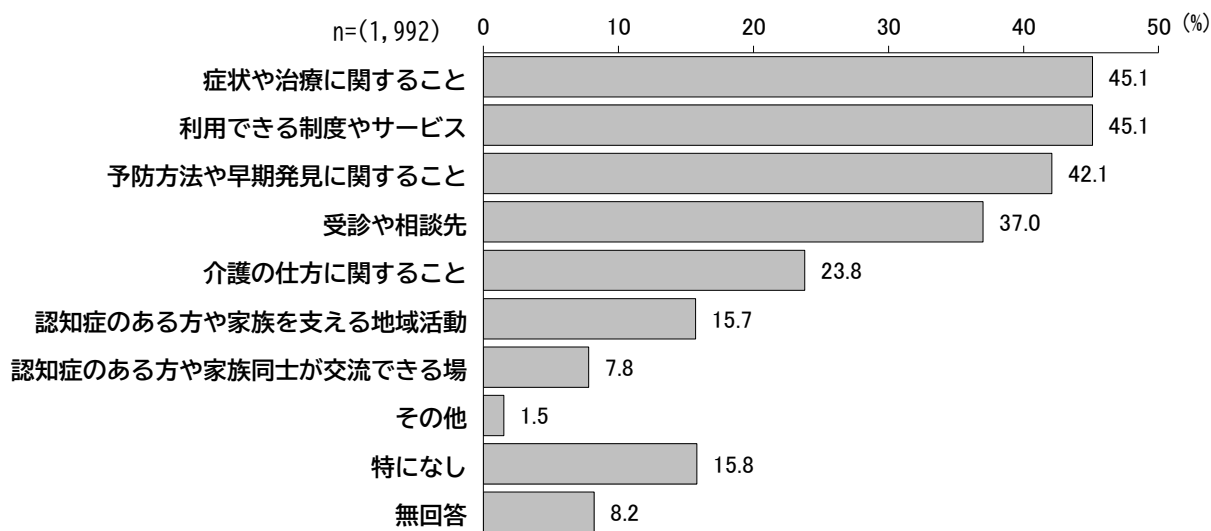
要介護度別で見ると、“要支援1”“要支援2”は「認知症は、早期に発見することが大切だ」が他層より高い。また、“要介護4以上”は「認知症は、早期に発見することが大切だ」「認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる」「認知症になっても、自分なりにできることがある」「認知症になっても、適切な支援があれば地域で安心して暮らし続けることができる」が他層より低い。

		n	認知症は、誰もがなり得るものである	認知症は、早期に発見することが大切だ	認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる	認知症になっても、適切な支援があれば地域で安心して暮らし続けることができる	認知症になっても、自分なりにできることがある	認知症について関心がない	あてはまるものはない	無回答
全体		1,992	62.1	51.5	51.5	44.1	37.8	3.6	4.8	6.2
要介護度	要支援1	409	61.9	56.5	51.8	43.3	39.1	4.4	3.4	5.9
	要支援2	307	62.5	59.6	57.3	50.2	37.8	2.3	3.3	4.6
	要介護1	348	62.6	52.9	54.6	47.7	39.4	3.4	3.2	4.9
	要介護2	282	62.8	48.6	55.7	43.3	39.4	3.2	5.0	5.0
	要介護3	248	62.1	51.6	47.6	42.7	39.9	4.0	6.5	6.0
	要介護4	190	65.8	38.4	43.2	37.9	32.6	3.7	5.8	7.9
	要介護5	110	59.1	43.6	47.3	40.9	31.8	2.7	13.6	5.5

(2) 認知症に関する欲しい情報

■「症状や治療に関すること」「利用できる制度やサービス」がともに45.1%、「予防方法や早期発見に関すること」が42.1%

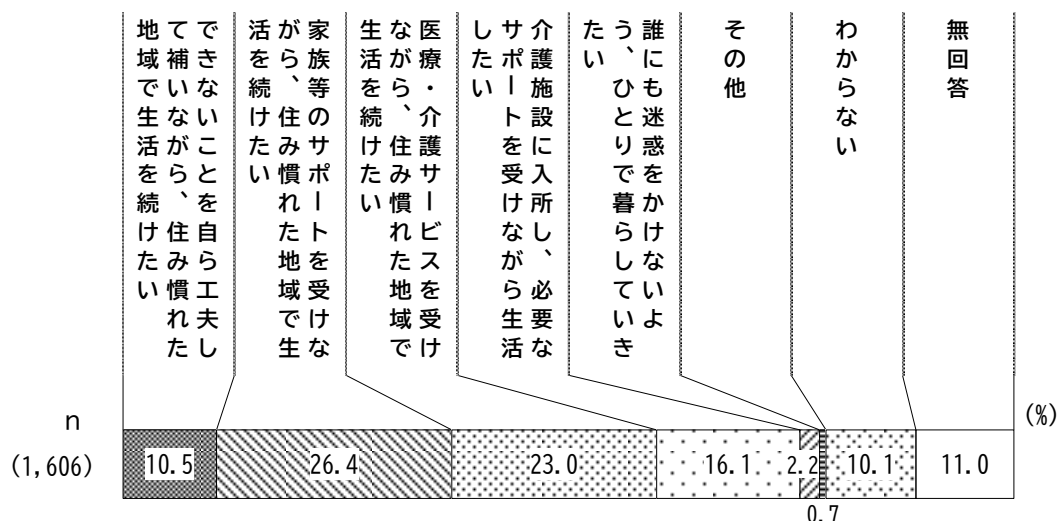
問40 あなたが認知症に関する情報でもっと欲しいと思う内容は何か。(○はいくつでも)



(3) 認知症になったときの暮らし方の希望

■「家族等のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けたい」が26.4%、「医療・介護サービスを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けたい」が23.0%、「介護施設に入所し、必要なサポートを受けながら生活したい」が16.1%

【問41はご自宅にお住まいの方のみお答えください】  
問41 あなたが認知症になったとき、どのように暮らしたいと思いますか。(○は1つ)



〈年代別、要介護度別〉

年代別で見ると、「65～84歳」は「医療・介護サービスを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けたい」が85歳以上より高い。

要介護度別で見ると、「要介護4」は「介護施設に入所し、必要なサポートを受けながら生活したい」が他層より高い。また、「要支援1・2」は「家族等のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けたい」が他層より低い。

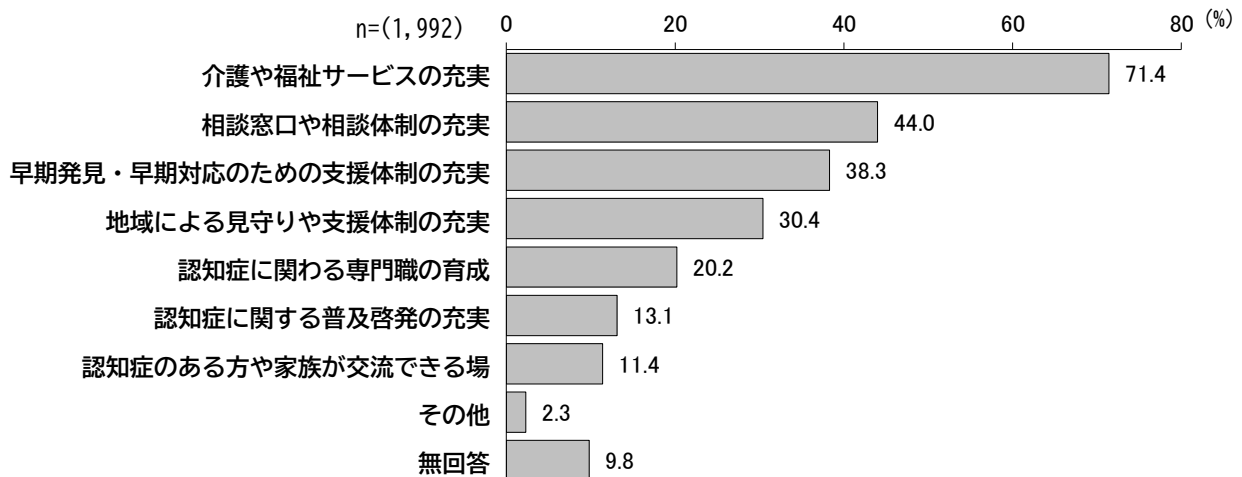
(%)

		n	地でできない生活が続けたい	家族等のサポートを受けたい	医療・介護サービスを受けながら生活したい	介護施設に入所し、必要なサポートを受けたい	誰も迷惑をかけないよき	その他	わからない	無回答
全体		1,606	10.5	26.4	23.0	16.1	2.2	0.7	10.1	11.0
年代	65～74歳	123	14.6	24.4	25.2	14.6	0.8	0.8	9.8	9.8
	75～84歳	564	11.5	24.3	26.1	15.6	3.0	0.4	9.4	9.8
	85歳以上	850	8.8	28.1	20.8	17.2	1.8	0.9	10.5	11.9
要介護度	要支援1	360	15.3	19.7	23.6	18.9	3.3	0.6	7.5	11.1
	要支援2	271	12.5	22.9	26.6	17.3	2.6	0.4	10.0	7.7
	要介護1	288	11.5	29.5	25.3	15.6	1.0	0.7	9.0	7.3
	要介護2	225	9.3	32.0	20.4	16.4	1.3	0.9	11.6	8.0
	要介護3	188	6.4	32.4	25.0	10.1	1.1	0.5	10.1	14.4
	要介護4	130	3.1	26.9	17.7	20.8	3.1	1.5	10.8	16.2
	要介護5	70	4.3	31.4	15.7	11.4	-	1.4	12.9	22.9

(4) 認知症になったとき住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと

■「介護や福祉サービスの充実」が71.4%

問42 あなたが認知症になったとき、住み慣れた地域で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

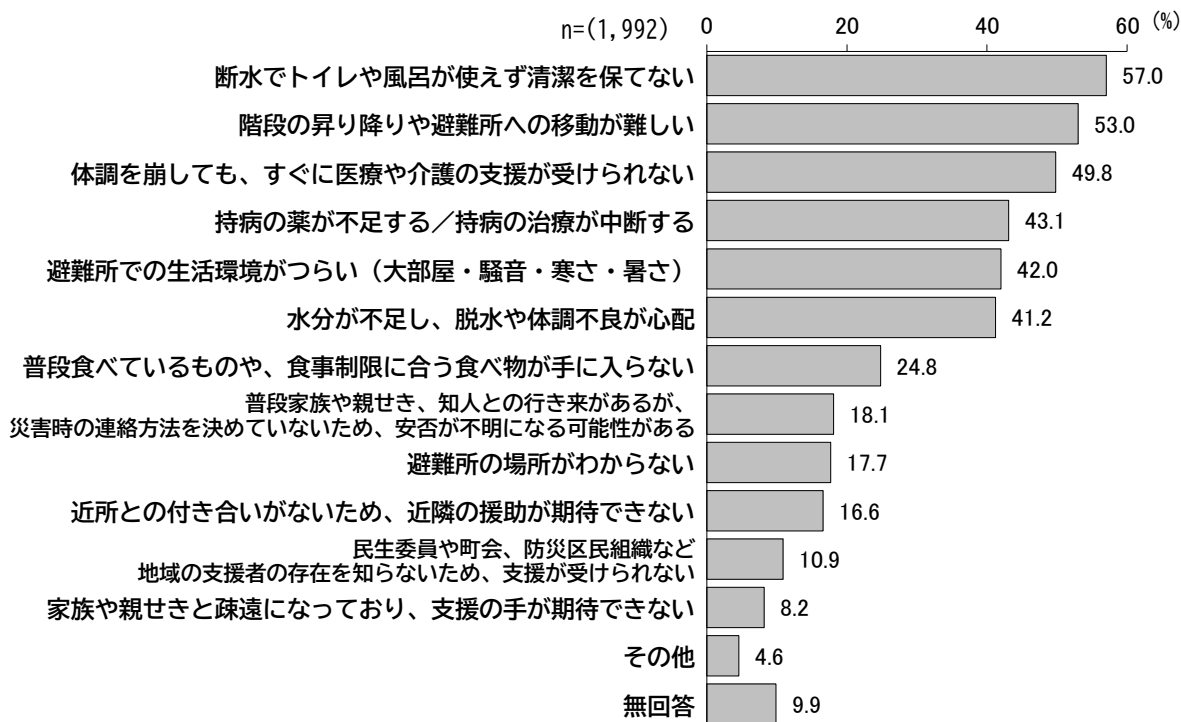


## 7. 災害時の対応

### （1）災害時に困ること

■「断水でトイレや風呂が使えず清潔を保てない」が57.0%で、「階段の昇り降りや避難所への移動が難しい」が53.0%、「体調を崩しても、すぐに医療や介護の支援が受けられない」が49.8%

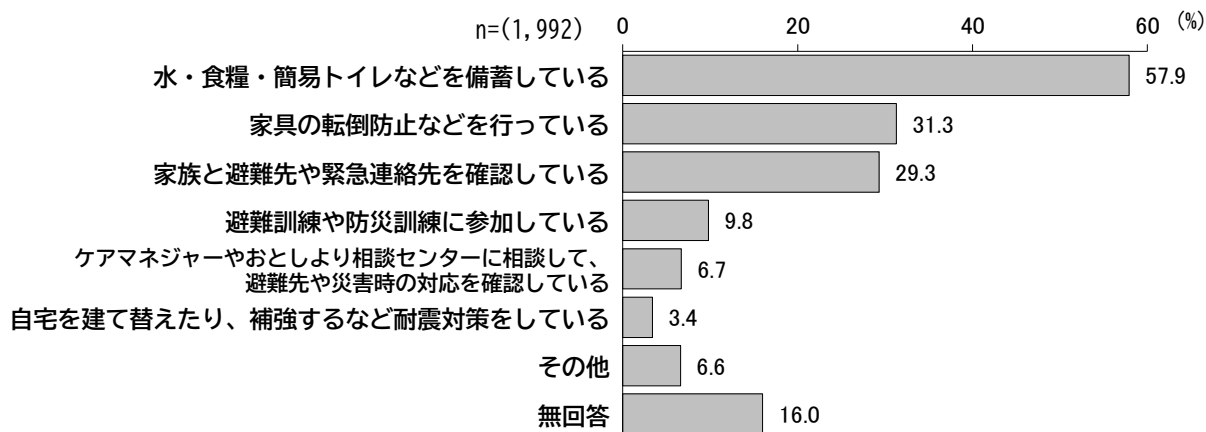
問43 あなたは、地震などの災害が起こった場合にどのようなことで困ると想定していますか。（○はいくつでも）



### （2）災害への備え

■「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」が57.9%

問44 あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。（○はいくつでも）

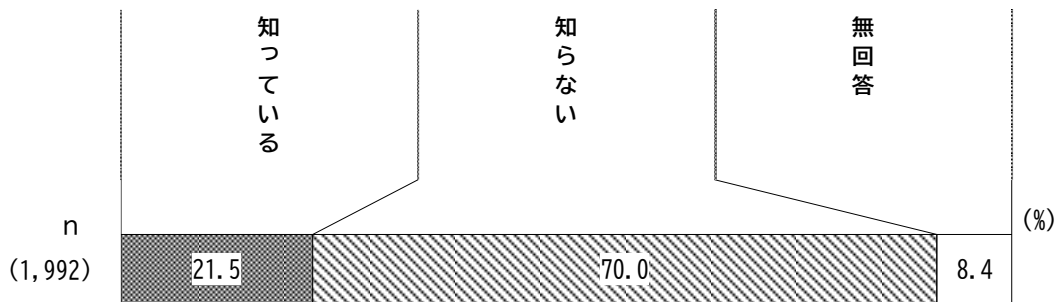


(3)「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度

■「知らない」が70.0%

問45 あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」※ についてご存知ですか。（○は1つ）

※中央区災害時地域たすけあい名簿…災害時に自力で避難したり生活することが困難で特に支援を必要とする方（75歳以上でひとり暮らしの方、要介護3～5の方、障害者手帳をお持ちの方など）を登録した名簿です。災害に備えるため、本人の同意がある方の名簿情報を避難支援等関係者にあらかじめ提供し、災害時に地域全体で助け合うことを目的としています。



〈要介護度別〉

要介護度別で見ると、“要介護4”は「知っている」が3割を超え、他層より高いが、“要支援1”“要介護1”“要介護2”は「知らない」が7割台となっている。

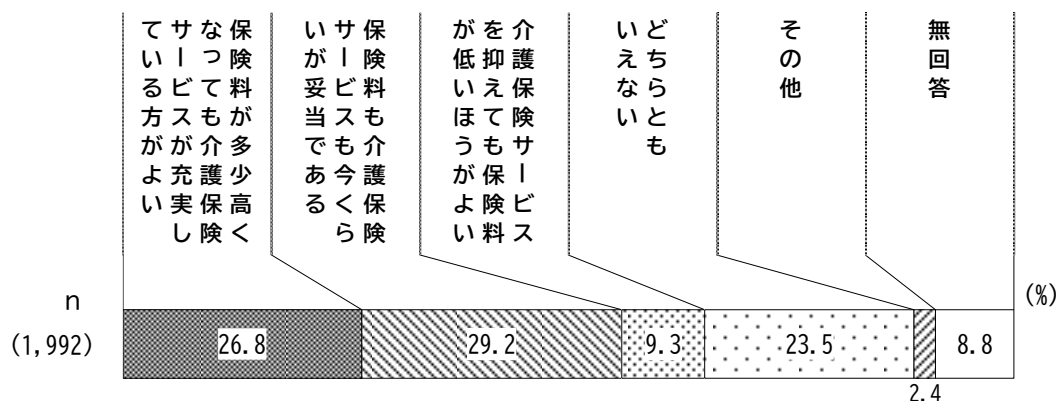
		n	知っている	知らない	無回答
全体		1,992	21.5	70.0	8.4
要介護度	要支援1	409	17.6	72.4	10.0
	要支援2	307	24.1	67.8	8.1
	要介護1	348	16.4	75.9	7.8
	要介護2	282	21.6	72.0	6.4
	要介護3	248	27.0	66.1	6.9
	要介護4	190	31.6	62.6	5.8
	要介護5	110	24.5	68.2	7.3

## 8. 今後の高齢者保健福祉施策

### （1）介護の保険サービスと介護保険料のあり方

■「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」が29.2%、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」が26.8%、「どちらともいえない」が23.5%

問46 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますがあなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。（○は1つ）



#### 〈要介護度別〉

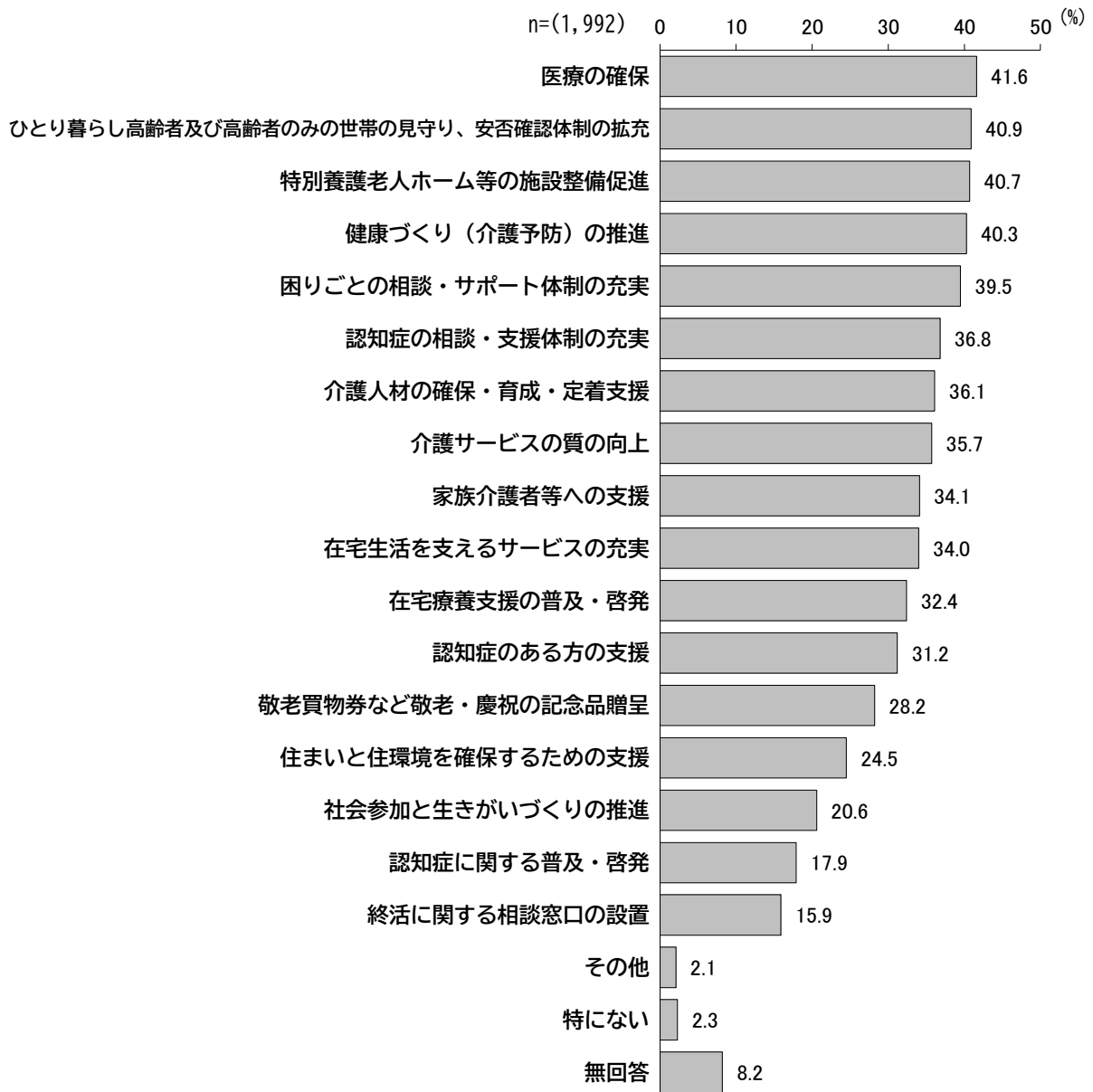
要介護度別で見ると、“要介護1～4”は「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」が他層より高い。

		n	保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である	保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい	どちらともいえない	その他	無回答
全体		1,992	26.8	29.2	9.3	23.5	8.8
要介護度	要支援1	409	30.1	24.0	10.3	24.7	10.0
	要支援2	307	29.6	25.4	10.4	24.4	7.5
	要介護1	348	27.3	32.2	10.3	19.8	8.0
	要介護2	282	22.7	34.0	8.5	27.0	6.0
	要介護3	248	25.8	33.5	8.1	23.0	6.5
	要介護4	190	22.1	36.3	6.8	23.7	7.4
	要介護5	110	26.4	26.4	10.0	24.5	9.1

（2）今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策

■「医療の確保」「ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の見守り、安否確認体制の拡充」「特別養護老人ホーム等の施設整備促進」「健康づくり（介護予防）の推進」が4割超、さらに8項目が3割台と多岐にわたる

問47 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思えますか。（○はいくつでも）



## 9. 自由記述

問48 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。

### ①サービスについて

- ・中央区は他区と比べると特養も少ない上に一時的に入れたとしてもリハビリ等の人材が足りず、悪化して退所してくる。見えない所を見ないふりではなく利用者の評価に耳を傾けてほしい。
- ・介護される人が安心して生活できる、介護する人が仕事を続けられるような支援を多くしてほしい。
- ・中央区、港区、千代田区は23区の中でもサービスが充実していると聞いている。財政難で大変な事もあるだろうが高齢化が増々進むなか、頑張っていたきたい。
- ・現役世代の負担軽減のため、高齢者の経済負担が増え、必要な医療や介護サービスが受けられなくなるのを危惧する。誰もが歳を重ね、いずれは高齢者になる事を忘れてはならない、安心して暮らせる社会を願う。
- ・サービス向上に関わって政治の力がどうしても必要になってくる。人、モノ、金が足りなくなってくる未来に向けて、どう区政を立て直していくのか、今だけを見ていくのか、30年後を見ていくのか。こぼれ落ちている人達をどうやって助けていくのか。政治家（区議）の方達にはもっと努力して頂きたいと思う。
- ・介護者の介護休養が早急にとれるよう、ショートステイをもっと安価で予約しやすいシステムに改善してほしい。今は1週間利用すると何万円もかかるので、利用しにくいし、利用したいと思う日に予約ができない。何ヶ月も前からの予約が必要なのは困っている。
- ・おむつ支給サービスや支援金は非常に助かる。ただ、介護度の調査時、認知症や心臓病などの明確な病名がない痛みや不調に対する審査度が非常に低いには疑問がある。フレイルに対する審査度ももう少し要素として考慮して頂けると助かる。

### ②介護施設について

- ・通所している介護施設が親会社の都合で完全閉館となった。適切な監査体制をお願いしたい。通所介護施設は健康維持だけでなく高齢者の集いの場でもある。
- ・有料介護施設に入所していても紙おむつなどの支給、代金助成をしてほしい。
- ・特養の費用負担が大きいと困る。多床室では暮らせない。今まで暮らしてきた生活圏で、特養がたくさん必要。
- ・介護施設の人材確保、質の向上をしてほしい。
- ・高齢者が入れる施設を増やし、そこで働く介護士さんの給料を上げ、人数の確保をしてほしい。最低限の人数ではなく、余裕がある介護士人数の施設を作してほしい。

③居住環境・生活環境について

- ・ケアハウスのように軽費で、この地域に住める施設が増えてほしい。いずれ特養も考えたいが家族の近くにいたい。
- ・独居や高齢者世帯ですと食事面や生活環境を始め、様々なことに対して支援が必要だと思う。施設入所を考えても高くして入所できないのが現状。
- ・訪問看護、訪問リハビリ、言語聴覚士などのリハビリを受けており、そのお陰で効果を実感し、日々の生活が以前より改善されていると思う。

④まちづくりについて

- ・シルバーカー、ショッピングカー等を転がしやすいように、歩道のはしを1m巾位タイルでなくアスファルトにしてほしい。また、シニアセンター4Fの体育館を、間仕切して区民が使えるようにしたらよいと思う。
- ・月島地域へ医科大学附属病院のような人手が多い大病院を設置してほしい。

⑤介護職員について

- ・高齢者向けの施設等で働く、スタッフ・関係者の研修、質の向上、育成に行政機関が責任を持ってチェック体制を整備してほしい。
- ・デイサービスのスタッフさんや訪問ヘルパーさん達は皆さん本当に頑張ってくれているが、いつも人手不足の様子。給与が充分でないことが原因では。介護を受ける側だけでなくサービス提供者にも十分な補償を。
- ・訪問看護サービスを利用しているが、人材不足により担当者がたびたび変わってしまう。病気のため、人を信頼することに時間がかかるため、慣れたと思うと人が変わってしまい困っている。介護職員のなり手不足解消に向けた取り組みを積極的に行ってほしい。

⑥相談支援・情報提供について

- ・サービスや相談の窓口をふやしてほしい。介護者に対するアンケートもしてほしい。
- ・話を聞いてもらえる場があるといい。介護はいい事ばかりじゃない、「不安」や「失敗」を聞いてもらい「なあ～んだウチと同じ」など、少しケアラーがホッと出来る時間があればいい。毎日介護に追われ、その時間を作るのも大変だけどその時間があれば少し頑張れる。
- ・私は当事者の家族だが、介護認定の際に、月島おとしより相談センターの方が丁寧に説明してくれた。急に必要にはなるが、よくわからないことも多いので、すぐに相談できる場所があったのはありがたかった。土曜日・平日も18時まで開いていると働いている者には助かる。

⑦防災について

- ・地域社会でのコミュニケーションの充実。災害時に有効だと思う。
- ・家族（子、孫）は、地域の役員並びに消防団に所属している。要配慮者のリストがあることは知っているが、個人情報のため、情報が開示されておらず、実際の災害時及び救急時にどのように活動しているのか分からない。それ故に、リストを見てもいいという線引きを決めてほしい。現時点では民生委員に連絡を取り、確認をしてから活動をしているが、民生委員が必ずしもすぐに連絡が取れるとは限らず、手遅れになった事が何度もあった。今後の検討事項にしてほしい。

⑦その他

- ・母のアンケートに答えたが、子供のいない私達夫婦はこれから先不安な事が多いと感じた。権利擁護～は初めて知った事で私達も60代のうちにもっと勉強しなくてはと、今回このアンケート感謝している。
- ・超高齢化の世の中で、認知症人口は増加する。器を用意することで、区在中の悩める家族にも希望ができると思う。
- ・高齢者が詐欺などの犯罪にまきこまれないよう、警察官による地域の見守りが必要だと思う。
- ・介護保険制度、規則が細か過ぎ、分かりにくい。もう少し簡潔にならないかと思う。
- ・家族によって事情が違い、同じケースはほとんどないと思う。それを無理矢理どこかに当てはめようとしているように思う。今回のアンケートも回答しづらかった。

## 第5章 調査結果の詳細／ 在宅介護実態調査（調査D）

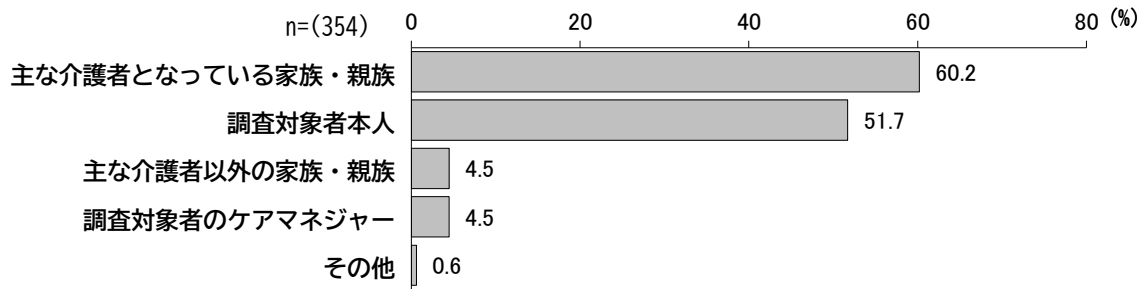


## 1. 介護者の属性（A票）

### （1）調査回答者

■ 「主な介護者となっている家族・親族」が60.2%、「調査対象者本人」が51.7%

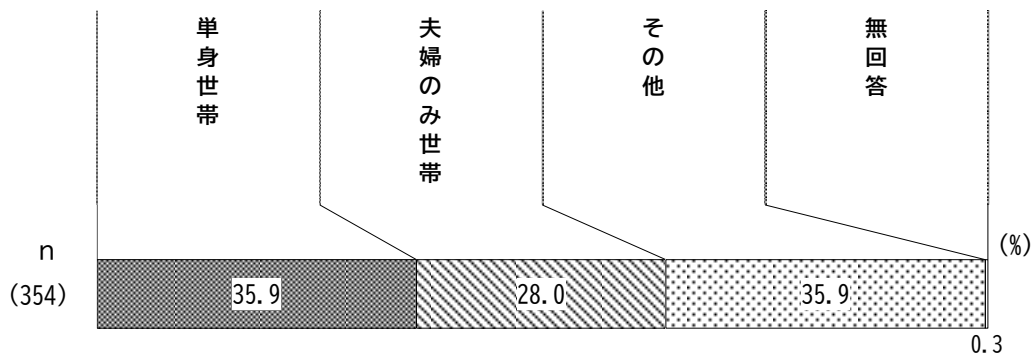
A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか。（○はいくつでも）



### （2）世帯類型

■ 「単身世帯」が35.9%、「夫婦のみ世帯」が28.0%

問1 世帯類型について、ご回答ください。（○は1つ）



〈要介護度別、主な介護者の就労状況別〉

要介護度別で見ると、「要支援1・2」は「単身世帯」が他層より高い。

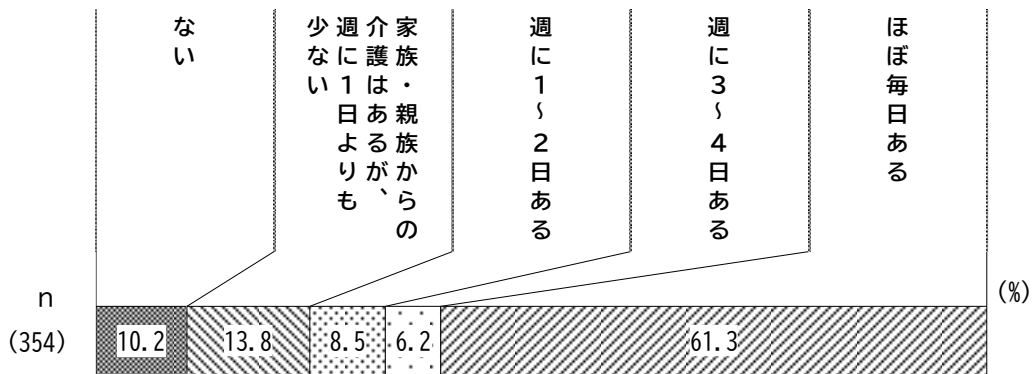
主な介護者の就労状況別で見ると、「働いていない」は「夫婦のみ世帯」が他層より高い。

		n	単身世帯 (%)	夫婦のみ世帯 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		354	35.9	28.0	35.9	0.3
要介護度	要支援1・2	108	45.4	29.6	25.0	-
	要介護1・2	120	29.2	25.0	45.0	0.8
	要介護3以上	57	24.6	29.8	45.6	-
主な介護者の就労状況	フルタイム勤務	148	44.6	14.2	40.5	0.7
	パートタイム勤務	48	39.6	25.0	35.4	-
	働いていない	137	19.7	45.3	35.0	-

（3）家族や親族からの介護頻度

■「ほぼ毎日ある」が61.3%

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○は1つ）



〈世帯類型別、主な介護者の就労状況別〉

世帯類型別で見ると、“単身世帯”は「家族・親族からの介護はあるが、週に1日よりも少ない」が他層より高い。

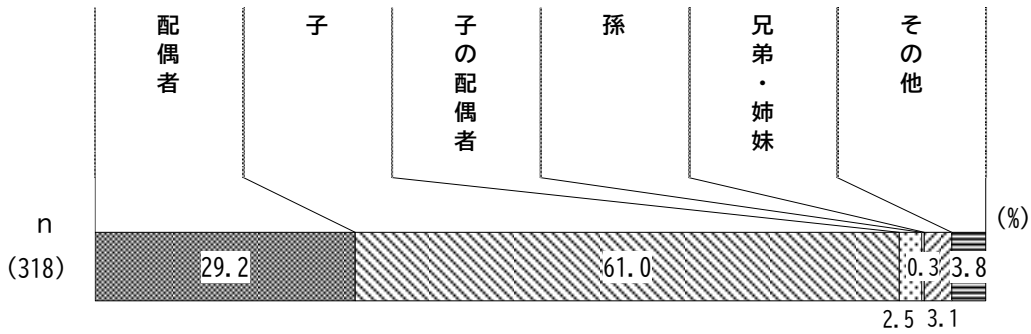
主な介護者の就労状況別で見ると、“働いていない”は「ほぼ毎日ある」が他層より高い。

		n	ない	少ない	週に1日	週に1〜2日	週に3〜4日	ほぼ毎日ある
全体		354	10.2	13.8	8.5	6.2	61.3	
世帯類型	単身世帯	127	18.9	30.7	16.5	11.8	22.0	
	夫婦のみ世帯	99	7.1	8.1	4.0	4.0	76.8	
	その他	127	3.9	1.6	3.9	1.6	89.0	
主な介護者の就労状況	フルタイム勤務	148	3.4	19.6	11.5	12.2	53.4	
	パートタイム勤務	48	2.1	14.6	10.4	6.3	66.7	
	働いていない	137	10.2	7.3	5.1	0.7	76.6	

(4) 主な介護者

■「子」が61.0%

問3 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つ）



〈主な介護者の就労状況別〉

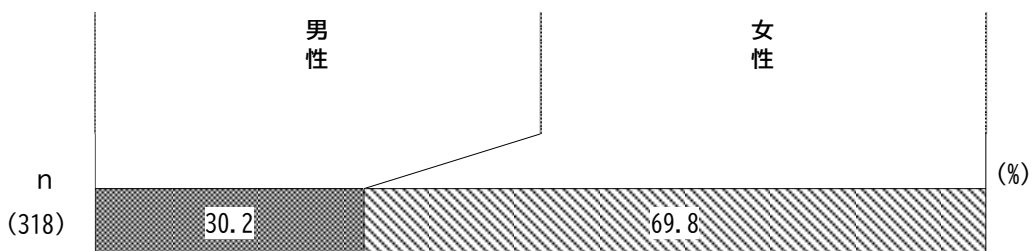
主な介護者の就労状況別で見ると、“フルタイム勤務”“パートタイム勤務”は「子」が、“働いていない”は「配偶者」が他層より高い。

		n	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他
全体		318	29.2	61.0	2.5	0.3	3.1	3.8
主な介護者の就労状況	フルタイム勤務	143	9.8	83.9	3.5	0.7	0.7	1.4
	パートタイム勤務	47	19.1	74.5	2.1	-	2.1	2.1
	働いていない	123	56.9	30.1	0.8	-	6.5	5.7

(5) 主な介護者の性別

■「女性」が69.8%

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（○は1つ）



〈主な介護者の就労状況別〉

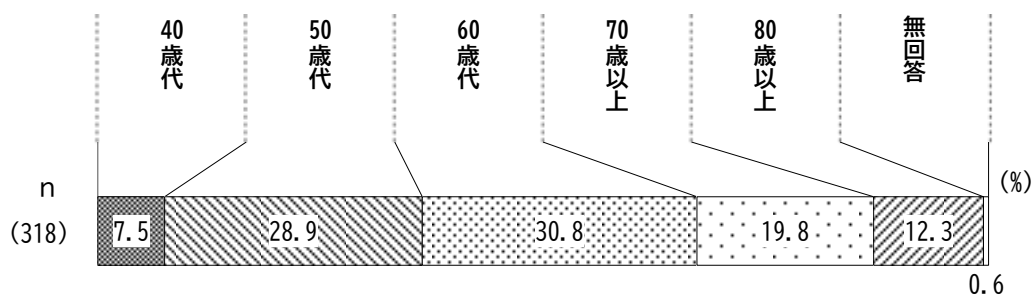
主な介護者の就労状況別で見ると、“パートタイム勤務”は「女性」が他層より高い。

		n	男性	女性
全 体		318	30.2	69.8
主な介護者 の就労状況	フルタイム勤務	143	37.8	62.2
	パートタイム勤務	47	19.1	80.9
	働いていない	123	25.2	74.8

（6）主な介護者の年齢

■ 「60歳代」が30.8%、「50歳代」が28.9%

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（○は1つ）



※ 「20歳未満」「20歳代」「30歳代」は回答者がなく、見やすくするため図からは省略している。

〈主な介護者の就労状況別〉

主な介護者の就労状況別で見ると、“フルタイム勤務”は「50歳代」が、“パートタイム勤務”は「60歳代」が、“働いていない”は「70歳代」「80歳以上」が他層より高い。

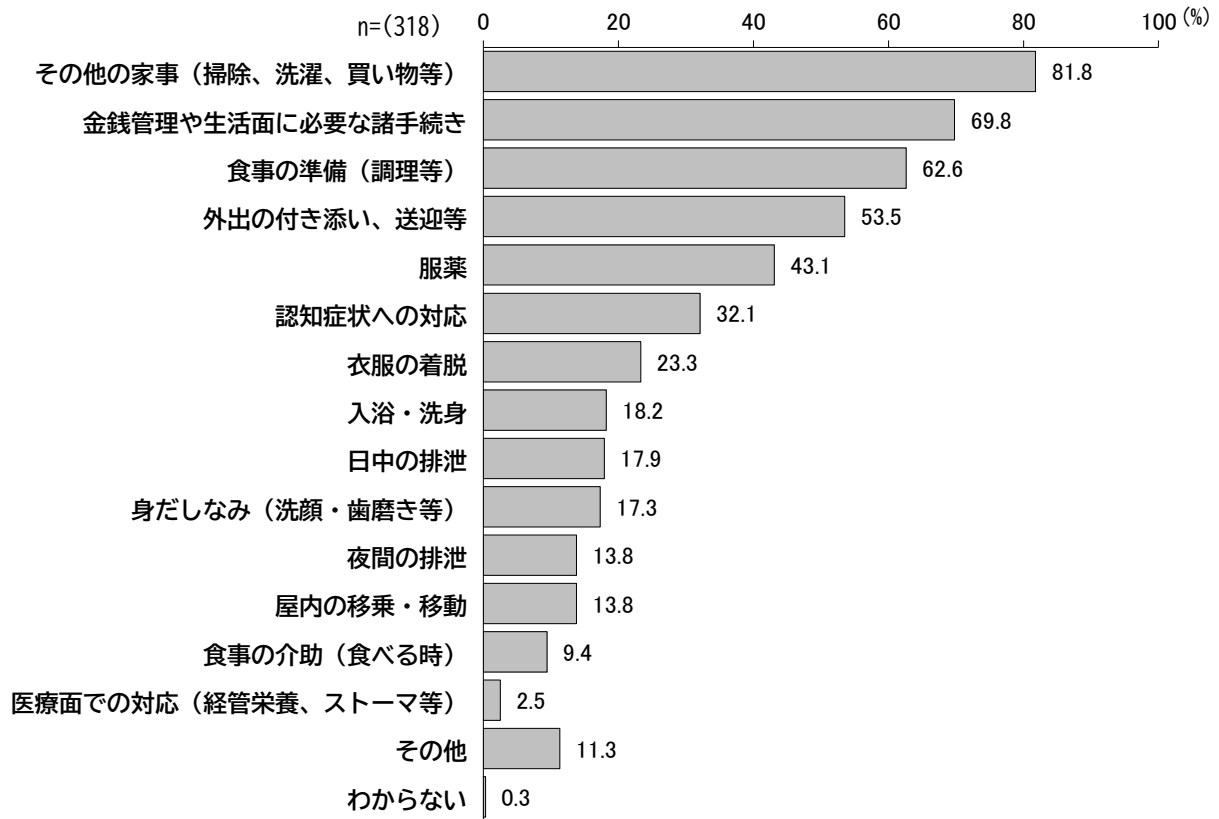
		n	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない
全 体		318	-	-	-	7.5	28.9	30.8	19.8	12.3	0.6
主な介護者 の就労状況	フルタイム勤務	143	-	-	-	14.0	42.7	35.7	6.3	0.7	0.7
	パートタイム勤務	47	-	-	-	4.3	36.2	42.6	14.9	2.1	-
	働いていない	123	-	-	-	0.8	10.6	22.0	36.6	30.1	-

## 2. 介護者の介護内容等（A票）

### （1）主な介護者の介護内容

■「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が81.8%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が69.8%、「食事の準備（調理等）」が62.6%

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（○はいくつでも）



第5章 調査結果の詳細／  
在宅介護実態調査（調査D）

〈要介護度別、主な介護者の就労状況別〉

要介護度別で見ると、“要介護3以上”は「外出の付き添い、送迎等」を除いた全ての項目で他層より高くなっており、なかでも「衣服の着脱」「日中の排泄」「身だしなみ（洗顔、歯磨き等）」「夜間の排泄」「屋内の移乗・移動」「食事の介助（食べる時）」では大幅な差となっている。また、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が9割、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「食事の準備（調理等）」「服薬」が8割を超えている。

主な介護者の就労状況別で見ると、“パートタイム勤務”は「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」「外出の付き添い、送迎等」が、“働いていない”は「服薬」が他層より高い。一方、“フルタイム勤務”は全ての項目で最も低い。

(%)

		n	買（そ い物除 等）の 家の 洗濯、 掃除 等	必生金 要活銭 な面管 諸に理 手続や き	（食 事の 調 理 等 ） の 準 備	送外 出の 付 き 添 い、 送 迎 等	服 薬	対認 応知 症 状 へ の 対 応	衣 服 の 着 脱	入 浴 ・ 洗 身
全 体		318	81.8	69.8	62.6	53.5	43.1	32.1	23.3	18.2
要介護度	要支援1・2	89	69.7	46.1	39.3	29.2	7.9	2.2	2.2	7.9
	要介護1・2	115	85.2	78.3	71.3	63.5	55.7	40.0	20.9	20.0
	要介護3以上	56	85.7	92.9	83.9	58.9	80.4	67.9	66.1	26.8
主な介護者の 就労状況	フルタイム勤務	143	78.3	63.6	49.7	51.0	33.6	25.2	15.4	17.5
	パートタイム勤務	47	83.0	87.2	70.2	63.8	40.4	34.0	23.4	19.1
	働いていない	123	87.0	71.5	77.2	53.7	56.9	40.7	33.3	19.5

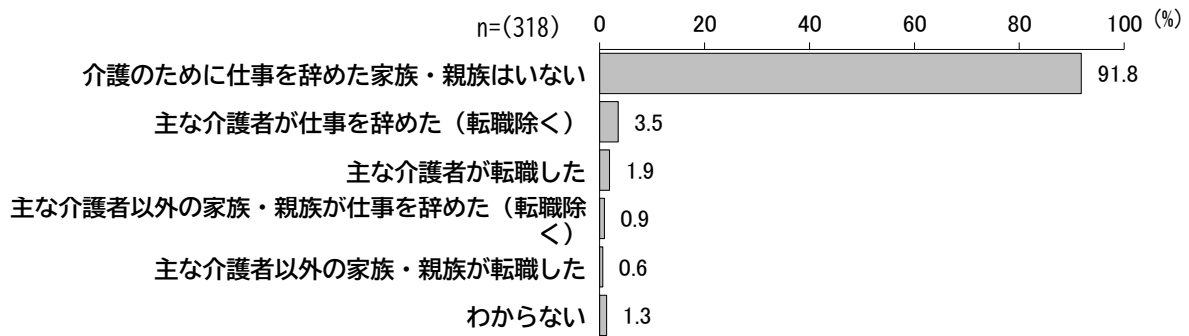
		n	日 中 の 排 泄	歯（身 磨（洗 き等）だ しな み）	夜 間 の 排 泄	移屋 動内 の 移 乗 ・ 送 迎 等	（食 事 の 介 助 ） （食 べ る 時 ）	ス（医 ト（療 ー（経 マ管 マ栄 等養 ）） の 対 応	そ の 他	わ か ら な い
全 体		318	17.9	17.3	13.8	13.8	9.4	2.5	11.3	0.3
要介護度	要支援1・2	89	-	-	-	1.1	-	1.1	19.1	-
	要介護1・2	115	11.3	12.2	7.8	8.7	4.3	1.7	9.6	0.9
	要介護3以上	56	60.7	57.1	46.4	42.9	35.7	5.4	8.9	-
主な介護者の 就労状況	フルタイム勤務	143	11.2	11.2	7.7	12.6	6.3	-	15.4	-
	パートタイム勤務	47	21.3	25.5	17.0	14.9	10.6	2.1	2.1	-
	働いていない	123	25.2	22.0	20.3	15.4	13.0	5.7	8.9	-

## （2）家族・親戚の介護による離職状況

■「介護のために仕事を辞めた家族・親戚はいない」が91.8%

問7 ご家族やご親戚の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（○はいくつでも）

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

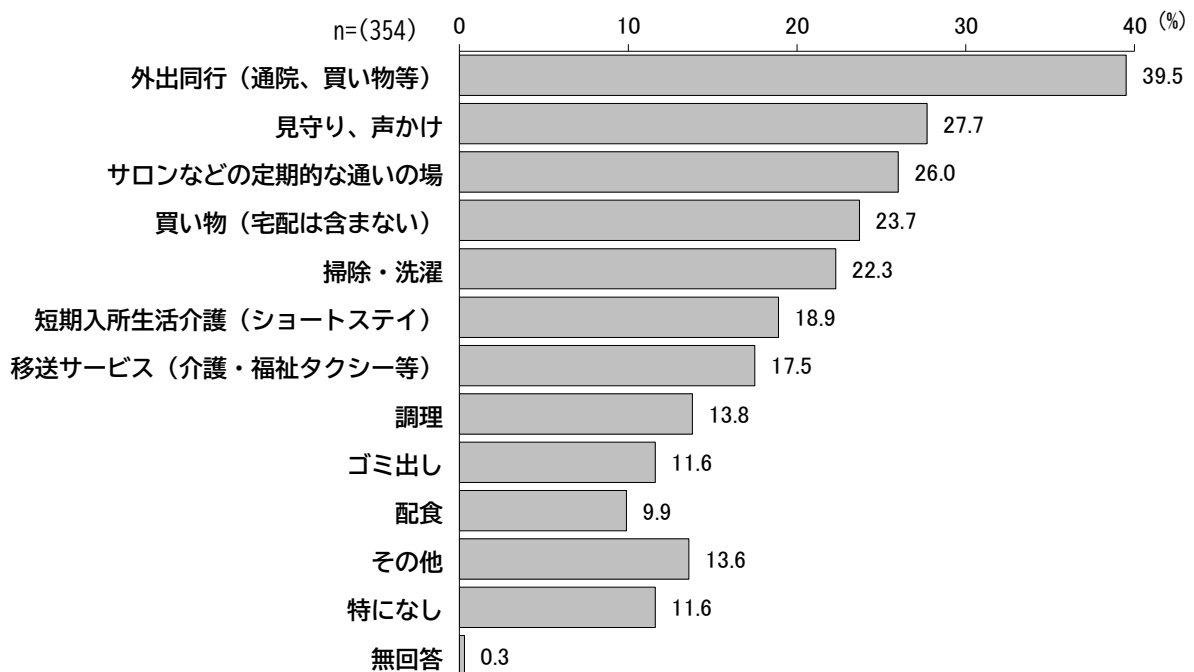


## （3）今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス

■「外出同行（通院、買い物等）」が39.5%、「見守り、声かけ」が27.7%、「サロンなどの定期的な通いの場」が26.0%、「買い物（宅配は含まない）」が23.7%、「掃除・洗濯」が22.3%

問8 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（○はいくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。



第5章 調査結果の詳細／  
在宅介護実態調査（調査D）

〈要介護度別、認知症自立度別、世帯類型別〉

要介護度別で見ると、“要介護1・2”は「外出同行（通院、買い物等）」が、“要介護3以上”は「短期入所生活介護（ショートステイ）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「調理」などが他層より高い。一方、“要支援1・2”は「見守り、声かけ」「短期入所生活介護（ショートステイ）」が他層より低い。

認知症の自立度別で見ると、“Ⅱ”は「外出同行（通院、買い物等）」が他層より高い。また、“Ⅲ以上”は「見守り、声かけ」「サロンなどの定期的な通いの場」「短期入所生活介護（ショートステイ）」が他層より高い。

世帯類型別で見ると、“単身世帯”は「買い物（宅配は含まない）」「掃除・洗濯」、が他層より高い。

(%)

		n	(外出同行、 通院、買い物等)	見守り、 声かけ	定期的な通いの 場	(買い物 宅配は含まない)	掃除・ 洗濯	短期入所生活 介護 (ショートステイ)	移送サ ービス (福祉 タクシ ー等)
全体		354	39.5	27.7	26.0	23.7	22.3	18.9	17.5
要介護度	要支援1・2	108	26.9	7.4	24.1	20.4	20.4	5.6	12.0
	要介護1・2	120	50.0	39.2	30.8	24.2	21.7	18.3	19.2
	要介護3以上	57	28.1	49.1	28.1	26.3	26.3	50.9	28.1
認知症 自立度	自立+Ⅰ	133	32.3	9.0	21.1	21.1	22.6	6.0	16.5
	Ⅱ	108	46.3	42.6	29.6	25.9	21.3	24.1	21.3
	Ⅲ以上	44	27.3	56.8	43.2	22.7	22.7	52.3	15.9
世帯類型	単身世帯	127	40.2	26.0	25.2	33.9	29.1	11.0	19.7
	夫婦のみ世帯	99	37.4	25.3	27.3	24.2	20.2	17.2	14.1
	その他	127	40.2	31.5	26.0	13.4	17.3	28.3	18.1

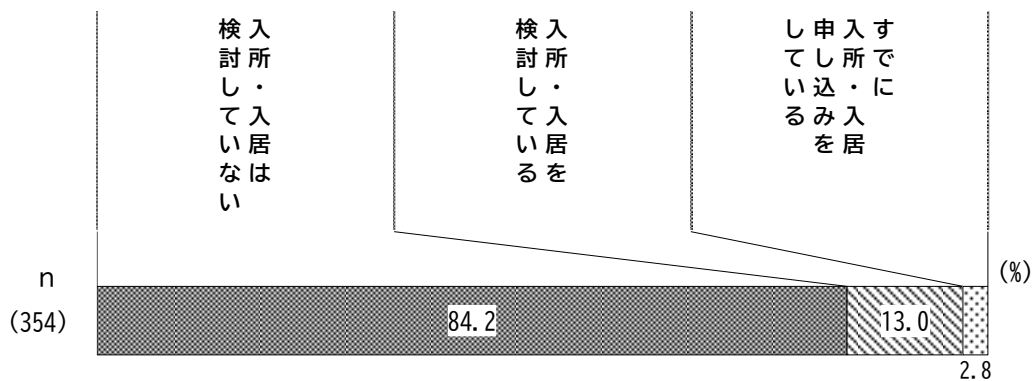
		n	調理	ゴミ 出し	配 食	そ の 他	特 に な し	無 回 答
全体		354	13.8	11.6	9.9	13.6	11.6	0.3
要介護度	要支援1・2	108	10.2	7.4	8.3	19.4	15.7	0.9
	要介護1・2	120	15.8	11.7	10.8	7.5	8.3	-
	要介護3以上	57	21.1	15.8	12.3	15.8	3.5	-
認知症 自立度	自立+Ⅰ	133	11.3	7.5	8.3	16.5	15.0	0.8
	Ⅱ	108	17.6	15.7	11.1	12.0	7.4	-
	Ⅲ以上	44	18.2	9.1	13.6	9.1	2.3	-
世帯類型	単身世帯	127	12.6	15.7	10.2	16.5	11.8	-
	夫婦のみ世帯	99	16.2	10.1	9.1	16.2	12.1	-
	その他	127	13.4	8.7	10.2	8.7	11.0	0.8

（4）施設等への入所・入居検討状況

■「入所・入居は検討していない」が84.2%

問9 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（○は1つ）

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。



〈要介護度別、世帯類型別〉

要介護度別で見ると、“要介護3以上”は「入所・入居を検討している」が他層より高い。

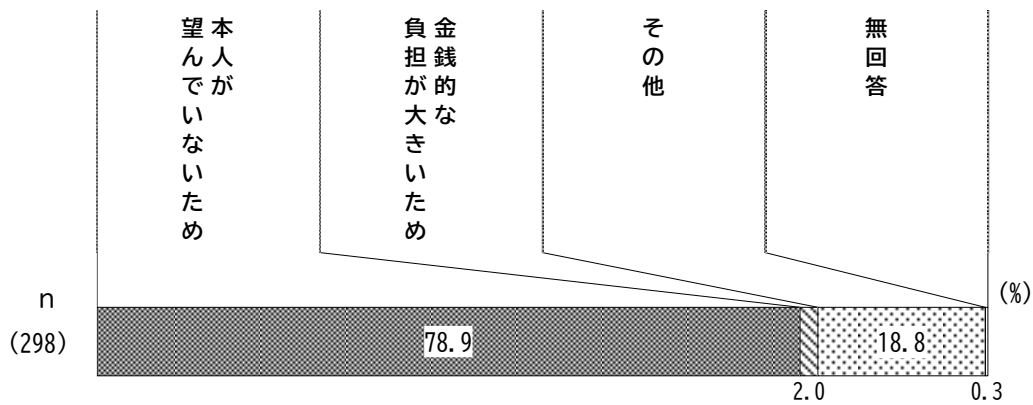
世帯類型別で見ると、“夫婦のみ世帯”は「入所・入居は検討していない」が他層より高い。

		n	検討して入居しない (%)	検討して入居を (%)	し申し込んでみる (%)
全体		354	84.2	13.0	2.8
要介護度	要支援1・2	108	92.6	7.4	-
	要介護1・2	120	88.3	9.2	2.5
	要介護3以上	57	57.9	33.3	8.8
世帯類型	単身世帯	127	81.1	17.3	1.6
	夫婦のみ世帯	99	89.9	8.1	2.0
	その他	127	82.7	12.6	4.7

（5）施設等への入所・入居を検討しない理由

■「本人が望んでいないため」が78.9%

問10 入所・入居を検討していない理由について、ご回答ください。（○は1つ）



〈その他の回答〉

○本人とその家族が望んでいないため ○在宅介護を希望 ○今は必要を感じていない

〈要介護度別、世帯類型別〉

要介護度別で見ると、“要介護3以上”は「本人が望んでいないため」が他層より低い。  
世帯類型別で見ると、“夫婦のみ世帯”は「本人が望んでいないため」が他層より低い。

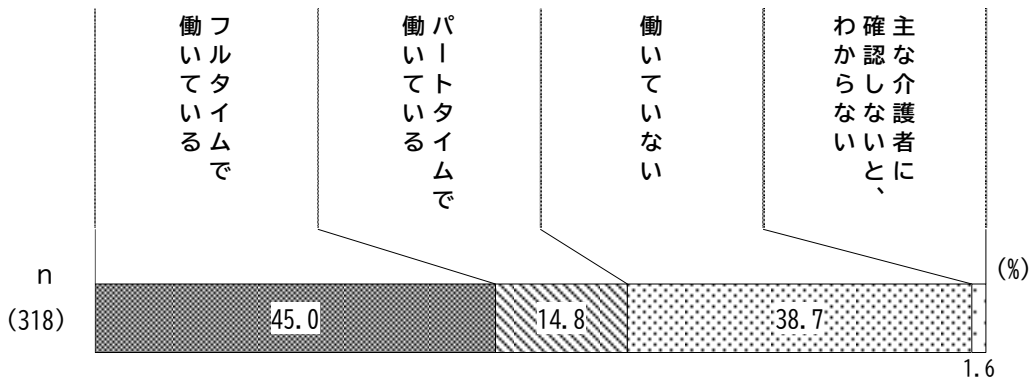
		n	本人が望んでいないため	金銭的負担が大きいため	その他	無回答
全体		298	78.9	2.0	18.8	0.3
要介護度	要支援1・2	100	80.0	2.0	18.0	-
	要介護1・2	106	78.3	3.8	17.0	0.9
	要介護3以上	33	66.7	-	33.3	-
世帯類型	単身世帯	103	85.4	1.0	13.6	-
	夫婦のみ世帯	89	70.8	3.4	24.7	1.1
	その他	105	80.0	1.9	18.1	-

### 3. 介護者の状況（B票）

#### （1）主な介護者の勤務形態

■ 「フルタイムで働いている」が45.0%、「働いていない」が38.7%

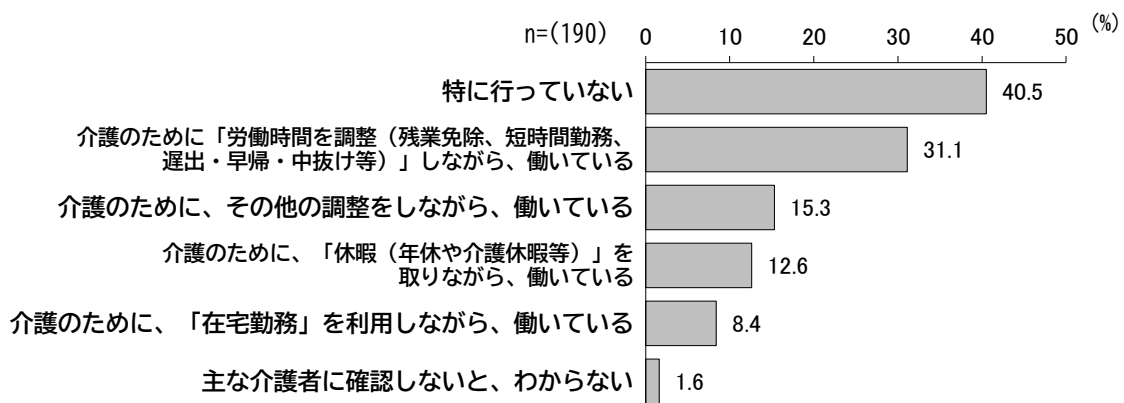
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（○は1つ）



#### （2）主な介護者の働き方の調整

■ 「特に行っていない」が40.5%、「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が31.1%

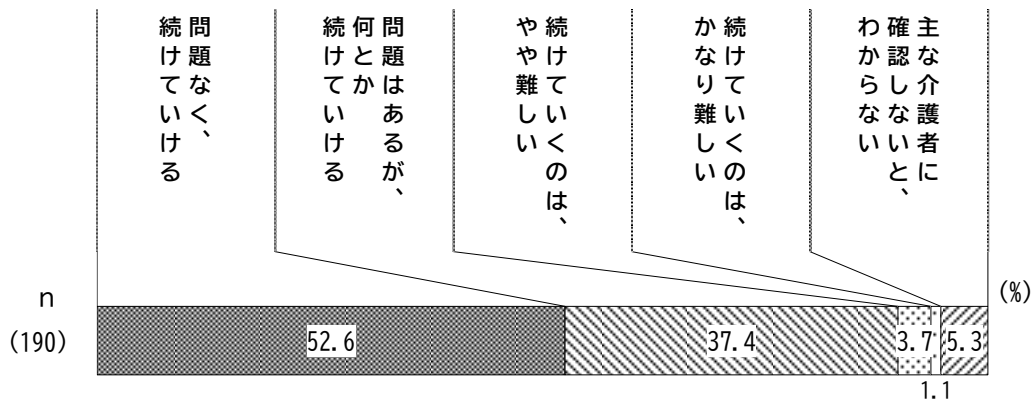
問2 問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護するにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（○はいくつでも）



（3）主な介護者の就労しながらの介護継続の意思

■「問題なく、続けていける」が52.6%、「問題はあるが、何とか続けていける」が37.4%

問3 問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○は1つ）



〈要介護度別、認知症自立度別、主な介護者の就労状況別〉

要介護度で見ると、“要支援1・2”は「問題なく、続けていける」が他層より高い。また、“要介護3”は他層より「問題なく、続けていける」が低く、「問題はあるが、何とか続けていける」が高い。

認知症の自立度別で見ると、“自立+I”は「問題なく、続けていける」が、“Ⅲ以上”は「問題はあるが、何とか続けていける」が他層より高い。

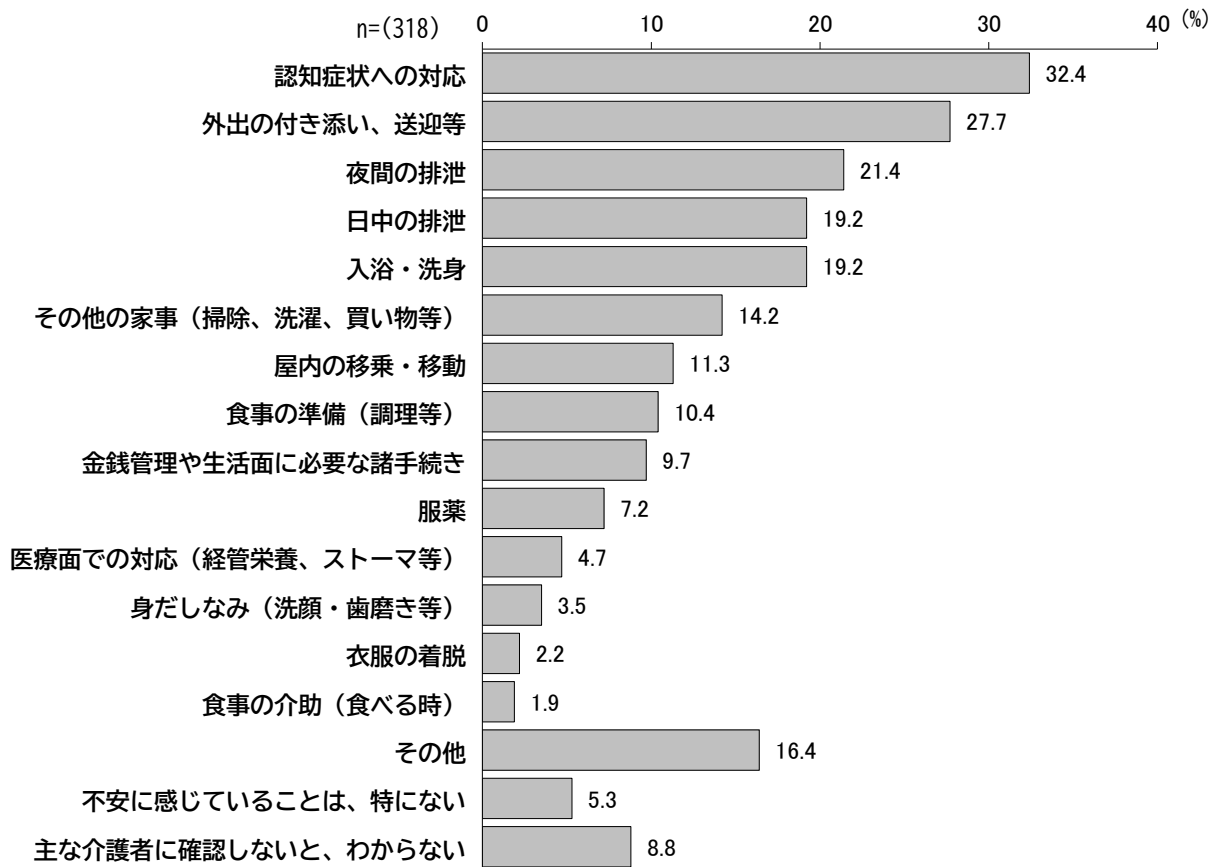
主な介護者の就労状況別で見ると、“フルタイム勤務”は「問題なく、続けていける」が、“パートタイム勤務”は「問題はあるが、何とか続けていける」が、他層より高い。

		n	問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか 続けていける	続けるのは、 難しい	続けるのは、 かなり 難しい	主に 確認 しない
全体		190	52.6	37.4	3.7	1.1	5.3
要介護度	要支援1・2	58	67.2	25.9	-	-	6.9
	要介護1・2	67	43.3	41.8	6.0	1.5	7.5
	要介護3以上	30	16.7	70.0	6.7	3.3	3.3
認知症 自立度	自立+I	71	64.8	26.8	1.4	-	7.0
	Ⅱ	63	38.1	44.4	7.9	1.6	7.9
	Ⅲ以上	21	14.3	81.0	-	4.8	-
主な介護者 の就労状況	フルタイム勤務	143	54.5	34.3	4.2	0.7	6.3
	パートタイム勤務	47	46.8	46.8	2.1	2.1	2.1
	働いていない	-	-	-	-	-	-

（4）主な介護者が不安に感じる介護

■「認知症状への対応」が32.4%、「外出の付き添い、送迎等」が27.7%

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）



第5章 調査結果の詳細／  
在宅介護実態調査（調査D）

〈要介護度別、認知症自立度別〉

要介護度別で見ると、“要支援1・2”は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が、“要介護1以上”は「認知症状への対応」が他層より高い。また、“要介護1・2”は「外出の付き添い、送迎等」「服薬」が、“要介護3以上”は「夜間の排泄」「日中の排泄」が他層より高い。

認知症の自立度別で見ると、“自立+I”は「外出の付き添い、送迎等」が、“II以上”は「認知症状への対応」が他層より高い。また、“II”は「入浴・洗身」「服薬」が、“III以上”は「日中の排泄」「夜間の排泄」が他層より高い。

(%)

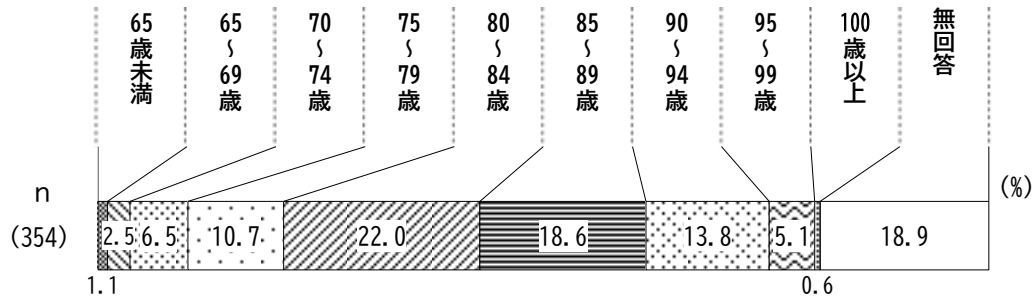
		n	認知症状への 対応	外出の 付き添い、 送迎等	夜間の 排泄	日中の 排泄	入浴・ 洗身	買（そ の他の 家事、 掃除、 洗濯、 買い物 等）	移 屋 内 の 移 乗 ・ 移 動	（食 事 の 準 備 等）	生 活 面 に 必 要 な 諸 手 続 き
全 体		318	32.4	27.7	21.4	19.2	19.2	14.2	11.3	10.4	9.7
要介護度	要支援1・2	89	6.7	29.2	7.9	10.1	13.5	20.2	7.9	11.2	12.4
	要介護1・2	115	43.5	33.9	25.2	18.3	20.0	8.7	13.0	13.9	8.7
	要介護3以上	56	46.4	10.7	39.3	35.7	23.2	3.6	12.5	8.9	5.4
認知症 自立度	自立+ I	110	4.5	35.5	7.3	6.4	11.8	20.0	10.0	13.6	9.1
	II	107	45.8	24.3	29.9	21.5	27.1	7.5	12.1	13.1	12.1
	III以上	43	65.1	14.0	41.9	46.5	14.0	-	11.6	4.7	2.3

		n	服 薬	ス（医 療 面 で の 対 応 ） （経 管 栄 養 等）	身 だ し な み （洗 顔 ・ 歯 磨 き 等）	衣 服 の 着 脱	（食 事 の 介 助 ） （食 べ る 時 ）	そ の 他	特 に 不 安 に 感 じ て い る こ と	わ か ら な い 者 と に 、 主 な 介 護 者 に 認 じ な い
全 体		318	7.2	4.7	3.5	2.2	1.9	16.4	5.3	8.8
要介護度	要支援1・2	89	2.2	1.1	2.2	1.1	-	27.0	9.0	14.6
	要介護1・2	115	12.2	3.5	2.6	1.7	1.7	10.4	3.5	7.8
	要介護3以上	56	3.6	8.9	5.4	3.6	5.4	10.7	8.9	1.8
認知症 自立度	自立+ I	110	-	2.7	1.8	1.8	-	26.4	10.9	14.5
	II	107	15.9	2.8	2.8	1.9	2.8	8.4	1.9	5.6
	III以上	43	2.3	9.3	7.0	2.3	4.7	9.3	7.0	2.3

## 4. 要介護認定データ

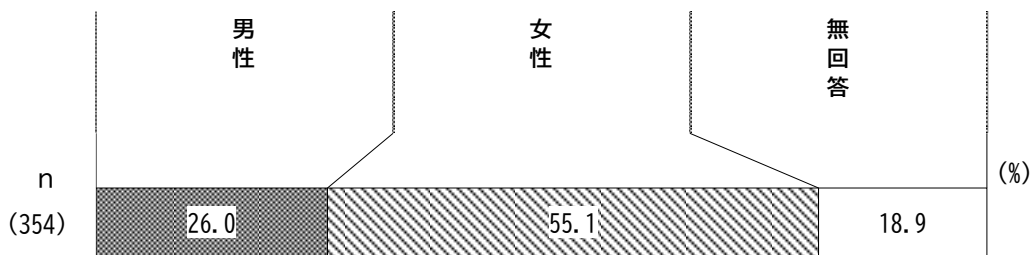
### （1）年齢

■ 「80～84歳」が22.0%、「85～89歳」が18.6%



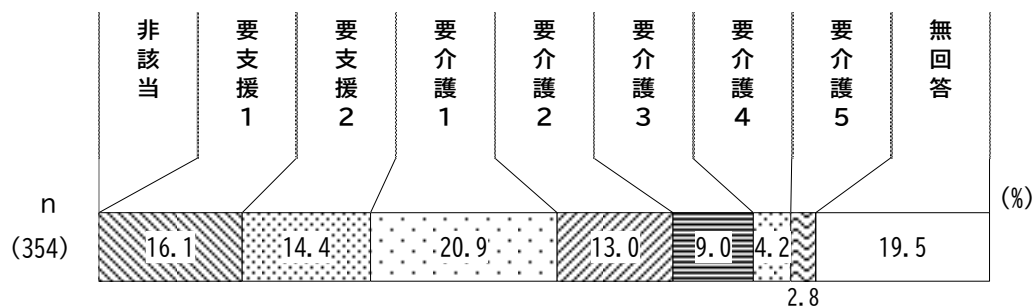
### （2）性別

■ 「女性」が55.1%、「男性」が26.0%



### （3）二次判定結果（要介護度）

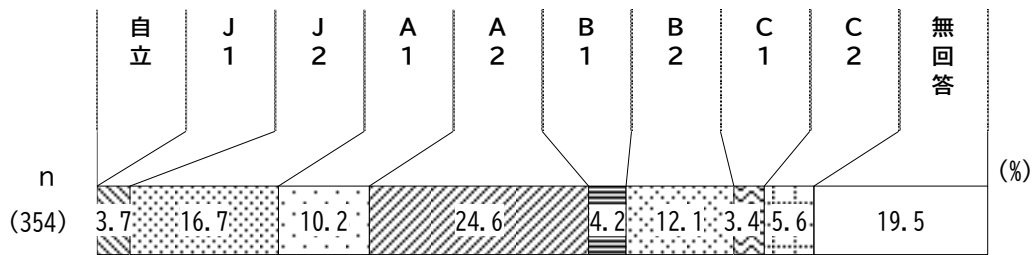
■ 「要介護1」が20.9%、「要支援1」が16.1%



※ 「非該当」は回答者がいない。

（4）障害高齢者の日常生活自立度

■「A2」が24.6%、「J2」が16.7%

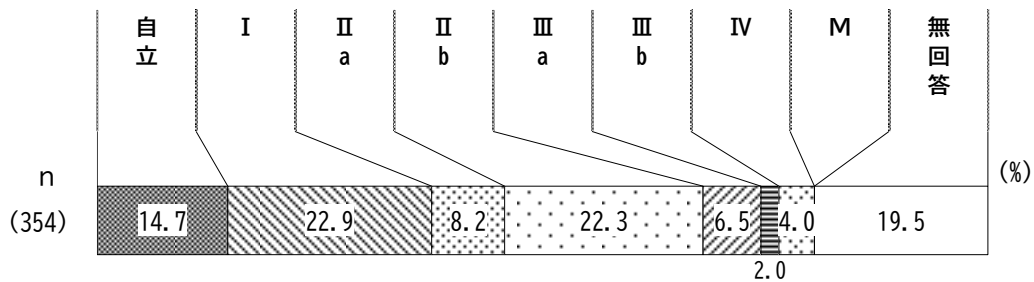


※「自立」は回答者がいない。

生活自立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関等を利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランクA	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランクB	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する
	ランクC	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうてない

（5）認知症高齢者の日常生活自立度

■ 「I」が22.9%で、「IIb」が22.3%

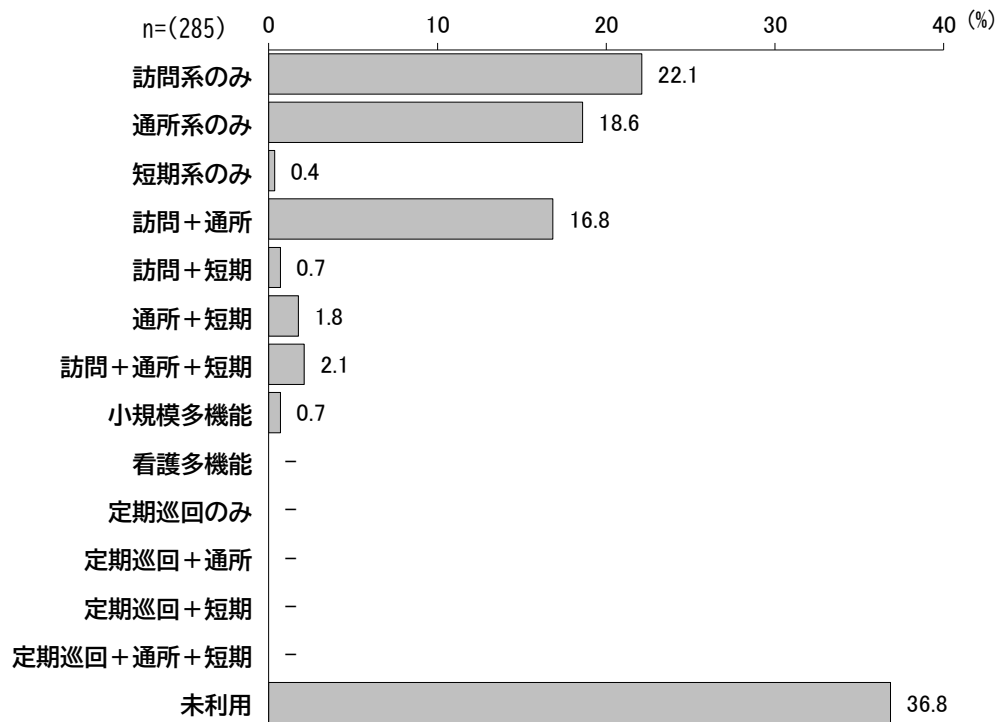


※ 「M」は回答者がいない。

I	認知症を有するが、家庭内・社会で日常生活は自立
II	生活に支障ある症状等があるが、他者の注意あれば自立 a：家庭外で、上記の状態がみられる b：家庭内でも、上記の状態がみられる
III	日常生活に支障ある症状等があり、介護が必要 a：日中を中心として、上記の状態がみられる b：夜間を中心として、上記の状態がみられる
IV	日常生活に支障ある症状等が頻繁にあり、常時の介護が必要
M	著しい精神症状・周辺症状がみられ、専門医療が必要

（6）サービス利用の組み合わせ

■ 「訪問系のみ」が22.1%、「通所系のみ」が18.6%、「訪問+通所」が16.8%



〈要介護度別、認知症自立度別〉

要介護度別で見ると、“要介護3以上”は「訪問系のみ」「訪問系を含む組み合わせ」が他層より高い。一方、“要支援1・2”は「未利用」が高い。

認知症の自立度別で見ると、“Ⅲ以上”は「訪問系を含む組み合わせ」「通所系・短期系のみ」が他層より高い。一方、“自立+1”は「未利用」が高い。

(%)

		n	未利用	訪問系のみ	訪問系を含む組み合わせ	通所系・短期系のみ
全体		285	36.8	22.1	20.4	20.7
要介護度	要支援1・2	105	61.9	14.3	2.9	21.0
	要介護1・2	119	31.9	23.5	26.1	18.5
	要介護3以上	61	3.3	32.8	39.3	24.6
認知症自立度	自立+I	131	55.7	19.8	6.1	18.3
	Ⅱ	108	25.9	25.0	28.7	20.4
	Ⅲ以上	46	8.7	21.7	41.3	28.3

## 第6章 調査結果の詳細 居所変更実態調査（調査E）



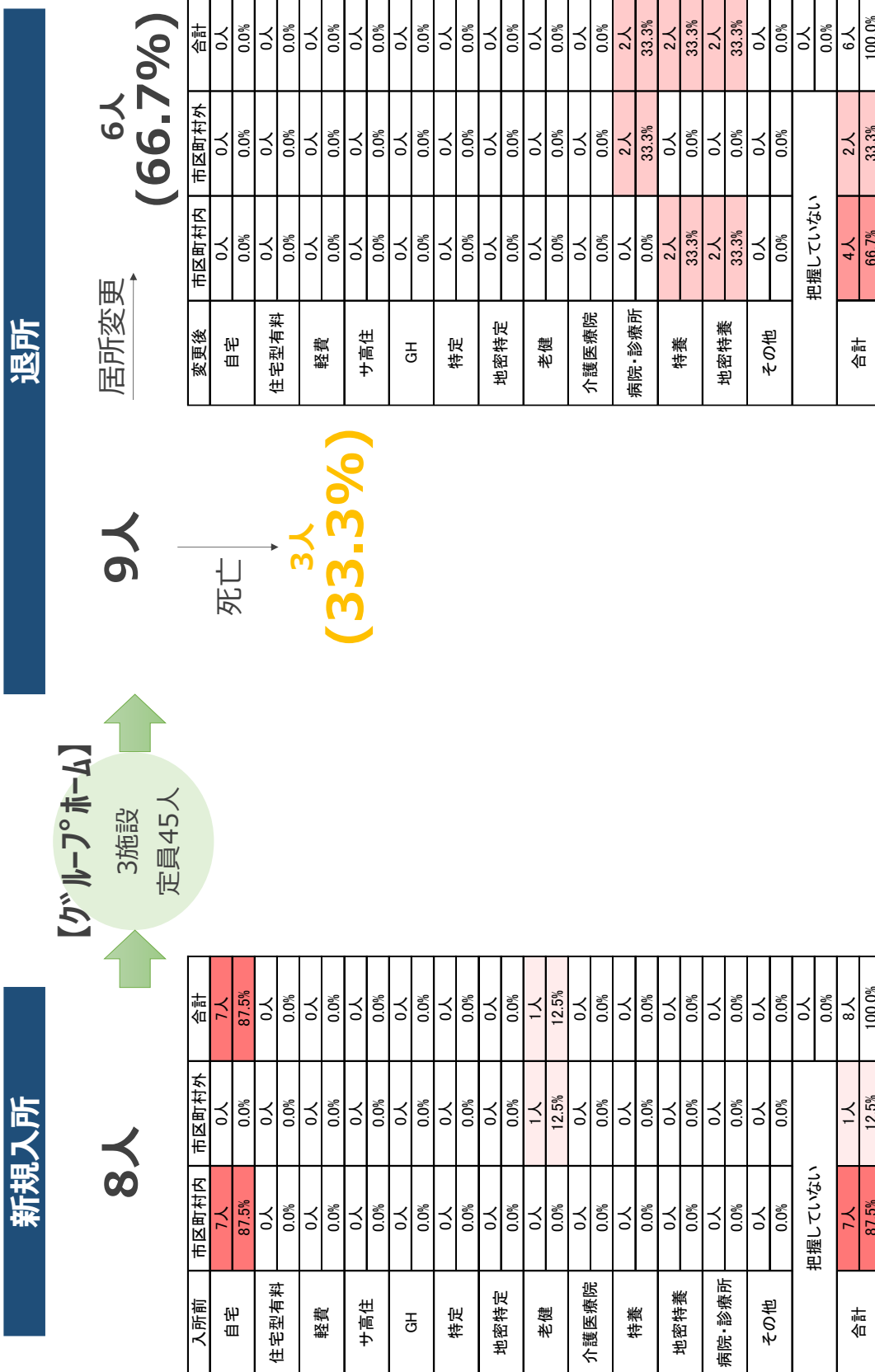
## 1. 地域内の居宅移動の実態基本属性

過去1年間（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の施設等の新規の入居・入所及び退去・退所の流れをサービス種類別にみると、「介護老人保健施設」で退所者が100.0%となっている。また、「特別養護老人ホーム」は死亡の割合が90.7%と最も高い。

居所変更した人を要支援・要介護度別で見ると、要支援・要介護度が高くなるにつれ居所変更した人の割合が高くなる傾向にあり、“要介護度4”で最も高い施設が多い。

略称	正式名称
住宅型有料	住宅型有料老人ホーム
軽費	軽費老人ホーム
サ高住	サービス付き高齢者向け住宅
GH	グループホーム
特定	特定施設
地密特定	地域密着型特定施設
老健	介護老人保健施設
特養	特別養護老人ホーム
地密特養	地域密着型特別養護老人ホーム

## 過去1年間のグループホームの入所及び退所の流れ



# 過去1年間の特定施設の入所及び退所の流れ



# 過去1年間の介護老人保健施設の入所及び退所の流れ

新規入所

退所

【老健】  
1施設  
定員100人

149人

147人

居所変更

147人  
(100.0%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	63人 42.3%	0人 0.0%	63人 42.3%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	21人 14.1%	18人 12.1%	39人 26.2%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	11人 7.4%	36人 24.2%	47人 31.5%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	95人 63.8%	54人 36.2%	149人 100.0%

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	41人 27.9%	0人 0.0%	41人 27.9%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	10人 6.8%	10人 6.8%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	21人 14.3%	27人 18.4%	48人 32.7%
特養	45人 30.6%	1人 0.7%	46人 31.3%
地密特養	2人 1.4%	0人 0.0%	2人 1.4%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			0人 0.0%
合計	109人 74.1%	38人 25.9%	147人 100.0%

死亡

0人  
(0.0%)

# 過去1年間の特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ

## 新規入所

## 退所

【特養】  
 2施設  
 定員186人

85人

86人

8人  
 (9.3%)

入所前	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	24人 28.2%	0人 0.0%	24人 28.2%
住宅型有料	4人 4.7%	0人 0.0%	4人 4.7%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	1人 1.2%	0人 0.0%	1人 1.2%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	47人 55.3%	0人 0.0%	47人 55.3%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	8人 9.4%	0人 0.0%	8人 9.4%
その他	1人 1.2%	0人 0.0%	1人 1.2%
把握していない			0人 0.0%
合計	85人 100.0%	0人 0.0%	85人 100.0%

死亡

78人  
 (90.7%)

変更後	市区町村内	市区町村外	合計
自宅	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
住宅型有料	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特定	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
病院・診療所	7人 87.5%	0人 0.0%	7人 87.5%
特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
地密特養	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
把握していない			1人 12.5%
合計	7人 87.5%	0人 0.0%	8人 100.0%

# 過去1年間の地域密着型特別養護老人ホームの入所及び退所の流れ



## 居所変更した人の要支援・要介護度

サービス種別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	死亡	申請中	合計
住宅型有料 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 11.1%	2人 22.2%	2人 22.2%	1人 11.1%	3人 33.3%	0人 0.0%	9人 100.0%
特定 (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.2%	2人 2.4%	0人 0.0%	1人 1.2%	5人 5.9%	5人 5.9%	71人 83.5%	0人 0.0%	85人 100.0%
地密特定 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
老健 (n=1)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	4人 2.7%	21人 14.3%	32人 21.8%	65人 44.2%	25人 17.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	147人 100.0%
介護医療院 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養 (n=2)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.2%	1人 1.2%	6人 7.0%	0人 0.0%	78人 90.7%	0人 0.0%	86人 100.0%
地密特養 (n=2)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 11.1%	1人 5.6%	2人 11.1%	13人 72.2%	0人 0.0%	18人 100.0%
合計 (n=11)	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.3%	6人 1.7%	23人 6.7%	38人 11.0%	79人 22.9%	33人 9.6%	165人 47.8%	0人 0.0%	345人 100.0%

## 居所変更した人の要支援・要介護度（老健を除外）

サービス種別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	死亡	申請中	合計
住宅型有料 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
軽費 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
サ高住 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
GH (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 11.1%	2人 22.2%	2人 22.2%	1人 11.1%	3人 33.3%	0人 0.0%	9人 100.0%
特定 (n=3)	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.2%	2人 2.4%	0人 0.0%	1人 1.2%	5人 5.9%	5人 5.9%	71人 83.5%	0人 0.0%	85人 100.0%
地密特定 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
介護医療院 (n=0)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
特養 (n=2)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 1.2%	1人 1.2%	6人 7.0%	0人 0.0%	78人 90.7%	0人 0.0%	86人 100.0%
地密特養 (n=2)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	2人 11.1%	1人 5.6%	2人 11.1%	13人 72.2%	0人 0.0%	18人 100.0%
合計（老健除外） (n=10)	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 0.5%	2人 1.0%	2人 1.0%	6人 3.0%	14人 7.1%	8人 4.0%	165人 83.3%	0人 0.0%	198人 100.0%

★施設等における死亡率（向上を目指す）

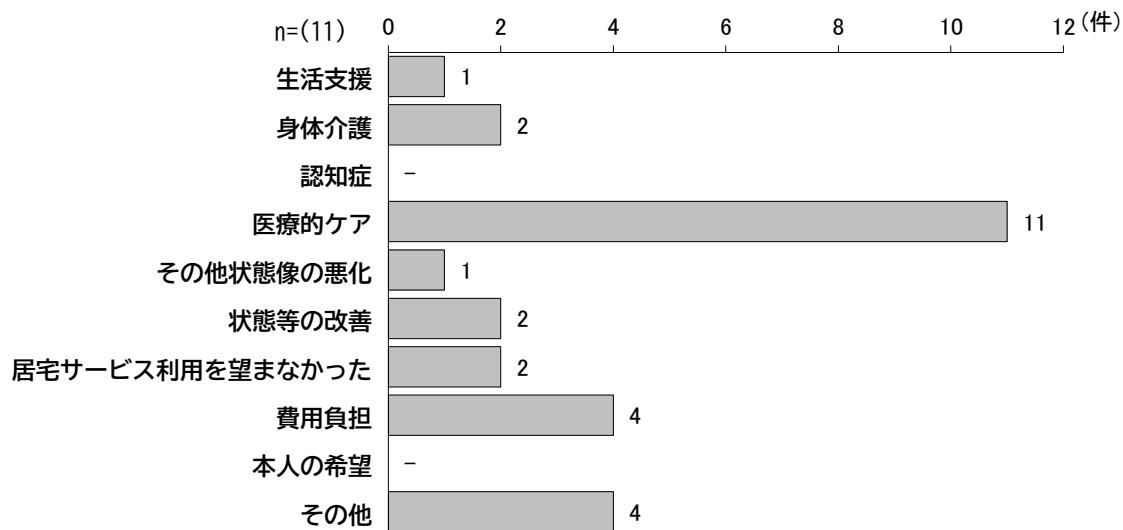
➡ 83.3%

★要介護2以下の居所変更率（低下を目指す）

➡ 2.5%

## 2. 居宅変更した理由

各施設等から居宅変更した理由をみると、「医療的ケア」「費用負担」などとなっている。



〈その他の回答〉

○特養に転居 ○家族が希望したため

## 3. 自由記述

### ●退去するにあたり、よくあるケースについて

- ・医療機関入院
- ・特別養護老人ホームに申請しており、順番がきたため。

### ●高齢者向けサービスについて

- ・利用者の在宅復帰後のサービスが十分とは言えず、ご家族での介護に過重な負担があり入所施設を選択になっていると思う。
- ・介護保険制度を十分に理解されていない家族や、体調の低下などを理解できない家族からの実情に合わない要求に苦慮するケースが多くある。介護保険と高齢者に関する基本知識を学べる取り組みが必要と感じている。
- ・コミュニティー（地域、ボランティア、職員、家族）の振興を図るためのサポート体制、相談窓口があれば良いと思う。施設や事業所だけでは、人不足のなか日々の業務を行うのが精一杯で、ご入所者の自立支援のために、より安心快適な生活を提供したい。

## 第7章 調査結果の詳細

### 介護人材実態調査（調査F）

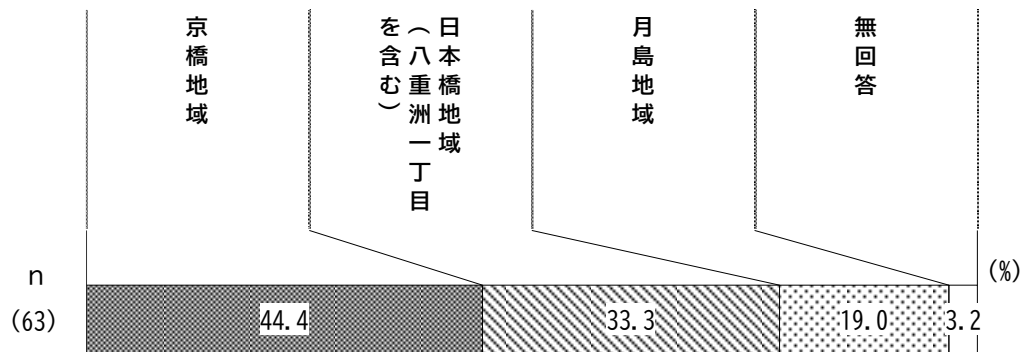


## 1. 基本属性

### （1）事業所の所在地

■「京橋地域」が44.4%、「日本橋地域（八重洲一丁目を含む）」が33.3%

問1 貴事業所の所在地はどちらですか。（○は1つ）



#### 〈事業種別、従業員規模別〉

事業種別で見ると、全ての事業種において「京橋地域」が高い。

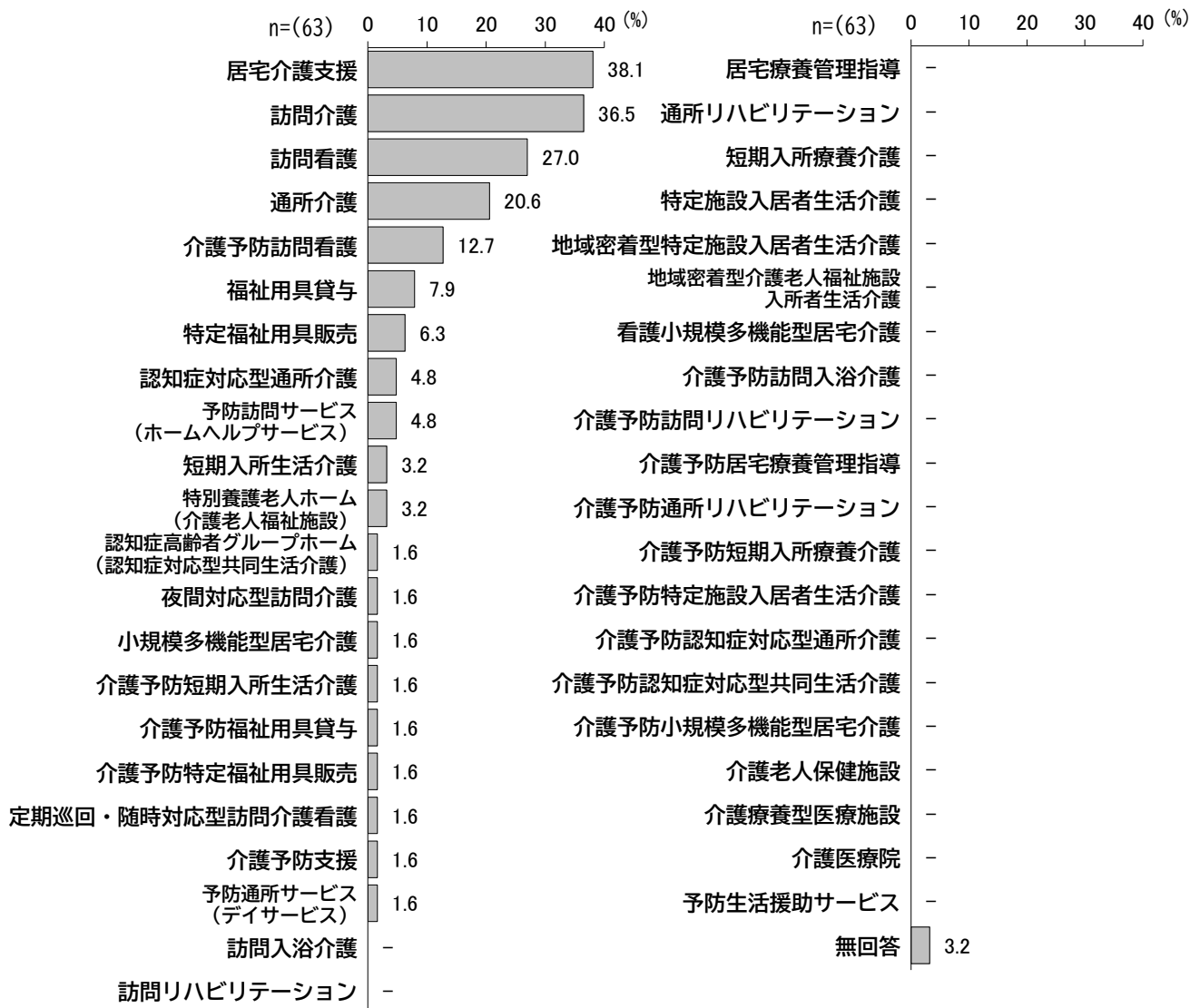
従業員規模別で見ると、“0～2人”は「京橋地域」が、“6～10人”は「日本橋地域（八重洲一丁目を含む）」が他層より高い。

		n	京橋地域	含（日本橋地域 八重洲一丁目 を）	月島地域	無回答
全体		63	44.4	33.3	19.0	3.2
事業種	居宅介護支援事業所	24	66.7	20.8	12.5	-
	居宅サービス事業所	51	41.2	35.3	19.6	3.9
	施設・居住系サービス事業所	3	66.7	-	33.3	-
	介護予防サービス実施事業所	10	50.0	20.0	30.0	-
従業員規模	0～2人	13	61.5	23.1	15.4	-
	3～5人	15	46.7	26.7	20.0	6.7
	6～10人	12	25.0	50.0	25.0	-
	11人以上	20	50.0	35.0	10.0	5.0

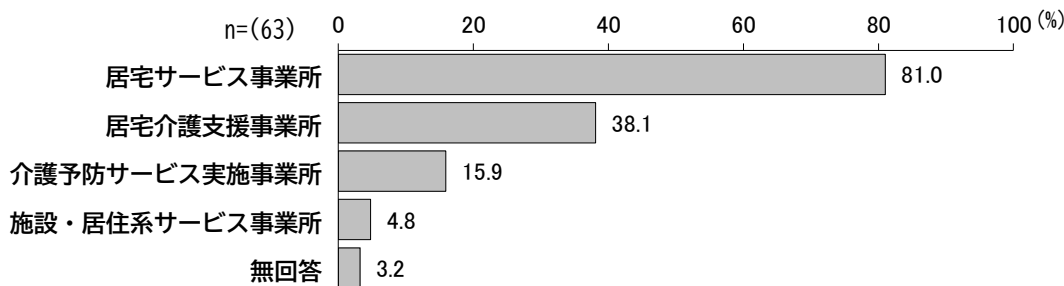
（2）指定（許可）サービス

■「居宅介護支援」が38.1%で、「訪問介護」が36.5%

問2 令和7年10月1日現在、貴事業所が指定（許可）を受けているサービスすべてに○をしてください。（○はいくつでも）



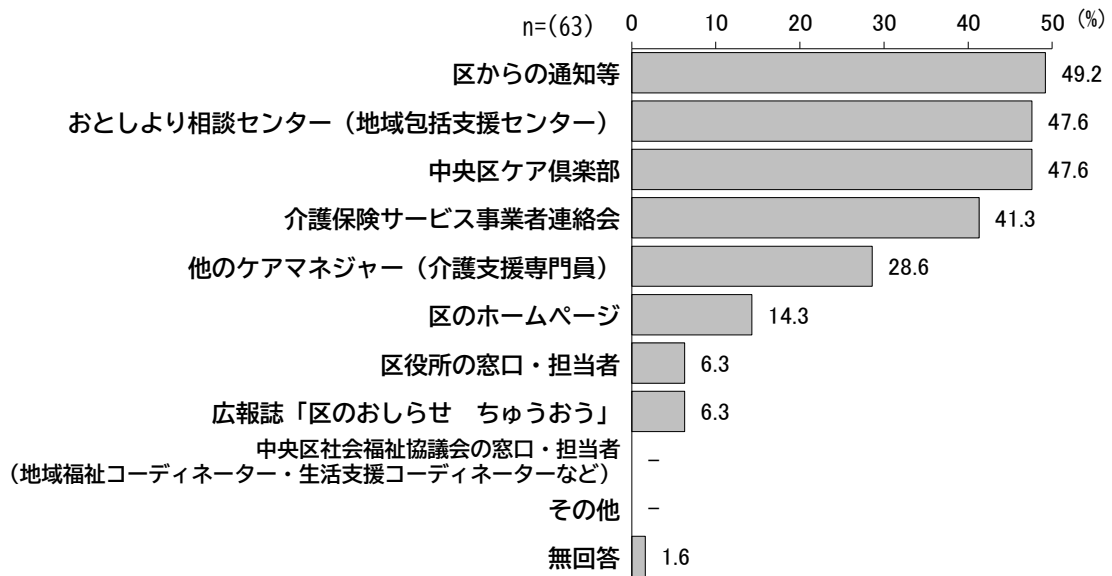
〈事業種別〉



（3）中央区からの情報の入手場所

■「区からの通知等」が49.2%、「おとしより相談センター（地域包括支援センター）」「中央区ケア倶楽部」がともに47.6%

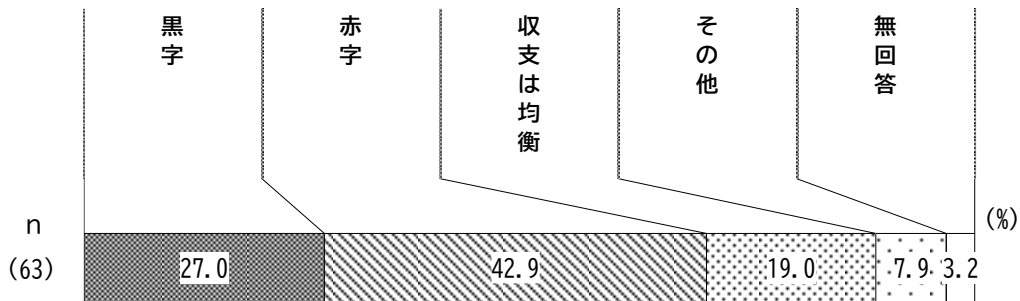
問3 貴事業所は中央区からの情報を主にどこから入手していますか。（○は3つまで）



（4）令和6年度の事業採算

■「赤字」が42.9%、「黒字」が27.0%

問4 昨年度の事業採算について教えてください。（○は1つ）



〈事業種別、従業員規模別〉

事業種別で見ると、“居宅介護支援事業所”“居宅サービス事業所”は「赤字」が他種より高い。一方、“介護予防サービス実施事業所”は「黒字」「収支は均衡」が高い。

従業員規模別で見ると、“11人以上”は「赤字」が他層より高い。

		n	黒字	赤字	収支は均衡	その他	無回答
全体		63	27.0	42.9	19.0	7.9	3.2
事業種	居宅介護支援事業所	24	20.8	45.8	12.5	16.7	4.2
	居宅サービス事業所	51	29.4	41.2	19.6	7.8	2.0
	施設・居住系サービス事業所	3	33.3	-	33.3	33.3	-
	介護予防サービス実施事業所	10	40.0	20.0	40.0	-	-
従業員規模	0～2人	13	38.5	46.2	15.4	-	-
	3～5人	15	20.0	33.3	26.7	13.3	6.7
	6～10人	12	33.3	33.3	16.7	16.7	-
	11人以上	20	20.0	60.0	20.0	-	-

## 2. 人材確保・人材育成等

### （1）介護職員の人数

■介護職員の総数は「11～20人」が22.2%、うち常勤は「2人」「6～11人」がともに17.5%、非常勤は「0人」が33.3%、また、外国人職員、派遣職員ともに「0人」が88.9%

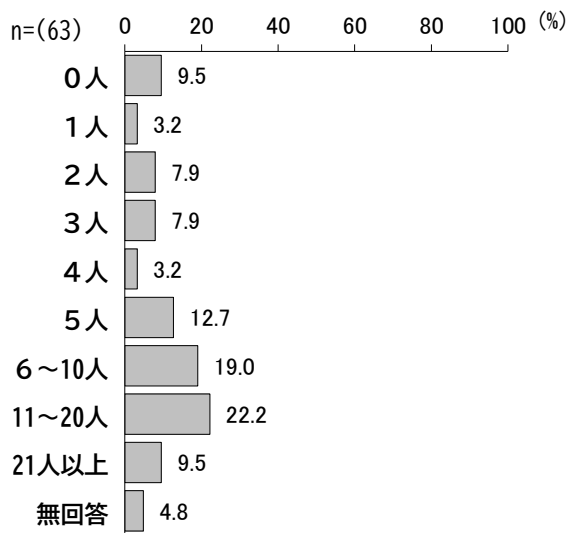
問5 貴事業所に所属する介護職員の人数をご記入ください。（数値を記入）

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

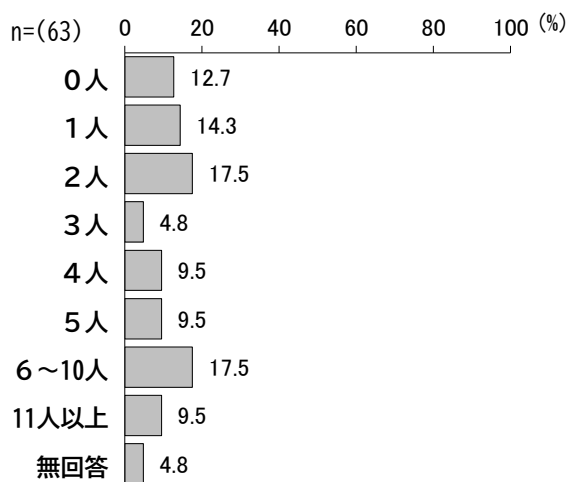
※前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

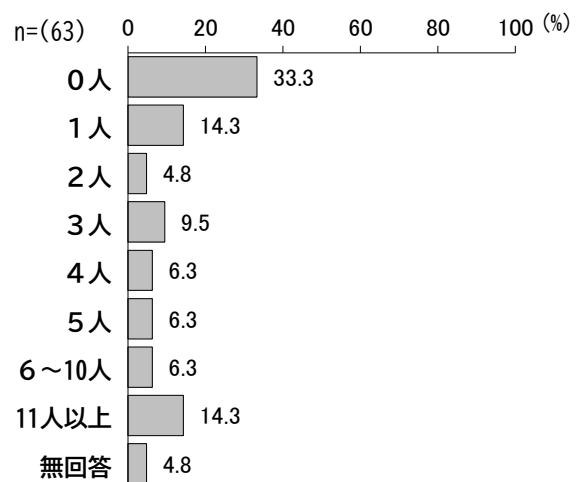
#### ①介護職員の総数



#### ①-1 うち常勤職員数

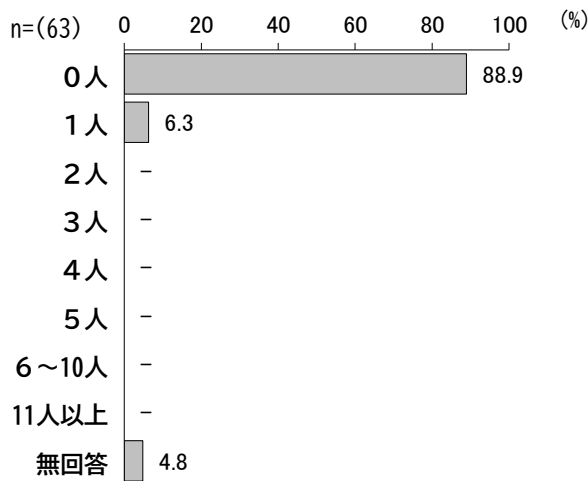


#### ①-2 うち非常勤職員数

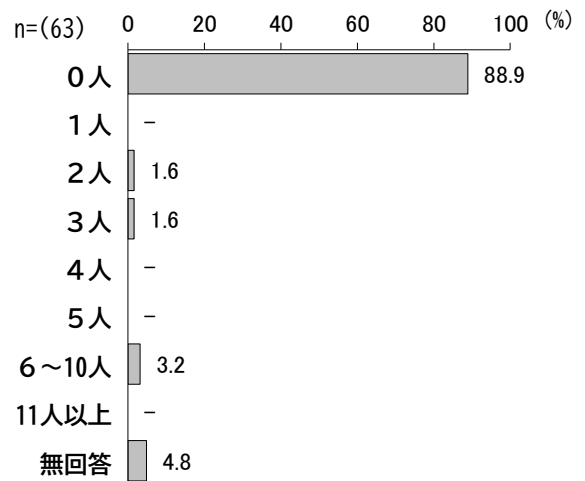


第7章 調査結果の詳細  
介護人材実態調査（調査F）

②外国人



③派遣



〈事業種別〉

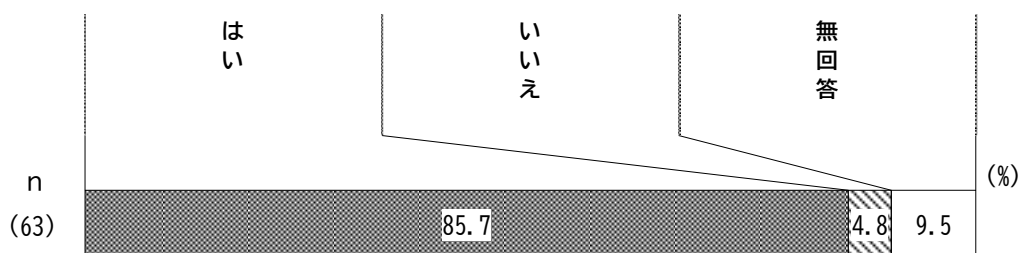
事業種別で見ると、“居宅サービス事業所”は「11~20人」が、“居宅介護支援事業所”は「2人」が他種より高い。また、“介護予防サービス実施事業所”は「0人」が高い。“施設・居住系サービス事業所”は「21人以上」が高い。

		n	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人以上	無回答
全体		63	9.5	3.2	7.9	7.9	3.2	12.7	19.0	22.2	9.5	4.8			
事業種	居宅介護支援事業所	24	8.3	8.3	16.7	8.3	4.2	12.5	12.5	12.5	12.5	4.2			
	居宅サービス事業所	51	9.8	-	-	7.8	3.9	13.7	21.6	27.5	11.8	3.9			
	施設・居住系サービス事業所	3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	66.7	-			
	介護予防サービス実施事業所	10	30.0	-	-	10.0	-	-	20.0	20.0	10.0	10.0			

(2) 開設から1年以上の経過

■「はい」が85.7%

問6 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。(○は1つ)



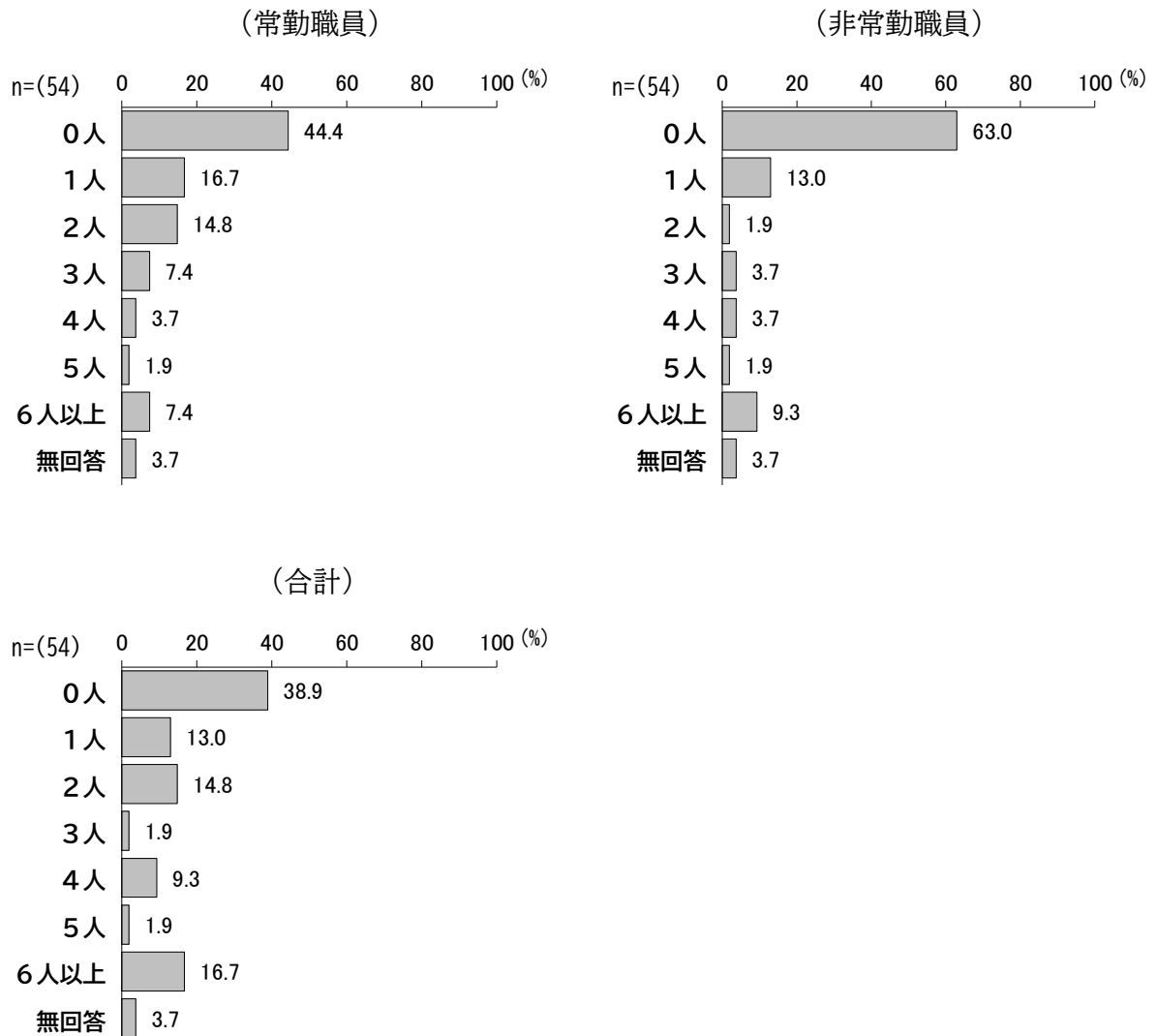
### （3）介護職員の採用者数と離職者数

■採用者数は「0人」が常勤が44.4%、非常勤が63.0%、合計でも38.9%、また、離職者数は「0人」が常勤が59.3%、非常勤が64.8%、合計でも50.0%

【問6-1は、問6で「1. はい」と答えた事業所におうかがいします】

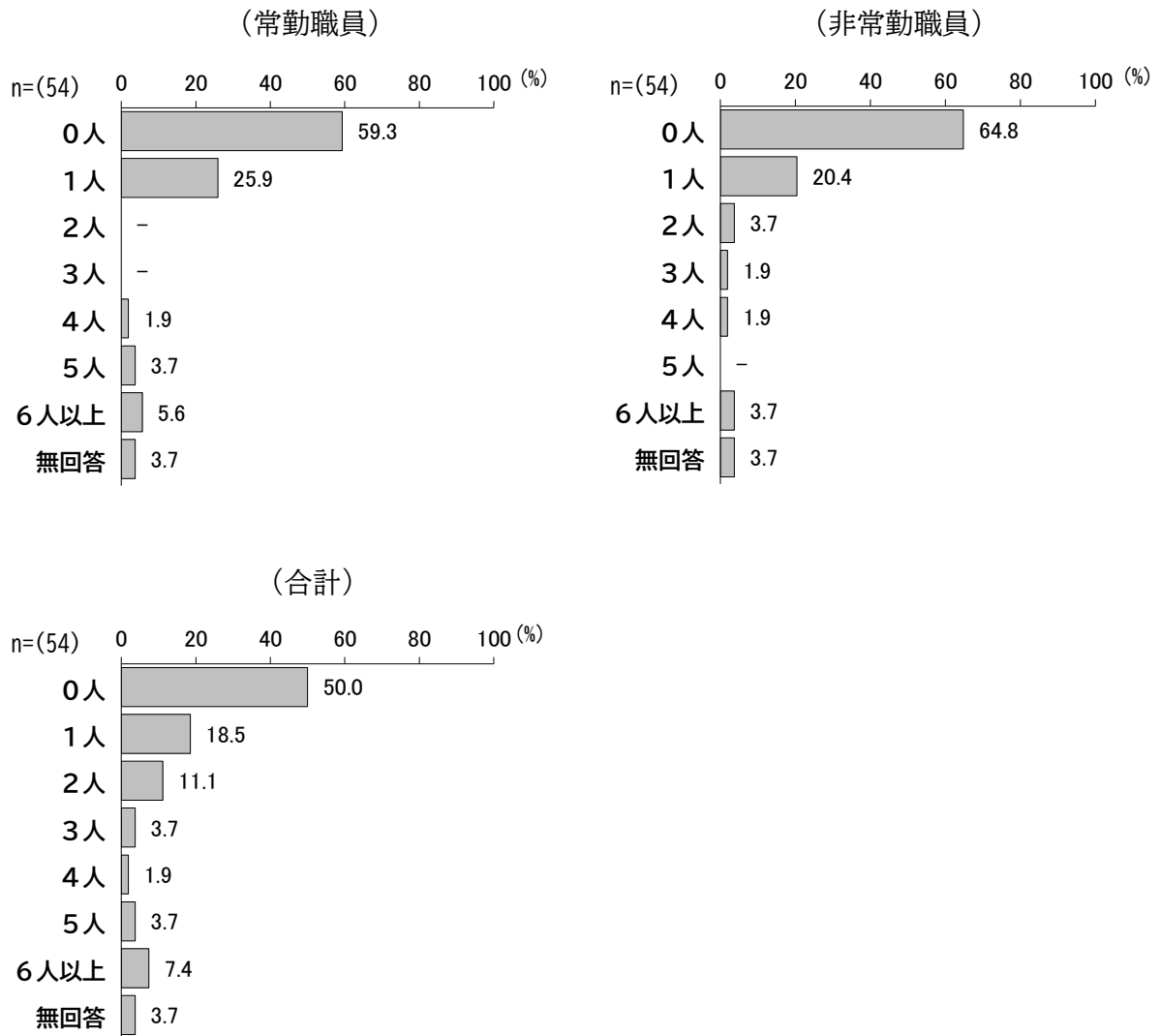
問6-1 過去1年間（2024年10月1日～2025年9月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を記入）

#### ①採用者数



第7章 調査結果の詳細  
介護人材実態調査（調査F）

②離職者数



〈採用・離職の差〉

(人)

	全体	常勤職員			非常勤職員			合計		
		平均 ①採用者	平均 ②離職者	採用者と 離職者の差	平均 ①採用者	平均 ②離職者	採用者と 離職者の差	平均 ①採用者	平均 ②離職者	採用者と 離職者の差
全体	52	2.12	0.94	1.18	1.46	0.96	0.5	3.52	1.9	1.62
居宅介護支援事業所	19	1.05	0.84	0.21	1.42	1.42	0	2.47	2.26	0.21
居宅サービス事業所	43	2.42	1.12	1.3	1.74	1.14	0.6	4.09	2.26	1.83
施設・居住系サービス事業所	2	4	3.5	0.5	3.5	4.5	-1	7.5	8	-0.5
介護予防サービス実施事業所	8	2	1.25	0.75	1.25	1.25	0	2.88	2.5	0.38

〈事業種別／採用者〉

採用者を事業種別で見ると、“常勤のすべての事業所”で「0人」が高い。

また、“非常勤・居宅介護支援事業所”“非常勤・居宅サービス事業所”“非常勤・介護予防サービス実施事業所”は「0人」が高い。

“非常勤・施設・居住系サービス事業所”は「1人」「6人以上」と回答が分かれた。

（採用者／常勤職員）

(%)

		n	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体		54	44.4	16.7	14.8	7.4	3.7	1.9	7.4	3.7
事業種	居宅介護支援事業所	20	70.0	10.0	-	-	5.0	5.0	5.0	5.0
	居宅サービス事業所	45	37.8	17.8	17.8	8.9	4.4	-	8.9	4.4
	施設・居住系サービス事業所	3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3
	介護予防サービス実施事業所	8	37.5	12.5	25.0	12.5	-	-	12.5	-

（採用者／非常勤職員）

(%)

		n	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体		54	63.0	13.0	1.9	3.7	3.7	1.9	9.3	3.7
事業種	居宅介護支援事業所	20	65.0	15.0	-	-	5.0	5.0	5.0	5.0
	居宅サービス事業所	45	57.8	13.3	2.2	4.4	4.4	2.2	11.1	4.4
	施設・居住系サービス事業所	3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3
	介護予防サービス実施事業所	8	62.5	12.5	-	12.5	-	-	12.5	-

（採用者／合計）

(%)

		n	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体		54	38.9	13.0	14.8	1.9	9.3	1.9	16.7	3.7
事業種	居宅介護支援事業所	20	55.0	15.0	5.0	-	5.0	5.0	10.0	5.0
	居宅サービス事業所	45	31.1	15.6	15.6	2.2	11.1	-	20.0	4.4
	施設・居住系サービス事業所	3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3
	介護予防サービス実施事業所	8	37.5	12.5	25.0	-	12.5	-	12.5	-

第7章 調査結果の詳細  
介護人材実態調査（調査F）

〈事業種別／離職者〉

離職者を事業種別で見ると、採用者と同様の傾向にあり、“常勤のすべての事業所”で「0人」が高い。

また、“非常勤・居宅介護支援事業所”“非常勤・居宅サービス事業所”“非常勤・介護予防サービス実施事業所”は「0人」が高い。

“非常勤・施設・居住系サービス事業所”は「1人」「6人以上」と回答が分かれた。

（離職者／常勤職員）

(%)

		n	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体		54	59.3	25.9	-	-	1.9	3.7	5.6	3.7
事業種	居宅介護支援事業所	20	75.0	10.0	-	-	-	-	10.0	5.0
	居宅サービス事業所	45	53.3	28.9	-	-	2.2	4.4	6.7	4.4
	施設・居住系サービス事業所	3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3
	介護予防サービス実施事業所	8	50.0	37.5	-	-	-	-	12.5	-

（離職者／非常勤職員）

(%)

		n	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体		54	64.8	20.4	3.7	1.9	1.9	-	3.7	3.7
事業種	居宅介護支援事業所	20	65.0	20.0	-	5.0	-	-	5.0	5.0
	居宅サービス事業所	45	60.0	22.2	4.4	2.2	2.2	-	4.4	4.4
	施設・居住系サービス事業所	3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3
	介護予防サービス実施事業所	8	62.5	25.0	-	-	-	-	12.5	-

（離職者／合計）

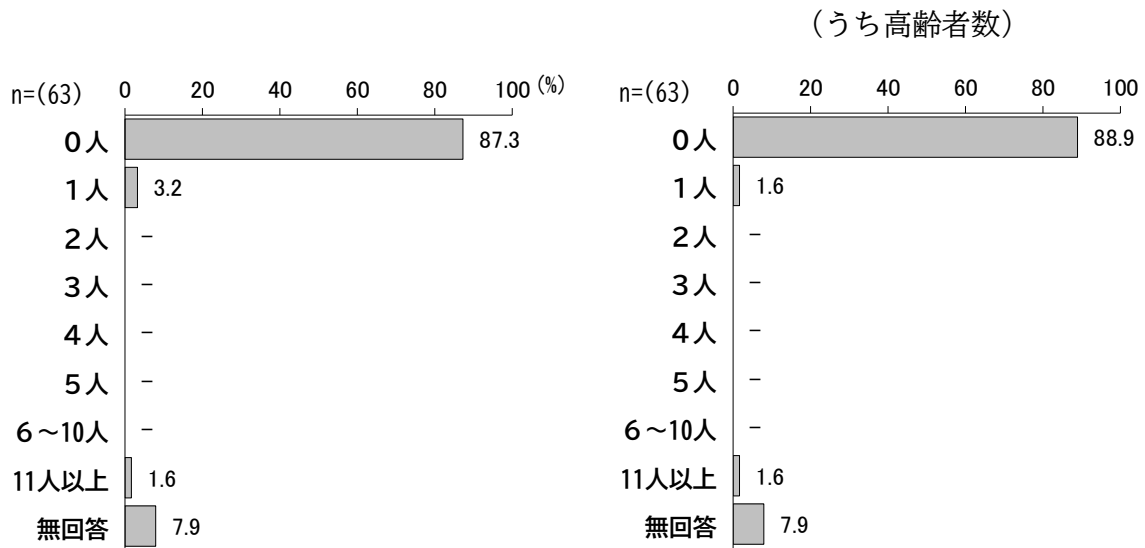
(%)

		n	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体		54	50.0	18.5	11.1	3.7	1.9	3.7	7.4	3.7
事業種	居宅介護支援事業所	20	60.0	15.0	5.0	5.0	-	-	10.0	5.0
	居宅サービス事業所	45	42.2	22.2	11.1	4.4	2.2	4.4	8.9	4.4
	施設・居住系サービス事業所	3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3
	介護予防サービス実施事業所	8	50.0	12.5	25.0	-	-	-	12.5	-

（4）ボランティアの人数

■「0人」が87.3%、そのうち高齢者数も「0人」が88.9%

問7 貴事業所で受け入れているボランティアの人数についておたずねします。直近1カ月間に受け入れたボランティア人数（延べ人数、短期／長期は問わない）をお答えください。（数値を記入）



〈事業種別〉

事業種別では、特に大きな差異は見られない。

		n	0人	1人			無回答
全体		63	87.3	3.2	-	1.6	7.9
事業種	居宅介護支援事業所	24	87.5	4.2	-	-	8.3
	居宅サービス事業所	51	86.3	3.9	-	2.0	7.8
	施設・居住系サービス事業所	3	33.3	-	-	33.3	33.3
	介護予防サービス実施事業所	10	80.0	-	-	10.0	10.0

第7章 調査結果の詳細  
介護人材実態調査（調査F）

〈事業種別／うち高齢者〉

事業種別で見ると、“居宅介護支援事業所”“居宅サービス事業所”“介護予防サービス実施事業所”は「0人」の割合が高い。

(%)

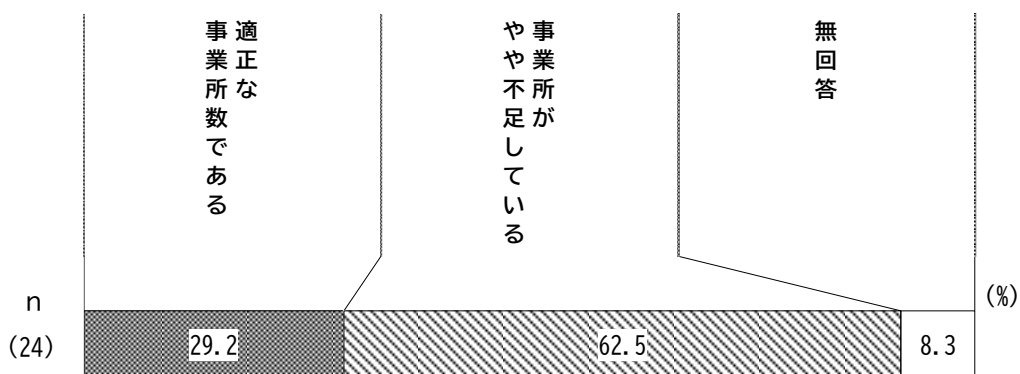
		n	0人	1人			無回答
全体		63	88.9	1.6	-	1.6	7.9
事業種	居宅介護支援事業所	24	91.7	-	-	-	8.3
	居宅サービス事業所	51	88.2	2.0	-	2.0	7.8
	施設・居住系サービス事業所	3	33.3	-	-	33.3	33.3
	介護予防サービス実施事業所	10	80.0	-	-	10.0	10.0

(5) 区内の介護サービスの需給バランス

■「事業所がやや不足している」が62.5%

【問8は、「居宅介護支援事業所」の方におうかがいします】

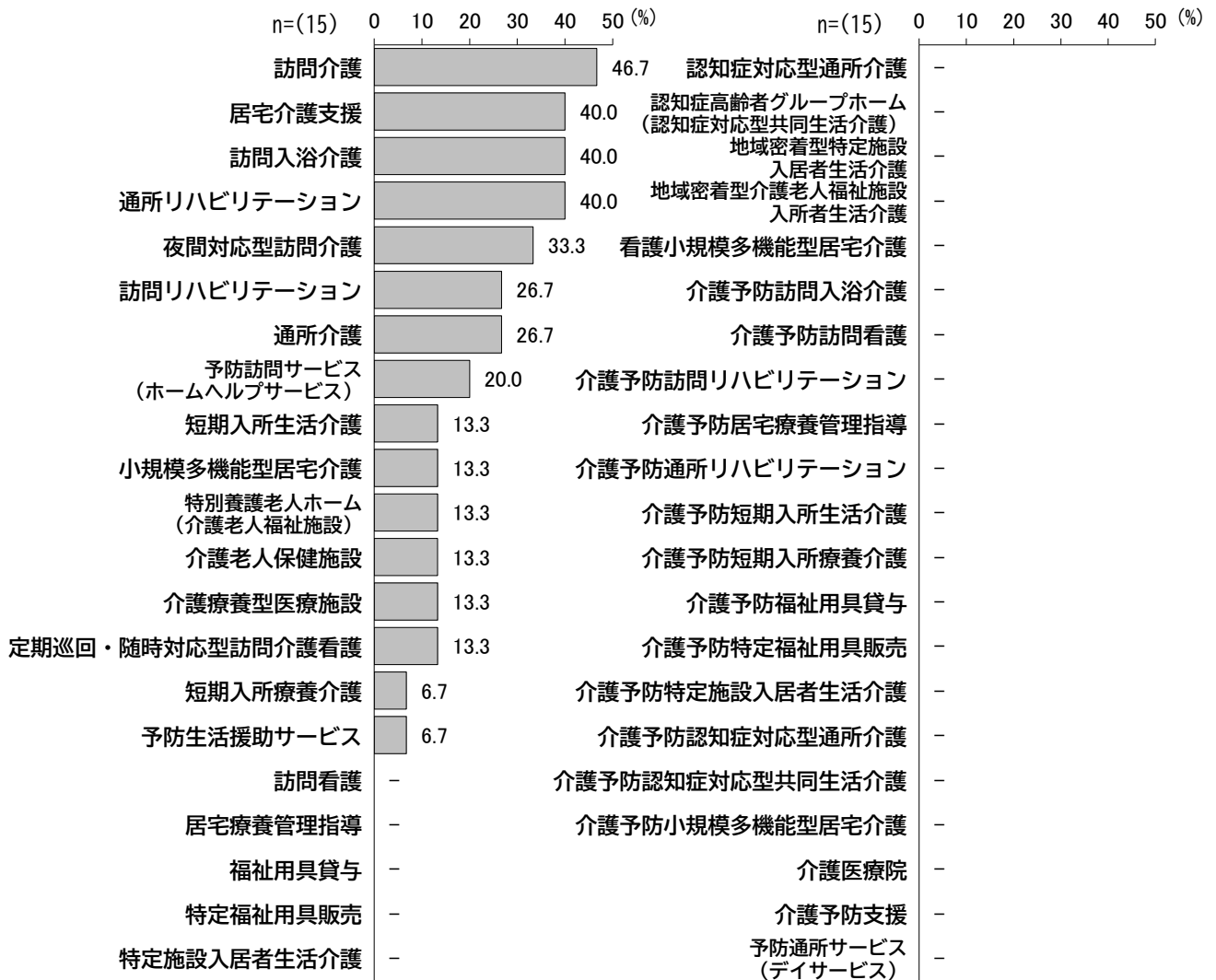
問8 区内の介護サービスをみたとき、サービス利用者数（需要）と事業所数（供給）の関係について、どのように思いますか。（○は1つ）



(6) 不足しているサービスの種類

■「訪問介護」が46.7%、「居宅介護支援」「訪問入浴介護」「通所リハビリテーション」がそれぞれ40.0%

【問8-1は、問8で「2. 事業所がやや不足している」と答えた事業所におうかがいします】  
問8-1 不足していると思う介護サービスは次のうちどれですか。（○は5つまで）



### （7）採用や人材定着に関する課題

問9 採用や人材定着に関して課題があればお書きください。（自由記述）

#### ①採用・人材確保について

- ・年間通して求人活動、採用を進めていますが、なかなか採用できない状況。ほしい人材に会えない。定着に関しては、比較的長く勤めてもらっているが、段々と既存の職員も年齢を重ねており、平均年齢が上がっている。
- ・広告、WEBに求人をかけても来ない。採用しても辞める人が多い。

#### ②人件費・経営負担について

- ・採用は人材紹介会社などの媒体を通じて応募があるため、人件費が高くなってしまふ。自社で採用できる方法を確立することが課題と感じている。
- ・良い人材を採用するのが大変。人材紹介会社より採用した場合は紹介料が多額のため負担が非常に大きい。

#### ③人員不足・配置について

- ・ヘルパー不足の為、業務が多忙している。
- ・広報や業界へのイメージを変えないと興味をもってもらうことに辿りついてもらえない。

#### ④離職・定着について

- ・入職する職員は、現場経験がない職員が多く、どのように育成して定着させていくか一つの課題である。

#### ⑤専門職確保（看護師・ケアマネジャー等）について

- ・ケアマネジャーの人数が増えない。
- ・他区と比べ、中央区は看護師、療法士の採用応募が少ないと思う。区からの補助などの支援が必要だと思う。

#### ⑥労働環境・働き方について

- ・訪問介護のみの課題だが、運転免許がないと配置が難しいことがネックとなっている。介護業界において外国籍の方を受け入れることが増えているが、期限付きの在留資格から更新する在留資格への切り替えまでの短さ、ハードルの高さを感じ、定着の足かせになっていると感じる。

#### ⑦制度・行政支援について

- ・区からの補助などの支援もないので、採用が課題と思います。

#### ⑧その他

- ・フレックスや在宅ワークを柔軟にとり入れることや、FAXだけでなくメールを活用し働きやすい環境作りが必要。
- ・若い人材が少ない。

## （8）人材確保に関して区に期待すること

問10 人材確保に関して区に期待することをお書きください。（自由記述）

### ①介護職のイメージ・魅力発信について

- ・ドラマなどで介護をやりたくなるような良いイメージを作ってもらえるといいと思う。
- ・介護職の魅力発信や介護職を目指す方への補助などがあると、人材の底上げに繋がるかもかも知れない。

### ②採用支援・紹介制度について

- ・無料紹介システム、または、有料紹介会社を利用した際の補助金などの検討。
- ・紹介や案内が必要だと思う。
- ・コストを抑えるため、中央区独自で介護職を募集し、事業所を紹介する場を設けてほしい。

### ③補助金・経済的支援について

- ・人材確保に対して補助金を出してほしい。

### ④研修・人材育成について

- ・地域の方を対象とした介護人材育成をしてもらえたら嬉しい。

### ⑤研修・人材育成について

- ・区からの給料アップにつながるような支援があればと思う。
- ・人材確保に要する費用や外国籍の方を受け入れることに対する支援制度が、より充実することを期待している。

### ⑥その他

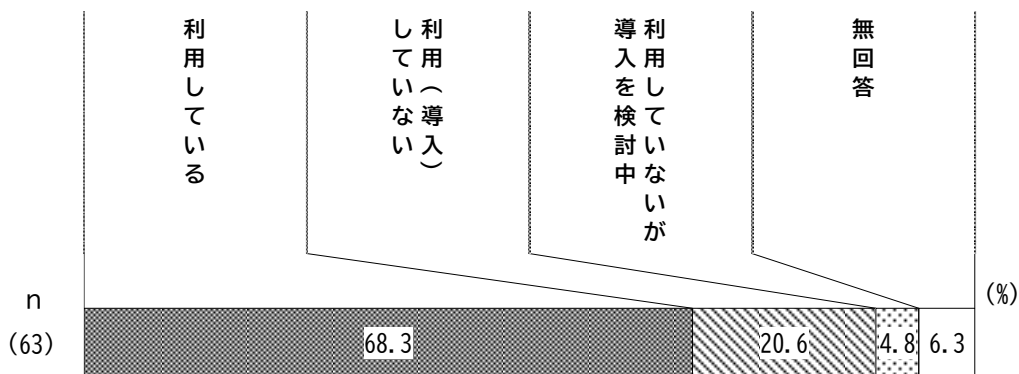
- ・若い人へのアピール。
- ・MCSを活用し、事務処理の軽減を図ることが必要だと思う。

### 3. ICT機器・介護ロボットの活用

#### （1）介護事業における生産性向上ツールの利用状況

■「利用している」が68.3%

問11 貴事業所では、生産性向上のためにツールを利用していますか。（○は1つ）

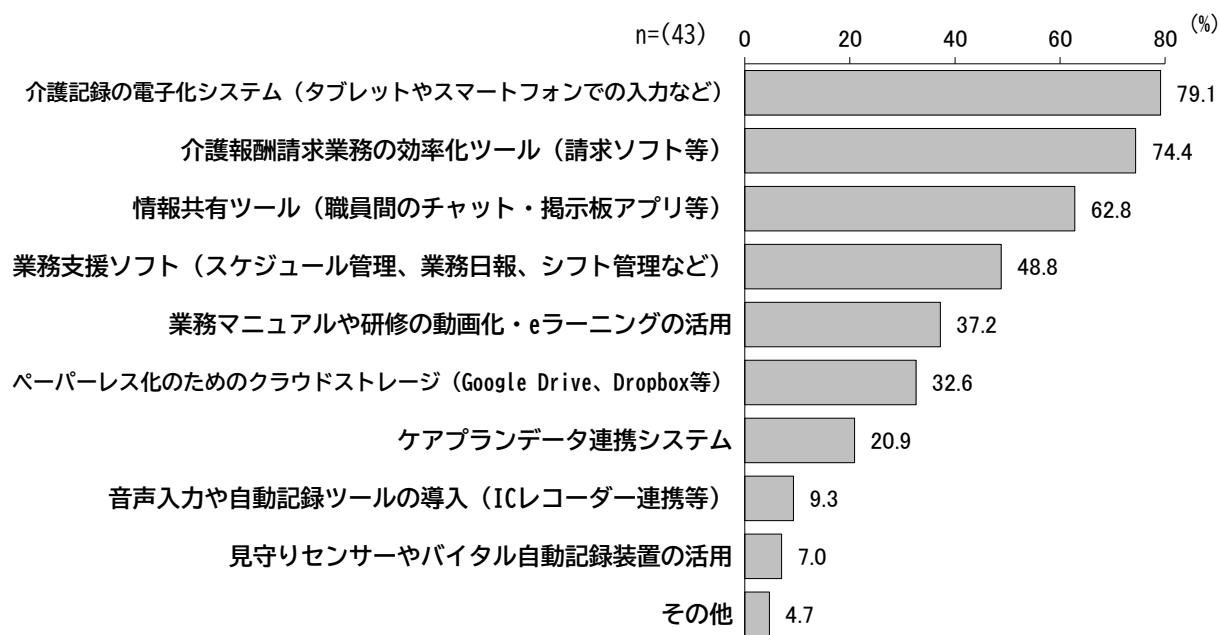


#### （2）利用している生産性向上ツールの種類

■「介護記録の電子化システム（タブレットやスマートフォンでの入力など）」が79.1%、「介護報酬請求業務の効率化ツール（請求ソフト等）」が74.4%

【問11-1は、問11で「1. 利用している」と答えた事業所におうかがいします】

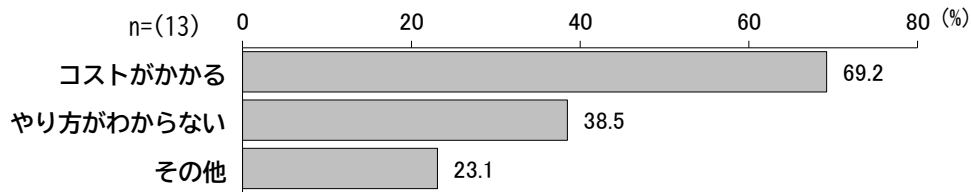
問11-1 どのようなツールを利用していますか。（○はいくつでも）



### （3）生産性向上ツールを利用していない理由

■「コストがかかる」が69.2%（基数が少ないため参考まで）

【問11-2は、問11で「2. 利用（導入）していない」と答えた事業所におうかがいします】  
問11-2 利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）



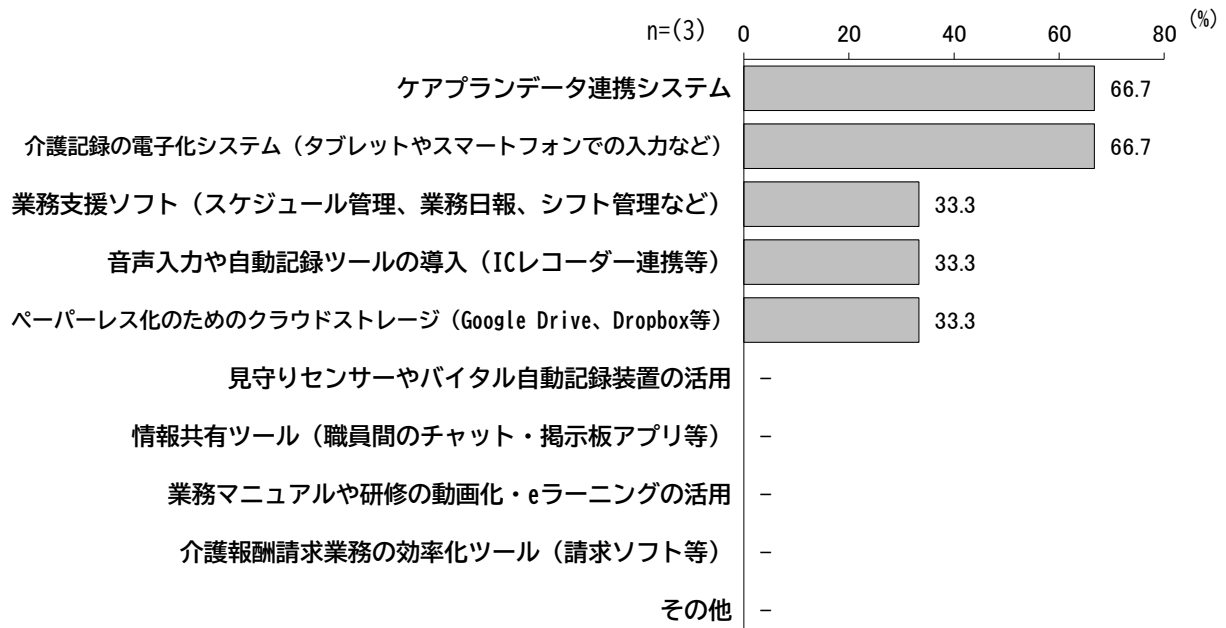
〈その他の回答〉

○本社、支店が決めるから ○使用したい職員は個人購入だから ○必要性を感じてないから

### （4）導入予定の生産性向上ツール

■「ケアプランデータ連携システム」「介護記録の電子化システム（タブレットやスマートフォンでの入力など）」がともに66.7%（基数が少ないため参考まで）

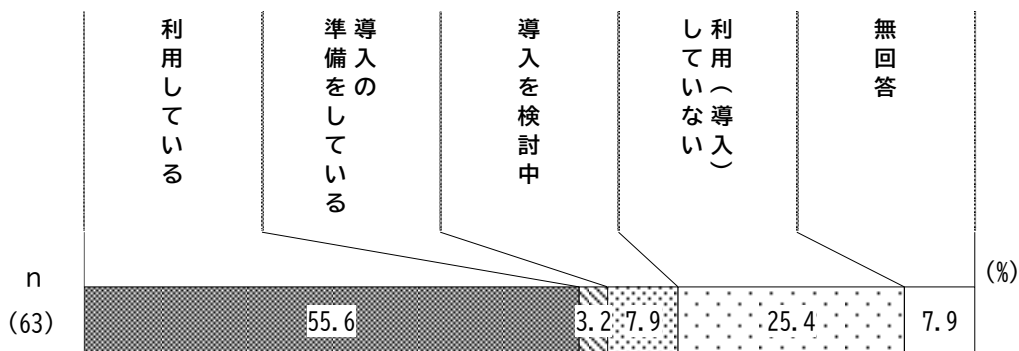
【問11-3は、問11で「3. 利用していないが導入を検討中」と答えた事業所におうかがいします】  
問11-3 どのようなツールを導入予定ですか。（○はいくつでも）



（5）多職種連携ICTシステムの利用状況

■「利用している」が55.6%、「利用（導入）していない」が25.4%

問12 貴事業所では、多職種連携 I C Tシステムを利用していますか。（○は1つ）



〈事業種別〉

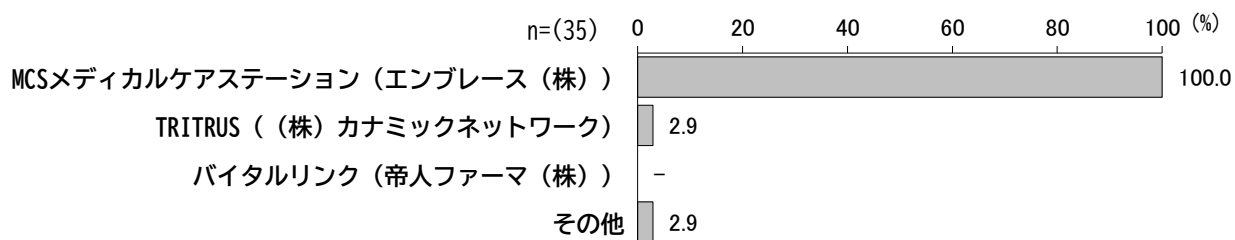
事業種別で見ると、“介護予防サービス実施事業所”は「利用している」が他種より高い。

		n	利用している	導入の準備をしている	導入を検討中	利用（導入）していない	無回答
全体		63	55.6	3.2	7.9	25.4	7.9
事業種	居宅介護支援事業所	24	54.2	4.2	8.3	25.0	8.3
	居宅サービス事業所	51	58.8	2.0	7.8	27.5	3.9
	施設・居住系サービス事業所	3	66.7	-	33.3	-	-
	介護予防サービス実施事業所	10	80.0	-	10.0	10.0	-

（6）利用している多職種連携ICTシステムの種類

■「MCSメディカルケアステーション（エンブレース（株）」が100.0%

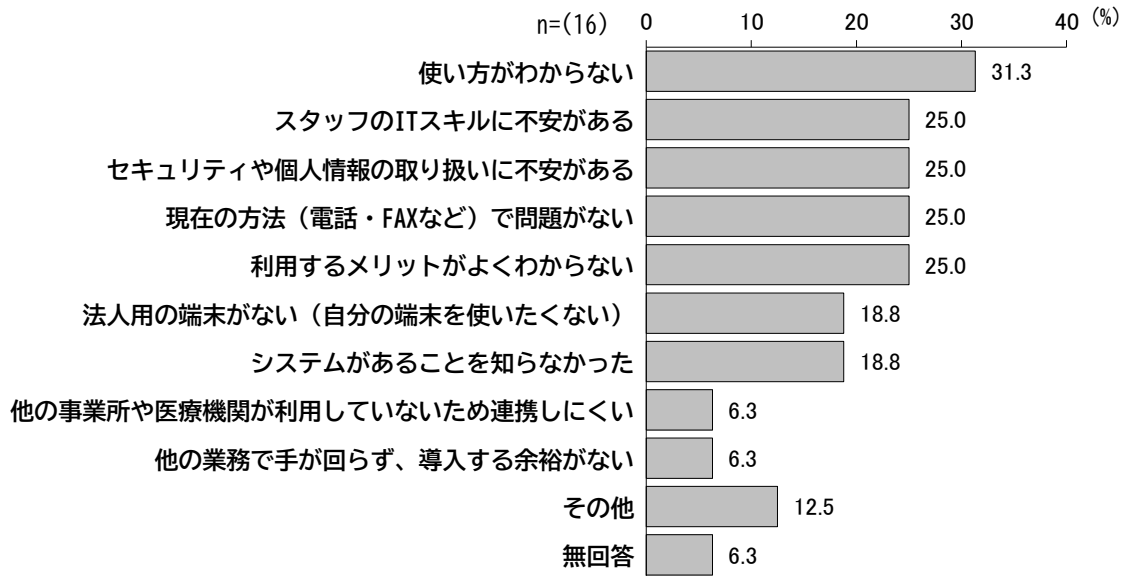
【問12-1は、問12で「1. 利用している」と答えた事業所におうかがいします】  
問12-1 利用している多職種連携システムの種類は何ですか。（○はいくつでも）



（7）多職種連携ICTシステムを利用していない理由

■「使い方がわからない」が31.3%、「スタッフのITスキルに不安がある」「セキュリティや個人情報の取り扱いに不安がある」「現在の方法（電話・FAXなど）で問題がない」「利用するメリットがよくわからない」がそれぞれ25.0%（基数が少ないため参考まで）

【問12-2は、問12で「4. 利用（導入）していない」と答えた事業所におうかがいします】  
問12-2 利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）



〈その他の回答〉

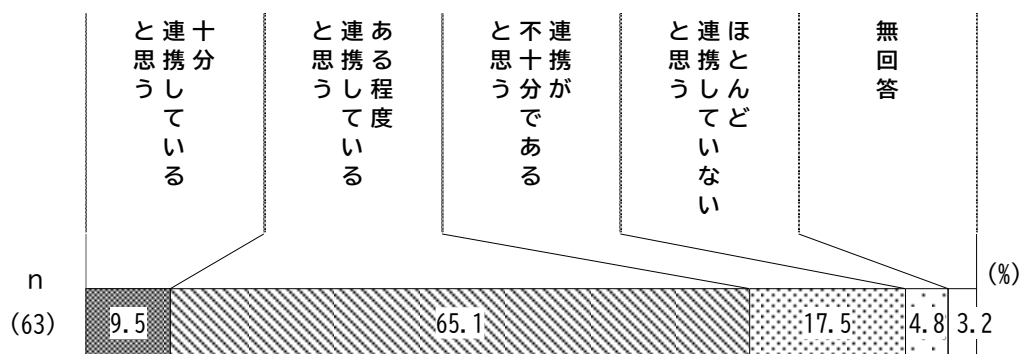
○本社で利用を検討していないから ○法人のシステムセキュリティーが高すぎるから

## 4. 医療と介護の連携

### （1）医療・介護の連携の状況

■「ある程度連携していると思う」が65.1%

問13 在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。（○は1つ）



#### 〈事業種別〉

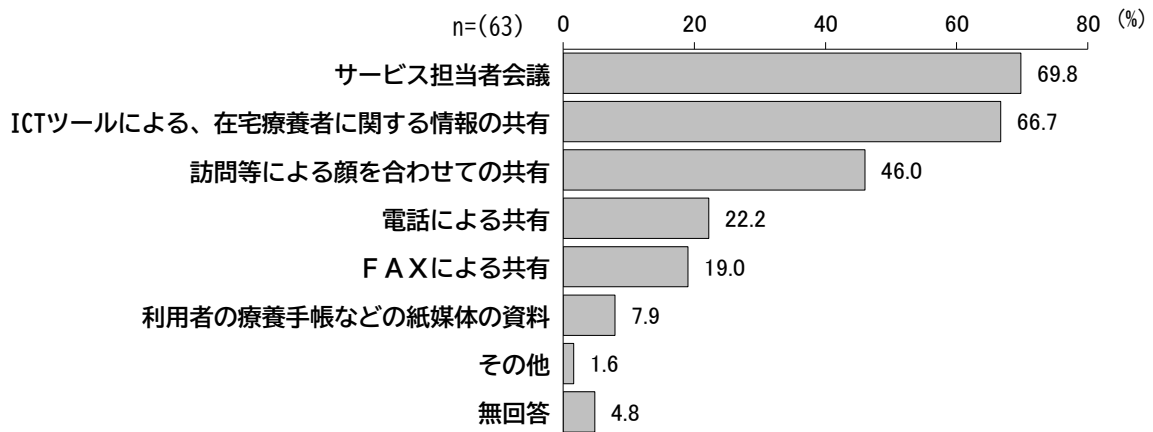
事業種別で見ると、“居宅介護支援事業所”は「ある程度連携していると思う」が他種より高い。

		n	と連携が十分である	と連携が十分でない	と連携が十分である	と連携が十分でない	無回答
全体		63	9.5	65.1	17.5	4.8	3.2
事業種	居宅介護支援事業所	24	8.3	75.0	12.5	4.2	-
	居宅サービス事業所	51	11.8	64.7	19.6	2.0	2.0
	施設・居住系サービス事業所	3	33.3	33.3	33.3	-	-
	介護予防サービス実施事業所	10	10.0	70.0	20.0	-	-

（2）医療・介護連携を進める上で情報共有をどのような方法で進めるか

■「サービス担当者会議」が69.8%、「ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有」が66.7%

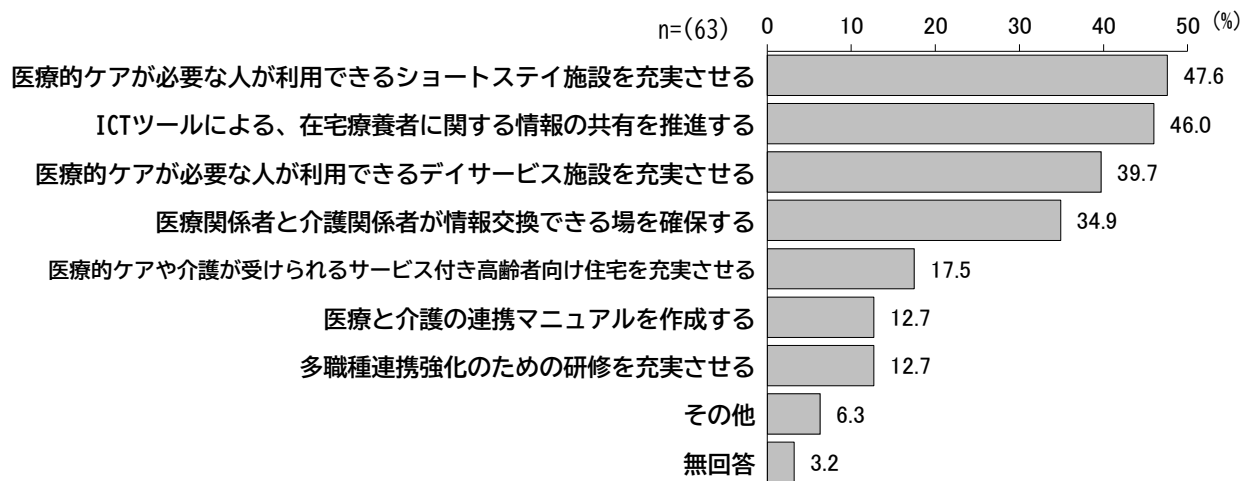
問14 医療と介護の連携を進める上で、利用者に関する情報の共有をどのような方法で進めたいと思いますか。（○は3つまで）



（3）在宅療養支援推進に向けての課題

■「医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる」が47.6%、「ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有を推進する」が46.0%

問15 医療と介護を一体的に提供し、在宅療養支援を進めていくため、医療機関、介護サービス事業者、行政はどのようなことに取り組むことが必要だと思いますか。（○は3つまで）



〈事業種別〉

事業種別で見ると、“居宅介護支援事業所”は「医療的ケアが必要な人が利用できるデイサービス施設を充実させる」が、“介護予防サービス実施事業所”“施設・居住系サービス事業所”は「ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有を推進する」が他種より高い。

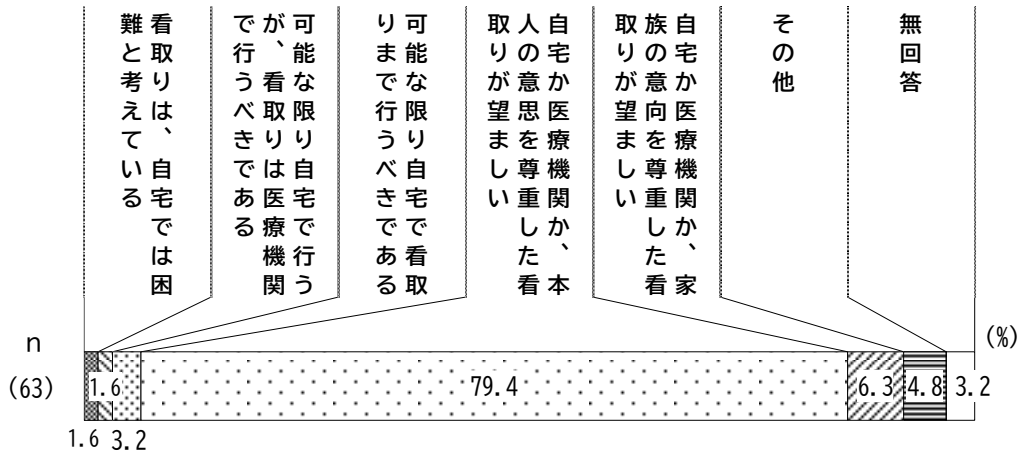
		n	医療的ケアが必要な人が利用できる施設を充実させる (%)	ICTツールによる在宅療養者に関する情報の共有を推進する (%)	医療的ケアが必要な人が利用できる施設を充実させる (%)	医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する (%)	医療的ケアや介護が受けられるサービス付き高齢者向け住宅を充実させる (%)	医療と介護の連携マニュアルを作成する (%)	多職種連携強化のための研修を充実させる (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		63	47.6	46.0	39.7	34.9	17.5	12.7	12.7	6.3	3.2
事業種	居宅介護支援事業所	24	58.3	41.7	54.2	16.7	29.2	8.3	8.3	4.2	-
	居宅サービス事業所	51	45.1	45.1	37.3	43.1	15.7	15.7	15.7	5.9	2.0
	施設・居住系サービス事業所	3	33.3	66.7	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-
	介護予防サービス実施事業所	10	60.0	70.0	40.0	50.0	20.0	-	20.0	20.0	-

## 5. 看取り

### （1）看取りについて最も重視していること

■「自宅か医療機関か、本人の意思を尊重した看取りが望ましい」が79.4%

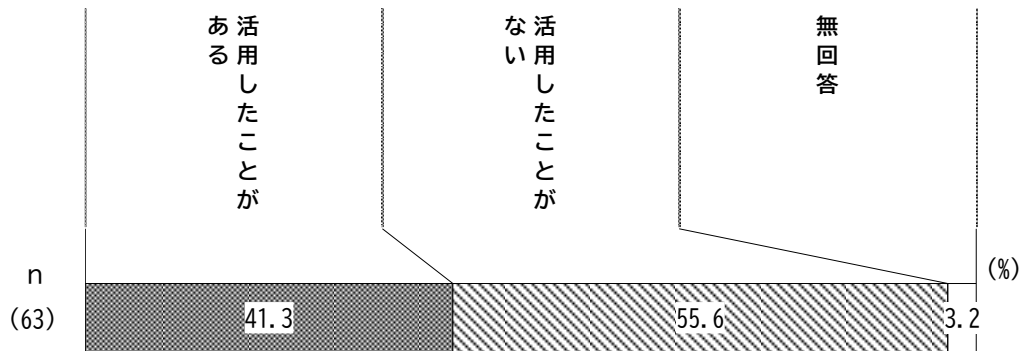
問16 看取りについて、どのように考えていますか。（○は1つ）



（2）ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の活用

■「活用したことがない」が55.6%

問17 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を活用したことがありますか。（○は1つ）



〈事業種別〉

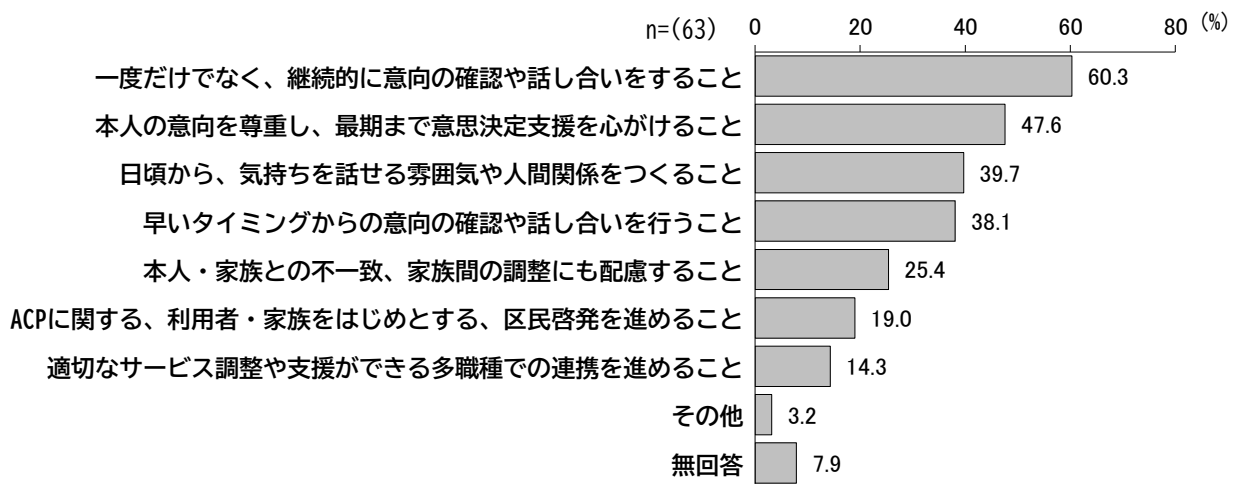
事業種別で見ると、“居宅介護支援事業所”“施設・居住系サービス事業所”“介護予防サービス実施事業所”は「活用したことがある」が、“居宅サービス事業所”は「活用したことがない」が高い。

		n	あ 活 用 し た こ と が	な 活 用 し た こ と が	無 回 答
全 体		63	41.3	55.6	3.2
事業種	居宅介護支援事業所	24	54.2	45.8	-
	居宅サービス事業所	51	37.3	60.8	2.0
	施設・居住系サービス事業所	3	66.7	33.3	-
	介護予防サービス実施事業所	10	70.0	30.0	-

(3) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の推進に必要なこと

- 「一度だけでなく、継続的に意向の確認や話し合いをすること」が60.3%、「本人の意向を尊重し、最期まで意思決定支援を心がけること」が47.6%

問18 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を進める上で必要なことは何ですか。（○は3つまで）



#### （4）施設運営の課題

【問19は、施設・居住系サービス事業所におうかがいします】

問19 貴施設の施設運営の課題についてご意見をお書きください。（自由記述）

##### ①介護職員の確保について

- ・スタッフが長く働けること。
- ・職員の高齢化。
- ・人材不足、報酬が少ない。

##### ②介護職員の教育について

- ・言葉不足にならないよう丁寧な説明が必要。

##### ③介護職員の教育について

- ・電話対応が多く、加算を取れないサービスの業務が多い。
- ・職員がそれぞれ忙し過ぎること、研修等が多過ぎること。

##### ④職場環境について

- ・来所されている方が楽しくできるように心掛けている。
- ・ご利用者の希望に沿った介護サービスを継続させるため、職員がストレスなく笑顔で長く続けられる環境づくり。

##### ⑤その他

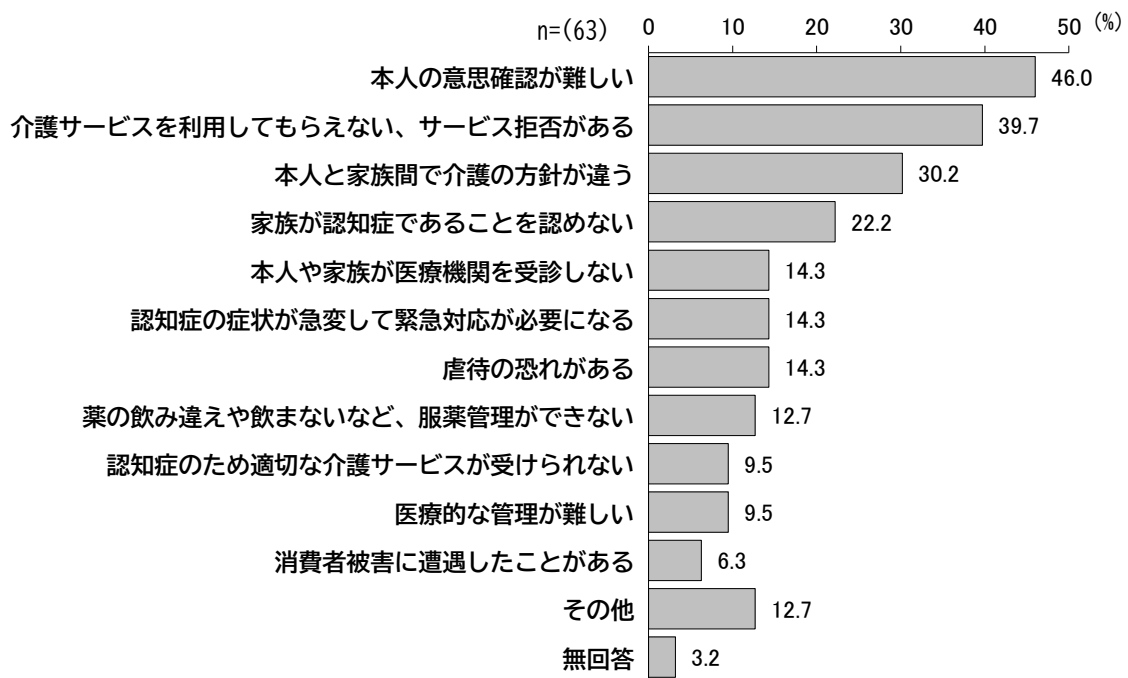
- ・利用者のニーズに対して区内に夜間対応型訪問介護を行っている事業所が少ない。
- ・本人、家族の希望をどこまで聞いて対応するのか。

## 6. 認知症の方や家族の支援

### （1）認知症の利用者の状況で大変なこと

■「本人の意思確認が難しい」が46.0%で、「介護サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある」が39.7%

問20 認知症の利用者の状況で実際にあり、大変なことは何ですか。（○は3つまで）



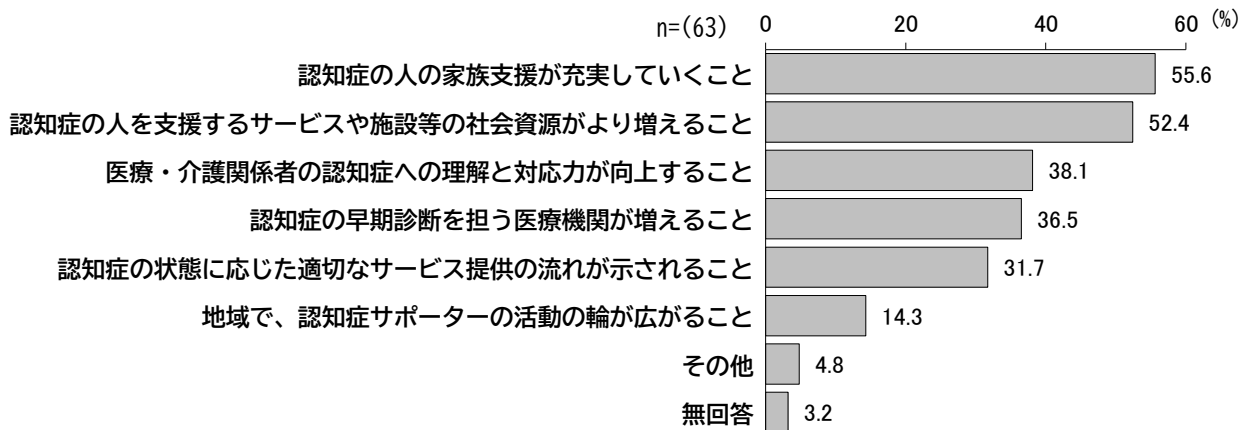
〈その他の回答〉

○家族を支えるサービスが乏しい ○信頼関係を持続させることが難しい

（2）認知症の方の支援で特に必要と思われること

■「認知症の方の家族支援が充実していくこと」が55.6%、「認知症の方を支援するサービスや施設等の社会資源がより増えること」が52.4%

問21 認知症の方の支援にあたり特に必要と思われることは何ですか。（○は3つまで）



〈事業種別〉

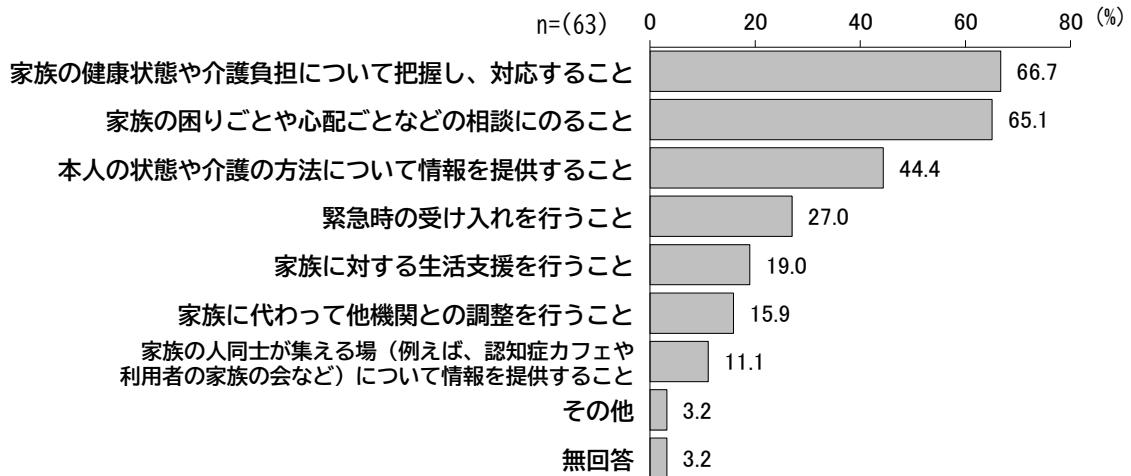
事業種別で見ると、「介護予防サービス実施事業所」は「認知症の方を支援するサービスや施設等の社会資源がより増えること」が他種より高い。

		n	充家認 実族知 し支症 て援の いが人 くこと	増社サ認 え会し知 る資ビ症 こ源スの とがや人 よ施を り設支 等援 のす る	対認医 応知療 力症・介 がへ介 向の護 上理関 す解係 ると者 のこと	増担認 えう知 る医症 こ療の と機早 が機期 断を	流適認 れ切知 がな症 示サの さし状 れビ態 るスに こ提 と供 じ のた	輪サ地 がボ域 がらで るる こと と活 症 動 の	そ の 他	無 回 答
全体		63	55.6	52.4	38.1	36.5	31.7	14.3	4.8	3.2
事業種	居宅介護支援事業所	24	62.5	58.3	33.3	37.5	41.7	16.7	8.3	-
	居宅サービス事業所	51	51.0	52.9	41.2	35.3	35.3	15.7	2.0	2.0
	施設・居住系サービス事業所	3	66.7	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	-	-
	介護予防サービス実施事業所	10	60.0	80.0	50.0	40.0	30.0	20.0	-	-

（3）認知症の利用者の家族への支援として特に必要と思われること

■「家族の健康状態や介護負担について把握し、対応すること」が66.7%、「家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのること」が65.1%

問22 認知症の利用者の家族への支援として特に必要と思われることは何ですか。（○は3つまで）



〈事業種別〉

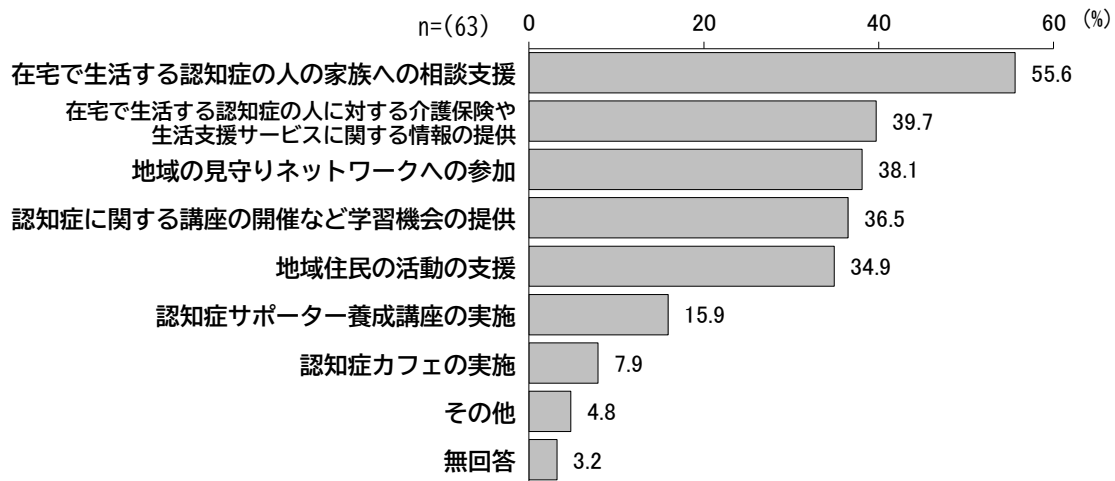
事業種別で見ると、“介護予防サービス実施事業所”は「家族の健康状態や介護負担について把握し、対応すること」「緊急時の受け入れを行うこと」が、“居宅介護支援事業所”は「本人の状態や介護の方法について情報を提供すること」が他種より高い。

事業種	n	割合 (%)								
		対介 応護 す負 こに とつ こに 状 い 態 や 把 握 し、	相心 談配 に ご の 困 り ご と の や	情介 報護 を の 提 供 法 態 す に や る こ と で	つ利 用（ 例 ） 者 の 情 報 を 族 を 提 供 す る こ と に	生家 活支 援に 対 す る こ と	行他 機 関 に と 代 わ つ て 調 整 を	行緊 急 時 の 受 け 入 れ を	そ の 他	無 回 答
全体	63	66.7	65.1	44.4	11.1	19.0	15.9	27.0	3.2	3.2
居宅介護支援事業所	24	75.0	66.7	62.5	12.5	16.7	16.7	16.7	-	-
居宅サービス事業所	51	70.6	66.7	41.2	11.8	21.6	17.6	27.5	2.0	2.0
施設・居住系サービス事業所	3	100.0	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-
介護予防サービス実施事業所	10	100.0	60.0	40.0	20.0	20.0	-	60.0	-	-

（4）地域住民の認知症の理解を促進するために特に必要と思われること

■「在宅で生活する認知症の人の家族への相談支援」が55.6%

問23 地域住民の認知症の理解を促進するために特に必要と思われることは何ですか。（○は3つまで）



〈事業種別〉

事業種別で見ると、“居宅介護支援事業所”は「在宅で生活する認知症の人の家族への相談支援」「在宅で生活する認知症の人に対する介護保険や生活支援サービスに関する情報の提供」が、“介護予防サービス実施事業所”は「地域住民の活動の支援」「認知症サポーター養成講座の実施」が他種より高い。

		n	在宅で生活する認知症の人の家族への相談支援	在宅で生活する認知症の人に対する介護保険や生活支援サービスに関する情報の提供	地域の見守りネットワークへの参加	認知症に関する講座の開催など学習機会の提供	地域住民の活動の支援	認知症サポーター養成講座の実施	認知症カフェの実施	その他	無回答
全体		63	55.6	39.7	38.1	36.5	34.9	15.9	7.9	4.8	3.2
事業種別	居宅介護支援事業所	24	75.0	50.0	33.3	41.7	41.7	12.5	-	-	-
	居宅サービス事業所	51	54.9	39.2	45.1	37.3	31.4	15.7	9.8	3.9	2.0
	施設・居住系サービス事業所	3	66.7	33.3	100.0	66.7	-	-	33.3	-	-
	介護予防サービス実施事業所	10	50.0	30.0	50.0	40.0	50.0	40.0	20.0	-	-

（5）認知症のある方の声を取り入れて支援に活かしている点

問24 認知症のある方の声を取り入れて、支援に活かしている点があればお書きください。  
（自由記述）

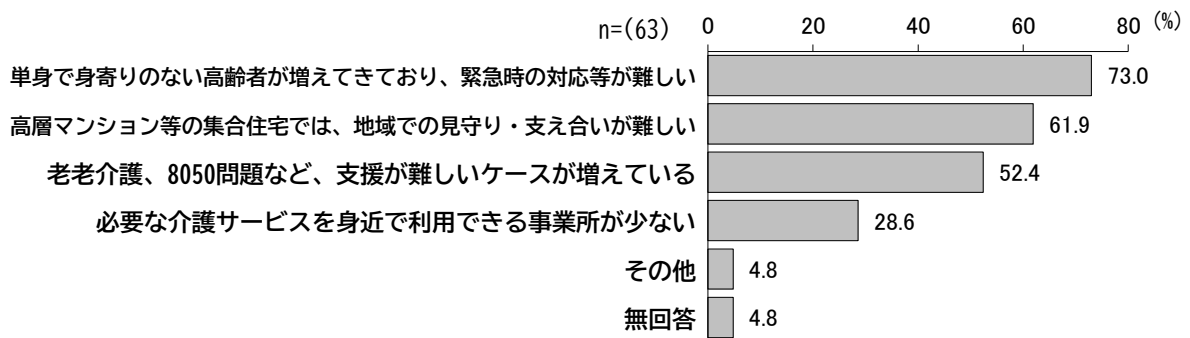
- ・家族の事も考え、サービスを検討する。
- ・体操メニューの改善。
- ・コミュニケーションの中で情報量が多くならないように言葉選びに気を付けている。なるべく生活の場である環境を変化させないように心掛けている。
- ・出来る限り自宅での生活継続。

## 7. 地域の課題

### （1）利用者の生活支援をして感じている地域の生活課題

■「単身で身寄りのない高齢者が増えてきており、緊急時の対応等が難しい」が73.0%、「高層マンション等の集合住宅では、地域での見守り・支え合いが難しい」が61.9%、「老老介護、8050問題など、支援が難しいケースが増えている」が52.4%

問25 利用者の生活支援をしていて、地域の課題だと思われることは何ですか。（○は3つまで）



#### 〈事業所の所在地域別、事業種別〉

事業所の所在地域別で見ると、“京橋地域”は「高層マンション等の集合住宅では、地域での見守り・支え合いが難しい」が他層より高い。

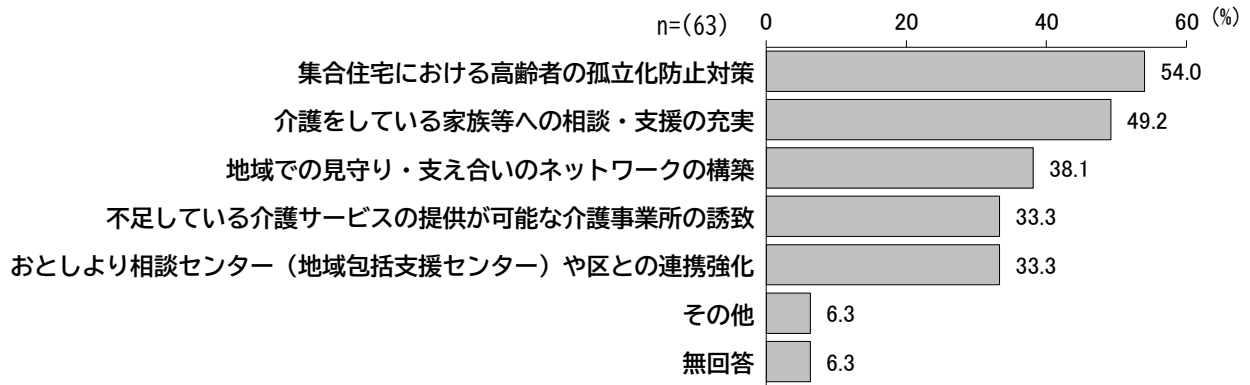
事業種別で見ると、“居宅介護支援事業所”は「単身で身寄りのない高齢者が増えてきており、緊急時の対応等が難しい」が、“介護予防サービス実施事業所”は「老老介護、8050問題など、支援が難しいケースが増えている」が他種より高い。

		n	単身で身寄りのない高齢者が増えてきており、緊急時の対応等が難しい	高層マンション等の集合住宅では、地域での見守り・支え合いが難しい	老老介護、8050問題など、支援が難しいケースが増えている	必要な介護サービスを身近で利用できる事業所が少ない	その他	無回答
全体		63	73.0	61.9	52.4	28.6	4.8	4.8
事業所の所在地域	京橋地域	28	71.4	78.6	57.1	25.0	3.6	-
	日本橋地域	21	76.2	47.6	47.6	28.6	9.5	-
	月島地域	12	75.0	58.3	50.0	33.3	-	25.0
事業種	居宅介護支援事業所	24	83.3	58.3	54.2	29.2	4.2	-
	居宅サービス事業所	51	76.5	60.8	51.0	31.4	3.9	3.9
	施設・居住系サービス事業所	3	100.0	-	33.3	100.0	-	-
	介護予防サービス実施事業所	10	70.0	70.0	70.0	60.0	-	-

（2）地域課題解決のために必要だと考えること

■「集合住宅における高齢者の孤立化防止対策」が54.0%、「介護をしている家族等への相談・支援の充実」が49.2%

問26 地域課題の解決のため、必要と思われることは何ですか。（○は3つまで）



## 8. 自由記述

問27 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。

### ①介護職員の確保について

- ・高齢者の方は通院、体調不良で休みが多くなり、事業所の収入が減ってしまう。人員確保もあり、スタッフの方が多いときもある。生活相談員は必要なかと思うときがある。
- ・ホームヘルパー数を含め、受け皿の不足。

### ②介護職員以外のスタッフの確保について

- ・認知症の方の話し相手や徘徊の付き添いをボランティアさんに依頼した事があるが、専門的な知識がないからと断られた事がある。その様な支援も引き受けてくれるサービスがあると良い。

### ③介護サービスの制度について

- ・区内の事業所の活動を活発にできる支援を考えてほしい。
- ・サービス提供を受ける前の人達をどのようにスクリーニングして、サービスに繋げていけるかが課題。
- ・高齢者向けのサービスを利用する時に制限が多い。

### ④その他

- ・高齢者が増え、介護する人も高齢になりつつあり、若い人達がもう少し高齢者の方々とコミュニケーションが取れる場所があると、老老介護が軽減できるといい。

## 第8章 調査結果の詳細／

在宅医療・介護サービス提供者への調査（調査G）

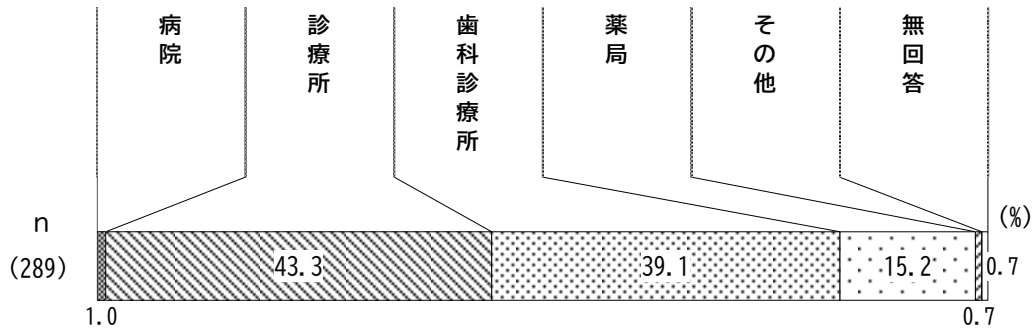


## 1. 基本属性

### (1) 医療機関の種類

■「診療所」が43.3%、「歯科診療所」が39.1%

問1 貴医療機関の種類をお聞きます。(○は1つ)

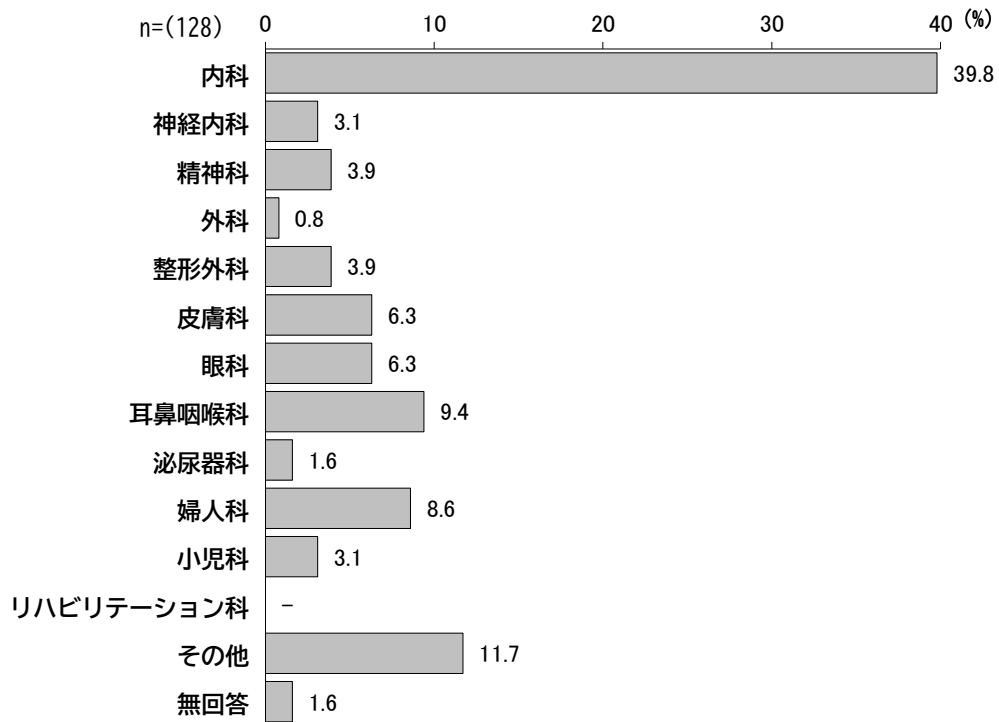


### (2) 診療科目

■「内科」が39.8%

【問1-1は、問1で「1. 病院」または「2. 診療所」と答えた医療機関におうかがいします】

問1-1 専門とされている診療科目についてお聞きます。(○は1つ)



〈その他の回答〉

○歯科

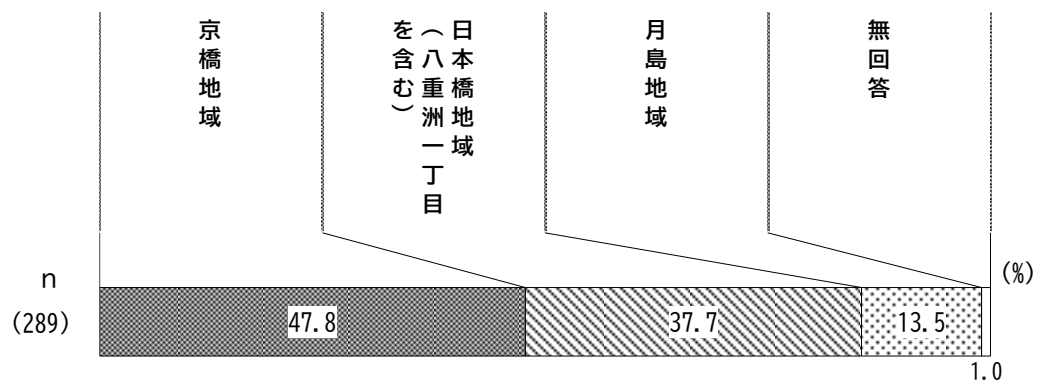
## 第8章 調査結果の詳細／

### 在宅医療・介護サービス提供者への調査（調査G）

#### （3）所在地

■「京橋地域」が47.8%、「日本橋地域（八重洲一丁目を含む）」が37.7%

問2 貴医療機関の所在地はどちらですか。（○は1つ）

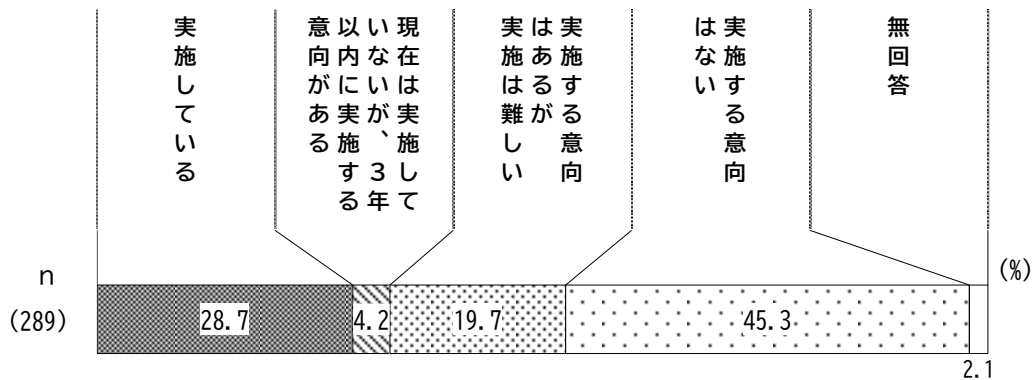


## 2. 在宅医療の実施状況

### （1）往診・訪問診療の実施状況と意向

■「実施する意向はない」が45.3%、「実施している」が28.7%

問3 「往診」や「訪問診療」を実施していますか。また、今後実施する意向がありますか。  
（○は1つ）



#### 〈機関種類別、所在地別〉

機関種類別で見ると、“病院・診療所”は他機関より「実施している」が低く、「実施する意向はない」で高い。また、“薬局”は「実施している」が他機関より高い。

所在地別で見ると、“京橋地域”は「実施している」が、“日本橋地域”は「実施する意向はあるが実施は難しい」が、“月島地域”は「実施する意向はない」が他層より高い。

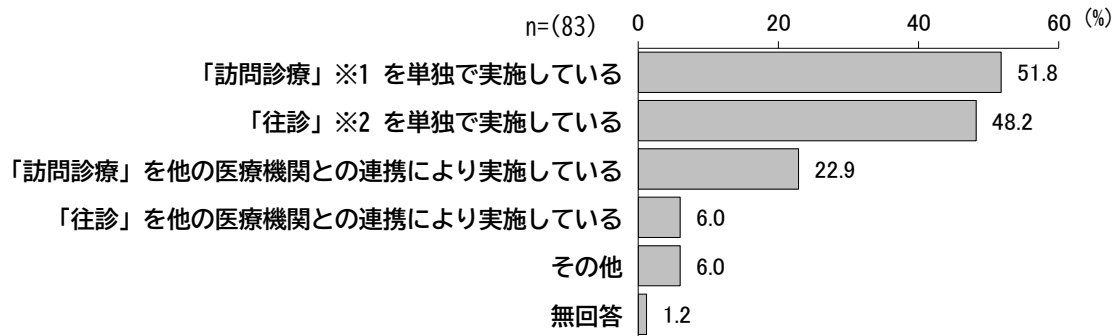
		n	実施している	現在ないが3年以内	実施する意向はあるが難しい	実施する意向はない	無回答
全体		289	28.7	4.2	19.7	45.3	2.1
機関種類	病院・診療所	128	21.1	1.6	18.8	58.6	-
	歯科診療所	113	33.6	5.3	23.0	38.1	-
	薬局	44	40.9	6.8	15.9	22.7	13.6
所在地	京橋地域	138	33.3	2.9	17.4	45.7	0.7
	日本橋地域	109	23.9	4.6	25.7	42.2	3.7
	月島地域	39	25.6	7.7	10.3	53.8	2.6

## （2）在宅療養支援の実施状況

■ 『訪問診療』を単独で実施している」が51.8%、『往診』を単独で実施している」が48.2%

【問3-1は、問3で「1. 実施している」と答えた医療機関におうかがいします】

問3-1 在宅療養支援の実施状況についてお聞きします。（○はいくつでも）



※1 訪問診療…通院の困難な患者に定期的に訪問して行う診療。

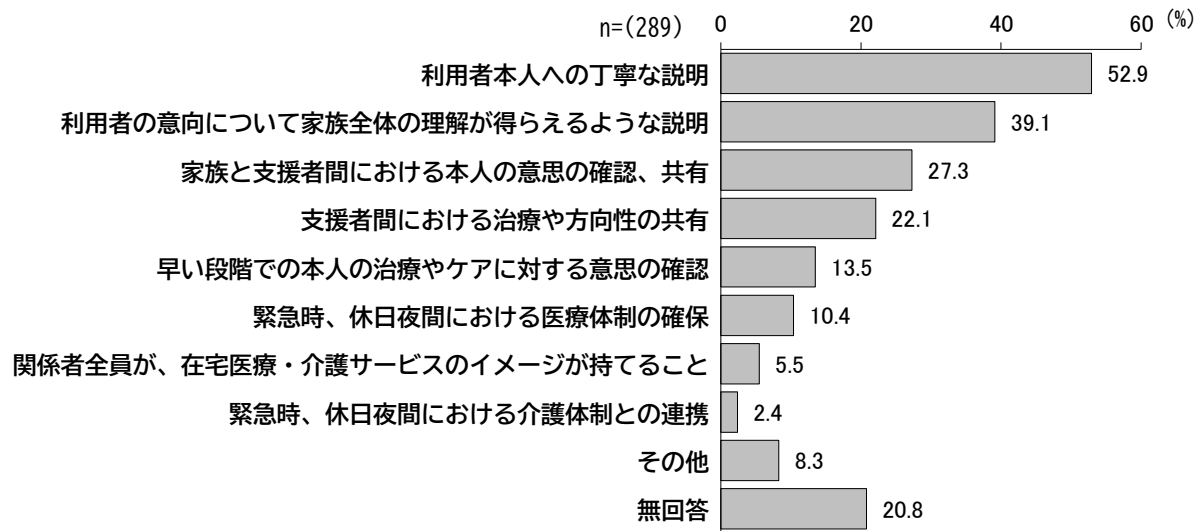
※2 往診…患者の求めに応じて急変時に訪問して行う診療。

### 3. 日常的な在宅療養

#### （1）在宅療養で大切にしていること

■「利用者本人への丁寧な説明」が52.9%、「利用者の意向について家族全体の理解が得られるような説明」が39.1%

問4 貴医療機関が日常的な在宅療養で大切にしていることは次のどれですか。（○は3つまで）



#### 〈機関種類別〉

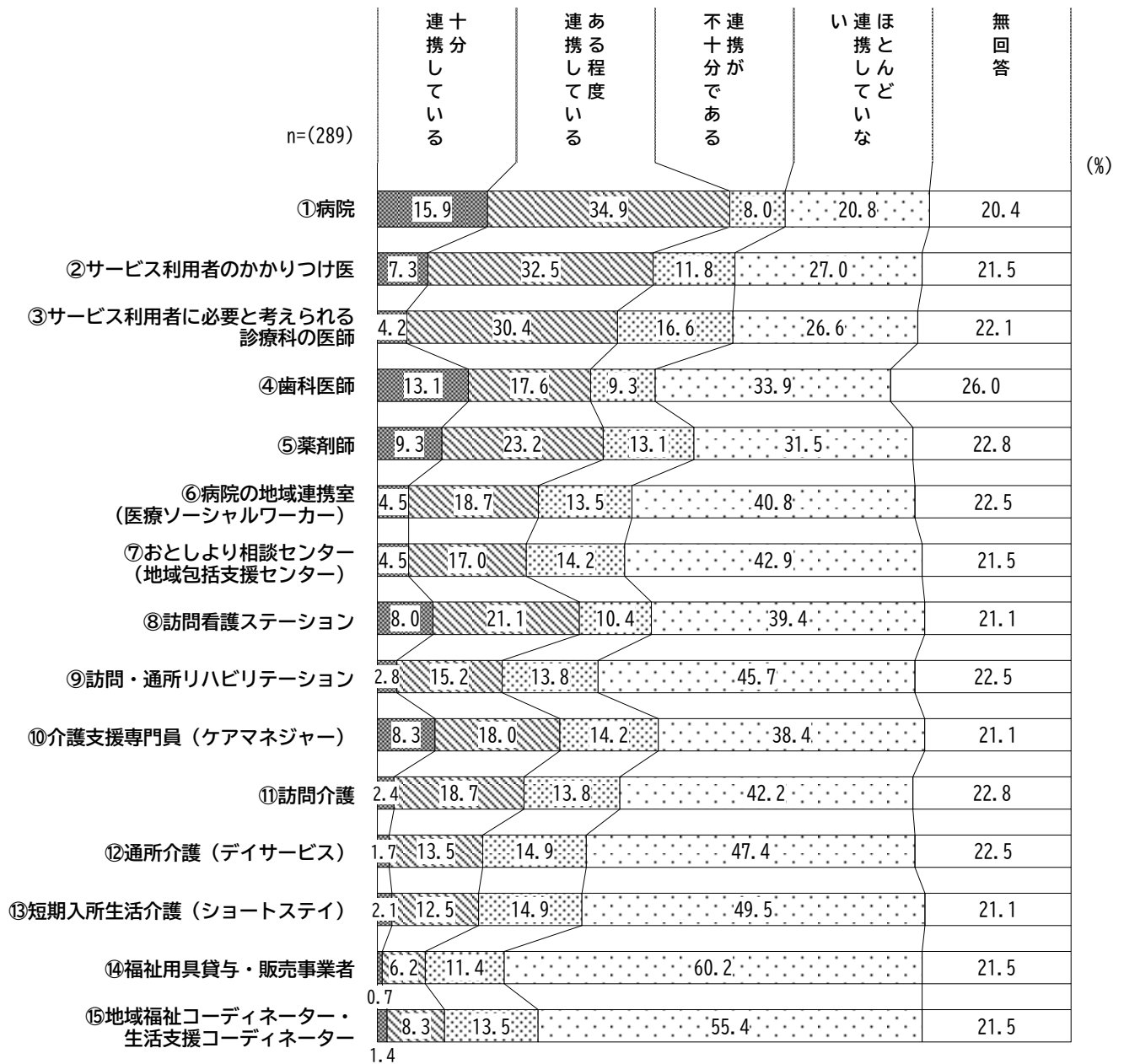
機関種類別で見ると、“病院・診療所”は「緊急時、休日夜間における医療体制の確保」が他層より高い。また、“薬局”は「利用者本人への丁寧な説明」「利用者の意向について家族全体の理解が得られるような説明」「家族と支援者間における本人の意思の確認、共有」「支援者間における治療や方向性の共有」が他機関より高い。

		n	利用者本人への丁寧な説明	利用者本人への丁寧な説明	家族と支援者間における本人の意思の確認、共有	支援者間における治療や方向性の共有	早い段階での本人の治療やケアに対する意思の確認	緊急時、休日夜間における医療体制の確保	関係者全員が、在宅医療・介護サービスのイメージが持てること	緊急時、休日夜間における介護体制との連携	その他	無回答
全体		289	52.9	39.1	27.3	22.1	13.5	10.4	5.5	2.4	8.3	20.8
機関種類	病院・診療所	128	42.2	32.0	23.4	17.2	13.3	18.0	6.3	3.1	11.7	25.8
	歯科診療所	113	55.8	42.5	27.4	18.6	16.8	3.5	2.7	0.9	7.1	19.5
	薬局	44	75.0	52.3	38.6	43.2	4.5	6.8	9.1	2.3	2.3	11.4

（2）関係機関・職種との連携状況

■ “病院”で『連携している』（十分連携している+ある程度連携している）が50.8%

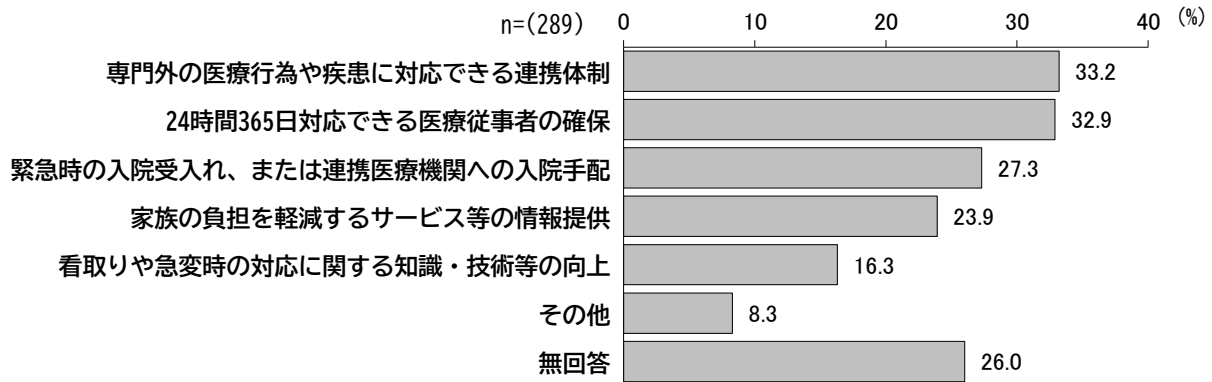
問5 現在、関わっているサービス利用者の情報などについて、次の関係機関、職種との連携状況をお聞きます。（①から⑮それぞれ〇は1つつ）



(3) 日常的な在宅療養で課題になっていること

■「専門外の医療行為や疾患に対応できる連携体制」が33.2%、「24時間365日対応できる医療従事者の確保」が32.9%

問6 日常的な在宅療養について、現在課題になっていることは次のどれですか。（○はいくつでも）



〈機関種類別〉

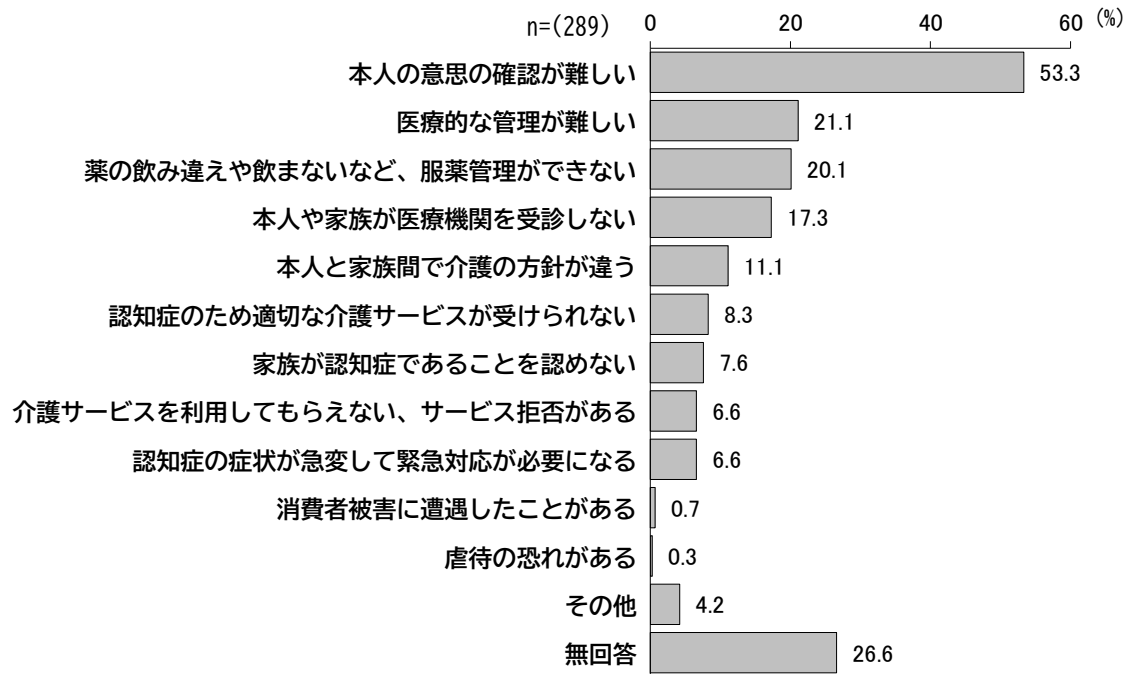
機関種類別で見ると、“病院・診療所”は「緊急時の入院受入れ、または連携医療機関への入院手配」が他機関より高い。また、“薬局”は「24時間365日対応できる医療従事者の確保」「家族の負担を軽減するサービス等の情報提供」「看取りや急変時の対応に関する知識・技術等の向上」が他機関より高い。

		n	連携体制 に 対 応 で き る	専 門 外 の 医 療 行 為 や 疾 患 に 対 応 で き る	24 時 間 365 日 対 応 で き る 医 療 従 事 者 の 確 保	緊 急 時 の 入 院 受 入 れ 、 ま た は 連 携 医 療 機 関 へ の 入 院 手 配	家 族 の 負 担 を 軽 減 す る サ ー ビ ス 等 の 情 報 提 供	看 取 り や 急 変 時 の 対 応 に 関 する 知 識 ・ 技 術 等 の 向 上	そ の 他	無 回 答
全 体		289	33.2	32.9	27.3	23.9	16.3	8.3	26.0	
機 関 種 類	病院・診療所	128	28.1	38.3	35.2	21.9	11.7	7.8	29.7	
	歯科診療所	113	38.1	16.8	19.5	22.1	16.8	9.7	26.5	
	薬局	44	34.1	59.1	18.2	34.1	29.5	6.8	15.9	

（4）認知症の患者の状況で大変なこと

■「本人の意思の確認が難しい」が53.3%

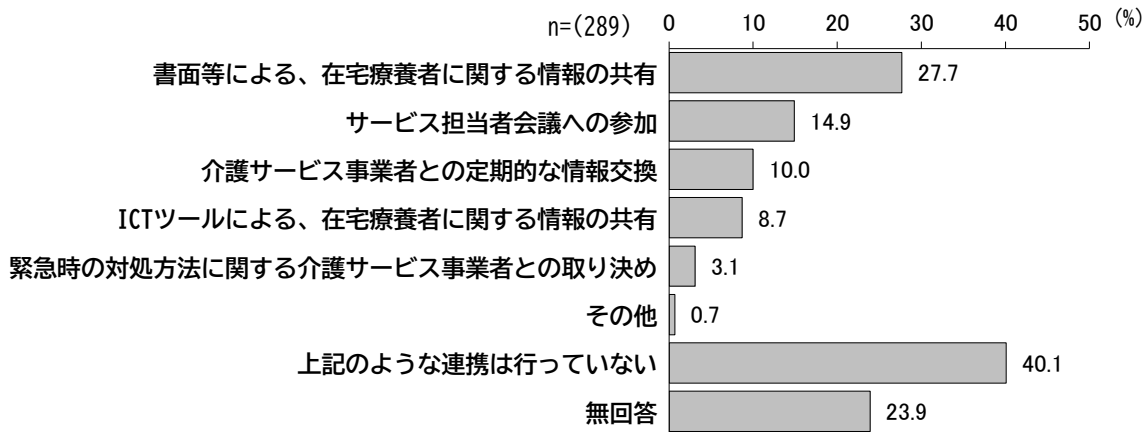
問7 認知症の患者の状況で実際にあり、大変なことは何ですか。（○は3つまで）



(5) 介護サービス事業者との連携状況

■「上記のような連携は行っていない」が40.1%、「書面等による、在宅療養者に関する情報の共有」が27.7%

問8 介護サービス事業者との連携について、次のようなことを行っていますか。（○はいくつでも）



〈機関種類別、在宅医療の有無別〉

機関種類別で見ると、“歯科診療所”は「上記のような連携は行っていない」が他機関より高い。また、“薬局”は「書面等による、在宅療養者に関する情報の共有」「サービス担当者会議への参加」を始め、「介護サービス事業者との定期的な情報交換」「ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有」でも、他機関より高い。

在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は、全ての項目で実施していないを上回り、なかでも「書面等による、在宅療養者に関する情報の共有」「サービス担当者会議への参加」が高い。一方、“実施していない”は「上記のような連携は行っていない」が高い。

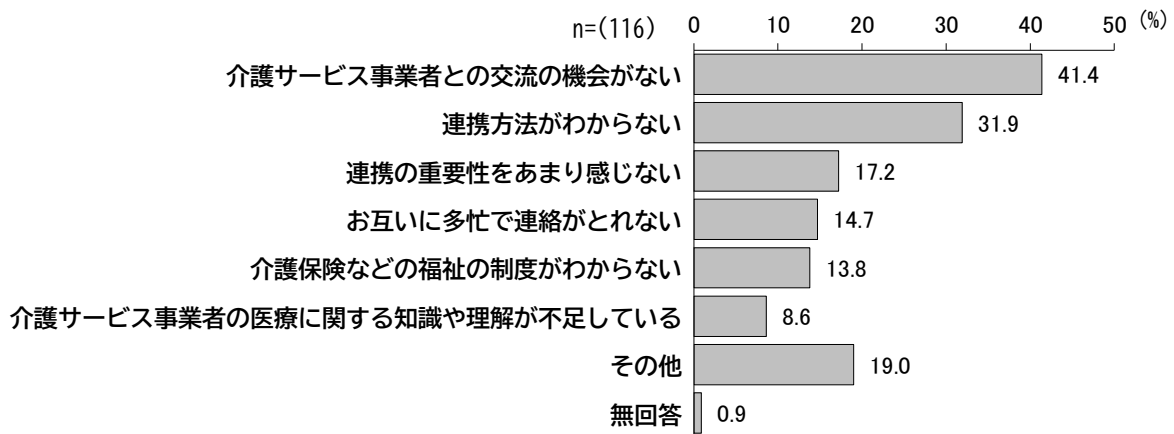
		n	書面等による在宅療養者に関する情報の共有	サービス担当者会議への参加	介護サービス事業者との定期的な情報交換	ICTツールによる在宅療養者に関する情報の共有	緊急時の対処方法に関する介護サービス事業者との取り決め	その他	上記のような連携は行っていない	無回答
全体		289	27.7	14.9	10.0	8.7	3.1	0.7	40.1	23.9
機関種類	病院・診療所	128	32.0	8.6	10.9	8.6	4.7	0.8	36.7	27.3
	歯科診療所	113	16.8	10.6	5.3	7.1	1.8	0.9	50.4	23.9
	薬局	44	43.2	40.9	18.2	13.6	2.3	-	25.0	15.9
在宅医療の有無	実施している	83	61.4	32.5	16.9	20.5	6.0	-	24.1	9.6
	実施していない	200	13.0	6.0	6.0	4.0	1.5	1.0	48.0	30.0

（6）介護サービス事業所と連携を行っていない理由

■「介護サービス事業者との交流の機会がない」が41.4%、「連携方法がわからない」が31.9%

【問8-1は、問8で「7. 上記のような連携は行っていない」と答えた方におうかがいします】

問8-1 その理由は何ですか。（○はいくつでも）



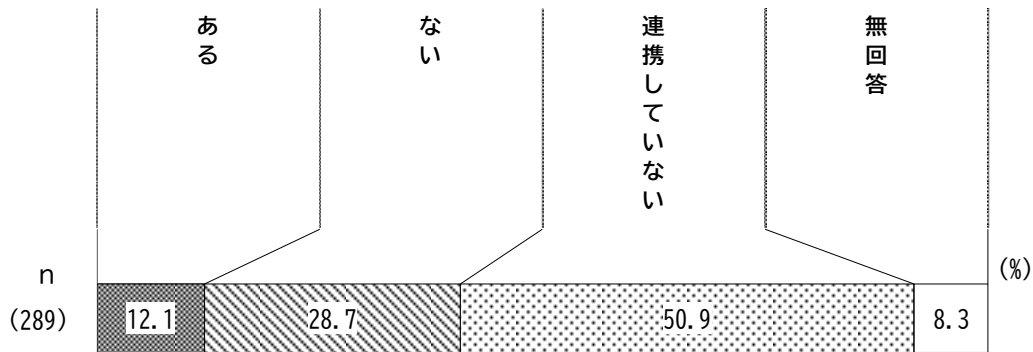
〈その他の回答〉

○患者の中に介護サービスを利用している方がいない ○訪問診療を行っていない

（7）ケアマネジャーとの連携の課題

■「連携していない」が50.9%

問9 ケアマネジャー（介護支援専門員）との連携で課題がありますか。（○は1つ）



〈機関種類別、在宅医療の有無別〉

機関種類別で見ると、“歯科診療所”は「連携していない」が他機関より高い。また、“薬局”は「ない」が半数を超えている。

在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は「ない」が、“実施していない”は「連携していない」が高い。

		n	ある	ない	い連 な携 いし て	無 回 答
全 体		289	12.1	28.7	50.9	8.3
機関種類	病院・診療所	128	14.8	31.3	46.1	7.8
	歯科診療所	113	8.0	17.7	65.5	8.8
	薬局	44	11.4	52.3	29.5	6.8
在宅医療 の有無	実施している	83	24.1	45.8	24.1	6.0
	実施していない	200	6.5	20.5	63.5	9.5

（8）ケアマネジャーとの連携に課題と感じていること

【問9-1は、問9で「1. ある」と答えた方におうかがいします】

問9-1 課題と感じていることを具体的にお書きください。

●診療所

- ・担当ケアマネジャー、事業所によって連携に濃淡がある。
- ・治療方針等についてのコメントにより、ご本人やご家族が混乱することがある。
- ・主治医との相談なしで訪問看護等の開始を指示したりすることがある。
- ・担当のケアマネジャーがわからないことがある。
- ・誰が主治医かはっきりしていない医療体制に問題があり、主治医との連携がとれていない。
- ・重要と感じるポイントに違いがあるように思う。
- ・情報交換の不十分さを感じる
- ・誰がケアマネジャーかわからない。こちらから患者家族に確認しないとわからない状況を改善してほしい。ほとんどがこちらから連絡をしないと話をする機会がない。
- ・やはり個別にMCSなどに参加する必要があるかとは感じている。
- ・介護職やケアマネジャーとの医師、看護師、薬剤師情報知識格差があるため看護師などによる教育プログラムが必要と考えている。
- ・ケアマネジャーが地域包括ケアを理解していない。
- ・ICT連携などでツールが定まっておらず、業務が煩雑になる可能性がある

●歯科診療所

- ・いろいろと個人差がある。
- ・口腔と全身との関係性をほとんど理解できていない。
- ・連携が十分にはとれていない。
- ・口腔内の状況と日常生活で改善できることを共有したい。
- ・ケアマネジャーによって歯科医療に対して意識の差がある。もっと多くのケアマネジャーと出会いたい。

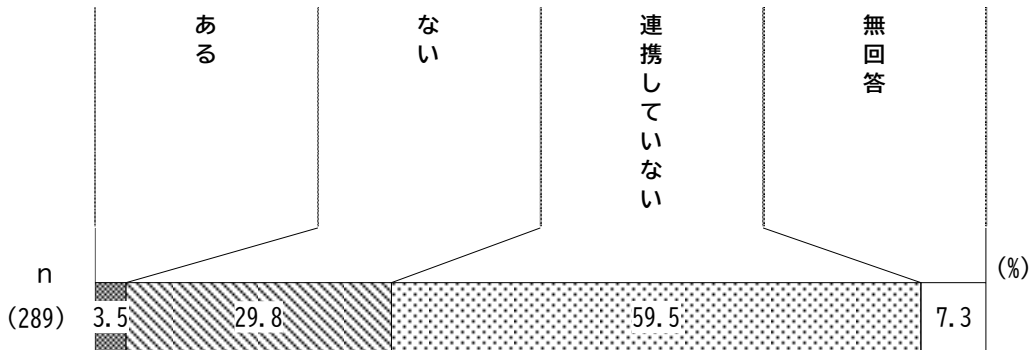
●薬局

- ・連携がうまくとれないことがある。
- ・最近、介護保険に変わり、ケアマネジャーが付いたばかりのため、これから連携強化予定。
- ・連携の仕方がわからない。受身なので対象者がいないと、こちらからは連絡をとれない。
- ・ケアマネジャーにより、利用者の保険情報を確認したく連絡しても応じてくれない人がいる。

(9) おとしより相談センターとの連携の課題

■「連携していない」が59.5%

問10 おとしより相談センター（地域包括支援センター）との連携で課題がありますか。（○は1つ）



〈機関種類別、在宅医療の有無別〉

機関種類別で見ると、“病院・診療所”“薬局”は「ない」が歯科診療所より高い。一方、“歯科診療所”は「連携していない」が高い。

在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は「ない」が半数近くとなっている。一方、“実施していない”は「連携していない」が高い。

(%)

		n	ある	ない	い連 な携 いし て	無 回 答
全 体		289	3.5	29.8	59.5	7.3
機関種類	病院・診療所	128	3.9	39.8	48.4	7.8
	歯科診療所	113	2.7	15.0	76.1	6.2
	薬局	44	2.3	40.9	50.0	6.8
在宅医療 の有無	実施している	83	4.8	48.2	43.4	3.6
	実施していない	200	3.0	20.5	67.5	9.0

（10）おとしより相談センターとの連携に課題と感じていること

【問10-1は、問10で「1. ある」と答えた方におうかがいします】

問10-1 課題と感じていることを具体的にお書きください。

●病院

- ・連絡なくサービスが変わったことがある。介護サービス導入で医療リハビリが中止になる仕組みをご存知ない人もいる。

●診療所

- ・連絡なし。
- ・外来中心の診療をしているが介護認定申請の時以外あまり利用できない。その他の具体的なサービスの提供内容がわからないからだと思う。通院中の高齢者やそのご家族が困ったときに案内できるよう配布冊子の配布。診療所では医師以外の事務、看護師などのスタッフの理解も必要と考えるが、知識を深めてもらえるような機会がない。そういう機会が区であれば、より良い中央区の医療福祉介護提供につながるのではないか。
- ・こちらからもっと積極的に連絡すべきだと思う。

●歯科診療所

- ・連絡、手段方法。
- ・もっと機能しても良いと思う。特に歯科医師会加入の医院には積極的に連携してほしい。何をしているかよくわからない。
- ・連携不足。

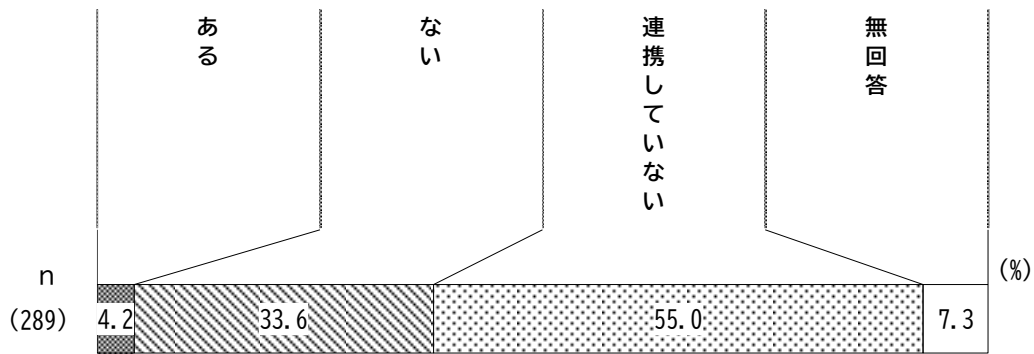
●薬局

- ・おとしより相談センターとの連携の仕方が把握できない。

（11）訪問看護ステーションとの連携の課題

■「連携していない」が55.0%

問11 訪問看護ステーションとの連携で課題がありますか。（○は1つ）



〈機関種類別、所在地別、在宅医療の有無別〉

機関種類別で見ると、“病院・診療所”“薬局”は「ない」が歯科診療所より高い。一方、“歯科診療所”は他機関と比べて、「連携していない」の割合が高い。

所在地別で見ると、“月島地域”は「ない」が他層より高い。

在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は「ない」が半数を超えている。一方、“実施していない”は「連携していない」が高い。

		n	ある	ない	い連 な携 いし て	無 回 答
全 体		289	4.2	33.6	55.0	7.3
機関種類	病院・診療所	128	5.5	45.3	41.4	7.8
	歯科診療所	113	2.7	15.0	76.1	6.2
	薬局	44	2.3	50.0	40.9	6.8
所在地	京橋地域	138	3.6	31.2	55.8	9.4
	日本橋地域	109	5.5	31.2	56.0	7.3
	月島地域	39	2.6	48.7	48.7	-
在宅医療 の有無	実施している	83	7.2	54.2	34.9	3.6
	実施していない	200	3.0	23.5	64.5	9.0

（12）訪問看護ステーションとの連携に課題と感じていること

【問11-1は、問11で「1. ある」と答えた方におうかがいします】

問11-1 課題と感じていることを具体的にお書きください。

●病院

- ・ 訪看指導書を書いてほしいと言われますが、途中問題があっても報告してくれない事業所があった。

●診療所

- ・ 訪問医師との連絡がないため、不安になる。
- ・ 人員確保に課題を感じる。
- ・ 区外のステーションは連携しにくい。

●歯科診療所

- ・ 担当者の対応に個人差がある。
- ・ 十分に連携がとれていない。
- ・ 連絡手段、方法に課題を感じる。

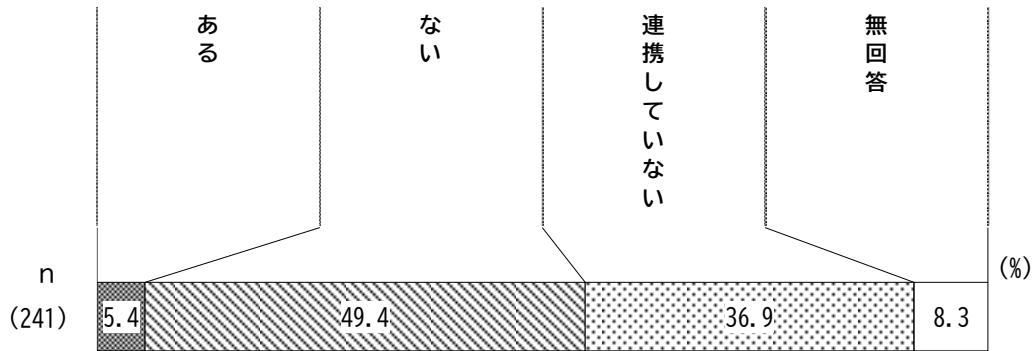
●薬局

- ・ 対象者がいないときは、こちらから連絡はとれない。

(13) 薬局との連携の課題

■「ない」が49.4%、「連携していない」が36.9%

【すべての医師・歯科医師の方におうかがいします】  
問12 薬局との連携で課題がありますか。（○は1つ）



〈機関種類別、所在地別、在宅医療の有無別〉

機関種類別で見ると、“病院・診療所”は「ない」が歯科診療所より高いものの、「ある」でも比較して高くなっている。

所在地別で見ると、“月島地域”は「ない」が他層より高い。

在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は「ない」が高い。

		n	ある	ない	い連 な携 いし て	無 回 答
全 体		241	5.4	49.4	36.9	8.3
機関種類	病院・診療所	128	9.4	58.6	22.7	9.4
	歯科診療所	113	0.9	38.9	53.1	7.1
	薬局	-	-	-	-	-
所在地	京橋地域	113	6.2	45.1	38.9	9.7
	日本橋地域	94	3.2	47.9	39.4	9.6
	月島地域	31	9.7	67.7	22.6	-
在宅医療 の有無	実施している	65	7.7	58.5	30.8	3.1
	実施していない	176	4.5	46.0	39.2	10.2

#### （14）薬局との連携に課題と感じていること

【問12-1は、問12で「1. ある」と答えた方におうかがいします】

問12-1 課題と感じていることを具体的にお書きください。

##### ●診療所

- ・担当の方が決まっていたら良いが、変わる事が多い。
- ・薬剤師の服薬指導において、処方医が患者とよく話し合っただけで決めた薬を「飲まない方が良い」「危険性がある」などと言うと、ほとんどの患者が服薬しない現状がある。
- ・薬の在庫がないこと。
- ・土日・夜間・祝日など、時間的な問題。
- ・服薬管理ができなくなってきた患者様への対応。
- ・保険制度上の問題はあるが、やたらと一包化を勧めるので、薬剤変更時に無駄な残薬が大量に発生しやすい。
- ・薬の流通が不安定な時に、近隣薬局の在庫状況がわからず、処方薬の変更、代替えの選択の判断が難しい。または、在庫状況の確認に手間がかかる。

##### ●歯科診療所

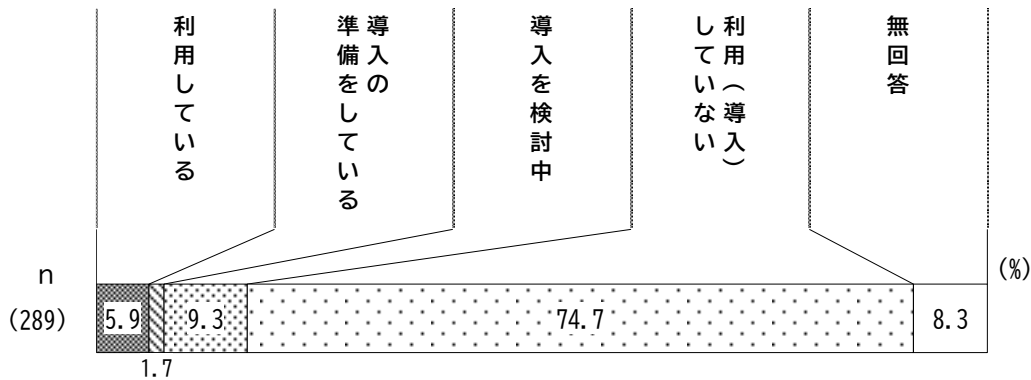
- ・在庫のない薬剤の情報を知りたい。
- ・訪問治療を行っている患者さんが以前より利用していた薬局に継続してお願いする場合、緊急対応をしてもらえないことがある。毎回残薬調整をお願いされる。
- ・夜間・日曜・祝日に緊急で薬剤を処方したい場合に、対応できる薬局が少ない。
- ・添付文書に忠実なのは大切も、薬剤師が厳密過ぎて困ることがある。多少フレキシブルに対応したい場面もある。

## 4. ICT機器（情報通信機器）の活用

### （1）多職種連携ICTシステムの利用状況

■「利用（導入）していない」が74.7%

問13 貴医療機関では、多職種連携 I C Tシステムを利用していますか。（○は1つ）



#### 〈機関種類別、在宅医療の有無別〉

機関種類別で見ると、“薬局”は「導入を検討中」が他機関より高い。また、“歯科診療所”は「利用している」が他機関より低い。

在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は「利用している」「導入の準備をしている」「導入を検討中」で実施していないより高く、なかでも「利用している」で顕著となっている。一方“実施していない”は「利用（導入）していない」が高い。

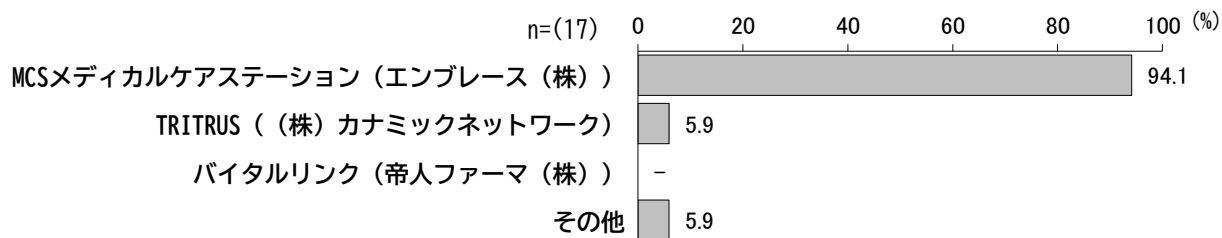
		n	利用している	導入の準備をしている	導入を検討中	利用（導入）していない	無回答
全体		289	5.9	1.7	9.3	74.7	8.3
機関種類	病院・診療所	128	8.6	0.8	7.0	74.2	9.4
	歯科診療所	113	0.9	3.5	6.2	83.2	6.2
	薬局	44	11.4	-	25.0	52.3	11.4
在宅医療の有無	実施している	83	18.1	4.8	12.0	60.2	4.8
	実施していない	200	1.0	0.5	7.5	81.0	10.0

## （2）利用している多職種連携ICTシステムの種類

■ 「MCSメディカルケアステーション（エンブレス（株）」が94.1%

【問13-1は、問13で「1. 利用している」と答えた医療機関におうかがいします】

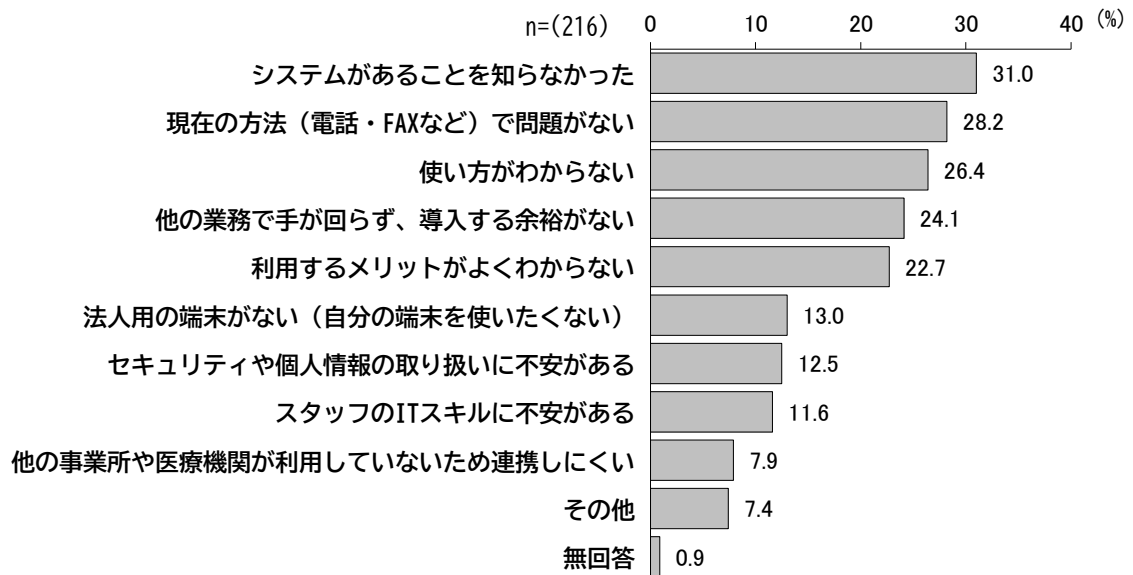
問13-1 利用している多職種連携システムの種類は何ですか。（○はいくつでも）



(3) 多職種連携ICTシステムを利用していない理由

■「システムがあることを知らなかった」が31.0%、「現在の方法（電話・FAXなど）で問題がない」「使い方がわからない」「他の業務で手が回らず、導入する余裕がない」「利用するメリットがよくわからない」の4項目が2割台

【問13-2は、問13で「4. 利用（導入）していない」と答えた医療機関におうかがいします】  
問13-2 利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）



〈機関種類別、在宅医療の有無別〉

機関種類別で見ると、「歯科診療所」は「システムがあることを知らなかった」が他機関より高い。

在宅医療の有無別で見ると、「実施している」は「現在の方法（電話・FAXなど）で問題がない」「使い方がわからない」「他の事業所や医療機関が利用していないため連携しにくい」が、実施していないより高い。一方、「実施していない」は「システムがあることを知らなかった」「スタッフのITスキルに不安がある」が、実施しているより高い。

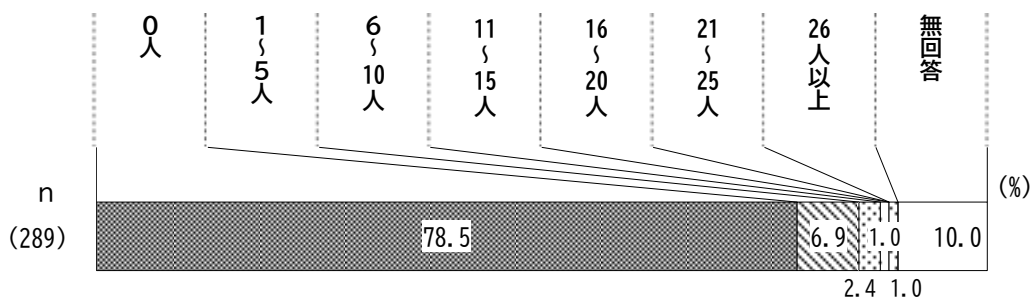
		n	システムがあることを知らなかった	現在の方法（電話・FAXなど）で問題がない	使い方がわからない	他の業務で手が回らず、導入する余裕がない	利用するメリットがよくわからない	法人用の端末がない	セキュリティや個人情報の取り扱いに不安がある	スタッフのITスキルに不安がある	他の事業所や医療機関が利用していないため連携しにくい	その他	無回答
全体		216	31.0	28.2	26.4	24.1	22.7	13.0	12.5	11.6	7.9	7.4	0.9
機関種類	病院・診療所	95	23.2	28.4	29.5	24.2	25.3	11.6	13.7	9.5	7.4	7.4	1.1
	歯科診療所	94	38.3	25.5	25.5	25.5	23.4	12.8	10.6	11.7	8.5	7.4	-
	薬局	23	34.8	43.5	13.0	13.0	8.7	8.7	4.3	4.3	8.7	8.7	4.3
在宅医療の有無	実施している	50	24.0	38.0	32.0	22.0	20.0	10.0	16.0	6.0	18.0	4.0	-
	実施していない	162	32.1	25.3	25.3	24.1	24.1	13.6	11.1	13.6	4.9	8.6	1.2

## 5. 看取り

### （1）1年間に在宅で看取った患者数

■「0人」が78.5%

問14 令和6年10月から令和7年9月までの1年間に、在宅で看取った患者数は何人程度ですか。（○は1つ）



※「16～20人」「21～25人」は回答者がいない。

#### 〈在宅医療の有無別〉

在宅医療の有無別で見ると、ともに「0人」が最も高く、“実施している”は「1～5人」「6～10人」が実施していないより高い。

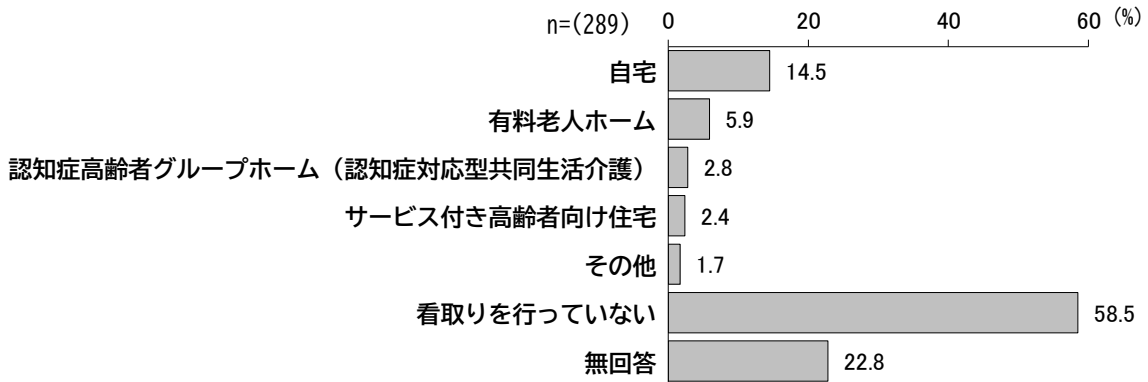
(%)

		n	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26人以上	無回答
全体		289	78.5	6.9	2.4	1.0	-	-	1.0	10.0
在宅医療の有無	実施している	83	61.4	19.3	7.2	1.2	-	-	3.6	7.2
	実施していない	200	86.0	1.0	0.5	1.0	-	-	-	11.5

(2) 看取りのための訪問先

■「自宅」が14.5%

問15 在宅での看取りの訪問先はどこですか。(○はいくつでも)



〈在宅医療の有無別〉

在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は、全ての項目で実施していないより高く、なかでも「自宅」は大幅に上回る。

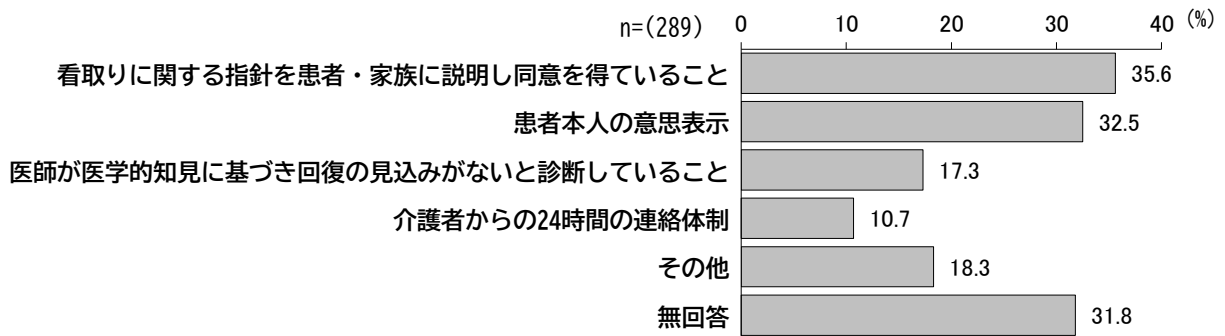
(%)

		n	自宅	サービス付き高齢者向け住宅	有料老人ホーム	認知症高齢者グループホーム (認知症対応型共同生活介護)	その他	看取りを行っていない	無回答
全体		289	14.5	2.4	5.9	2.8	1.7	58.5	22.8
在宅医療の有無	実施している	83	37.3	7.2	15.7	7.2	2.4	37.3	18.1
	実施していない	200	4.5	0.5	2.0	1.0	1.0	68.0	25.0

（3）どのような条件があれば看取りが可能か

■「看取りに関する指針を患者・家族に説明し同意を得ていること」が35.6%、「患者本人の意思表示」が32.5%

問16 どのような条件があれば看取りが可能ですか。（〇はいくつでも）



〈その他の回答〉

○皮膚科のため対応していない ○薬局のため対象外 ○歯科のため看取りは行っていない

〈在宅医療の有無別〉

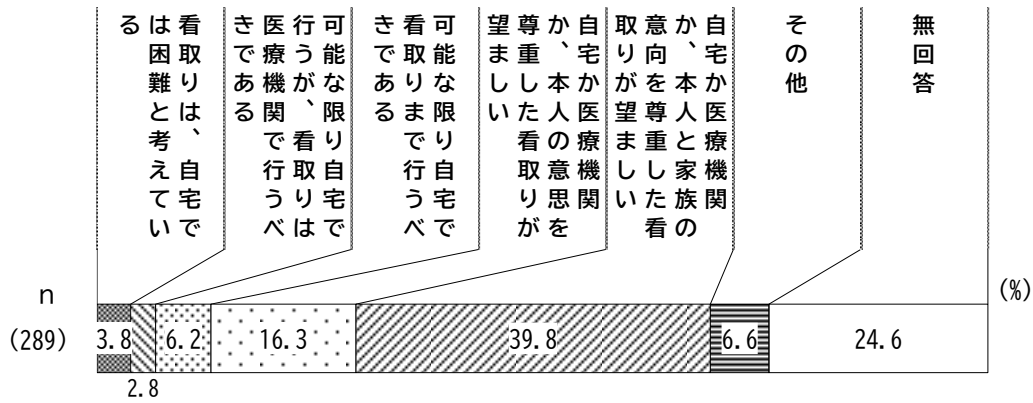
在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は、全ての項目で実施していないより高く、なかでも「看取りに関する指針を患者・家族に説明し同意を得ていること」は大幅に上回る。

		n	同患者看 意者取 を・り 得家 にに て族 い に す る 説 明 指 針 を	患 者 本 人 の 意 思 表 示	な基 いづ 診 断 し て 見 込 み が と	医 師 が 医 学 的 知 見 に 基 づ き 回 復 の 見 込 み が な い と 診 断 し て い る こ と	2介 4護 時者 間か ら の 連 絡 体 制	そ の 他	無 回 答
全 体		289	35.6	32.5	17.3	10.7	18.3	31.8	
在宅医療 の有無	実施している	83	54.2	41.0	18.1	14.5	18.1	21.7	
	実施していない	200	27.0	29.0	17.0	8.0	19.0	36.5	

(4) 看取りについて最も重視していること

■「自宅か医療機関か、本人と家族の意向を尊重した看取りが望ましい」が39.8%

問17 看取りについて、どのように考えていますか。(○は1つ)



〈在宅医療の有無別〉

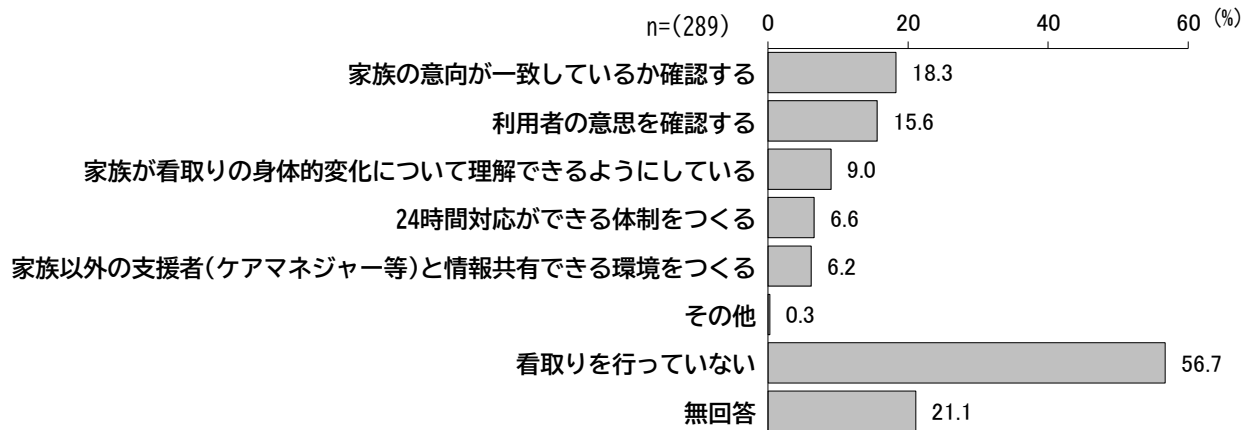
在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は「可能な限り自宅で看取りまで行うべきである」が実施していないより高い。

		n	困難と考える	看取りは、自宅で	医療機関で行うべき	可能な限り自宅で	看取りまで行うべきである	望ましい	尊重した看取りが	自宅か医療機関か、本人と家族の意向を尊重した	その他	無回答
全体		289	3.8	6.2	16.3	2.8	39.8	6.6	6.6	6.6	24.6	24.6
在宅医療の有無	実施している	83	3.6	10.8	15.7	1.2	42.2	7.2	7.2	7.2	19.3	19.3
	実施していない	200	4.0	4.5	16.0	3.5	38.5	6.5	6.5	6.5	27.0	27.0

（5）看取りについて実践していること

■「家族の意向が一致しているか確認する」が18.3%、「利用者の意思を確認する」が15.6%

問18 看取りについて、実践していることがこの中にありますか。（○はいくつでも）



〈在宅医療の有無別〉

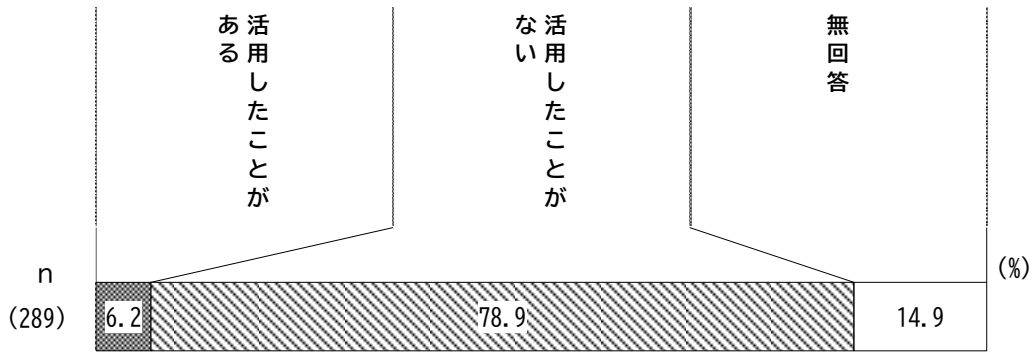
在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は、「看取りを行っていない」を除く、全ての項目で実施していないより高く、なかでも「家族の意向が一致しているか確認する」「利用者の意思を確認する」は大幅に上回る。

		n	家族の意向が一致しているか確認する	利用者の意思を確認する	家族が看取りの身体的変化について理解できるようにしている	24時間対応ができる体制をつくる	家族以外の支援者(ケアマネジャー等)と情報共有できる環境をつくる	その他	看取りを行っていない	無回答
全体		289	18.3	15.6	9.0	6.6	6.2	0.3	56.7	21.1
在宅医療の有無	実施している	83	44.6	32.5	21.7	16.9	19.3	-	36.1	16.9
	実施していない	200	7.0	8.5	3.5	2.0	1.0	0.5	66.0	22.5

（6）ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の活用

■「活用したことがない」が78.9%

問19 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を活用したことがありますか。（○は1つ）



〈在宅医療の有無別〉

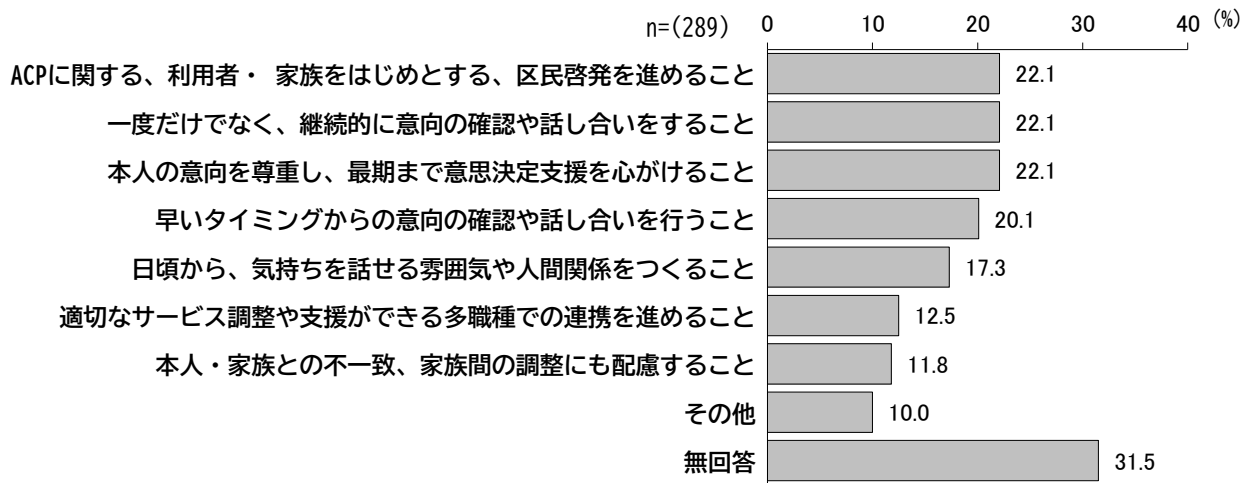
在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は「活用したことがある」が実施していないより高い。

		n	活用状況 (%)		
			活用したことがある	活用したことがない	無回答
全体		289	6.2	78.9	14.9
在宅医療の有無	実施している	83	12.0	78.3	9.6
	実施していない	200	3.5	79.5	17.0

（7）ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の推進に必要なこと

■「ACPに関する、利用者・家族をはじめとする、区民啓発を進めること」「一度だけでなく、継続的に意向の確認や話し合いをすること」「本人の意向を尊重し、最期まで意思決定支援を心がけること」がそれぞれ22.1%、「早いタイミングからの意向の確認や話し合いを行うこと」が20.1%

問20 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）をすすめる上で必要なことは何ですか。  
（○は3つまで）



〈その他の回答〉

○歯科・婦人科のため特に行っていない

〈在宅医療の有無別〉

在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は「本人・家族との不一致、家族間の調整にも配慮すること」を除き、実施していないより高く、なかでも「本人の意向を尊重し、最期まで意思決定支援を心がけること」「日頃から、気持ちを話せる雰囲気や人間関係をつくること」が高い。

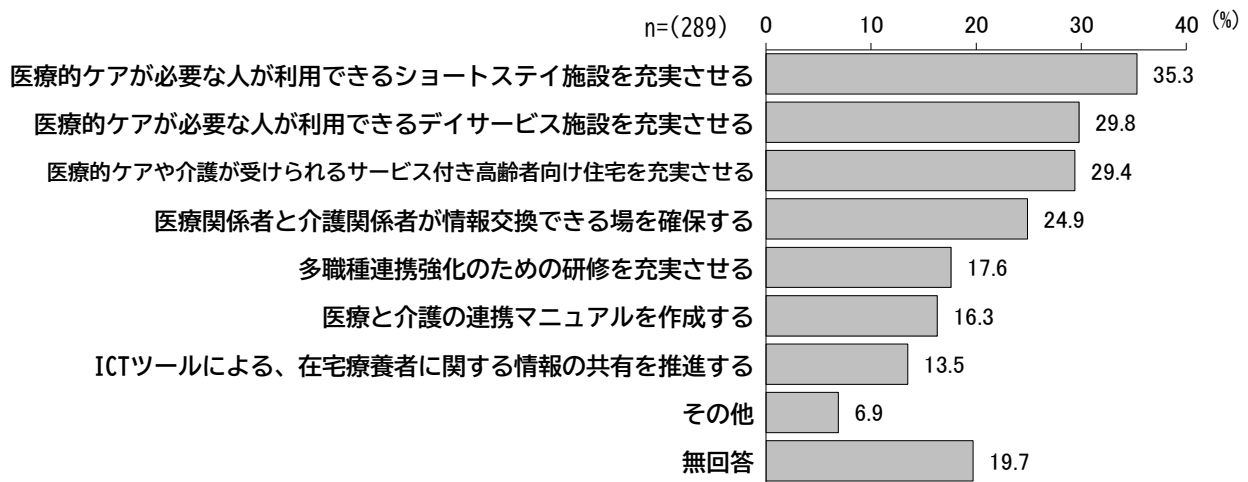
		n	進と利A めす用C る者P こと・に 区家関 啓族す 発をる を、 はじめ	話継一 し統だ し合的 合いけ いを意 をす向 ること、 確認、 や	心最本 が期人 がまの けるで こと意 と思 と決 定支 援を	話意早 し向い 合のタ 合の確 いを認 行や うこと から の	人話日 間せ頃 関から 係を を つ く る こ と	連支適 携援切 をがな を進で めるき ことサ 多ス 職調 種整 での	調不本 整一人 にも致 配家 慮族 すとの こと	その他	無 回 答
全体	289	22.1	22.1	22.1	20.1	17.3	12.5	11.8	10.0	31.5	
在宅医療 の有無	実施している	83	25.3	24.1	30.1	22.9	24.1	16.9	10.8	7.2	27.7
	実施していない	200	20.5	21.5	18.5	19.0	14.0	9.5	12.5	11.5	33.5

## 6. 在宅療養支援

### （1）在宅療養支援推進に向けての課題

- 「医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる」が35.3%、「医療的ケアが必要な人が利用できるデイサービス施設を充実させる」が29.8%、「医療的ケアや介護が受けられるサービス付き高齢者向け住宅を充実させる」が29.4%

問21 医療と介護を一体的に提供し、在宅療養支援を進めていくため、医療機関、介護サービス事業者、行政はどのようなことに取り組むことが必要だと思いますか。（○は3つまで）



第8章 調査結果の詳細／

在宅医療・介護サービス提供者への調査（調査G）

〈機関種類別、在宅医療の有無別〉

機関種類別で見ると、“病院・診療所”は「医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる」「医療的ケアや介護が受けられるサービス付き高齢者向け住宅を充実させる」が他機関より高い。また、“薬局”は「医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する」「多職種連携強化のための研修を充実させる」が他機関より高い。一方、“歯科診療所”は「医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる」「医療的ケアが必要な人が利用できるデイサービス施設を充実させる」が他機関より低い。

在宅医療の有無別で見ると、“実施している”は「医療と介護の連携マニュアルを作成する」を除き、実施していないより高く、なかでも「医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する」「ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有を推進する」が顕著である。

(%)

		n	が医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる	医療的ケアが必要な人が利用できるサービス施設を充実させる	医療的ケアや介護が受けられるサービス付き高齢者向け住宅を充実させる	医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する	多職種連携強化のための研修を充実させる	医療と介護の連携マニュアルを作成する	在宅療養者に関する情報の共有を推進する、ICTツールによる	その他	無回答
全体		289	35.3	29.8	29.4	24.9	17.6	16.3	13.5	6.9	19.7
機関種類	病院・診療所	128	42.2	35.2	36.7	22.7	12.5	12.5	16.4	7.8	18.0
	歯科診療所	113	27.4	23.0	23.9	23.0	16.8	17.7	6.2	8.0	23.0
	薬局	44	36.4	31.8	25.0	36.4	34.1	22.7	20.5	2.3	15.9
在宅医療の有無	実施している	83	38.6	34.9	32.5	33.7	24.1	15.7	21.7	2.4	13.3
	実施していない	200	33.5	27.0	28.0	21.0	15.0	16.5	10.0	9.0	22.5

## 7. 自由記述

問22 在宅療養に対する医療や介護のあり方や看取り、その他の医療・介護保険制度等を含め、医療と介護の連携について、ご意見やご要望を自由にお書きください。

### ●病院

- ・医療と介護の連携を強化する必要があると思われる。

### ●診療所

- ・京橋地域での看取りを行っても良いが、土日外勤しているため、ほかの看取りの医療機関との連携であれば、看取りは可能である。
- ・新規で入って行きづらいので、システム面での援助がないと難しい。
- ・医療と介護のスタッフ同士のコンタクトが少ないように感じる。
- ・眼科なので外来に来ないと診断・治療が出来ない。
- ・家族の介護負担は想像以上。デイサービスの閉業なども実際に起こり、ヘルパー不足も深刻。また、一人暮らしの方の早期認知症の発見が、近隣とのコミュニケーションが取れていないため、見過ごされているように感じる。
- ・外来中心の医療機関でかかりつけの患者の訪問診療を行うには緊急往診、看取りが時間体力面から問題の1つとなる。医療事務的な問題もある。このような問題の解決につながるような機会が中央区であればよいと思う。
- ・中央区は自宅での看取りニーズが少ない印象がある。
- ・地区医師会を中心とした医療と、その地域の介護との連携を大切にすべきである。区外の医療機関ではその後の継続的な関係が困難なため。

### ●歯科診療所

- ・人が不足している。
- ・医師、歯科医師、薬剤師、その他ケアにあたる方々との連絡や、それぞれの守備範囲が不明。
- ・私の所は住民が少ないので、介護・医療の要望が来ない。また、長い付き合いの患者さんには対応はしている。
- ・医療と介護の連携について気軽に問い合わせができる窓口があるとよいと思う。
- ・歯科においては、口腔内のケアは肺炎や他の炎症疾患を防ぐのにケアの大切さの認知が高まっていると思う。介護者が今まで歯科医院でケアをしてきたのか情報を共有することを促してもらえると良いと思う。
- ・多職種連携とはいってもまだまだ歯科関係はコンタクトに乏しいと思う。介護保険で医療介護サービスを目一杯使うと、歯科にまで回ってこない。口腔ケアをしっかりと行い、咀嚼嚥下を保てれば、寝たきりにもならず認知や生活習慣病予防にも繋がる。もっと医科介護関係の人は歯科と関わりを持つべき。
- ・在宅、介護施設、病院の利用出来る範囲を広くアナウンスする。
- ・人手不足もあり、現行の体制以外に連携をとってまでの業務分散は不可能であり、これらを行う専門部門を形成し、現状の病院や医院に負担を負わせる必要を感じない。行政としての人員確保、施設新設を行っていくのがよいかと思う。



# 資料編／アンケート調査票



## 高齢者福祉に関する生活実態調査

区では、令和8年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に向け、高齢者の方や高齢者をこれから迎える方に今後の意向や生活実態をお伺いするため、本調査を実施します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月 中央区

### 調査について

- この調査は、55歳以上の区民の方から無作為に抽出してお送りしています。
- この調査は無記名方式で行います。回答者が特定されることはありません。
- 調査結果は、区の高齢者施策の推進のために利用され、その他の目的で使用されることはありません。

### ご記入にあたってのお願い

- 回答は、封筒のあて名ご本人についてご記入ください。
- あて名のご本人が回答することが難しい場合は、ご家族またはお世話なさっている方がお手伝いするか、ご本人の立場に立って代わりにご回答してください。
- 鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容を記入ください。
- 調査票は令和7年10月1日現在でご記入いただき、11月17日（月）までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。（切手は不要です）
- この調査票は郵送でお送りしますが、パソコン、スマートフォンからも回答可能です。なお、パソコン、スマートフォンから回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

### パソコン、スマートフォンからの回答方法

- 1 以下のURLかQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
- 2 下記のID・パスワードを使ってログインして回答をお願いします。（ログインできない場合はお問い合わせ先までご連絡ください）

URL : <https://en.surece.co.jp/chuo2025a>

ID :  パスワード :

（ID・パスワードと無作為に配付されていますので、回答者が特定されることはありません。）

### 【問い合わせ先】

- ★調査の目的・内容について  
中央区福祉保健部高齢者福祉課高齢者福祉係 TEL 03-3546-5353
- ★調査票の書き方やインターネット回答方法、同封の不足について  
株式会社サーベイリサーチセンター TEL 0120-677-048（フリーダイヤル）  
受付時間 午前10時～午後5時（土日・祭日を除く）

（この調査は中央区から株式会社サーベイリサーチセンターに委託して実施しています。）

## あなたご自身のことについて

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。（○は1つ）

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄：)
3. その他（具体的に：)

問2 あなた（あて名のご本人を指します。以下の各設問についても同じです。）の性別と令和7年10月1日現在の満年齢を記入してください。

性別	1. 男性	2. 女性
満年齢	歳	

問3 家族構成をお教えください。（○は1つ）

1. ひとり暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他（具体的に：)

問4 現在あなたのお住まいになっている地域はどこですか。（○は1つ）

	該当する住所
1. 京橋地域	八重洲二丁目、京橋、銀座、新富、入船、浜、明石町、築地、浜野宮庭園、八丁堀、新川
2. 日本橋地域	本石町、室町、本町、小舟町、小伝馬町、大伝馬町、胡堂町、富沢町、人形町、小網町、新船町、箱崎町、馬場町、横山町、東日本橋、久松町、浜町、中洲、八重洲一丁目、日本橋、茅場町、先町
3. 月島地域	佃、月島、勝どき、豊海町、晴海

問5 現在のあなたの生活状況をお聞きます。（○は1つ）

1. ひとり暮らしで、近隣に親族等が住んでいない
2. ひとり暮らしだが、必要に応じて近隣に支援してくれる親族等が住んでいる
3. 同居している人がいるが、必要に応じてその人による支援が難しい
4. 同居している人がおり、必要に応じて支援が受けられる

問6 あなたのお住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○は1つ）

1. 持ち家（一戸建て）
2. 民間賃貸住宅（一戸建て）
3. 持ち家（集合住宅）
4. 公営賃貸住宅（集合住宅）
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
6. その他（具体的に：)

【問9-2から9-6は、問9で「1」から「7」と答えた方におうかがいします】  
問9-2 仕事をしている(またはしたい)目的・理由は何か。(〇はいくつでも)

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1. 経済的理由(生計の維持)        | 2. 収入を趣味や旅行に使うため |
| 3. 健康維持                | 4. 生きがい・社会的な貢献   |
| 5. 家にいるよりも充実するから       | 6. 社会とつながっていたいから |
| 7. 自分の知識や技術、経験を生かしたいから | 8. その他(具体的に：)    |

問9-3 何歳くらいまで仕事をしたいですか。(〇は1つ)

1. 65歳くらいまで	2. 70歳くらいまで
3. 75歳くらいまで	4. 80歳くらいまで
5. 健康が続く限り	6. 今後働くつもりはない
7. 特に考えていない	

問9-4 今後(定年前の方は定年退職後)どのような働き方を望みますか。(〇は1つ)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 週5日程度フルタイム(8時間程度)で働く      |
| 2. 週に2～4日フルタイム(8時間程度)で働く     |
| 3. 短時間勤務(3～4時間程度)で働く         |
| 4. 曜日などを決めず、自分の都合で気の向いたときに働く |
| 5. 仕事の依頼があったときに働く            |
| 6. その他(具体的に：)                |

問9-5 年金受給額とは別に、就労によって月にどのくらいの収入を得たいと思えますか。(〇は1つ)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 5万円未満         | 2. 5万円以上～10万円未満  |
| 3. 10万円以上～15万円未満 | 4. 15万円以上～20万円未満 |
| 5. 20万円以上        | 6. その他(具体的に：)    |

問9-6 働く上で、重視していることは何か。(〇は3つまで)

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 勤務先の事業目的・経営ビジョン     | 2. 同じ勤務先であること         |
| 3. 経験したことのある業界であること    | 4. 経験したことのある職種であること   |
| 5. 給料が高いこと             | 6. 自分の能力を発揮できること      |
| 7. 関心の持った仲間がいる職場であること  | 8. 自分ペースで決められる仕事であること |
| 9. 社風に馴染むことができる仕事であること | 10. 勤務日や勤務時間を選べること    |
| 11. その他(具体的に：)         | 12. 特にない              |

問7 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

- |          |         |            |         |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

問7-1 あなたは、健診等や通院により定期的に健康状態を把握していますか。(〇は1つ)

- |           |            |          |       |          |
|-----------|------------|----------|-------|----------|
| 1. 区の健康診査 | 2. 会社の健康診断 | 3. 人間ドック | 4. 通院 | 5. していない |
|-----------|------------|----------|-------|----------|

問8 あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師がいますか。(〇から④それぞれ〇は1つ)

	いる	いない
①かかりつけ医師	1	2
②かかりつけ歯科医師	1	2
③かかりつけ薬局	1	2
④かかりつけ薬剤師	1	2

**経済状況や就労状態について**

問9 あなたは現在、働いていますか。複数の仕事をしている場合は収入の最も多いものをお答えください。(〇は1つ)

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| 1. 会社や団体、官庁等に勤務         | ⇒ 問9-1～6へお進みください |
| 2. 個人商店などで勤務            |                  |
| 3. 自営業                  | ⇒ 問9-2～6へお進みください |
| 4. NPO法人に参加(運営している者も含む) |                  |
| 5. その他(具体的に：)           | ⇒ 問10へお進みください    |
| 6. シルバー人材センターに登録        |                  |
| 7. 働いていないが今後働きたい        |                  |
| 8. 働いていないし今後働きたくない      |                  |

【問9-1は、問9で「1」から「5」と答えた方におうかがいします】  
問9-1 現在働いている方にうかがいます。現在の就労形態は何か。(〇は1つ)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 正社員・正規職員である        | 2. 嘱託・再雇用等の社員・職員である |
| 3. ハート・アルバイト・臨時雇用である  | 4. 派遣社員である          |
| 5. 経営者(NPO法人等の運営者)である |                     |
| 6. その他(具体的に：)         |                     |

## 社会的な活動や地域活動への参加状況について

【すべての方におうかがいします】

問10 あなたは現在、何らかの社会的活動や地域活動を行っていますか。(○はいくつでも)

1. 町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動
2. 地域住民同士などの交流の場の活動
3. まちづくりや地域安全などの活動
4. サークル活動
5. 環境整備活動
6. 趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動
7. 伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動
8. 生活支援・子育て支援などの活動
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
10. 特に活動はしていない ⇒ 問10-5へお進みください

⇒ 問10-1～4へ  
お進みください

【問10-1から10-4は、問10で「1」から「9」と答えた方におうかがいします】

問10-1 現在行っている社会的活動や地域活動を始めた時期はいつ頃ですか。複数  
の活動をしている場合は、最も古いものについてお答えください。(○は1つ)

1. 定年退職後（ 高齢） 2. 40歳代以前
3. 50歳代 4. 60歳代
5. 70歳代 6. 80歳代以降

問10-2 現在行っている社会的活動や地域活動を始めたきっかけは何ですか。複数  
の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えください。  
(○は1つ)

1. 友人、中間のすすめ
2. 家族のすすめ
3. 区の広報誌やホームページ等からの情報
4. 活動団体からの呼びかけ
5. 町会・自治会の誘い
6. 個人の意思（問題意識や解決したい課題があったため）
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問10-3 現在、社会的な活動や地域活動をしていてよかったですかと思うことは何ですか。  
複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えくだ  
さい。(○はいくつでも)

1. 家族の生活を支えている
2. 地域とのつながりができた
3. 家族との関係が良くなった
4. 新しい友人を得ることができた
5. 日常生活にリズムができた
6. 経済的にゆとりある生活ができている
7. 社会に貢献していることで充実感が得られている
8. 健康維持や身だしなみにより留まるようになった
9. 気持ちに張りが出て、若々しくなった
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
11. 特になし

問10-4 何歳まで社会的な活動や地域活動を続けたいですか。(○は1つ)

1. 65歳くらいまで 2. 70歳くらいまで
3. 75歳くらいまで 4. 80歳くらいまで
5. 元気がうちばいつまでも 6. わからない

【問10-5は、問10で「10」と答えた方におうかがいします】

問10-5 現在、社会的な活動や地域活動をしていない理由は何ですか。  
(○はいくつでも)

1. 活動をする仲間がない 2. 活動の誘いがいない
3. 精神的な負担が大きい 4. 時間的な余裕がない
5. 体力的に難しい 6. 活動に関する情報がない
7. 活動を行っている団体がなく、入りたいと思う団体がない
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
9. 活動をする意思がない

【すべての方におうかがいします】

問11 今後、どのような形で社会と関わっていきたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 自分の得意なスキルや知識を活かした活動
2. 人と交流できる趣味やサークルへの参加
3. 地域の子どもや若者の支援 4. 高齢者同士の交流の場づくり
5. 無理のない範囲での仕事（就労） 6. オンラインを活用した社会参加
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
8. 特に希望しない

**交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加について**

問12 あなたは、友達づくりや生きがいのために地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加していますか。(○は1つ)

1. 参加している ⇒ 問12-1へお進みください  
2. 参加していない ⇒ 問12-2へお進みください

【問12-1は、問12で「1」と答えた方におかいます】

- 問12-1 現在の参加頻度は、どの程度ですか。(○は1つ)  
1. 週2回以上    2. 週1回以上    3. 月2回以上  
4. 月1回以上    5. 月1回未満

【問12-2は、問12で「2」と答えた方におかいます】

問12-2 地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加して  
いない理由は何かですか。(○はいくつでも)

1. 体力的に難しい    2. 時間的な余裕がない  
3. 一緒に参加する仲間がない    4. 人づきあいがわずらわしい  
5. 感染症への不安がある    6. 参加したいと思うものがない  
7. 交流サロン等に関する情報がない  
8. その他【具体的に：    〕  
9. 参加する意思がない

【すべての方におかいます】

問13 地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加しようと思う  
条件は何ですか。(○はいくつでも)

1. 時間者が午前    2. 時間者が午後  
3. 平日に開催    4. 土・日・祝日に開催  
5. 1時間以内で終わる    6. 1～2時間程度で終わる  
7. 参加費がかからない    8. 申込不要  
9. 同性だけのサロン（例：「女性だけのおしゃべりサロン」、「男性だけの囲碁教室」等）  
10. ちょっとした茶菓子が出る    11. みんなと食事がとれる  
12. 毎回軽い体操ができる    13. 会議が徒歩圏内にある  
14. その他【具体的に：    〕

**日常生活に関する状況について**

問14 あなたは、日常生活に関する情報をどこから得ていますか。(○は3つまで)

1. 家族や親戚    2. 友人、近所の人  
3. テレビやラジオ    4. 新聞や雑誌  
5. インターネット（パソコン、タブレット端末、スマートフォン）  
6. チラシ、折り込み、ダイレクトメールなど  
7. その他【具体的に：    〕  
8. 特にどこからも得ていない

問15 あなたは、普段の生活で困ったとき、誰に相談していますか。(○は3つまで)

1. 家族や親戚    2. 近所の友人・知人  
3. 町会・自治会の関係者    4. 民生・児童委員  
5. ケアマネジャー（介護支援専門員）    6. 介護施設職員  
7. 区役所の相談窓口    8. 保健所・保健センターの担当者  
9. 高齢者クラブの関係者  
10. おとしより相談センター（地域包括支援センター）※の担当者  
11. 社会福祉協議会の職員    12. インターネット上の知り合い  
13. 民間の相談窓口や電話相談  
14. その他【具体的に：    〕  
15. 誰も相談する相手がない    16. 特に相談することはない

※おとしより相談センター（地域包括支援センター）…

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくために、介護保険・福祉サービスの利用方法、介護認定や権利保護に関する相談・支援等を行う機関として、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等を配置し、保健、日本橋、月島の3地区に設置されています。

問16 孤独や孤立への不安を感じていますか。(○は1つ)

1. 非常に不安    2. やや不安  
3. どちらともいえない    4. あまり不安ではない  
5. まったく不安ではない

問17 あなたは、情報収集の手段として、インターネットを利用していますか。(○は1つ)

1. よく利用している    2. だまに利用している  
3. 利用したいが、使い方がよくわからない  
4. 利用していないし、今後使う予定はない

問18 あなたは、ふだんどのような情報通信機器を利用していますか。(〇はいくつでも)

1. スマートフォン (iPhone, Androidなど) 2. タブレット型端末 (Psdigなど) 3. 携帯電話 (スマートフォン以外) 4. パソコン 5. 固定電話・FAX 6. スマートスピーカー※ 7. その他 (具体的に： 8. 情報通信機器は利用していない	⇒ 問18-1へ お進みください
---	---------------------

※スマートスピーカー……AIによる音声アシスタント (Alexa, Siri, Googleアシスタントなど) 機能、インターネット接続機能を備えたスピーカー、音声で指示を出すことで、音楽再生、情報検索、家電操作などが行える機器。

【問18-1は、問18で「2」から「8」と答えた方で、スマートフォンを利用していない方におうかがいします】

問18-1 スマートフォンを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 使い方が分からない・難しい 3. メリットがわからない 5. その他 (具体的に： 2. 費用が高い 4. 必要がない 6. 特に理由はない
--

【すべての方におうかがいします】

問19 あなたは、スマートフォンの操作方法など、情報通信機器の使い方を教えてくれる高  
 齢者向けの講座を受けたかと思いませんか。(〇は1つ)

1. 受けた 2. 内容によっては受けた 3. あまり興味はない 4. 受けたくない	⇒ 問19-1へお進みください
---	-----------------

【問19で「1」または「2」と答えた方におうかがいします】

問19-1 どのような内容の講座を受けたかと思いませんか。(〇は3つまで)

1. スマホの基本操作 3. 写真や動画の撮り方・写方・保存方法 4. スマホやスマートスピーカーで音声を利用して情報の検索や家電等を操作する方法 5. インターネット検索のやり方 7. 健康管理アプリや運動記録アプリの使い方 8. QRコード決済やキャッシュレス決済の使い方 9. SNSの使い方 (Xやインスタグラム) 10. その他 (具体的に： 2. メールやLINEの使い方 6. 買い物や銀行アプリの使い方
--

## 健康づくり・介護予防事業への参加について

【すべての方におうかがいします】

問20 あなたは、健康づくりのための運動や体を動かす活動をしていますか。(〇は1つ)

1. している ⇒ 問20-1～2へお進みください 2. していない ⇒ 問20-3へお進みください
---

【問20-1、20-2は、問20で「1」と答えた方におうかがいします】

問20-1 普段、運動や体を動かす活動を行っている場所を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 自宅 (室内) 3. 公園 4. 遊歩道・河川敷などの屋外公共スペース 5. スポーツジム・フィットネスクラブ 7. 地域の集会所・区民館・敬老館など 8. 学校施設 (開放されているグラウンドや体育館など) 9. 通園・通学の途中 (徒歩・自転車など) 10. その他 (具体的に： 2. 自宅周辺 (庭・敷地内など) 6. 公共の体育館・運動施設
---

問20-2 現在の運動の頻度は、どの程度ですか。(〇は1つ)

1. 週2回以上 4. 月1回以上 2. 週1回以上 5. 月1回未満 3. 月2回以上
--

【問20-3は、問20で「2」と答えた方におうかがいします】

問20-3 運動や体を動かす活動をしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 体力的に難しい 3. 一緒に参加する仲間がいない 5. 参加したいと思うものがない 7. その他 (具体的に： 2. 時間的な余裕がない 4. 人づきあいがわずらわしい 6. 教室等活動に関する情報がいない 8. 必要性を感じていない
---

【すべての方におうかがいします】

問21 あなたは、中央区が行っている次のような健康づくり・介護予防事業をご存知ですか、知っているものに○をつけてください。(○はいいくつでも)

事業名	事業の説明
1. さわやかな健康教室	元気な高齢者を対象に、身体機能の維持・向上を目的としたマシントレーニングを行う教室です。
2. ゆうゆう講座	コースやレクリエーションなど、楽しく参加し、自然と健康づくりにつながる1回形定型の講座です。
3. いきいき館（敬者館）での健康づくり教室	ヨガ、エアロビクス、本舞華など、いきいき館（敬者館）で主催している教室です。
4. 中央区なまちトレーニング（粉トシ）	転倒予防や認知機能の向上に効果がある中央区オリジナル体操です。
5. 高齢者通いの場	生きがいづくりや同じこもり予防のために、地域で交流できるサロンです。
6. はつらつ健康教室	短期集中型のトレーニングにより効果が得込まれる方を対象に実施する、身体機能の向上を目的とした短期間（原則3か月）の教室です。

【問21-1は、問21の「1」から「6」でひとつでも「○」をつけた方におうかがいします】

問21-1 問21の健康づくり・介護予防事業について、どこでその情報を知りましたか。(○はいいくつでも)

1. 家族や親戚	2. 友人、近所の人
3. 区のHP	4. 区の公式SNS（LINEやX）
5. 区のおしらせ等の広報誌	6. 区や区関連施設の窓口、掲示物
7. チラシ、折り込み、ダイレクトメール（区からの通知含む）など	
8. その他（具体的に：)	
9. 特にどこからも得ていない	

【すべての方におうかがいします】

問22 あなたは、どのような健康づくり事業なら参加したいと思いますか。(○は3つまで)

1. 1 回完結型	2. 通年で開かれる複数回継続型
3. 運動などの実践	4. 講義形式
5. 仲間づくりを目的としたサロン形式	6. 専門的なテーマ
7. 医療専門職の相談・指導	
8. その他（具体的に：)	
9. 特にない	

問23 問22の健康づくり事業に継続的に参加するための条件は何ですか。(○はいいくつでも)

1. 時間帯が午前	2. 時間帯が午後
3. 平日に開催	4. 土・日・祝日に開催
5. 参加費がかからない	6. 同性だけで開催される
7. 会場が徒歩圏内にある	
8. (運動する場合) 初心者でも参加できるような軽めの運動ができる	
9. (運動する場合) 経験者でも満足できるような本格的な運動ができる	
10. その他（具体的に：)	
11. 特にない	

問24 フレイル※という言葉を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

※フレイル…加齢に伴って心身の活力が低下し、介護が必要になるリスクが高まった状態をいいます。

問25 介護予防・フレイル予防に取り組んでいますか。(○は1つ)

1. 取り組んでいる	2. 多少は取り組んでいる
3. 関心はあるが行動に移せていない	4. 特に関心はない（何もしていない）

災害時の対応について

問26 あなたは、地震などの災害などの災害が起こった場合にどのようなことで困ると想定していますか。(○はいいくつでも)

1. 避難所の場所がわからない	
2. 家族や親せきと疎遠になっており、支援の手が期待できない	
3. 近所との付き合いがないため、近隣の援助が期待できない	
4. 普段家族や親せき、知人との行き来があるが、災害時の連絡方法を決めていないため、安否が不明になる可能性がある	
5. 民生委員や町会、防災区民組織など地域の支援者の存在を知らないため、支援が受けられない	
6. 持病の薬が不足する／持病の治療が中断する	
7. 断水でトイレや風呂が使えず清潔を保てない	
8. 階段の昇り降りや避難所への移動が難しい	
9. 避難所での生活環境がつらい（大部屋・騒音・暑さ・暮さ）	
10. 普段使っているものや、食事制限に合う食べ物が手に入らない	
11. 水分が不足し、脱水や体調不良が心配	
12. 体調を崩しても、すぐに医療や介護の支援が受けられない	
13. その他（具体的に：)	

問27 あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。(〇はいくつでも)

1. 家族と避難先や緊急連絡先を確認している
2. 水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している
3. 家具の転倒防止などを行っている
4. 自宅を建て替えたり、補強するなど耐震対策をしている
5. 避難訓練や防災訓練に参加している
6. 地域の支援者（民生委員や町会、防災区民組織など）に相談して、避難先や災害時の対応を確認している
7. その他（具体的に： )
8. 備えはしていない

問28 あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」※ についてご存知ですか。(〇はいくつ)

1. 知っている
2. 知らない

※中央区災害時地域たすけあい名簿…

災害時に自力で避難したり生活することが困難で特に支援を必要とする方（75歳以上でひとり暮らしの方、要介護3～5の方、障害者手帳をお持ちの方など）を登録した名簿です。災害に備えるため、本人の同意がある方の名簿情報を避難支援等関係者にあらかじめの提供し、災害時に地域全体で助け合うことを目的としています。

### 今後の介護の希望などについて

問29 あなたは、要介護状態になった場合、どのような介護を希望しますか。(〇はいくつ)

1. 主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい
2. 主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい
3. 高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい
4. 特別介護老人ホーム（介護老人福祉施設）などの介護施設に入りたい
5. 介護付き有料老人ホームに入りたい
6. 家族、親族の判断に任せる
7. その他（具体的に： )
8. わからない

問30 あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(〇はいくつ)

1. 病院などの医療施設
2. 自宅
3. 子どもの家
4. 兄弟姉妹などの親族の家
5. 特別介護老人ホーム（介護老人福祉施設）
6. 家族、親族の判断に任せる
7. その他（具体的に： )
8. わからない

問31 あなたは、延命のための医療を受けることについてどう思いますか。(〇はいくつ)

1. 最期までできる限りの延命治療をしてほしい
2. 延命治療より苦痛を和らげる緩和的治療をしてほしい
3. 昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい
4. その他（具体的に： )

問32 あなたは、介護や延命治療（問29から問31までの内容）についての希望を誰かに伝えていきますか。(〇はいくつでも)

1. 同居の家族・親族
2. 別居の家族・親族
3. 知人・友人・近所の人
4. かかりつけ医（歯科医師を含む）
5. かかりつけ薬局・薬剤師
6. 訪問看護師
7. ケアマネジャー
8. ヘルパー（介護職員）
9. 民生・児童委員
10. その他（具体的に： )
11. 誰にも伝えてはいない

問33 あなたは、「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」※についてどの程度ご存知ですか。(〇はいくつ)

1. よく知っている
2. 名前・内容についてはおおよそ知っている
3. 名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない
4. 全く知らなかった

※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）…

人生の最終段階における医療や介護について、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合いを行うこと、「人生会議」ともいう。

### 老い変度（終活）について

問34 終活に興味はありますか。(〇はいくつ)

1. 大いにある
2. 少しある
3. あまりない
4. 全くない

問35 終末期および死後の手続き等で不安なことはありますか。(〇はいくつでも)

1. 死後の役所への届け出
2. 遺品整理（デジタル遺品含む）※
3. 銀行口座等の解約
4. 所有する不動産に関すること
5. 葬儀に関すること
6. お葬に関すること
7. 相続に関すること
8. 死後の手続き等を頼める人がいない
9. その他（具体的に： )
10. 特になし

※デジタル製品…てこなくった人が既したデジタル情報や電子的な調査の継続。具体的には、パソコンやスマートフォン内のデータ、SNSアカウント、電子メール、オンラインバンキングの履歴、インターネット上で登録したサブスクリプションサービスなど、デジタル空間に存在する多様な資産が考えられる。

**認知症について**

問36 あなたは認知症について、どのように考えていますか。(○はいくつでも)

1. 認知症は、誰もがなり得るものである
2. 認知症は、早期に見出すことが大切だ
3. 認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができ
4. 認知症になっても、適切な支援があれば地域で安心して暮らし続けることができる
5. 認知症になっても、自分なりにできることがある
6. 認知症について関心がない
7. 当てはまるものはない

問37 あなたが認知症に関する情報でもっと欲しいと思う内容は何か。(○はいくつでも)

1. 症状や治療に関すること
2. 受診や相談先
3. 予防方法や早期発見に関すること
4. 介護の仕方に関すること
5. 利用できる制度やサービス
6. 認知症のある方や家族を支える地域活動
7. 認知症のある方や家族同士が交流できる場
8. その他(具体的に：)
9. 特になし

**今後の高齢者保健福祉施策について**

問38 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなるのが想定されますが、あなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。(○は1つ)

1. 保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい
2. 保険料も介護保険サービスも今より少ない方がよい
3. 介護保険サービスを抑えても保険料が安いほうがよい
4. どちらともいえない
5. その他(具体的に：)

問39 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 健康づくり(介護予防)の推進
2. 社会参加と生きがいづくりの推進
3. 困りごとの相談・サポート体制の充実
4. ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の見守り、安否確認体制の拡充
5. 敬老賞券など敬老・慶祝の記念品贈呈
6. 終活に関する相談窓口の設置
7. 認知症に関する普及・啓発
8. 認知症の相談・支援体制の充実
9. 認知症のある方の支援
10. 医療の確保
11. 在宅療養支援の普及・啓発
12. 介護サービスの質の向上
13. 在宅生活を支えるサービスの充実
14. 介護人材の確保・育成・定着支援
15. 家族介護者等への支援
16. 特別養護老人ホーム等の施設整備促進
17. 住まいと住環境を確保するための支援
18. その他(具体的に：)
19. 特になし

問40 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。

一ご協力ありがとうございましたー

このアンケート票は11月17日(月)までに  
同封の返信用封筒に入れ、投函してください。(切手は不要です。)

## 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

区では、令和8年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に向け、高齢者の方の意向や生活実態をお伺いするため、本調査を実施します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月 中央区

### 調査について

- この調査は、65歳以上の要介護認定を受けていない区民の方から無作為に抽出してお送りしています。
- この調査は無記名方式で行います。回答者が特定されることはありません。
- 調査結果は、区の高齢者施策の推進のために利用され、その他の目的で使用されることはありません。本調査で得られたデータは、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計及び分析を行います。

### ご記入にあたってのお願い

- 回答は、封筒のあて名ご本人についてご記入ください。
- あて名のご本人が回答することが難しい場合は、ご家族またはお世話なさっている方がお手伝いするか、ご本人の立場に立って代わりに回答してください。
- 郵便や果または青のボールペンで記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた場合は、( )内に具体的にその内容をご記入ください。
- 調査票は令和7年10月1日現在でご記入いただき、11月17日(月)までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。(切手は不要です)
- この調査票は郵送でお送りしていますが、パソコン、スマートフォンからも回答可能です。なお、パソコン、スマートフォンから回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

### パソコン、スマートフォンからの回答方法

- 1 以下のURLがQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
- 2 下記のID・パスワードを使ってログインして回答をお願いします。(ログインできない場合は、問い合わせ先までご連絡ください)

URL : <https://en.surece.co.jp/chuo2025b>



ID :  パスワード :

(ID・パスワードも無作為に配付されていますので、回答者が特定されることはありません。)

### 【問い合わせ先】

- ★調査の目的・内容について  
中央区福祉保健部介護保険課管理係 TEL. 03-3546-5748
- ★調査票の書き方やインターネット回答方法、同封物の不足について  
株式会社サービスセンター TEL. 0120-677-048(フリーダイヤル)  
受付時間 午前10時～午後5時(土日・祝日を除く)

(この調査は中央区から株式会社サービスセンターに委託して実施しています。)

## あなたご自身のことについて

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。(○は1つ)

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族(あて名のご本人からみた続柄)
3. その他(具体的に)

問2 あなた(あて名のご本人を指します。以下の各設問についても同じです。)の性別と令和7年10月1日現在の満年齢を記入してください。

性別	1. 男性	2. 女性
満年齢	歳	

問3 あなたの現在の要介護程度等をお答えください。(○は1つ)

1. 認定等は受けていない
2. 総合事業対象者※
3. 要支援1
4. 要支援2

※総合事業対象者…要支援1、要支援2以外で生活機能の低下があります。

問4 現在あなたのお住まいになっている地域はどこですか。(○は1つ)

	該当する住所
1. 京橋地域	八重洲二丁目、京橋、銀座、新橋、入船、湊、明石町、築地、浜離宮庭園、八丁堀、新川
2. 日本橋地域	本石町、安田、本町、小内町、小伝町、入江島町、船場町、船町、人形町、小堀町、新船町、船場町、横山町、東日本橋、久松町、浜町、中洲、八重洲一丁目、日本橋、茅場町、兜町
3. 月島地域	佃、月島、勝どき、豊海町、臨海

## あなたのご家族や生活状況について

問5 家族構成をお答えください。(○は1つ)

1. ひとり暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他(具体的に)

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている   
(介護認定を受けていない家族などの介護を受けている場合も含む)

問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問8 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建て)
2. 持ち家(集合住宅)
3. 公営賃貸住宅(集合住宅)
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)
5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
6. 借家
7. その他(具体的に: )

### からだを動かすことについて

問9 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

問11 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

問12 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

問13 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安でない
4. 不安でない

問14 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2～4回
4. 週5回以上

問15 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

### 食べることについて

問16 身長・体重

身長  cm 体重  kg

問17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問18 歯の数と入れ歯の利用状況をお聞きます。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(○は1つ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問19 どなたかと食事をする機会がありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある
2. 週に何回がある
3. 月に何回がある
4. 年に何回がある
5. ほとんどない

### 毎日の生活について

問20 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問21 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

問22 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

問23 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

問24 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

問25 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしていません
3. できない

地域での活動について

問26 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①から⑧それぞれ○は1つ)

	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回	参加 して いない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ施設の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤高齢者通いの場などの 月1回以上開催されて いる主に高齢者向けの サロン	1	2	3	4	5	6
⑥高齢者クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

- 1. 是非参加したい
- 2. 参加してもよい
- 3. 参加したくない
- 4. 関心に参加している

問28 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

- 1. 是非参加したい
- 2. 参加してもよい
- 3. 参加したくない
- 4. 関心に参加している

問29 あなたは地域の人等から何らかの役割を期待されたり頼りにされていると思いますか。(○は1つ)

- 1. とてもそう思う
- 2. そう思う
- 3. ややそう思う
- 4. あまりそう思わない
- 5. 全くそう思わない

たすけあいについて

問30 あなたの心配事や困局(くち)を聞いてくれる人はいいますか。(○はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5. 近隣
- 6. 友人
- 7. その他(具体的に: )
- 8. そのような人はいない

問31 反対に、あなたが心配事や困局(くち)を聞いてあげる人はいいますか。(○はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5. 近隣
- 6. 友人
- 7. その他(具体的に: )
- 8. そのような人はいない

問32 あなたが病気で数日間入院したときに、看病や世話をしてくれる人はいいますか。(○はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5. 近隣
- 6. 友人
- 7. その他(具体的に: )
- 8. そのような人はいない

問33 反対に、看病や世話をしてくれる人はいいますか。(○はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5. 近隣
- 6. 友人
- 7. その他(具体的に: )
- 8. そのような人はいない

問34 友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

- 1. 毎日ある
- 2. 週に何度かある
- 3. 月に何度かある
- 4. 年に何度かある
- 5. ほとんどない

健康について

問35 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- 1. とてもよい
- 2. まあよい
- 3. あまりよくない
- 4. よくない

問36 あなたは、現在の健康状態をどの程度幸せですか。

- (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください)
- とても不幸 ← 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 とても幸せ



## 要介護・要支援認定者調査

区では、令和8年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に  
向けて、介護保険の要介護・要支援認定を受けている被保険者の方に、今後の意向や生活実態  
についてお伺いするため、本調査を実施します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くだ  
さいますようお願い申し上げます。

令和7年10月 中央区

## 調査について

- この調査は、介護保険の要介護・要支援認定を受けている被保険者の方から無作為に  
抽出してお送りしています。
- この調査は無記名方式で行います。回答者が特定されることはありません。
- 調査結果は、区の高齢者施策の推進のために利用され、その他の目的で使用されるこ  
とはありません。

## ご記入にあたってのお願い

- 回答は、封筒のあて名ご本人についてご記入ください。
- あて名のご本人が回答することが難しい場合は、ご家族またはお世話なされている方  
がお手伝いするか、ご本人の立構に立って代わりに回答してください。
- 鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた場合は、( ) 内に具体的にその内容をご記入ください。
- 調査票は令和7年10月1日現在にご記入いただき、11月17日(月)までに同封の返  
信用封筒に入れて投函してください。(切手は不要です)
- この調査票は郵送でお送りしますが、パソコン、スマートフォンからも回答可能です。  
なお、パソコン、スマートフォンから回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です

## パソコン、スマートフォンからの回答方法

1. 以下のURLのQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
2. 下記のID・パスワードを使ってログインして回答をお願いします。(ログインできない場合は  
問い合わせ先までご連絡ください)



URL : <https://en.surece.co.jp/chuo2025c>

ID :  パスワード :

(ID・パスワードと別冊券に記載されていますので、回答者が特定されることはありません。)

## 【問い合わせ先】

- ★調査の目的・内容について  
中央区福祉保健部介護保険課管理係 TEL 03-3546-5748
- ★調査票の書き方やインターネット回答方法、同封物の不足について  
株式会社サーベイリサーチセンター TEL 0120-677-048(フリーダイヤル)  
受付時間 午前10時～午後5時(土日・祝日を除く)

(この調査は中央区から株式会社サーベイリサーチセンターに委託して実施しています。)

## ご本人の状況について

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。(○は1つ)

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族(あて名のご本人からみた続柄: )
3. その他(具体的に: )

問2 あなた(あて名のご本人)を指します。以下の各設問についても同じです。)の性別と

令和7年10月1日現在の満年齢を記入してください。

性別	1. 男性	2. 女性
満年齢		

問3 あなたの現在の要介護度は何ですか。(○は1つ)

1. 要支援1
2. 要支援2
3. 要介護1
4. 要介護2
5. 要介護3
6. 要介護4
7. 要介護5
8. その他(わからぬ等)

問4 あなたがお住まいになっている地域はどこですか。(○は1つ)

	該当する住所
1. 京橋地域	八重洲二丁目、京橋、朝蔵、新富、新富、入船、湊、明石町、築地、 京橋宮庭園、八丁堀、新川
2. 日本橋地域	本石町、笠町、本町、小舟町、小伝馬町、大伝馬町、船留町、 富沢町、人形町、小網町、新船町、船崎町、馬喰町、横山町、 東日本橋、久松町、浜町、中洲、八重洲一丁目、日本橋、 茅場町、原町
3. 月島地域	佃、月島、勝どき、豊海町、晴海

問5 家族構成をお教えください。(○は1つ)

1. ひとり暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他(具体的に: )

問6 介護保険の自己負担割合をお教えください。(○は1つ)

1. 1割負担
2. 2割負担
3. 3割負担

問7 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(○はいくつでも)

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	2. 心臓病
3. がん（悪性新生物）	4. 呼吸器の病気（肺炎、肺がん等）
5. 関節の病気（リウマチ等）	6. 認知症（アルツハイマー病等）
7. パーキンソン病	8. 糖尿病
9. 腎疾患（透析）	10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒	12. 骨格問題
13. 高齢による衰弱	14. その他（具体的に：_____）
15. 不明	

問8 主にあなたの介護・介助をしている方はどなたですか。(○は1つ)

1. 配偶者（夫・妻）	2. 息子
3. 娘	4. 子の配偶者
5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他（具体的に：_____）

問9 注）この質問は介護をしている方がお答えください。

介護ご自身が受けたい支援はありますか。(○はいくつでも)

1. 介護者が気軽に休息がとれるサービス（一時入所など）
2. 介護者が旅行などの休養がとれるサービス（一定期間の入所など）
3. 介護者の身体的負担（腰痛や肩こり等）を軽減するサービス（マッサージ等）
4. 介護の悩みを個別に相談できるサービス（相談会など）
5. 介護の悩みを個別に相談できるサービス（電話や自宅等への訪問）
6. 介護者同士で話ができる機会の提供
7. 介護の技術が学べる研修・講座
8. 介護に関する定期的な情報提供
9. その他（具体的に：_____）
10. 特にない

**ご家族や生活状況について**

【すべての方におうかがいします】

問10 あなたは、現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1. 大変楽しい	2. やや楽しい
3. ふつう	4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある	

問11 あなたのお住まいは、下記のどの種類にあてはまりますか。(○は1つ)

1. 持ち家（一戸建て）	2. 民間賃貸住宅（一戸建て）
3. 持ち家（集合住宅）	4. 公営賃貸住宅（集合住宅）
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）	6. 介護施設
7. その他（具体的に：_____）	

問12 あなたは、ふたどりのような情報通信機器を利用していますか。(○はいくつでも)

1. スマートフォン	2. タブレット端末
3. 携帯電話（スマートフォン以外）	4. パソコン
5. 固定電話・FAX	
6. その他（具体的に：_____）	
7. 情報通信機器は利用していない	

問13 あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師、薬局、薬剤師がいますか。

(①から④それぞれ○は1つ)

	いる	いない
①かかりつけ医師	1	2
②かかりつけ歯科医師	1	2
③かかりつけ薬剤師	1	2
④かかりつけ薬局	1	2

問14 あなたは現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

1. ない	2. 高血圧
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	4. 心臓病
5. 糖尿病	6. 高脂血症（脂質異常）
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気	
10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	
11. 外傷（転倒・骨折等）	12. がん（悪性新生物）
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病
15. 認知症（アルツハイマー病等）	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. その他（具体的に：_____）	

問15 孤独や孤立への不安を感じていますか。(○は1つ)

1. 非常に不安                      2. やや不安  
3. どちらともいえない        4. あまり不安ではない  
5. まったく不安ではない

**介護保険サービスについて**

問16 現在、あなたが利用している介護保険サービス(介護予防サービスを含む。)は何ですか。また、利用している介護保険サービスについて、どの程度満足していますか。(利用しているサービスすべてに○をし、その○を付けたサービスの満足度について、それぞれ1つずつに○)

	利用している	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満
①訪問介護(ホームヘルプ)	1	1	2	3	4	5
ホームヘルパーが自宅を訪問し、食事、入浴、排泄等の身体介護、調理・洗濯、掃除等の日常生活上の援助をします						
②訪問入浴介護	1	1	2	3	4	5
介護職員と車庫職員が移動入浴車等で自宅を訪問し、入浴の援助をします						
③訪問看護	1	1	2	3	4	5
看護師等が自宅を訪問し、療養上の世話や診療の補助を行います						
④訪問リハビリテーション	1	1	2	3	4	5
理学療法士等が自宅を訪問し、リハビリテーションを行います						
⑤居宅療養管理指導	1	1	2	3	4	5
医師、歯科医師、薬剤師などが自宅を訪問し、療養上の管理や指導をします						
⑥通所介護(デイサービス)	1	1	2	3	4	5
通所介護施設に通い、食事・入浴・排泄等の日常生活上の支援や機能訓練などを行います						
⑦通所リハビリテーション(デイケア)	1	1	2	3	4	5
介護老人保健施設や医療施設などに通い、食事・入浴・排泄等などの介護や生活機能向上のためのリハビリテーションを日で行います						
⑧福祉用具貸与	1	1	2	3	4	5
車いす、介護ベッドなどの用具を借りられます						
⑨特定福祉用具購入費の支給	1	1	2	3	4	5
福祉用具のうち、貸与にならないもの(簡易浴槽等)を購入した費用が支給されます						

	利用している	非常に満足	満足	やや不満	不満	
⑩住宅改修費の支給	1	1	2	3	4	5
手すり取り付けや、段差解消などの住宅改修をした費用が支給されます						
⑪短期入所生活介護/短期入所介護(ショートステイ)	1	1	2	3	4	5
特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)などの施設で短期入所し、日常生活上の支援や機能訓練などを行います						
⑫定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1	2	3	4	5
日中・夜間を通じて定期的な巡回と随時の連絡により居室を訪問し、入浴、排泄、食事などの介護や日常生活上の緊急時の対応を行います						
⑬夜間対応型訪問介護	1	1	2	3	4	5
定期巡回または通報による夜間事件の訪問介護を行います						
⑭認知症対応型通所介護	1	1	2	3	4	5
認知症の方へ食事・入浴などの介護や機能訓練などを日帰りで行います						
⑮小規模多機能型居宅介護	1	1	2	3	4	5
施設への「通い」を中心に、利用者の選択に応じて居宅への「訪問」や短期間の泊り込みを組み合わせ、多機能なサービスを提供します						
⑯介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	1	1	2	3	4	5
施設において、在宅での生活が困難になった要介護の方に、介護サービスと生活を支援します						
⑰介護老人保健施設(老人保健施設)	1	1	2	3	4	5
施設において、介護を必要とする方に介護サービスやリハビリなどを提供し、自宅復帰への支援を行います						
⑱介護医療院(介護療養型医療施設)	1	1	2	3	4	5
施設において、医療と介護のニーズを併せ持つ方に、日常的な医学管理等の医療と介護サービス、生活の場を提供します						
⑲特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)	1	1	2	3	4	5
有料老人ホーム等において、日常生活上の援助、機能訓練、療養上の援助をします						
⑳認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1	1	2	3	4	5
認知症患者が、家事などを役割分担しながら共同生活を行います						

問17 現在利用されている介護保険サービスの利用料は、あなたにとってどの程度負担ですか。(○は1つ)

1. 負担である                      2. やや負担である  
3. どちらでもない                4. あまり負担ではない  
5. 負担ではない

問18 介護保険サービスを利用するようになってから、あなたの生活環境や身体状況はどのようになりましたか。(〇は1つ)

1. 改善した
2. やや改善した
3. 以前とあまり変わらない
4. 悪くなった

問19 あなたは、施設等への入所・入居を検討していますか。(〇は1つ)

1. すでに入所・入居申し込みをしている
2. 入所・入居を検討している
3. 入所・入居は検討していない
4. すでに入所・入居している

【問19-1は、問19で「1」または「2」と答えた方におうかがいします】

- 問19-1 希望する施設等の種類は次のどれですか。(〇は1つ)
1. サービス付き高齢者向け住宅
  2. 特別介護老人ホーム(介護老人福祉施設)
  3. 認知症高齢者グループホーム
  4. 軽費老人ホーム(ケアハウス)※1(認知症対応型共同生活介護)
  5. 住宅型有料老人ホーム※2
  6. 介護付有料老人ホーム※3

※1 軽費老人ホーム(ケアハウス) \*\*  
本人の収入に応じて低額な費用で基本的な生活支援サービスを受けながら、自立した生活を営むことができます。

※2 住宅型有料老人ホーム\*\*  
食事等生活支援サービスはつきませんが、介護は別契約で外部の介護サービスを利用します。

※3 介護付有料老人ホーム\*\*  
介護保険の「特定施設入居者生活介護」の事業者指定を受けた有料老人ホームで、入居時自立から要介護まで幅広いタイプがあります。

【すべての方におうかがいします】

問20 あなたが、現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物
5. 外出同行(通院、買い物など)
6. ゴミ出し
7. 見守り、声かけ
8. 緊急通報システムの設置
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
11. 簡単な家の修繕や電球の交換等
12. 身元保証制度
13. おとしよりの介護郵便手当の支給
14. 紙おむつ支給・おむつ代助成
15. ふとん乾燥・丸洗い
16. 理美容サービス
17. 徘徊高齢者探索システム費用助成
18. 一般履台貸与
19. 介護者慰労事業(食事・マッサージ共通券、旅行券の支給)
20. その他(具体的に)
21. 利用していない

問21 あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)は何ですか。(〇は3つまで)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物
5. 外出同行(通院、買い物など)
6. ゴミ出し
7. 見守り、声かけ
8. 緊急通報システムの設置
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
11. 簡単な家の修繕や電球の交換等
12. 身元保証制度
13. おとしよりの介護郵便手当の支給
14. 紙おむつ支給・おむつ代助成
15. ふとん乾燥・丸洗い
16. 理美容サービス
17. 徘徊高齢者探索システム費用助成
18. 一般履台貸与
19. 介護者慰労事業(食事・マッサージ共通券、旅行券の支給)
20. その他(具体的に)
21. 特になし

**サービスのあり方について**

問22 あなたは、現在の介護サービス計画書(ケアプラン)に満足していますか。(〇は1つ)

1. 満足している
2. やや満足している
3. ぶつう
4. やや不満である
5. 不満である

問23 あなたは、ケアマネジャー(介護支援専門員)に満足していますか。(〇は1つ)

1. 満足している
2. やや満足している
3. ぶつう
4. やや不満である
5. 不満である

問24 あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）について、どのように感じていますか。（①から⑨それぞれ〇は1つ）

	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない
①ケアプラン作成前によく話を聞いてくれた	1	2	3
②サービス事業者の情報を提供してくれる	1	2	3
③サービス事業者との連絡や調整してくれる	1	2	3
④介護保険外のサービスの情報も提供してくれる	1	2	3
⑤ケアプラン作成後も相談ののってくれる	1	2	3
⑥月に1回程度、定期的に訪問して様子を見てくれる	1	2	3
⑦サービス内容の見直しについて提案してくれる	1	2	3
⑧ケアプラン以外の介護や生活全般のことも相談ののってくれる	1	2	3
⑨サービス提供事業者に不満、意見や要望を伝えてくれる	1	2	3

問25 あなたは、今後、どのような介護を希望しますか。（〇は1つ）

1. 主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい
2. 主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい
3. 高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい
4. 特別介護老人ホーム（介護老人福祉施設）などの介護施設で暮らしたい
5. 介護付き有料老人ホームで暮らしたい
6. 家族、親族の判断に任せる
7. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）
8. わからない

問26 あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。（〇は1つ）

1. 病院やホスピスなどの医療施設
2. 自宅
3. 子どもの家
4. 兄弟姉妹などの親族の家
5. 特別介護老人ホーム（介護老人福祉施設）
6. 家族、親族の判断に任せる
7. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）
8. わからない

問27 あなたは、延命のための医療を受けることについてどう思いますか。（〇は1つ）

1. 最期までできる限りの延命治療をしてほしい
2. 延命治療より苦痛を和らげる緩和的治療をしてほしい
3. 意識状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい
4. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

問28 あなたは、介護や延命治療（問25から問27までの内容）についての希望を誰かに伝えていきますか。（〇はいくつでも）

1. 同居の家族・親族
2. 別居の家族・親族
3. 知人・友人・近所の人
4. かかりつけ医（歯科医師を含む）
5. かかりつけ薬局・薬剤師
6. 訪問看護師
7. ケアマネジャー
8. ヘルパー（介護職員）
9. 民生・児童委員
10. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）
11. 誰にも伝えていない

問29 あなたは、「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」※についてどの程度ご存知ですか。（〇は1つ）

1. よく知っている
2. 名前・内容についてはおおよそ知っている
3. 名前を聞いたことがある程度で内容についてはあまり知らない
4. 全く知らなかった

※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）…  
人生の最終段階における医療や介護について、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い共有すること。「人生会議」ともいう。

問30 あなたが、人生の最終段階における医療や介護に向けて行っていることは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 自分の医療・介護について話し合いをしている
2. 家族に希望を伝えている
3. 医療・ケアチームに希望を伝えている
4. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）
5. 特に行っていない

相談や権利開陳について

問31 あなたは、普段の生活で困ったとき、誰に相談していますか。(○は3つまで)

1. 家族や親戚	2. 近所の友人・知人
3. 町会・自治会の関係者	4. 民生・児童委員
5. 医師・歯科医師・看護師	6. クアマナジャー（介護支援専門員）
7. 介護施設職員	8. 区役所の担当者
9. 保健所・保健センターの担当者	10. 高齢者クラブの関係者
11. おとしより相談センター（地域包括支援センター）※の担当者	12. 社会福祉協議会の職員
13. インターネット上の知り合い	14. 民間の相談窓口や電話相談
15. その他（具体的に：_____）	16. 誰も相談する相手がいない
17. 特に相談することはない	

※おとしより相談センター（地域包括支援センター）…高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくために、介護保険・福祉サービスの利用方法、介護認定の手続きや権利開陳に関する相談・支援等を行う機関として、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等を配置し、京橋、日本橋、月島の3地区に設置されています。

問32 あなたは、「おとしより相談センター（地域包括支援センター）」をご存知ですか。(○は1つ)

1. 利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らなかった

【問32-1は、問32で「2」と答えた方におうかがいします】

→問32-1 「おとしより相談センター（地域包括支援センター）」を利用したことがない主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 相談する必要があるから
2. 利用方法がわからないから
3. 自分や家族で解決できるから
4. その他（具体的に：_____）

【すべての方におうかがいします】

問33 あなたは、「成年後見制度」※について内容をどの程度ご存知ですか。(○は1つ)

1. よく知っている
2. 名前・制度についてはおおよそ知っている
3. 名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない
4. 全く知らなかった

※成年後見制度…本人が、障害や認知症などで判断能力に欠ける場合、本人に代わって家庭裁判所が決める法定後見人が財産管理や介護サービス契約などを行うことができる制度です。

問34 「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(○は1つ)

1. すでに利用している	2. 今後利用したい
3. 利用したいと思わない	4. わからない

【問34-1は、問34で「3」と答えた方におうかがいします】

→問34-1 「成年後見制度」を利用したいと思わない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 内容や利用方法、利用のタイミングがわからないから
2. 家族（親・親族）がまだ元気だから
3. 他人に生活やお金の管理をしてほしくないから
4. 手続きが大変そうだから
5. 費用の負担があるから
6. 制度や後見人によるイメージがないから
7. その他（具体的に：_____）

【すべての方におうかがいします】

問35 「権利開陳支援事業」※について内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)

1. よく知っている
2. 名前・制度についてはおおよそ知っている
3. 名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない
4. 全く知らなかった

※権利開陳支援事業…判断能力に不安がある方に対して、日常的な金融の出し入れや通帳などの保管、福祉サービスの利用確認などを行うことができる制度です。

問36 「権利開陳支援事業」を利用したいと思いますか。(○は1つ)

1. すでに利用している	2. 今後利用したい
3. 利用したいと思わない	4. わからない

問37 「法人後見人制度」※を知っていますか (○は1つ)

1. よく知っている
2. 名前・制度についてはおおよそ知っている
3. 名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない
4. 全く知らない

※法人後見人制度…社会福祉法人やNPO法人などの法人が、判断能力が不十分な人の成年後見人等として、保護・支援を行う制度です。

問38 「法人後見人制度」を利用したいと思いませんか (○は1つ)

1. すでに利用している
2. 今後利用したい
3. 利用したいと思わない
4. わからない

### 認知症について

問39 あなたは認知症について、どのように考えていますか。(○はいくつでも)

1. 認知症は、誰もがなり得るものである
2. 認知症は、早期に発見することが大切だ
3. 認知症は、治療や適切なケアによって、症状の進行を抑えたり改善することができる
4. 認知症になっても、適切な支援があれば地域で安心して暮らして暮らしていることができる
5. 認知症になっても、自分なりにできることがある
6. 認知症について関心がない
7. あてはまるものはない

問40 あなたが認知症に関する情報でもっと欲しいと思う内容は何か。

(○はいくつでも)

1. 症状や治療に関すること
2. 受診や相談先
3. 予防方法や早期発見に関すること
4. 介護の仕方に関すること
5. 利用できる制度やサービス
6. 認知症のある方や家族を支える地域活動
7. 認知症のある方や家族同士が交流できる場
8. その他 (具体的に：)
9. 特になし

【問41はご自宅にお住まいの方のみお答えください】

問41 あなたが認知症になったとき、どのように暮らしたいと思えますか。(○は1つ)

1. できないことを自ら工夫して補いながら、住み慣れた地域で生活を続けたい
2. 家族等のサポートを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けたい
3. 医療・介護サービスを受けながら、住み慣れた地域で生活を続けたい
4. 介護施設に入所し、必要なサポートを受けながら生活したい
5. 誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい
6. その他 (具体的に：)
7. わからない

【すべての方におうかがいします】

問42 あなたが認知症になったとき、住み慣れた地域で暮らし続けるためには何が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 介護や福祉サービスの充実
2. 相談窓口や相談体制の充実
3. 早期発見・早期対応のための支援体制の充実
4. 地域による見守りや支援体制の充実
5. 認知症に関する普及啓発の充実
6. 認知症のある方や家族が交流できる場
7. 認知症に関わる専門職の育成
8. その他 (具体的に：)

### 災害時の対応について

問43 あなたは、地震などの災害が起こった場合にどのようなことで困ると想定していますか。(○はいくつでも)

1. 避難所の場所がわからない
2. 家族や親せきと連絡になっており、支援の手が期待できない
3. 近所との付き合いがないため、近隣の援助が期待できない
4. 普段家族や親せき、知人との行き来があるが、災害時の連絡方法を決めていないため、安否が不明になる可能性がある
5. 民生委員や町会、防災区民組織など地域の支援者の存在を知らないため、支援を受けられない
6. 持病の薬が不足する／持病の治療が中断する
7. 断水でトイレや風呂が使えず清潔を保てない
8. 階段の昇り降りや避難所への移動が難しい
9. 避難所での生活環境がつかない (大部屋・騒音・暑さ・暮さ)
10. 普段食べているものや、食事制限に合う食べ物が入らない
11. 水分が不足し、断水や体調不良が心配
12. 体調を崩しても、すぐに医療や介護の支援が受けられない
13. その他 (具体的に：)

問44 あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。  
(〇はいくつでも)

1. 家族と避難先や緊急連絡先を確認している 2. 水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している 3. 家具の転倒防止などを行っている 4. 自宅を建て替えたり、補強するなど耐震対策をしている 5. 避難訓練や防災訓練に参加している 6. ケアマネジャー（介護支援専門員）やおとしより相談センター（地域包括支援センター）に相談して、避難先や災害時の対応を確認している 7. その他（具体的に：	)
---	---

問45 あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」※についてご存知ですか。  
(〇はい1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

※中央区災害時地域たすけあい名簿…  
災害時に自力で避難したり生活することが困難で特に支援を必要とする方（75歳以上でひとり暮らしの方、要介護3～5の方、障害者手帳をお持ちの方など）を登録した名簿です。災害に備えるため、本人の同意がある方の名簿情報を選任支援等関係者にあらかじめ提供し、災害時に地域全体で助け合うことを目的としています。

**今後の高齢者保健福祉施策について**

問46 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますが、あなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。(〇は1つ)

1. 保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい 2. 保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である 3. 介護保険サービスを抑えても保険料が低いほうがよい 4. どちらともいえない 5. その他（具体的に：	)
---	---

問47 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

<健康づくり> <ol style="list-style-type: none"> <li>健康づくり（介護予防）の推進</li> <li>社会参加と生きがいづくりの推進</li> <li>困りごとの相談・サポート体制の充実</li> <li>ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の見守り、安否確認体制の拡充</li> <li>敬老賞物券など敬老・慶祝の記念品贈呈</li> <li>暮らしに関する相談窓口の設置</li> </ol>	<生活支援> <ol style="list-style-type: none"> <li>認知症に関する普及・啓発</li> <li>認知症の相談・支援体制の充実</li> <li>認知症のある方の支援</li> </ol>
<医療> <ol style="list-style-type: none"> <li>医療の確保</li> <li>在宅療養支援の普及・啓発</li> </ol>	<介護> <ol style="list-style-type: none"> <li>介護サービスの質の向上</li> <li>在宅生活を支えるサービスの充実</li> <li>介護人材の確保・育成・定着支援</li> <li>家族介護者等への支援</li> </ol>
<住まい> <ol style="list-style-type: none"> <li>特別養護老人ホーム等の施設整備促進</li> </ol>	<その他> <ol style="list-style-type: none"> <li>住まいと住環境を確保するための支援</li> <li>その他（具体的に：                     <ol style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ol> </li> </ol>

問48 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。


一ご協力ありがとうございましたー  
このアンケート票は11月17日（月）までに  
同封の返信用封筒に入れ、投函してください。（切手は不要です。）

在宅介護実態調査

個人情報の取扱いについてご本人へ説明し、当該情報の収集に関する同意を得た。

必ず説明をして確認を行い、☑を記入してください。

実施年月日	令和7年	月	日
被保険者番号			
認定調査員氏名			

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか。 (○はいくつでも)

1. 調査対象者本人	2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族	4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他	

問1 世帯類型について、ご回答ください。 (○は1つ)

1. 単身世帯	2. 夫婦のみ世帯	3. その他
---------	-----------	--------

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)

1. ない	2. 家族・親族からの介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある	4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある	

問3 主な介護者の方は、どなたですか。 (○は1つ)

1. 配偶者	2. 子	3. 子の配偶者
4. 孫	5. 兄弟・姉妹	6. その他

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。 (○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。 (○は1つ)

1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代
4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代
7. 70歳代	8. 80歳以上	9. わからない

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(○はいくつでも)

【身体介助】

1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗頭・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移動・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 玄関面での対応(経管栄養、ストーマ等)	

【生活援助】

12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	

【その他】

15. その他	16. わからない
---------	-----------

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(○はいくつでも)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問8 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。

- (〇はいくつでも)
- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 配達                 | 2. 調理                 |
| 3. 掃除・洗濯              | 4. 買い物（宅配は含まない）       |
| 5. ゴミ出し               | 6. 外出同行（通院、買い物等）      |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ            |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場     | 10. 短期入所生活介護（ショートステイ） |
| 11. その他               | 12. 特になし              |
- ※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスにも含まれます。

問9 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

- (〇はいくつでも)
- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| 1. 入所・入居は検討していない     | ⇒問10へお進みください |
| 2. 入所・入居を検討している      |              |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている |              |

回答終了です。ありがとうございました。B票にお進みください。  
 ※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問10 入所・入居を検討していない理由について、ご回答ください。

- (〇は1つ)
- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 本人が望んでいないため | 2. 金銭的な負担が大きいため |
| 3. その他（ ）      |                 |

B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答いただく項目

- 問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(〇は1つ)
- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1. フルタイムで働いている        | ⇒問2～問4へお進みください |
| 2. パートタイムで働いている       |                |
| 3. 働いていない             |                |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | ⇒問4へお進みください    |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に出べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護するにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。

- (〇はいくつでも)
- |   |
|---|
| 1. 特に行っていない   |
| 2. 介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、差出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている |
| 3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている                |
| 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている                       |
| 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている                       |
| 6. 主な介護者に確認しないと、わからない                               |

問3 問1で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後働きながら介護を続けていきそうですか。

- (〇は1つ)
- |                       |
|-----------------------|
| 1. 問題なく、続けていける        |
| 2. 問題はあるが、何とか続けていける   |
| 3. 続けていくのは、やや難しい      |
| 4. 続けていくのは、かなり難しい     |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |

● **ここから再び、全員に調査してください。**

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)  
(〇は3つまで)

【身体介助】

- |                         |                |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べさせる)         | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗頭・歯磨き等)       | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 室内の移乗・移動             | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                   | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) |                |

【生活援助】

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)      | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き |                        |

【その他】

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他                | 16. 不安に感じていることは、特になし |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |                      |

アンケートは以上です。

## 居所変更実態調査

区では、令和8年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に向け、利用者の入居・退居の状況について把握するため、本調査を実施します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月 中央区

### 調査について

- ・この調査は、区内の住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、グループホーム、(地域密着型)特定施設、介護老人保健施設、介護老健院、(地域密着型)特別養護老人ホームへお送りしています。
- ・調査結果は、区の高齢者施策の推進のために利用され、その他の目的で使用されることはありません。

### ご記入にあたってのお願い

- ・回答は、サービスの管理者またはそれに準ずる方がご記入ください。
- ・鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- ・回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- ・「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容をご記入ください。
- ・調査票は令和7年10月1日現在でご記入いただき、11月17日(月)までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。(切手は不要です)
- ・この調査票は郵送でお送りしますが、パソコン、スマートフォンからも回答可能です。なお、パソコン、スマートフォンから回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

### パソコン、スマートフォンからの回答方法

1. 以下のURLがQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
2. 下記のID・パスワードを使ってログインして回答をお願いします。(ログインできない場合は問い合わせ先までご連絡ください)

URL: <https://en.surece.co.jp/chuo2025e>

ID:  パスワード:

(ID・パスワードと無関係に配布されていますので、回答者が特定されることはありません。)

### 【問い合わせ先】

- ★調査の目的・内容について  
中央区福祉部介護保険課管理係 TEL. 03-3546-5748
- ★調査票の書き方やインターネット回答方法、同封物の不足について  
株式会社サニーベイルリサーチセンター TEL. 0120-677-048(フリーダイヤル)  
受付時間 午前10時～午後5時(土日・祝日を除く)

(この調査は中央区から株式会社サニーベイルリサーチセンターに委託して実施しています。)

問1 該当するサービス種別をご回答ください。(○は1つ)

1. 住宅型有料老人ホーム
2. 軽費老人ホーム (特定施設除く)
3. サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)
4. グループホーム
5. 特定施設
6. 地域密着型特定施設
7. 介護老人保健施設
8. 介護老健院
9. 特別養護老人ホーム
10. 地域密着型特別養護老人ホーム

※本調査では、上記のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

①施設等の名称	人/戸/室
②定員数など	
③入所・入居者数	人
④(貴施設等の)待機者数	人
⑤特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数)	人

※「②定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住戸戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「同室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。  
※④と⑤は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。  
※⑤は、特養・地域密着型特養は回答不要です。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護別の人数について、ご記入ください。  
(数値を記入)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	合計

問4 以下の医療処置が必要な利用者の受け入れが可能かどうかをご回答ください。  
(○はい/△とも) ※1人でも受け入れが可能であれば○をしてください。

1. 点滴の管理
2. 中心静脈栄養
3. 透析
4. ストーマの処置
5. 酸素療法
6. レスピレーター
7. 気管切開の処置
8. 褥瘡の看護
9. 経管栄養
10. モニター測定
11. 褥瘡の処置
12. カテーテル
13. 経尿吸引
14. インスリン注射
15. 上記に対応可能な医療処置はない



問10 問8でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。(各項目、区内、区外、それぞれ数値を記入)

※一時的に入院して費施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

※搬送先からの転居等の後に死亡した場合は、死にはなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。

※「合計■」と、問8の「退去者数(合計■)」、問9の「合計■」が一致することをご確認ください。

	区内(人)	区外(人)
①自宅(※兄弟・子ども・親戚等の家含む)		
②住宅型有料老人ホーム		
③経費老人ホーム(特定施設除く)		
④サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)		
⑤グループホーム		
⑥特定施設		
⑦地域密着型特定施設		
⑧介護老人保健施設		
⑨介護医療院		
⑩病院・診療所(上記を除く) ※一時的な入所は含みません。		
⑪特別養護老人ホーム		
⑫地域密着型特別養護老人ホーム		
⑬その他		
⑭行先を把握していない		
⑮死亡(※搬送先の死亡を含む)		
全項目(区内、区外)の合計■		

合計人数が一致するようご注意ください

問11 費施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。最も多いものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

※死亡の方は除き、退去者についてお答えください。

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要な生活支援が発生・増大したから</li> <li>2. 必要な身体介護が発生・増大したから</li> <li>3. 認知症の症状が悪化したから</li> <li>4. 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから</li> <li>5. 上記選択肢「1」～「4」以外の状態像が悪化したから</li> <li>6. 入所・入居者の状態等が改善したから</li> <li>7. 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから</li> <li>8. 費用負担が重くなったから</li> <li>9. 本人が希望したから</li> <li>10. その他(具体的に: )</li> </ol>
--

問12 費事業所で入居・入所者が退去するのはどのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。(自由回答)


問13 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。


費事業所についてご記入ください

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

—ご協力ありがとうございます—

このアンケート票は11月17日(月)までに  
同封の返信用封筒に入れ、投函してください。(切手は不要です。)

## 介護人材実態調査

区では、令和8年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に  
向けて、介護保険サービス事業所が提供するサービス内容や医療と介護の連携などの実態と  
課題を把握するため、介護保険サービスを提供している区内の事業所を対象に、本調査を實  
施します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいませようお願いします。

令和7年10月 中央区

## 調査について

- この調査は、区内の介護保険サービスを提供している全事業所にお送りしています。
- この調査は無記名方式で行います。回答者が特定されることはありません。
- 調査結果は、区の高齢者福祉の推進のために利用され、その他の目的で使用されるこ  
とはありません。

## ご記入にあたってのお願い

- 回答は、サービスの管理者またはそれに準ずる方がご記入ください。
- 鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。(一部の設問は数字を記入します。)
- 「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容を記入ください。
- 調査票は令和7年10月1日現在でご記入いただき、11月17日(月)までに同封の返  
信用封筒に入れて投函してください。(切手は不要です。)
- この調査票は郵送でお送りしますが、パソコン、スマートフォンからも回答可能です。  
なお、パソコン、スマートフォンから回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

## パソコン、スマートフォンからの回答方法

- 1 以下のURLかQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
- 2 下記のID・パスワードを使ってログインして回答をお願いします。(ログインできない場合は  
問い合わせ先までご連絡ください。)

URL : <https://en.surece.co.jp/chuo2025f>

ID :  パスワード :

(ID・パスワードとも無作為に配布されていますので、回答者が特定されることはありません。)



## 【問い合わせ先】

- ★調査の目的・内容について  
中央区福祉保健部介護保険課管理係 TEL. 03-3546-5748
  - ★調査票の書き方やインターネット回答方法、同封物の不足について  
株式会社サベイリサーチセンター TEL. 0120-677-048(フリーダイヤル)
- 受付時間 午前10時～午後5時(土日・祝日を除く。)

(この調査は中央区から株式会社サベイリサーチセンターに委託して実施しています。)

## 貴事業所について

問1 貴事業所の所在地はどちらですか。(○は1つ)

1. 京橋地域 2. 日本橋地域(八重洲一丁目を含む) 3. 月島地域

問2 令和7年10月1日現在、貴事業所が指定(許可)を受けているサービスすべてに  
○をしてください。(○はいくつでも)

1. 居宅介護支援	2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護	4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション	6. 居宅介護管理指導
7. 通所介護	8. 通所リハビリテーション
9. 短期入所生活介護	10. 短期入所療養介護
11. 福祉用具貸与	12. 特定福祉用具販売
13. 特定施設入居者生活介護	14. 認知症対応型通所介護
15. 認知症高齢者グループホーム(認知症対応型共同生活介護)	17. 小規模多機能型居宅介護
16. 夜間対応型訪問介護	18. 地域密着型特定施設入居者生活介護
19. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	20. 看護小規模多機能型居宅介護
21. 介護予防訪問入浴介護	22. 介護予防訪問看護
23. 介護予防訪問リハビリテーション	24. 介護予防居宅療養管理指導
25. 介護予防通所リハビリテーション	26. 介護予防短期入所生活介護
27. 介護予防短期入所療養介護	28. 介護予防福祉用具貸与
29. 介護予防特定福祉用具販売	30. 介護予防特定施設入居者生活介護
31. 介護予防認知症対応型通所介護	32. 介護予防認知症対応型共同生活介護
33. 介護予防小規模多機能型居宅介護	34. 特別介護老人ホーム(介護老人福祉施設)
35. 介護老人保健施設	36. 介護療養型医療施設
37. 介護医療院	38. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
39. 介護予防支援	40. 予防訪問サービス(ホームヘルプサービス)
41. 予防生活援助サービス	42. 予防通所サービス(デイサービス)

問3 貴事業所は中央区からの情報を主にどこから入手していますか。(○は3つまで)

1. おとしより相談センター (地域包括支援センター)  
 2. 他のケアマネジャー(介護支援専門員) 3. 介護保険サービス事業者連絡会  
 4. 区役所の窓口・担当者 5. 広報誌「区のおしらせ ちゅうおう」  
 6. 区のホームページ 7. 中央区ケア倶楽部  
 8. 区からの通知等  
 9. 中央区社会福祉協議会の窓口・担当者  
 (地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーターなど)  
 10. その他(具体的に: )

問4 昨年度の事業採算について教えてください。(○は1つ)

1. 黒字 2. 赤字  
 3. 収支は均衡  
 4. その他(具体的に: )

**人材確保・人材育成等について**

問5 貴事業所に所属する介護職員の人数をご記入ください。(数値を記入)

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません。)  
 ※前月に出勤のない、長期休暇(育児休業等)中の職員は人数に含めなくてください。  
 ※「外国人」には、EPA・技能実習生・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

①介護職員の総数	人	→ うち常勤職員数	人
		→ うち非常勤職員数	人
②外国人職員数	人	③派遣職員数	人

問6 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。(○は1つ)

1. はい  
 2. いいえ

【問6-1は、問6で「1」と答えた事業所におうかがいします】  
 →問6-1 過去1年間(2024年10月1日～2025年9月30日)の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。(数値を記入)

	採用者数	離職者数
常勤職員		
非常勤職員		
合計		

【すべての事業所におうかがいします】  
 問7 貴事業所で受け入れているボランティアの人数についておたずねします。直近1カ月に受け入れたボランティア人数(延べ人数、短期/長期は問わない)をお答えください。(数値を記入)

ボランティア人数	人	→ うち高齢者数	人
----------	---	----------	---

【問8は、「居宅介護支援事業所」の方におうかがいします】

問8 区内の介護サービスをみたとき、サービス利用者数（需要）と事業所数（供給）の関係について、どのように思いますか。（○は1つ）

- 1. 適正な事業所数である
- 2. 事業所がやや不足している

【問8-1は、問8で「2」と答えた事業所におうかがいします】

問8-1 不足していると思う介護サービスは次のうちどれですか。（○は5つまで）

- 1. 居宅介護支援
- 2. 訪問介護
- 3. 訪問入浴介護
- 4. 訪問看護
- 5. 訪問リハビリテーション
- 6. 居宅介護管理指導
- 7. 通所介護
- 8. 通所リハビリテーション
- 9. 短期入所生活介護
- 10. 短期入所療養介護
- 11. 福祉用具貸与
- 12. 特定福祉用具販売
- 13. 特定施設入居者生活介護
- 14. 認知症対応型通所介護
- 15. 認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）
- 16. 夜間対応型訪問介護
- 17. 小規模多機能型居宅介護
- 18. 地域密着型特定施設入居者生活介護
- 19. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- 20. 看護小規模多機能型居宅介護
- 21. 介護予防訪問入浴介護
- 22. 介護予防訪問看護
- 23. 介護予防訪問リハビリテーション
- 24. 介護予防居宅介護管理指導
- 25. 介護予防通所リハビリテーション
- 26. 介護予防短期入所生活介護
- 27. 介護予防短期入所療養介護
- 28. 介護予防福祉用具貸与
- 29. 介護予防特定福祉用具販売
- 30. 介護予防特定施設入居者生活介護
- 31. 介護予防認知症対応型通所介護
- 32. 介護予防認知症対応型共同生活介護
- 33. 介護予防小規模多機能型居宅介護
- 34. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）
- 35. 介護老人保健施設
- 36. 介護療養型医療施設
- 37. 介護医療院
- 38. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 39. 介護予防支援
- 40. 予防訪問サービス（ホームヘルプサービス）
- 41. 予防生活援助サービス
- 42. 予防通所サービス（デイサービス）

【すべての事業所におうかがいします】

問9 採用や人材定着に関して課題があればお書きください。（自由記述）

問10 人材確保に関して区に期待することをお書きください。（自由記述）

**ICT 機器・介護ロボットの活用について**

問11 貴事業所では、生産性向上のためにツールを利用していますか。（○は1つ）

- 1. 利用している
- 2. 利用（導入）していない ⇒ 問11-2へお書きください
- 3. 利用していないが導入を検討中 ⇒ 問11-3へお書きください

【問11-1は、問11で「1」と答えた事業所におうかがいします】

問11-1 どのようなツールを利用していますか。（○はいくつでも）

- 1. ケアプランデータ連携システム
- 2. 介護記録の電子化システム（タブレットやスマートフォンでの入力など）
- 3. 業務支援ソフト（スケジュール管理、業務日報、シフト管理など）
- 4. 見守りセンサーやバイタル自動記録装置の活用
- 5. 音声入力や自動記録ツールの導入（ICレコーダー連携等）
- 6. 情報共有ツール（職員間のチャット・掲示板アプリ等）
- 7. ペーパーレス化のためのクラウドストレージ（Google Drive、Dropbox等）
- 8. 業務マニュアルや研修の動画化・eラーニングの活用
- 9. 介護報酬請求業務の効率化ツール（請求ソフト等）
- 10. その他【具体的に：



問15 医療と介護を一体的に提供し、在宅療養支援を進めていくため、医療機関、介護サービス事業者、行政はどのようなことに取り組む必要がありますか。

- (○は3つまで)
1. 医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる
  2. 医療的ケアが必要な人が利用できるデイサービス施設を充実させる
  3. 医療的ケアや介護が受けられるサービス付き高齢者向け住宅を充実させる
  4. ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有を推進する
  5. 医療と介護の連携マニュアルを作成する
  6. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する
  7. 多職種連携強化のための研修を充実させる
  8. その他（具体的に：）

### 看取りについて

問16 看取りについて、どのように考えていますか。(○は1つ)

1. 看取りは、自宅では困難と考えている
2. 可能な限り自宅で行うが、看取りは医療機関で行うべきである
3. 可能な限り自宅で行うべきである
4. 自宅が医療機関か、本人の意思を尊重した看取りが望ましい
5. 自宅が医療機関か、家族の意向を尊重した看取りが望ましい
6. その他（具体的に：）

問17 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を活用したことがありますか。(○は1つ)

1. 活用したことがある
2. 活用したことがない

問18 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を進める上で必要なことは何ですか。(○は3つまで)

1. ACPに関する、利用者・家族をはじめとする、区民啓発を進めること
2. 早いタイミングからの意向の確認や話し合いを行うこと
3. 一度だけでなく、継続的に意向の確認や話し合いをすること
4. 日頃から、気持ちを話せる雰囲気や人間関係をつくること
5. 本人の意向を尊重し、時期まで意思決定支援を心がけること
6. 適切なサービス調整や支援ができる多職種での連携を進めること
7. 本人・家族との不一致、家族間の調整にも配慮すること
8. その他（具体的に：）

【問19は、施設・居住系サービス事業所におうかがいします】  
問19 貴施設の施設運営の課題についてご意見をお書きください。(自由記述)

### 認知症の方や家族の支援について

【すべての事業所におうかがいします】  
問20 認知症の利用者の状況で実際にあり、大変なことは何ですか。(○は3つまで)

1. 本人や家族が医療機関を受診しない
2. 本人の意思確認が難しい
3. 家族が認知症であることを認めない
4. 薬の飲み忘れや飲まないなど、服薬管理ができない
5. 介護サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある
6. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる
7. 認知症のため適切な介護サービスが受けられない
8. 消費者被害に遭遇したことがある
9. 虐待の恐れがある
10. 本人と家族間で介護の方針が違ふ
11. 医務的な管理が難しい
12. その他（具体的に：）

問21 認知症の方の支援にあたり特に必要と思われることは何ですか。(○は3つまで)

1. 認知症の状態に合った適切なサービス提供の確保がより増えること
2. 認知症の人を支援するサービスや施設等の社会資源がより増えること
3. 認知症の早期診断を担う医療機関が増えること
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること
5. 医療・介護関係者の認知症への理解と対応力が向上すること
6. 認知症の人の家族支援が充実していくこと
7. その他（具体的に：）

**地域の課題について**

問22 認知症の利用者の家族への支援として特に必要と思われることは何ですか。  
(〇は3つまで)

1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応すること
2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのること
3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供すること
4. 家族の同工が集える場（例えば、認知症カフェや利用者の家族の会など）について情報を提供すること
5. 家族に対する生活支援を行うこと
6. 家族に代わって他機関との調整を行うこと
7. 緊急時の受け入れを行うこと
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問23 地域住民の認知症の理解を促進するために特に必要と思われることは何ですか。  
(〇は3つまで)

1. 認知症サポーター養成講座の実施
2. 認知症カフェの実施
3. 認知症に関する講座の開催など学習機会の提供
4. 地域住民の活動の支援
5. 地域の見守りネットワークへの参加
6. 在宅で生活する認知症の人の家族への相談支援
7. 在宅で生活する認知症の人に対する介護保険や生活支援サービスに関する情報の提供
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問24 認知症のある方の声を取り入れて、支援に活かしている点があればお書きください。  
(自由記述)

問25 利用者の生活支援をしていて、地域の課題だと思われることは何ですか。  
(〇は3つまで)

1. 必要な介護サービスを身近で利用できる事業所が少ない
2. 若者介護、8050問題など、支援が難しいケースが増えている
3. 単身で身寄りのない高齢者が増えてきており、緊急時の対応等が難しい
4. 高齢マンション等の集合住宅では、地域での見守り・支え合いが難しい
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問26 地域課題の解決のため、必要と思われることは何ですか。(〇は3つまで)

1. 不足している介護サービスの提供が可能な介護事業所の誘致
2. おとしより相談センター（地域包括支援センター）や区との連携強化
3. 介護をしている家族等への相談・支援の充実
4. 地域での見守り・支え合いのネットワークの構築
5. 集合住宅における高齢者の孤立化防止対策
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問27 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。

—ご協力ありがとうございます—

このアンケート票は11月17日（月）までに  
同封の返信用封筒に入れ、投函してください。（切手は不要です。）

## 在宅医療・介護サービス提供者への調査

区では、令和8年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に  
向けて、在宅医療と介護の実態と課題を把握し、区民の方が在宅医療や介護サービスが必要  
になった場合でも、できるだけ住み慣れた地域に住み続けられるよう医療と介護の連携を推  
進するため、区内の医療機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局）を対象に、本調査を実施し  
ます。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいとお願ひ申し上げます。

令和7年10月 中央区

### 調査について

- この調査は、区内の医療機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局）にお送りしています。
- この調査は無記名方式で行います。回答者が特定されることはありません。
- 調査結果は、区の高齢者施策の推進のために利用され、その他の目的で使用されるこ  
とはありません。

### ご記入にあたってのお願い

- 回答は、医療機関の医師、歯科医師、薬剤師の方がご記入ください。
- 鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください（一部の設問は数字を記入します）。
- 「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容をご記入ください。
- 調査票は令和7年10月1日現在でご記入いただき、11月17日（月）までに同封の返  
信用封筒に入れて投函してください。（切手は不要です。）
- この調査票は郵送でお送りしていますが、パソコン、スマートフォンからも回答可能です。  
なお、パソコン、スマートフォンから回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

### パソコン、スマートフォンからの回答方法

- 以下のURLがQRコードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください
- 下記のID・パスワードを使ってログインして回答をお願いします。（ログインできない場合は  
問い合わせ先までご連絡ください）

URL : <https://en.surece.co.jp/chuo2025g>

ID :  パスワード :

（ID・パスワードとも無作為に設定されていますので、回答者が特定されることはありません。）

### 【問い合わせ先】

- ★調査の目的・内容について  
中央区福祉保健部介護保険課管理係 TEL. 03-3546-5748
- ★調査票の書き方やインターネット回答方法、同封物の不足について  
株式会社サニーベリサーチセンター TEL. 0120-677-0481(フリーダイヤル)  
受付時間 午前10時～午後5時（土日・祝日を除く。）

（この調査は中央区から株式会社サニーベリサーチセンターに委託して実施しています。）

## 貴医療機関について

問1 貴医療機関の種類をお聞きます。(○は1つ)

1. 病院  
2. 診療所  
3. 歯科診療所  
4. 薬局  
5. その他【具体的に: \_\_\_\_\_】

【問1-1は、問1で「1」または「2」と答えた医療機関におうかがいします】

問1-1 専門とされている診療科目についてお聞きます。(○は1つ)

1. 内科  
2. 神経内科  
3. 精神科  
4. 外科  
5. 整形外科  
6. 皮膚科  
7. 眼科  
8. 耳鼻咽喉科  
9. 泌尿器科  
10. 婦人科  
11. 小児科  
12. リハビリテーション科  
13. その他【具体的に: \_\_\_\_\_】

【すべての医療機関におうかがいします】

問2 貴医療機関の所在地はどこですか。(○は1つ)

1. 京橋地域  
2. 日本橋地域（八重洲一丁目を含む）  
3. 月島地域

## 在宅医療の実施状況について

問3 「往診」や「訪問診療」を実施していますか。また、今後実施する意向がありますか。  
(○は1つ)

1. 実施している  
2. 現在は実施していないが、3年以内に実施する意向がある  
3. 実施する意向はあるが実施は難しい  
4. 実施する意向はない

【問3-1は、問3で「1」と答えた医療機関におうかがいします】

問3-1 在宅介護支援の実施状況についてお聞きます。(○はいくつでも)

1. 「往診」※1 を単独で実施している  
2. 「往診」※1 を他の医療機関との連携により実施している  
3. 「訪問診療」※2 を単独で実施している  
4. 「訪問診療」※2 を他の医療機関との連携により実施している  
5. その他【具体的に: \_\_\_\_\_】

※1 往診…患者の求めに応じて急変時に訪問して行う診療。

※2 訪問診療…通院の困難な患者に定期的に訪問して行う診療。

日常的な在宅療養について

問4 貴医療機関が日常的な在宅療養で大切にしていることは次のどれですか。(〇は3つまで)

1. 利用者本人への丁寧な説明
2. 利用者の意向について家族全体の理解が得られるような説明
3. 支援者間における治療や方向性の共有
4. 早い段階での本人の治療やケアに対する意思の確認
5. 家族と支援者間における本人の意思の確認、共有
6. 関係者全員が、在宅医療・介護サービスのイメージが持てること
7. 緊急時、休日夜間における医療体制の確保
8. 緊急時、休日夜間における介護体制との連携
9. その他 ( )

問5 現在、関わっているサービス利用者の情報などについて、次の関係機関、職種との連携状況をお聞かせします。(①から⑭それぞれ〇は1つずつ)

	十分連携 している	1	2	3	4	ほとんど連 携していない
①病院		1	2	3	4	
②サービス利用者のかかりつけ医		1	2	3	4	
③サービス利用者にとって必要と考えられる 診療科の医師		1	2	3	4	
④歯科医師		1	2	3	4	
⑤薬剤師		1	2	3	4	
⑥病院の地域連携室 (医療ソーシャルワーカー)		1	2	3	4	
⑦おとしより相談センター (地域包括支援センター)		1	2	3	4	
⑧訪問看護ステーション		1	2	3	4	
⑨訪問・通所リハビリテーション		1	2	3	4	
⑩介護支援専門員(ケアマネジャー)		1	2	3	4	
⑪訪問介護		1	2	3	4	
⑫通所介護(デイサービス)		1	2	3	4	
⑬短期入所生活介護 (ショートステイ)		1	2	3	4	
⑭福祉用具貸与・販売事業者		1	2	3	4	
⑮地域福祉コーディネーター・ 生活支援コーディネーター		1	2	3	4	

問6 日常的な在宅療養について、現在課題になっていることは次のどれですか。(〇はいくつでも)

1. 24時間365日対応できる医療従事者の確保
2. 専門外の医療行為や疾患に対応できる連携体制
3. 緊急時の入院受入れ、または連携医療機関への入院手配
4. 看取りや急変時の対応に関する知識・技術等の向上
5. 家族の負担を軽減するサービス等の情報提供
6. その他 ( )

問7 認知症の患者の状況で実際にあり、大変なことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 本人や家族が医療機関を受診しない
2. 本人の意思の確認が難しい
3. 家族が認知症であることを認めない
4. 薬の飲み違えや飲まないなど、服薬管理ができない
5. 介護サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある
6. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる
7. 認知症のため適切な介護サービスが受けられない
8. 消費者被害に遭遇したことがある
9. 虐待の恐れがある
10. 本人と家族間で介護の方針が違う
11. 医療的な管理が難しい
12. その他 ( )

問8 介護サービス事業者との連携について、次のようなことを行っていますか。(〇はいくつでも)

1. サービス担当者会議への参加
2. 書面等による、在宅療養者に関する情報の共有
3. ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有
4. 介護サービス事業者との定期的な情報交換
5. 緊急時の対応方法に関する介護サービス事業者との取り決め
6. その他 ( )
7. 上記のような連携は行っていない

【問8-1は、問8で「7」と答えた方におうかがいします】

問8-1 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 介護サービス事業者の医師に関する知識や理解が不足している
2. 介護保険などの福祉の制度がわからない
3. お互いに多忙で連絡がとれない
4. 介護サービス事業者との交流の機会がない
5. 連携方法がわからない
6. 連携の重要性をあまり感じない
7. その他〔具体的に： 〕

【すべての医療機関におうかがいします】

問9 ケアマネジャー（介護支援専門員）との連携で課題がありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない
3. 連携していない

【問9-1は、問9で「1」と答えた方におうかがいします】

問9-1 課題と感じていることを具体的に教えてください。

\_\_\_\_\_

【すべての医療機関におうかがいします】

問10 おとしより相談センター（地域包括支援センター）との連携で課題がありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない
3. 連携していない

【問10-1は、問10「1」と答えた医療機関におうかがいします】

問10-1 課題と感じていることを具体的に教えてください。

\_\_\_\_\_

【すべての医療機関におうかがいします】

問11 訪問看護ステーションとの連携で課題がありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない
3. 連携していない

【問11-1は、問11で「1」と答えた医療機関におうかがいします】

問11-1 課題と感じていることを具体的に教えてください。

\_\_\_\_\_

【すべての医師・歯科医師の方におうかがいします】

問12 薬局との連携で課題がありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない
3. 連携していない

【問12-1は、問12で「1」と答えた方におうかがいします】

問12-1 課題と感じていることを具体的に教えてください。

\_\_\_\_\_

### ICT機器（情報通信機器）の活用について

【すべての医療機関におうかがいします】

問13 貴医療機関では、多職種連携ICTシステムを利用していますが。(○は1つ)

1. 利用している

2. 導入の準備をしている

3. 導入を検討中

4. 利用（導入）していない ⇒ 問13-2へお進みください

【問13-1は、問13で「1」と答えた医療機関におうかがいします】

問13-1 利用している多職種連携システムの種類は何ですか。(○はいくつでも)

1. MCSメディカルケアステーション（エンプレス（株））
2. TRITRUS（株）カナミックネットワーク
3. バイタルリンク（帯人ファーマ（株））
4. その他〔具体的に： 〕

【問13-2は、問13で「4」と答えた医療機関におうかがいします】

問13-2 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 使い方がわからない
2. スタッフのITスキルに不安がある
3. 法人用の端末がない（自分の端末を使いたくない）
4. 他の事業所や医療機関が利用していないため連携しにくい
5. セキュリティや個人情報情報の取り扱いに不安がある
6. 他の業務で手が回らず、導入する余裕がない
7. 現在の方法（電話・FAXなど）で問題がない
8. 利用するメリットがよくわからない
9. システムがあることを知らなかった
10. その他〔具体的に： 〕

**看取りについて**

【すべての医療機関におうかがいします】

問14 令和6年10月から令和7年9月までの1年間に、在宅で看取った患者数は何人程度ですか。(○は1つ)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 0人     | 2. 1～5人   | 3. 6～10人  |
| 4. 11～15人 | 5. 16～20人 | 6. 21～25人 |
| 7. 26人以上  |           |           |

問15 在宅での看取りの訪問先はどこですか。(○はいくつでも)

- |                                |                  |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 自宅                          | 2. サービス付き高齢者向け住宅 |
| 3. 有料老人ホーム                     |                  |
| 4. 認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護） |                  |
| 5. その他（                        | ）                |
| 6. 看取りを行っていない                  |                  |

問16 どのような条件があれば看取りが可能ですか。(○はいくつでも)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 患者本人の意思表示                      |
| 2. 看取りに関する指針を患者・家族に説明し同意を得ていること   |
| 3. 医師が医学的知見に基づき回復の見込みがないと診断していること |
| 4. 介護者からの24時間の連絡体制                |
| 5. その他（具体的に：                      |
| ）                                 |

問17 看取りについて、どのように考えていますか。(○は1つ)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 看取りは、自宅では困難と考えている              |
| 2. 可能な限り自宅で行うが、看取りは医療機関で行うべきである   |
| 3. 可能な限り自宅で看取りまで行うべきである           |
| 4. 自宅が医療機関か、本人の意思を尊重した看取りが望ましい    |
| 5. 自宅が医療機関か、本人と家族の意向を尊重した看取りが望ましい |
| 6. その他（具体的に：                      |
| ）                                 |

問18 看取りについて、実践していることがこの中にありますか。(○はいくつでも)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 利用者の意思を確認する                      |
| 2. 家族の意向が一致しているが確認する                |
| 3. 家族が看取りの身体的変化について理解できるようにしている     |
| 4. 24時間対応ができる体制をつくる                 |
| 5. 家族以外の支援者（ケアマネジャー等）と情報共有できる環境をつくる |
| 6. その他（具体的に：                        |
| ）                                   |
| 7. 看取りを行っていない                       |

問19 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を活用したことがありますか。(○は1つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 活用したことがある | 2. 活用したことがない |
|--------------|--------------|

問20 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）をすすめる上で必要なことは何ですか。(○は3つまで)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. ACPに関する、利用者・家族をはじめとする、区民啓発を進めること |
| 2. 早いタイミングからの意向の確認や話し合いを行うこと        |
| 3. 一度だけでなく、継続的に意向の確認や話し合いをすること      |
| 4. 日頃から、気持ちを込める雰囲気や人間関係をつくること       |
| 5. 本人の意向を尊重し、最終まで意思決定支援を心がけること      |
| 6. 適切なサービス調整や支援がでる多職種での連携を進めること     |
| 7. 本人・家族との不一致、家族間の調整にも配慮すること        |
| 8. その他（具体的に：                        |
| ）                                   |

**在宅療養支援について**

問21 医療と介護を一体的に提供し、在宅療養支援を進めていくため、医療機関、介護サービス事業者、行政はどのようなことに取り組むことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 医療的ケアが必要な人が利用できるショートステイ施設を充実させる   |
| 2. 医療的ケアが必要な人が利用できるデイサービス施設を充実させる    |
| 3. 医療的ケアや介護が受けられるサービス付き高齢者向け住宅を充実させる |
| 4. ICTツールによる、在宅療養者に関する情報の共有を推進する     |
| 5. 医療と介護の連携マニュアルを作成する                |
| 6. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる場を確保する         |
| 7. 多職種連携強化のための研修を充実させる               |
| 8. その他（具体的に：                         |
| ）                                    |

問22 在宅療養に対する医療や介護のあり方や看取り、その他の医療・介護保険制度等を含め、医療と介護の連携について、ご意見やご要望を自由にお書きください。

--

—ご協力ありがとうございました—  
このアンケート票は11月17日（月）までに  
同封の返信用封筒に入れ、投函してください。（切手は不要です。）

---

中央区高齢者の生活実態調査および  
介護サービス利用状況等調査 報告書

令和8（2026）年3月発行

刊行物登録番号  
7-094

編集・発行

中央区福祉保健部 高齢者福祉課・介護保険課  
〒104-8404 東京都中央区築地一丁目1番1号  
電話：03-3546-5353（高齢者福祉課 直通）  
03-3546-5642（介護保険課 直通）